

日本語 HP DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS

ユーザーズ・ガイド

2012 年 6 月

本書は、日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアを使用して
PostScript プリンタにファイルを印刷する方法、および DCPS とプリンタの機能
について説明します。

ソフトウェア・バージョン: 日本語 HP DECprint Supervisor V2.7 for OpenVMS

オペレーティング・システム: 日本語 OpenVMS Integrity V8.3, V8.3-1H1, V8.4
日本語 OpenVMS Alpha V7.3-2, V8.3, V8.4

日本ヒューレット・パッカード株式会社

2012 年 6 月

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パカードは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

© 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は米国 Microsoft 社の商標です。

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき	xv
1 ファイルの印刷	
1.1 概要	1-1
1.2 データ・タイプの選択	1-2
1.3 両面印刷	1-2
1.4 ランドスケープ (横長) 方向およびポートレート (縦長) 方向の指定	1-3
1.5 印刷部数の指定	1-4
1.6 用紙の各面への複数ページの印刷	1-5
1.7 特定の範囲のページの印刷	1-6
1.8 エントリの削除あるいはキューの停止時での遅延	1-7
1.9 ファイル形式	1-7
2 プリント・ジョブの修正ならびにプリント・ジョブおよびキューの状態表示	
2.1 プリント・ジョブの表示	2-1
2.2 プリント・キューの表示	2-3
2.3 プリント・ジョブの削除	2-4
2.4 プリント・ジョブの変更	2-4
3 給紙トレイおよび排紙トレイの選択	
3.1 給紙トレイの選択	3-1
3.1.1 用紙の指定	3-2
3.1.1.1 ページおよびシート・サイズによる選択	3-2
3.1.1.2 メディア・タイプの選択	3-2
3.1.2 手差しトレイの選択	3-4
3.1.3 封筒トレイの使用	3-5
3.2 排紙トレイの選択	3-5
3.2.1 排紙トレイのマニュアル操作による選択	3-6

4	PostScript ファイルの印刷	
4.1	複数の PostScript ファイルの印刷	4-1
4.2	テキストおよび PostScript を含むファイルの印刷	4-1
4.3	他のオペレーティング・システムで作成されたファイルの印刷	4-1
4.4	プリンタ固有の PostScript 文書の作成	4-3
4.5	汎用的な PostScript 文書の作成	4-3
4.6	識別されない PostScript オペレータ・エラーの解決方法	4-3
4.7	PostScript オペレータを制限するためのサンプル・ファイルの使用	4-4
4.7.1	デスクトップ・プリンタでの PostScript オペレータの制限	4-4
4.7.2	PrintServer プリンタでの PostScript オペレータの制限	4-4
5	ANSI ファイルの印刷	
5.1	プリント・ジョブでの複数のテキスト・ファイルの印刷	5-1
5.2	ANSI プリンタのエミュレート	5-1
5.3	ANSI ファイル内のタブの処理	5-2
5.4	プリンタ・フォント・カートリッジのエミュレート	5-3
5.5	PostScript オペレータによるトレイの変更	5-4
5.6	ANSI シーケンスを使用した両面あるいは片面印刷	5-5
5.7	LIST データ・タイプおよびトランスレータ	5-5
5.8	ユーロ通貨記号の印刷	5-6
6	日本語テキスト・ファイルの印刷	
6.1	プリント・ジョブでの複数のテキスト・ファイルの印刷	6-1
6.2	ANSI プリンタのエミュレート	6-1
6.3	日本語テキスト・ファイル内のタブの処理	6-2
6.4	プリンタ・フォント・カートリッジのエミュレート	6-3
6.5	PostScript オペレータを使用したトレイの変換	6-4
6.6	ANSI シーケンスを使用した両面あるいは片面印刷	6-5
7	Image インタプリタの使用による DDIF イメージ・ファイルの印刷	
7.1	イメージ印刷の改善	7-1
7.2	イメージ・ファイルの印刷例	7-2
8	PCL ファイルの印刷	
8.1	PCL ファイルの印刷方法	8-1
8.2	ネイティブ PCL モードでのファイルの処理	8-2
8.2.1	ネイティブ PCL の使用を禁止する PRINT パラメータ	8-3
8.3	PCL トランスレータを使用したファイルの処理	8-3

8.3.1	PRINT パラメータを使用した PCL プリント・ジョブの変更	8-3
8.3.1.1	PAGE_SIZE パラメータの使用	8-4
8.3.1.2	ネイティブ PCL で無視される PRINT パラメータ	8-4
8.3.2	エスケープ・シーケンスを使用した PCL プリント・ジョブの変更	8-5
8.3.3	セットアップ・モジュールの使用	8-7
8.3.4	LaserJet IID プリンタの PCL トランスレータとの違い	8-7
8.4	給紙トレイの変更	8-8
8.5	PCL プリント・ジョブでのソフト・フォントとマクロの指定	8-9
8.5.1	PCL セットアップ・モジュールでのソフト・フォントとマクロの指定	8-10
8.5.2	PCL プリント・ジョブでのフォントおよびマクロ・ファイルの指定	8-10
8.6	PJL および TBCP での問題を回避するための PC ドライバの設定	8-10
8.6.1	PJL および TBCP の概要	8-11
8.6.2	DECprint Supervisor での問題の回避	8-11
8.6.2.1	PostScript での問題の回避	8-11
8.6.2.2	PCL での問題	8-12
8.7	ネイティブ PCL 印刷と自動 DATA_TYPE 検出との影響	8-12
8.8	ネイティブ PCL モードによるファイルの結合	8-13
9	Proprinter ファイルの印刷	
9.1	Proprinter トランスレータと Proprinter プリンタ	9-1
9.2	DECprint Supervisor による Proprinter ファイルの識別	9-2
9.3	Proprinter トランスレータの省略時の状態の変更	9-2
9.3.1	Proprinter コマンド用のセットアップ・モジュールの作成	9-5
9.4	Proprinter の印刷可能領域の変更方法	9-6
9.4.1	1 ページに印刷できない Proprinter ファイル	9-7
9.4.2	Proprinter プリント・ジョブのためのページ・サイズの指定	9-9
9.5	Proprinter プリント・ジョブの給紙トレイの指定	9-10
9.6	Proprinter プリント・ジョブでのソフト・フォントの指定	9-11
10	List データ・タイプの使用	
10.1	List データ・タイプの使用	10-2
10.2	List データ・タイプに対する OpenVMS フォームの使用	10-3
11	高度なページ・レイアウトの使用	
11.1	両面印刷	11-1
11.2	ランドスケープ (横長) 方向とタンブル印刷の指定	11-3
11.3	両面印刷プリント・ジョブでの複数の PostScript ファイルの指定	11-6
11.4	物理的な用紙サイズの指定	11-6
11.5	用紙の各面への複数ページの印刷	11-7
11.5.1	給紙トレイ選択オペレータと組み合わせた NUMBER_UP の使用	11-7
11.5.2	ページ方向と組み合わせた NUMBER_UP の使用	11-8
11.5.3	複数のファイルに対する NUMBER_UP の使用	11-10

11.6	特定の範囲のページの印刷	11-11
11.6.1	PAGE_LIMIT と印刷部数の組み合わせ	11-12
11.6.2	中断されたプリント・ジョブの再起動	11-12
11.6.3	両面印刷ジョブに対する PAGE_LIMIT の使用	11-12
11.7	論理ページ・サイズの指定	11-13
11.8	印刷するページのサイズの変更	11-14
11.8.1	キューが PAGE_SIZE および SHEET_SIZE パラメータを持つ場合の自動的なサイズの変更	11-14
12	文書の印刷結果を変更するためのレイアウトの使用	
12.1	プリント・ジョブでのレイアウト・オプションの指定	12-1
12.1.1	プリント・ジョブでのレイアウトの指定	12-1
12.1.2	交互マージンの指定	12-2
12.1.3	ページ境界の指定および省略	12-3
12.1.4	最初のページ・スポットの指定	12-5
12.1.5	ページ格子の指定	12-7
12.1.6	用紙マージンの指定	12-8
12.1.7	使用するページ・スポットの順序の指定	12-10
12.1.8	用紙の各面に印刷するページ数の指定	12-12
12.2	レイアウト定義ファイルの作成	12-12
12.2.1	レイアウト定義ファイルの例	12-13
12.3	レイアウト・エラー通知	12-14
13	PRINT コマンドでのフォームの使用	
13.1	システム上のフォームの一覧	13-1
13.2	すべてのタイプのファイルでのフォームの使用	13-2
13.2.1	セットアップ・モジュールを起動するフォームの使用 (/SETUP)	13-3
13.2.2	用紙タイプを指定するフォームの使用 (/STOCK)	13-3
13.3	省略時のフォーム定義の使用	13-3
14	プリント・ジョブでのセットアップ・モジュールの使用	
14.1	セットアップ・モジュールの概要	14-1
14.2	セットアップ・モジュールの位置	14-1
14.2.1	ユーザ独自のセットアップ・モジュールの位置	14-2
14.2.2	セットアップ・モジュールの内容の表示	14-2
14.3	セットアップ・モジュールの作成	14-3
14.4	セットアップ・モジュールを使用した DECimage パラメータの変更	14-3
14.5	解像度についてのセットアップ・モジュール	14-5

15	ファイル・セパレータ・ページの制御	
15.1	すべてのファイルに対するファイル・セパレータ・ページの制御	15-1
15.2	個別のファイルに対するファイル・セパレータ・ページの制御	15-2
15.3	キューについての省略時のセパレータ・ページの表示	15-2
15.4	エラー時の省略時の排紙トレイへのジョブ・ログおよびジョブ・トレーラ・ページの出力	15-3
16	仕上げオプションの選択	
16.1	パンチ機能	16-1
16.1.1	PUNCH DCL 構文	16-1
16.2	ホチキス止め機能	16-1
16.2.1	STAPLE DCL 構文	16-3
16.2.2	ホチキス止めの位置	16-3
16.2.3	排紙トレイ	16-6
16.2.4	用紙サイズ	16-6
16.2.4.1	日本語プリンタのホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズ	16-6
16.2.5	ホチキス止めに関する詳細	16-8
16.3	DCPS ホチキス止め機能のエラー・メッセージ	16-10
17	デバッグのためのエラー・ハンドラの使用	
17.1	プリント・ジョブへのエラー・ハンドラの組み込み	17-1
17.2	エラー・ハンドラが PostScript 環境に与える影響	17-1
17.3	エラー・ハンドラの例	17-2
17.4	エラー・ハンドラからの出力の解読	17-3
17.5	PostScript データの出力形式	17-3
17.6	エラー発生箇所の判定	17-5
18	印刷に関する問題の解決	
18.1	エラー・メッセージの表示と保存	18-1
18.2	メッセージの解析	18-2
18.2.1	PostScript エラー	18-2
18.2.2	DECprint Supervisor メッセージ	18-3
18.2.3	PrintServer ソフトウェアに関する問題の解決	18-3
18.2.4	PC あるいは Macintosh で作成されたファイルの問題	18-3
18.3	オンライン・ヘルプの表示	18-4
19	プリンタ固有の情報	
19.1	リコー製日本語プリンタ	19-2
19.1.1	RICOH IPSiO SP 6120	19-2
19.1.2	RICOH IPSiO SP 6330	19-3
19.1.3	RICOH IPSiO SP 8100	19-5
19.1.4	RICOH IPSiO SP C810	19-6
19.1.5	RICOH IPSiO Color 4100	19-6

19.1.6	RICOH IPSiO Color 6500	19-7
19.1.7	RICOH IPSiO Color 7100	19-7
19.1.8	RICOH IPSiO Color 8100, 8000	19-8
19.1.9	RICOH PC LASER NX-510, NX-500	19-8
19.1.10	RICOH IPSiO NX710, NX700	19-8
19.1.11	RICOH IPSiO NX810, NX800	19-8
19.1.12	RICOH IPSiO NX850, NX750, NX730, NX720N	19-9
19.1.13	RICOH IPSiO NX920, NX910, NX900	19-10
19.1.14	RICOH IPSiO NX1100, PC LASER NX-1000	19-10
19.2	沖データ製日本語プリンタ	19-10
19.2.1	OKI COREFIDO B431dn	19-10
19.2.2	OKI COREFIDO B840dn	19-13
19.2.3	OKI MICROLINE 703N3, 701N3	19-15
19.2.4	OKI MICROLINE 1035PS, 1032PS	19-16
19.2.5	OKI MICROLINE 2030N, 2020N	19-18
19.2.6	OKI MICROLINE 3020c, 3010c	19-20
19.2.7	OKI MICROLINE 3020cV	19-21
19.2.8	OKI MICROLINE 801PSIIV-LT, 802PSIIV, 803PSIIV	19-21
19.2.9	OKI MICROLINE 900PSIII LT, 903PSIII	19-22
19.2.10	OKI MICROLINE 7300PS	19-22
19.2.11	OKI MICROLINE 9300PS	19-23
19.3	セイコーエプソン製日本語プリンタ	19-24
19.3.1	InterLaser LP-9600SPD	19-24
19.3.2	InterLaser LP-8700PS3	19-24
19.3.3	ESPER-LASER LP-9200PS3	19-25
19.3.4	ESPER-LASER LP-8400PS3	19-25
19.3.5	ESPER-LASER LP-9200PS2	19-26
19.4	富士ゼロックス製日本語プリンタ	19-26
19.4.1	FUJI XEROX DocuPrint 201PS	19-26
19.4.2	FUJI XEROX DocuPrint C1250	19-26
19.4.3	FUJI XEROX Laser Press 4410	19-27
19.5	DIGITAL Colorwriter LSR 2000+ プリンタ	19-27
19.5.1	装着されていない用紙サイズへの印刷要求	19-27
19.5.2	INPUT_TRAY および PAGE_SIZE あるいは SHEET_SIZE パラメータ	19-28
19.5.3	ANSI トランスレータの 64 行出力の制限	19-28
19.6	DIGITAL DECcolorwriter 1000 プリンタ	19-28
19.6.1	プリンタ固有のセットアップ・モジュール	19-28
19.7	DIGITAL DEClaser 1152 プリンタ	19-28
19.7.1	AppleTalk 使用時のジョブ削除後のプリンタのハング	19-29
19.8	DIGITAL DEClaser 3500 プリンタ	19-29
19.8.1	プリンタ固有のセットアップ・モジュール	19-29
19.8.1.1	解像度の拡張用のセットアップ・モジュール	19-29
19.8.1.2	トナー節約モード用のセットアップ・モジュール	19-29
19.8.1.3	DECimage-Lite 用のセットアップ・モジュール	19-30
19.8.1.4	セットアップ・モジュールの使用例	19-30
19.8.2	FAX オプションの使用	19-30
19.9	DIGITAL DEClaser 5100 プリンタ	19-32
19.9.1	プリンタ固有のセットアップ・モジュール	19-32
19.9.2	LocalTalk ポート上の PCL ジョブのエラー	19-33

19.10	DIGITAL Laser Printer LN15+	19-33
19.10.1	無関係な USERDATA メッセージの表示	19-34
19.10.2	給紙トレイの選択	19-34
19.10.3	エラーの発生したジョブが完了しない可能性	19-34
19.10.4	ジョブが障害通知を行わない可能性	19-34
19.11	DIGITAL Laser Printer LN17+ps および LN17ps	19-34
19.11.1	LN17ps での出力の制限	19-35
19.12	DIGITAL Laser Printer LN40	19-35
19.12.1	シフト排紙およびソート	19-35
19.13	Compaq および DIGITAL Laser Printer LNC02	19-36
19.13.1	不正確な用紙数	19-36
19.14	HP 9085 MFP	19-36
19.14.1	デフォルト以外の用紙サイズを選択	19-36
19.15	HP LaserJet プリンタ	19-36
19.15.1	ANSI テキストの不完全な印刷	19-36
19.16	HP LaserJet 4MV プリンタ	19-37
19.16.1	用紙サイズ B5 のサポート	19-37
19.17	HP LaserJet 5SiMX プリンタ	19-37
19.17.1	B5 用紙サイズのサポート	19-37
19.17.2	オプション・メールボックス	19-37
19.18	HP Color LaserJet 2500, LaserJet 2100 および 2200	19-38
19.18.1	用紙サイズを選択に関する制限事項	19-38
19.19	HP LaserJet 4200, 4300, 9000 および 9000 MFP	19-38
19.19.1	ホチキス止め機能	19-38
19.20	HP LaserJet 8000, 8100 および 8150	19-38
19.20.1	オプション・メールボックス	19-39
19.21	Lexmark Optra Rt+	19-39
19.21.1	B5 用紙サイズのサポート	19-39
19.22	Lexmark Optra S	19-39
19.22.1	Otherenvelope および Universal 用紙サイズの印刷	19-39
19.23	Xerox Phaser 4500, 6250, 7300, 7750 および 8400	19-39
19.23.1	メディア・タイプ・セレクション機能の制限	19-39

A システム・メッセージとエラーからの回復

A.1	システム・メッセージの概要	A-1
A.2	メッセージの説明	A-2
A.3	レイアアップ定義 (BADLAYDEF) メッセージ	A-36

B PRINT コマンド修飾子

C PRINT コマンドのパラメータ

C.1	PRINT パラメータ	C-1
C.2	PRINT パラメータの構文	C-2
C.3	パラメータに対して省略時の設定が使用される順序	C-3

D フォント・カートリッジをエミュレートするための SoftFont キット

E 追加された文字エンコーディング

E.1	提供されるエンコーディング・ベクタ	E-1
E.2	エンコーディング・ベクタの例	E-2
E.3	追加エンコーディングの使用	E-2
E.4	プリント・ジョブでの DECMCS エンコーディング・モジュールの指定	E-4
E.5	サード・パーティ・プリンタのための ISO Latin-1 の定義	E-4

用語集

索引

例

13-1	PRINT コマンドでのフォームの指定	13-1
17-1	エラー・ハンドラによって作成されるログ・ファイルの例	17-2
E-1	DECMCS エンコーディング・ベクタの定義	E-2

図

1-1	両面印刷	1-3
1-2	ランドスケープ (横長) 方向	1-4
1-3	1 枚の用紙に 4 ページを印刷した例 (NUMBER_UP=4)	1-6
8-1	DCPS の PCL ファイルの処理方法	8-2
9-1	Proprinter の省略時の印刷可能領域	9-7
9-2	2 ページの PostScript ページに印刷された Proprinter ページ	9-7
9-3	長すぎる Proprinter ページ	9-8
9-4	PostScript ページにおさまるように調整された Proprinter ページ	9-9
10-1	List データ・タイプの出力	10-2
11-1	ランドスケープ (横長) 方向の両面印刷	11-3
11-2	ポートレート (縦長) 方向の両面タンブル印刷	11-4
11-3	ランドスケープ (横長) 方向の両面タンブル印刷	11-5
11-4	用紙への 4 ページの印刷 (NUMBER_UP=4)	11-8
11-5	NUMBER_UP=2 を使用したポートレート (縦長) 方向	11-9
11-6	NUMBER_UP=2 を使用したランドスケープ (横長) 方向	11-10

12-1	BORDERS を使用しない場合の NUMBER_UP=4 の印刷	12-4
12-2	BORDERS を使用した場合の NUMBER_UP=4 の印刷	12-5
12-3	FIRSTPAGE を使用しない場合の NUMBER_UP=8 の印刷	12-6
12-4	FIRSTPAGE を使用した場合の NUMBER_UP=8 の印刷	12-7
12-5	MARGINS オプションを使用した場合の使用可能な用紙領域	12-9
12-6	PAGEORDER オプション (ランドスケープ (横長) 方向)	12-11
12-7	PAGEORDER オプション (ポートレート (縦長) 方向)	12-11
16-1	NUMBER_UP のホチキス止めへの影響	16-9

表

1	日本語 DECprint Supervisor のドキュメント	xvi
1-1	ファイル形式	1-8
2-1	プリント・ジョブの状態	2-2
5-1	ANSI プリンタの修飾子	5-2
5-2	給紙トレイの変換用のオペレータ	5-5
5-3	片面あるいは両面印刷用の ANSI シーケンス	5-5
6-1	ANSI プリンタの修飾子	6-2
6-2	給紙トレイの変換用のオペレータ	6-5
6-3	片面あるいは両面印刷用の ANSI シーケンス	6-5
8-1	PCL フロント・パネル設定をエミュレートする PRINT パラメータ	8-4
8-2	PCL から PostScript への給紙トレイ・コマンドの変換	8-9
9-1	Proprinter の設定に影響を与える PRINT パラメータ	9-3
9-2	Proprinter プリント属性	9-4
9-3	Proprinter から PostScript への給紙トレイ・コマンドの変換	9-10
11-1	SIDES パラメータの値	11-1
11-2	用紙サイズおよびページ・サイズ用語	11-7
12-1	レイアウト定義ファイル・オプション	12-2
12-2	ALTERNATE オプションの値	12-2
12-3	PAGEORDER オプションの値	12-10
13-1	ANSI ファイル用の DEFINE/FORM 修飾子	13-2
14-1	DECimage の有効化および無効化	14-4
14-2	DECimage セットアップ・モジュール — 複合パラメータ	14-4
14-3	DECimage セットアップ・モジュール — 個別パラメータ	14-5
16-1	ホチキス止め位置と給紙の方向	16-4
16-2	IPSiO NX900, NX910, NX920, Color 7100, Color 8000, Color 8100, SP 8100, SP C810 および LN32, LNM40, mL320, mL401 でのホチキス 止め可能な位置	16-4
16-3	IPSiO NX800, NX810, Color 6500 でのホチキス止め可能な位置	16-5
16-4	IPSiO CX8800 でのホチキス止め可能な位置	16-5
16-5	OKI MICROLINE 3020cV, 9300PS でのホチキス止め可能な位置	16-5
16-6	ホチキス止めがサポートされている排紙トレイ	16-6
16-7	IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 7100, Color 8000, Color 8100, CX8800, SP 8100, SP C810 ホチキス止め機能でサポ ートされる用紙サイズおよび給紙方向	16-6

16-8	LN32, LNM40, mL320, mL401 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向.....	16-7
16-9	IPSiO Color 6500 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向.....	16-7
16-10	OKI MICROLINE 3020cV, 9300PS ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向.....	16-8
19-1	DEClaser 5100 プリンタ・ページ保護セットアップ・モジュール.....	19-32
B-1	PRINT コマンドの修飾子.....	B-1
C-1	PRINT パラメータ.....	C-2
D-1	フォント・カートリッジの対応関係.....	D-1
D-2	SoftFont キット.....	D-2

まえがき

日本語 DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS は、英語版 DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS を日本語用に拡張した製品です。本製品によって、さまざまな日本語 PostScript プリンタがサポートされます。

本書の対象読者

本書の内容は、すべてのユーザを対象に記述されています。このドキュメントでは、ほとんどの印刷作業の実行手順について説明しています。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

- 第 1 章では、ファイルの印刷方法について説明します。
- 第 2 章では、プリント・ジョブおよびプリント・キューの状態を表示する方法について説明します。
- 第 3 章では、プリント・ジョブの給紙トレイおよび排紙トレイの指定方法について説明します。
- 第 4 章では、PostScript ファイルの印刷について説明します。
- 第 5 章では、ANSI ファイルの印刷について説明します。
- 第 6 章では、日本語テキスト・ファイルの印刷について説明します。
- 第 7 章では、DDIF イメージ・ファイルの印刷について説明します。
- 第 8 章では、PCL ファイルの印刷について説明します。
- 第 9 章では、Proprinter ファイルの印刷について説明します。
- 第 10 章では、LIST データ・タイプの印刷方法について説明します。
- 第 11 章では、高度なページ・レイアウトの使用について説明します。
- 第 12 章では、レイアアップの使用方法について説明します。
- 第 13 章では、フォームの使用方法について説明します。
- 第 14 章では、セットアップ・モジュールの使用方法について説明します。
- 第 15 章では、ファイル・セパレータ・ページの指定について説明します。
- 第 16 章では、仕上げオプションの選択方法について説明します。

- 第 17 章では、問題のデバッグのためにエラー・ハンドラを使用する方法について説明します。
- 第 18 章では、プリンティング・エラーのトラブルシューティングについて説明します。
- 第 19 章では、特定のプリンタにおける DCPS の使用方法あるいは注意事項について説明します。
- 付録 A では、DCPS が生成するシステム・メッセージについて説明します。
- 付録 B では、PRINT コマンドで指定するプリント・ジョブ制御用の修飾子について説明します。
- 付録 C では、DCPS の機能およびオプションの指定に使用する PRINT コマンドのパラメータについて説明します。
- 付録 D では、SoftFont フォントについて説明します。
- 付録 E では、エンコーディング・ベクタの使用について説明します。
- 用語集では、DCPS 関連用語について説明します。

関連資料

DCPS については次のドキュメントを参照してください。

表 1 日本語 DECprint Supervisor のドキュメント

『リリース・ノート』	DCPS の使用上の注意事項について説明しています。
『インストール・ガイド』	DCPS のインストール方法について説明しています。
『システム管理者ガイド』	システム管理者、データセンタ・オペレータ、アプリケーション・プログラマが、DCPS プリント・キューをどのように作成/管理し、印刷に関する問題を解決するかを説明します。
『ユーザーズ・ガイド』	DCPS を使用して PostScript プリンタに印刷する方法について説明しています。
『ソフトウェア仕様書 (SPD 48.27.xx)』	DCPS がサポートするプリンタの一覧、DCPS V2.7 の機能と動作環境について説明しています。

HP OpenVMS の製品およびサービス情報については、下記の URL の Web サイトを参照してください。

本書の表記法

このドキュメントでは以下の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/xという表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
Return	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。
...	HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 • 文中のオプションの引数が省略されている。 • 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。 • パラメータや値などの情報をさらに入力できる。
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
()	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i>)、コマンド・ライン (たとえば /PRODUCER= <i>name</i>)、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i>) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。
Monospace type	モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。 C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。
—	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数がその後の行に続くことを示します。
数字	特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数, 8 進数, 16 進数) は、その旨を明記してあります。

1.1 概要

ファイルを印刷するには、次の手順に従ってください。

1. PRINT コマンドを入力します。
2. プリント・キュー名を指定します。
3. 必要なコマンド修飾子を追加します。
4. 印刷するファイル名を指定します。

たとえば、次のように入力します。

```
$ PRINT /QUEUE=MYPRINTER /PARAMETER=DATA_TYPE=POSTSCRIPT SUMMER.PS
```

この例では、次のものを指定しています。

- キュー名 (MYPRINTER)
- PostScript データ・タイプ
- ファイル名 (SUMMER.PS)

以降の各節では、ユーザ独自のドキュメントを印刷するために使用できるいくつかの手法について説明します。

1.2 データ・タイプの選択

プリント・ジョブのデータ・タイプを指定するには、`/DATA_TYPE=parameter`修飾子を使用します。たとえば、次のように入力します。

```
$ PRINT /QUEUE=MYPRINTER /PARAMETER=DATA_TYPE=ASCII
```

次のデータ・タイプ・パラメータのいずれかを指定することができます。

- ASCII
- ANSI
- DDIF
- List
- PCL
- PostScript
- Proprinter
- ReGIS
- Tek4014

各種のデータ・タイプについての詳細は、第 4 章～第 10 章を参照してください。

DCPS がサポートしていないプリンタ・モデルへ出力する場合は、プリンタは識別されない (unrecognized) プリンタとして分類されます。印刷は実行されますが、正常に動作しない場合があります。

DCPS には、HP 製の新しいプリンタ・モデル用に、generic HP プリンタ・クラスが用意されています。DCPS で認識されない HP 製プリンタに出力する場合、一般に HP 製プリンタで利用できる用紙サイズ、トレイ名、トレイ選択コマンドが使用されます。そのため、unrecognized プリンタで利用できない機能が、generic HP プリンタで利用可能になります。その例として、トレイ選択やプリンタのネイティブ PCL インタープリタの使用などがあります。

1.3 両面印刷

いくつかの PostScript プリンタでは用紙の両面への印刷が可能です。これは、デュープレックス印刷とも呼ばれます。PRINT コマンドに `SIDES=2` パラメータを指定した場合には、文書を用紙の両面に印刷することができます。

たとえば、次のように入力します。

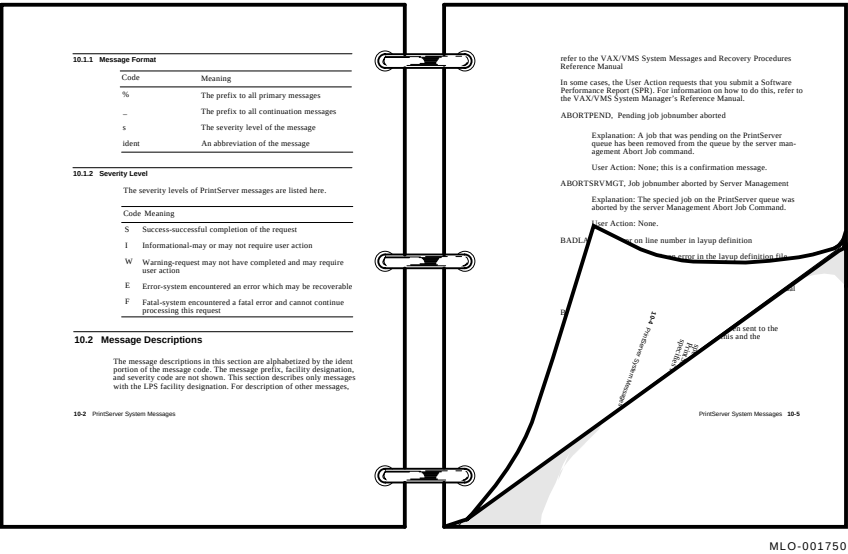
```
$ PRINT /PARAMETERS=SIDES=2 MYFILE.PS
```

プリンタが両面印刷をサポートしていない場合には、プリント・ジョブは終了し、次のメッセージが表示されます。

```
DCPS-E-DPLXNOSUP, printer-name does not support duplex printing
```

両面印刷の例については、図 1-1 を参照してください。

図 1-1 両面印刷



1.4 ランドスケープ (横長) 方向およびポートレート (縦長) 方向の指定

ページの方法を指定するには、PAGE_ORIENTATION パラメータに PORTRAIT あるいは LANDSCAPE キーワードのいずれかを指定します。たとえば、次のように入力します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE MYFILE.TXT
```

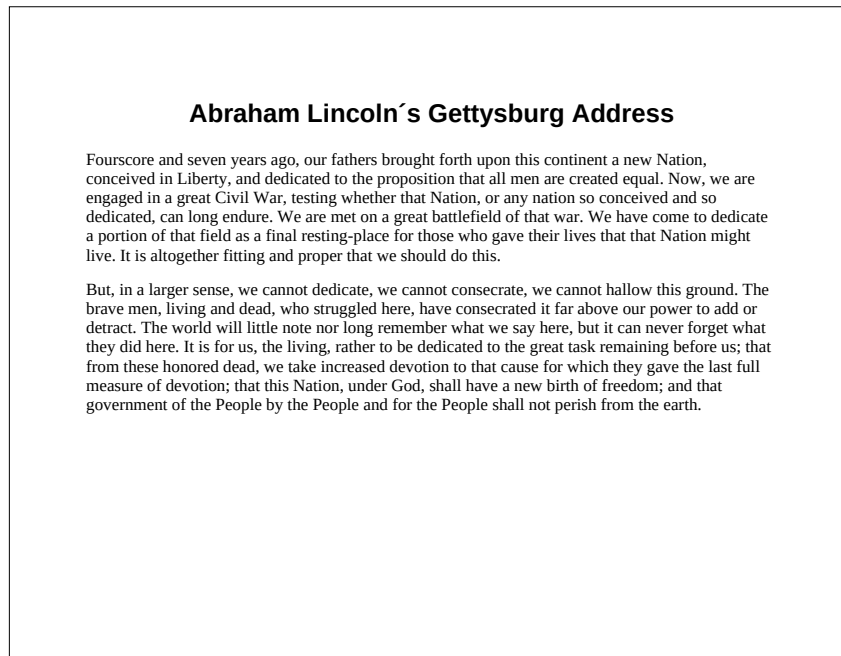
注意

PostScript ファイルおよび DDIF ファイルについてはこのパラメータを使用しないでください。これらのファイル・タイプはページ方法についての印刷命令を含んでいるからです。これらのファイルに対して PAGE_ORIENTATION パラメータを指定した場合、その指定は無視されて、プリント・ジョブはファイルに含まれる命令に従って印刷されます。

図 1-1 に、ポートレート (縦長) 方法のページ印刷の例を示します。文書印刷の高度な方法については、第 11 章を参照してください。

図 1-2 に、ランドスケープ (横長) 方法のページ印刷の例を示します。

図 1-2 ランドスケープ (横長) 方向



1.5 印刷部数の指定

次のコマンドのいずれかを使用して、1つのファイルを2部以上印刷することができます。

- `PRINT/JOB_COUNT=n`

ジョブ全体を n 回印刷します。

- `PRINT/COPIES=n`

各ファイルを n 回印刷します。

- `PRINT /PARAMETERS=SHEET_COUNT=n`

プリント・ジョブの各用紙を n 回印刷します。コレータ・トレイを持っているプリンタの `COLLATOR` トレイを指定して出力しない場合は、各部についてのソートは行われません。

`SHEET_COUNT` パラメータを使用すれば、プリント・ジョブ内の各用紙を指定した部数だけ印刷することができます。この方法を使用した場合には、プリント・ジョブの処理時間を短縮することができます。`/COPIES` または `JOB_COUNT` を使用した場合には、印刷するたびにプリント・ファイルを処理しなければなりません。一方、`SHEET_COUNT` パラメータを使用した場合には、該当ページのデータをソフトウェアが1回だけ処理した後、そのページに該当する各用紙が n 回印刷されます。

1.6 用紙の各面への複数ページの印刷

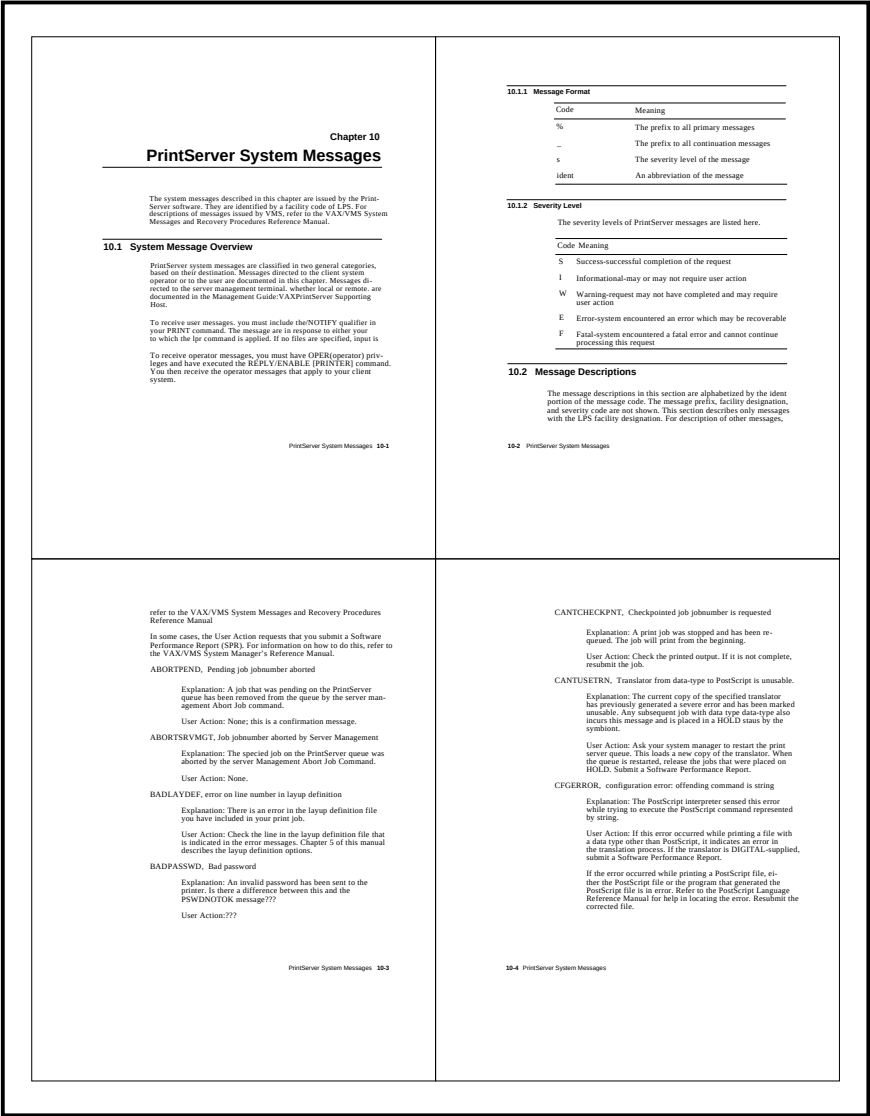
用紙の各面に複数のページを印刷することができます。この機能は用紙を節約するのに役立ち、特別な形式で文書を印刷することができます。たとえば、図 1-3 に示すように、用紙の各面に 4 ページずつ印刷することができます。

用紙の各面に印刷するページ数を指定するには、PRINT コマンドに NUMBER_UP パラメータを指定します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=NUMBER_UP=4 MYFILE.PS
```

1 枚の用紙に複数のページを印刷するために、DECprint Supervisor ソフトウェアは文書内の論理ページのサイズを変更し、物理的な用紙上の領域に収まるようにします。しかし、この操作を実行しても、アスペクト比 (ページの高さ と 幅の比率) は変更されません。

図 1-3 1 枚の用紙に 4 ページを印刷した例 (NUMBER_UP=4)



MLO-001798

1.7 特定の範囲のページの印刷

プリント・ジョブの中で特定のページまたは特定のページ範囲を印刷することができます。この機能は、大きなプリント・ジョブが印刷の途中で終了した後、そのジョブを途中から継続するときに役立ちます。

プリント・ジョブから特定の範囲のページだけを印刷するには、PRINT コマンドにPAGE_LIMIT パラメータを指定します。ページの範囲を指定するには、1 つまたは 2 つのページ番号を指定します。たとえば、プリント・ジョブの 50 ページ目から 100 ページ目だけを印刷する場合は、次のコマンドを入力します。

```
$ PRINT /PARAMETERS="PAGE_LIMIT=(50,100)" MYFILE.PS
```

注意

この PAGE_LIMIT パラメータの場合のように、パラメータ値の内部でカンマを使用する場合には、パラメータ全体を引用符で囲まなければなりません。

指定するページは文書内のページ番号と対応しません。これらは印刷されるページの数を示すだけです。次のコマンドを使用すれば、このファイルの途中から最後の部分のみを印刷するよう指定することができます。

```
$ PRINT /PARAMETERS="PAGE_LIMIT=(50,)" MYFILE.PS
```

この例では、プリント・ジョブの 50 ページ目から印刷を開始し、プリント・ジョブの最後まで印刷することを DECprint Supervisor ソフトウェアに指定しています。

次のコマンドを使用すれば、文書の最初の部分だけを印刷できます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=PAGE_LIMIT=50 MYFILE.PS
```

この例では、プリント・ジョブの最初の 50 ページだけを印刷することを DECprint Supervisor ソフトウェアに指定しています。

PAGE_LIMIT パラメータを使用した場合には、*upper-limit*の値に到達したときに、プリント・ジョブは終了します。したがって、PAGE_LIMIT パラメータを指定し、ファイルの最後まで印刷しない場合には、途中で印刷が打ち切られたファイルのファイル・トレーラ・ページは印刷されません。そのファイルの残りのデータと同一プリント・ジョブ内のそれに続くファイルは無視されます。

開始ページまたは終了ページのいずれについても、PAGE_LIMIT の最大値は 999999 です。

1.8 エントリの削除あるいはキューの停止時での遅延

DCPS が STOP/QUEUE/NEXT あるいは DELETE/ENTRY 要求の処理中に、そのプリンタとの通信に問題が発生した場合、その要求が完了するまでに時間がかかる可能性があります。ただし、最終的に DCPS は、現在のジョブがキャンセルされたというプリンタからの応答を待つことを中断します。

1.9 ファイル形式

他のオペレーティング・システムが稼動しているシステムから OpenVMS システムへファイルをコピーして印刷する場合、コピー後のファイルは表 1-1 に示す OpenVMS ファイル形式のいずれかでなければなりません。

表 1-1 ファイル形式

OpenVMS レコード形式	レコード属性
ストリーム	任意
可変長	なし
不定	任意
固定形式	なし
索引編成	任意
相対編成	任意

注意

イメージやフォントなど、バイナリ・データを持つファイルをコピーする場合には、必ずバイナリ・モードでファイルをコピーしてください。たとえば、FTP でバイナリ・モードを使用するか、または Windows システムから COPY /B を使用します。

DCPS では、索引編成ファイル、相対編成ファイル、順編成ファイルなどの構成を使用したファイルを出力することが可能です。

索引編成ファイルあるいは相対編成ファイルは、それぞれその主インデックスおよび相対レコード番号によって順次アクセスされます。これは TYPE コマンドとも矛盾しません。

注意

多くの場合、索引編成ファイルおよび相対編成ファイルにはバイナリ・データが含まれています。出力不可能なバイナリ・データを含むファイルを出力しようとした場合、予想できない出力結果となります。

プリント・ジョブの修正ならびにプリント・ジョブおよびキューの状態表示

この章で説明するコマンドを使用することで、プリント・ジョブの表示、削除、変更を行うことができます。また、キューに登録されているプリント・ジョブの一覧や、プリント・ジョブの状態を表示することもできます。

2.1 プrint・ジョブの表示

SHOW ENTRY コマンドを使用すれば、プリント・ジョブに関する情報を表示することができます。

特定のプリント・ジョブの状態を表示する場合には、SHOW ENTRY コマンドにジョブ番号を指定します。次の例を参照してください。

\$ SHOW ENTRY 96

Entry	Jobname	Username	Blocks	Status
-----	-----	-----	-----	-----
96	MEMO	MSMITH	114	Holding until 27-MAR-2012 17:00
	On idle printer queue LP40\$A14			

/FULL 修飾子を指定した場合には、プリント・ジョブに関する詳細情報を表示することができます。次の例を参照してください。

\$ SHOW ENTRY 96 /FULL

Entry	Jobname	Username	Blocks	Status
-----	-----	-----	-----	-----
96	MEMO	MSMITH	114	Holding until 27-MAR-2012 17:00
	On idle printer queue LPS40\$A14			
	Submitted 27-MAR-2012 10:36 /FORM=DCPS\$DEFAULT (stock=DEFAULT) /NOTIFY			
	/PARAM=("DATA=AUTOMATIC") /PRIORITY=100			
	File: _\$1\$DUA10:[MSMITH]MEMO.TXT;1			
	File: _\$1\$DUA10:[MSMITH]FILE_SNIFF.TXT;1			
	File: _\$1\$DUA10:[MSMITH]INFOPLAN.TXT;1			
	File: _\$1\$DUA10:[MSMITH]MONTHLY_REPORT.TXT;2			
	File: _\$1\$DUA10:[MSMITH]SPECIAL_SEPARATION_PAGES.TXT;1			
	File: _\$1\$DUA10:[MSMITH]VTPW.TXT;1			

/FULL 修飾子はキューに登録されているプリント・ジョブの状態を表示します。この例に示したプリント・ジョブは "Holding" 状態です。これは、このジョブをキューに登録するときに /AFTER 修飾子を指定し、プリント・ジョブの開始を遅らせているためです。プリント・ジョブの状態は表 2-1 に示す状態のいずれかとなります。

表 2-1 プリント・ジョブの状態

状態	意味
Printing	ローカル・プリンタの場合は、プリント・ジョブが現在印刷中です。ネットワーク・プリンタの場合には、プリント・ジョブは印刷中であるか、または別のシステムからのジョブが印刷中です。
Pending	プリント・ジョブは印刷待ちの状態です。つまり、このジョブより前に他のプリント・ジョブがキューに登録されているか、または適切な種類の用紙がプリンタに装着されるのをジョブが待っている状態です。
Holding	プリント・ジョブをキューに登録するときに /AFTER 修飾子または /HOLD 修飾子を指定したか、またはジョブに対して SET ENTRY/HOLD コマンドを入力した場合には、プリント・ジョブは保留状態となります。プリント・ジョブを印刷するために保留を解除するには、SET ENTRY コマンドに /RELEASE 修飾子を指定します (第 2.4 節を参照)。
Stalled	ジョブは開始されましたが、おそらくは紙詰まりまたは用紙切れのために、現在はストールしています。
Aborting	DELETE /ENTRY コマンドでジョブが異常終了しました。(詳細については第 2.3 節を参照)。
Retained	ジョブは完了しましたが、キューにそのまま残されています。

すべてのプリント・ジョブを表示するには、プリント・ジョブ番号を指定しないで SHOW ENTRY コマンドを入力します。次の例を参照してください。

\$ SHOW ENTRY

```

Entry      Jobname      Username  Blocks  Status
-----
96         MEMO         MSMITH    114     Holding until 27-MAR-2012 17:00
    On busy printer queue LP40$A14
75         AUTO         MSMITH    368     Pending
    On busy printer queue PS40$A10
68         BOOK_LIST    MSMITH     78     Printing
    On busy printer queue PS40$A10

```

プリント・ジョブを表示する場合、SHOW ENTRY コマンドに次の修飾子を指定することができます。

SHOW ENTRY 修飾子	表示される情報
/BRIEF	プリント・ジョブに関する要約情報。/FULL 修飾子を指定しなかった場合には、これが省略時の設定です。
/BY_JOB_STATUS=(keyword,...)	キーワードに指定した状態のプリント・ジョブ。指定できる状態は表 2-1 に示すとおりです。
/FILES	表示する各プリント・ジョブ内のファイル名。

SHOW ENTRY 修飾子	表示される情報
/FULL	ジョブの状態や印刷するファイル名も含めた、プリント・ジョブに関する完全な情報。
/USER_NAME=user-name	指定したユーザのプリント・ジョブ。

2.2 プリント・キューの表示

キューに登録されているすべてのプリント・ジョブの一覧とプリント・キューの状態を表示するには、SHOW QUEUE コマンドを使用します。

注意

ネットワーク内のリモート・ノードが保有するプリント・キューから同じプリンタにジョブが送信される可能性があります。これらのノードのキューは表示されません。

キューに登録されているすべてのプリント・ジョブを表示するには、SHOW QUEUE コマンドを入力し、その後にプリント・キューの名前を指定します。

\$ SHOW QUEUE LPS40\$A10

Printer queue LPS40\$A10, on LEVEL::A10, mounted from DCPSS\$DEFAULT
(stock=DEFAULT)

Entry	Jobname	Username	Blocks	Status
-----	-----	-----	-----	-----
96	MEMO	MSMITH	114	Holding until 27-MAR-2012 17:00

すべてのユーザのプリント・ジョブを表示するには、そのための特権が必要であり、SHOW QUEUE /ALL コマンドを使用します。

システムのすべてのキューの一覧を表示するには、キュー名を指定しないで SHOW QUEUE コマンドを入力します。

キューに関する情報の種類を指定して表示するには、次の修飾子を使用します。

SHOW QUEUE 修飾子	表示される情報
/ALL_JOBS	キューに登録されているすべてのプリント・ジョブ。この修飾子を指定しなかった場合には、SHOW QUEUE コマンドはキューに登録されているジョブのうち、このコマンドを入力したユーザのプリント・ジョブを表示します。
/BRIEF	1つ以上のプリント・ジョブに関する要約情報。/FULL 修飾子を指定しなかった場合には、これが省略時の設定です。
/BY_JOB_STATUS=(keyword,...)	キーワードに指定した状態を持つプリント・ジョブ。指定できる状態は表 2-1 に示すとおりです。

SHOW QUEUE 修飾子	表示される情報
/FILES	表示される各プリント・ジョブ内のファイル名。
/FORM	定義されているフォームに関する情報 (第 13 章を参照)。
/FULL	ジョブの状態や印刷するファイル名も含めた、プリント・ジョブに関する完全な情報。
/SUMMARY	キューの状態とキューに登録されているプリント・ジョブに関する簡単なメッセージ。

2.3 プリント・ジョブの削除

プリント・ジョブをキューから削除するには、`DELETE /ENTRY` コマンドを使用します。プリント・ジョブが印刷中の場合には、このコマンドは印刷を終了し、プリント・ジョブを削除します。

システム管理者が印刷終了後もプリント・ジョブをキューに保存するようにキューを設定した場合には、`DELETE /ENTRY` コマンドを使用した後も、プリント・ジョブはキューに残されます。この場合には、`DELETE /ENTRY` コマンドを 2 回使用することにより、ジョブをキューから削除することができます。

`DELETE /ENTRY` コマンドで、削除するプリント・ジョブのジョブ番号を指定してください。次の例を参照してください。

```
$ DELETE /ENTRY=96
```

```
Job MEMO (queue LP40$A10, entry 96) terminated with error status
%JBC-F-JOBDELETE, job deleted before execution
%DELETE, entry 96 aborting or deleted
```

2.4 プリント・ジョブの変更

印刷がまだ開始されていないプリント・ジョブについては、`PRINTT` コマンドで指定した出力先のキューやプリント・ジョブの属性を変更することができます。ただし、印刷をすでに開始したプリント・ジョブを変更することはできません。

プリント・ジョブの状態、属性または出力先のキューを変更するには、`SET ENTRY` コマンドを使用します。`SET ENTRY` コマンドにはジョブ番号と修飾子を指定してください。次の例では、ジョブ番号 318 のプリント・ジョブのプリント・キューを変更する方法を示しています。新しいキューは `SET ENTRY` コマンドと `/REQUEUE` 修飾子を使用して指定します。

```
$ PRINT *.MSG /AFTER=17:00 /QUEUE=PS40$A10
```

Job AUTO (queue PS40\$A10, entry 318) holding until 27-MAR-2012 17:00

```
$ SET ENTRY 318 /REQUEUE=LP40$A10
```

```
$ SHOW QUEUE LP40$A10
```

Printer queue LP40\$A10, on MOON::A10::, mounted form DCP\$DEFAULT
(stock=DEFAULT)

Entry	Jobname	Username	Blocks	Status
-----	-----	-----	-----	-----
318	AUTO	MSMITH	368	Holding until 27-MAR-2012 17:00

SET ENTRY コマンドを使用すれば、保留状態のプリント・ジョブの保留を解除することができます。このためには、SET ENTRY コマンドに/RELEASE 修飾子を指定します。次の例を参照してください。

```
$ SET ENTRY 318 /RELEASE
```

%DCPS-I-JOBSTART, Job AUTO (queue LP40\$A10, entry 318) started
on LP40\$A10

また、SET ENTRY コマンドを使用すれば、プリント・ジョブの修飾子とプリント・パラメータを変更することができます。SET ENTRY コマンドにジョブ番号と新しい修飾子またはパラメータ値を指定してください。

PRINT コマンドに複数のプリント・パラメータを指定した場合には、SET ENTRY コマンドにもそれらのすべてのパラメータを指定しなければなりません。PRINT コマンドに指定した他のパラメータを変更せずに、パラメータを1つだけ変更することはできません。パラメータを1つだけ変更すると、他のパラメータは省略時の値に戻されます。たとえば、次のコマンドを使用してプリント・ジョブをキューに登録したとします。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(SIDES=2,PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE) MYFILE.RPT
```

Job MYFILE (queue PS40\$A10, entry 329)

このプリント・ジョブのページ方向の設定を変更するには、次に示すように SIDES パラメータも指定しなければなりません。

```
$ SET ENTRY 329 /PARAMETERS=(SIDES=2,PAGE_ORIENTATION=PORTRAIT)
```

```
$ SHOW ENTRY 329 /FULL
```

Entry	Jobname	Username	Blocks	Status
-----	-----	-----	-----	-----
329	MYFILE	MSMITH	4	Holding until 27-MAR-2012 17:00

On Printer queue PS40\$A10
Submitted 27-MAR-2012 11:50 /FORM=DCP\$DEFAULT (stock=DEFAULT) /NOTIFY
/PARAMETERS=("SIDES=2","PAGE_ORIENTATION=PORTRAIT") /PRIORITY=100
File: _\$1\$DUA10:[MSMITH]MYFILE.RPT;2

給紙トレイおよび排紙トレイの選択

3.1 給紙トレイの選択

ほとんどのプリンタには複数の給紙トレイがあります。OHP 用紙や封筒、通常用の紙など、常に複数の種類の用紙をプリンタに装着しておきたい場合には、この機能を使用することができます。

一部のプリンタでは、手差しトレイや封筒トレイなどの特殊なトレイがサポートされます。プリンタでサポートされる給紙トレイを表示するには、`HELP PRINT_PARAMETER INPUT_TRAY` コマンドを入力し、使用しているプリンタについて説明する項目を選択してください。

プリント・ジョブで使用する用紙が装着された給紙トレイを選択するには、`PRINT` コマンドに `INPUT_TRAY` パラメータを指定します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=INPUT_TRAY=input-tray file-name
```

次に使用例を示します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=INPUT_TRAY=TOP MYFILE.PS
```

一部のプリンタでは、複数の給紙トレイはサポートされません。このようなプリンタに対してプリント・ジョブで `/PARAMETERS=INPUT_TRAY` を指定した場合には、プリント・ジョブは終了し、次のメッセージが表示されます。

```
NOINPTRAY, INPUT_TRAY selection not supported for printer-name
```

特定のプリンタで誤った給紙トレイを選択すると、プリント・ジョブは終了します。プリンタでサポートされない給紙トレイを指定した場合には、次のエラー・メッセージが表示されます。

```
INTRAYNOTSUP, No tray-name on printer-name
```

一部のプリンタはオプションの給紙トレイを持っています。プリンタで現在使用できないオプションの給紙トレイを指定した場合、そのジョブは終了し、次のエラー・メッセージが表示されます。

```
INTRAYNOTAVL, No tray-name is installed on printer-name
```

3.1.1 用紙の指定

3.1.1.1 ページおよびシート・サイズによる選択

用紙サイズを指定するには、SHEET_SIZE パラメータまたは PAGE_SIZE パラメータを使用します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=SHEET_SIZE=sheet-size file-name  
$ PRINT /PARAMETERS=(SHEET_SIZE=sheet-size,INPUT_TRAY=input-tray) -  
_ $ file-name
```

次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=SHEET_SIZE=LEGAL FILE.PS  
$ PRINT /PARAMETERS=(SHEET_SIZE=A4,INPUT_TRAY=TOP) FILE.PS
```

給紙トレイと用紙サイズの両方を指定した場合に、指定した給紙トレイに要求した用紙サイズが装着されていない場合は、ジョブは印刷されません。給紙トレイと用紙サイズが一致しない場合には、プリント・ジョブは終了し、次のようなエラー・メッセージが表示されます。

```
SIZNOTRAY, paper-size size medium is not in the tray-name tray in  
printer-name
```

たとえば次のエラー・メッセージが表示されます。

```
SIZNOTRAY, A4 size medium is not in the TOP tray in PS40$A14
```

3.1.1.2 メディア・タイプの選択

メディア・タイプは、特定のトレイから給紙される用紙の種類を指定するために、プリンタで設定します。通常、省略時の設定は PLAIN です。その他の一般的なメディア・タイプとしては、COLOR, LETTERHEAD, PREPRINTED, PREPUNCHED, RECYCLED があります。給紙トレイが特定のメディア・タイプに設定されている場合は、そのメディア・タイプを要求するジョブだけがそのトレイの用紙を使用します。

DCPS ジョブでメディア・タイプを選択するには、MEDIA_TYPE パラメータを使用します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=MEDIA_TYPE=media-type file-name
```

DCPS では、MEDIA_TYPE パラメータに任意の値を指定できます。メディア・タイプは、プリンタのフロント・パネルや Web ページに省略形で示されることがあります。たとえば、LETTERHEAD の設定は LTRHEAD に省略されることがあります。ほとんどの場合、完全な名前を指定することも、省略した名前を指定することもできます。

プリンタで現在使用されているメディア・タイプを指定する必要があります。プリンタでメディア・タイプを選択できない場合は、次のいずれかが可能です。

MEDIA_TYPE パラメータを使用してメディア・タイプを指定できます。メディア・タイプはプリンタで設定され、特定のトレイから給紙される用紙の種類を示します。通常、省略時の設定は PLAIN です。その他の一般的なメディア・タイプとしては、COLOR, LETTERHEAD, PREPRINTED, PREPUNCHED, RECYCLED があります。給紙トレイが特定のメディア・タイプに設定されていて、プリンタの省略時のメディア・タイプと異なる場合は、そのメディア・タイプを要求するジョブだけがそのトレイの用紙を使用します。

メディア・タイプの選択機能を使用すると、ジョブで使用する用紙が装着されているトレイの番号がわからなくても、用紙サイズとメディア・タイプによって用紙を選択できるという利点があります。

特定のメディア・タイプの用紙を選択するには、次のように指定します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=MEDIA_TYPE=media-type file-name
```

次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=MEDIA_TYPE=COLOR FILE.PS
```

この例では、カラー用紙が装着されているトレイから給紙することを選択しています。

DCPS では、MEDIA_TYPE パラメータに任意の値を指定できます。メディア・タイプは、プリンタのフロント・パネルや Web ページに省略形で示されることがあります。たとえば、LETTERHEAD の設定は LTRHEAD に省略されることがあります。ほとんどの場合、完全な名前を指定することも、省略した名前を指定することもできます。

要求されたメディア・タイプの用紙がプリンタに装着されていない場合は、プリント・ジョブは終了し、次のエラー・メッセージが表示されます。

```
MEDIATYPENOTAVL, No media-type type medium is loaded in  
printer name
```

次の例を参照してください。

```
MEDIATYPENOTAVL, No COLOR type medium is loaded in HP LaserJet 9050
```

MEDIA_TYPE パラメータは、他のトレイ選択パラメータ INPUT_TRAY, PAGE_SIZE, SHEET_SIZE と組み合わせて使用できます。

給紙トレイとメディア・タイプの両方を指定した場合には、指定した給紙トレイに、ジョブをプリントするのに要求されたサイズの用紙が装着されている必要があります。適切な用紙が装着されていないと、プリント・ジョブは終了し、次のエラー・メッセージが表示されます。

```
MEDIATYPENOTRAY, media-type type medium is not in the tray tray in printer name
```

たとえば、トレイ 2 にレターヘッド用紙が装着されていないときに、次のように入力すると、

```
$ PRINT /PARAMETERS=(INPUT_TRAY=TRAY_2,MEDIA_TYPE=LETTERHEAD) -  
_ $ /QUEUE=HP4650 FILE.PS
```

次のエラー・メッセージが表示されます。

```
MEDIATYPENOTRAY, LETTERHEAD type medium is not in the TRAY_2 tray in  
HP Color LaserJet 4650
```

一部のプリンタでは、MEDIATYPENOTRAY エラー・メッセージではなく、要求されたメディア・タイプを装着するように求めるメッセージが表示されます。動作はプリンタの特性に応じて異なります。たとえば、Deferred Media Selection がオンに設定されている HP プリンタでは、指定したメディア・タイプを装着するように求めるメッセージが表示されます。他の大部分のプリンタでは、DCPS はジョブをプリントせず、エラー・メッセージを表示します。

メディア・タイプの選択は、PostScript レベル 2 以上のプリンタでのみサポートされます。PostScript レベル 1 プリンタでメディア・タイプを指定すると、プリント・ジョブは終了し、次のエラー・メッセージが表示されます。

```
MEDIATYPENOSUP, Media type selection not supported for PostScript  
Level 1 printers
```

3.1.2 手差しトレイの選択

手差しトレイは INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータで選択します。SHEET_SIZE パラメータまたは PAGE_SIZE パラメータを使用して用紙サイズを指定しなければなりません。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /QUEUE=PS40$A14 /PARAMETERS=(SHEET_SIZE=A4,INPUT_TRAY=MANUAL_FEED) FILE.PS
```

手差しトレイを指定したプリント・ジョブに対して、SHEET_SIZE パラメータと PAGE_SIZE パラメータのいずれも指定しなかった場合には、プリント・ジョブは終了し、次のエラー・メッセージが表示されます。

```
NO_SHEET_SIZE, Sheet_size must be specified for Manual_Feed
```

手差しトレイを指定した場合には、ジョブ・セパレータ・ページはプリンタの省略時の給紙トレイに装着されている用紙に印刷されます。その後、ファイルを印刷するために手差しトレイに変更されます。

3.1.3 封筒トレイの使用

ENVELOPE_FEEDER 給紙トレイを指定する場合には、SHEET_SIZE または PAGE_SIZE パラメータに用紙サイズを指定しなければなりません。封筒トレイを使用するプリント・ジョブに対して用紙サイズを指定しなかった場合には、プリント・ジョブは終了し、次のメッセージが表示されます。

NO_SHEET_SIZE, Sheet_size must be specified for Envelope_Feeder

3.2 排紙トレイの選択

一部の PostScript プリンタには複数の排紙トレイがあります。

使用しているプリンタで利用できる排紙トレイを表示するには、HELP PRINT_PARAMETER OUTPUT_TRAY コマンドを入力し、そのプリンタを説明する項目を選択してください。

これらのプリンタで印刷されるプリント・ジョブの排紙トレイは、PRINT コマンドに OUTPUT_TRAY パラメータを指定することにより選択することができます。

\$ PRINT /PARAMETERS=OUTPUT_TRAY=output-tray file-name

次の例を参照してください。

\$ PRINT /PARAMETERS=OUTPUT_TRAY=SIDE MYFILE.PS

サポートされない排紙トレイを選択した場合には、プリント・ジョブは印刷されますが、別の排紙トレイに出力され、次のメッセージが表示されます。

TRAYSUBST, Output will be delivered to the *output-tray* tray on *printer-name*

あるいは、プリント・ジョブが終了し、次のメッセージが表示されます。

NOOUTTRAY, OUTPUT_TRAY, *tray-name*, not supported on *printer-name*

一部のプリンタはオプションの排紙トレイを持っています。プリンタで現在使用できないオプションの排紙トレイを指定した場合、類似したトレイが存在している場合はそのトレイに印刷されます。類似したトレイが存在していない場合は、そのジョブは終了し、次のエラー・メッセージが表示されます。

OUTTRAYNOTAVL, No *tray-name* is installed on *printer-name*

3.2.1 排紙トレイのマニュアル操作による選択

プリンタの排紙トレイをマニュアル操作で選択した場合、`OUTPUT_TRAY` パラメータを使用してトレイを変更することはできません。プリンタ上のコントロール・パネルを使用して排紙トレイを選択しなければなりません。排紙トレイの選択についての詳細は、各プリンタのオペレータ・ガイドを参照してください。

この種のプリンタに対して `OUTPUT_TRAY` パラメータを指定する場合には、適切な排紙トレイをマニュアル操作で確実に選択してください。排紙トレイをマニュアル操作で選択しなかった場合には、プリント・ジョブは終了し、次のメッセージが表示されます。

```
OUTTRAYMISMATCH, Printer printer-name output tray setting does not  
match requested output-tray on printer-name
```

PostScript ファイルの印刷

4.1 複数の PostScript ファイルの印刷

アプリケーションで作成した PostScript ファイルは、プリンタの PostScript インタプリタの状態を変更します。DECprint Supervisor ソフトウェアでは、プリント・ジョブ内の各ファイルに対してではなく、プリント・ジョブごとにプリンタの状態をクリアします。したがって、アプリケーションのプロログやフォントを含むデータ・ファイルなど、最初から同時に印刷する予定のファイルは正しく印刷されます。しかし、相互に無関係な複数のファイルを含むプリント・ジョブでは、ファイルを印刷した後のプリンタの状態が後続のファイルの印刷に悪影響を与える可能性があります。

この結果、PostScript エラーが発生したり、文書の印刷結果が期待しないものとなる可能性があります。複数の PostScript ファイルを印刷する場合や、PostScript ファイルを2部以上印刷しなければならない場合には、別々のプリント・ジョブとしてキューに登録してください。

4.2 テキストおよび PostScript を含むファイルの印刷

DECprint Supervisor ソフトウェアはファイルの先頭のテキスト・ファイルに続く PostScript データを検出することができます。これは、電子メッセージ・システムで PostScript ファイルを受信した場合など、PostScript ファイルの前にテキストが置かれているものを印刷する際に有用です。

たとえば、ANSI テキストを作成するソフトウェア・ユーティリティでメッセージを受信し、そのメッセージに PostScript ファイルが含まれている場合は、データ・タイプを指定することなくそのファイルを印刷することができます。

4.3 他のオペレーティング・システムで作成されたファイルの印刷

最終的に DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアを使用して印刷する PostScript ファイルを、他のオペレーティング・システムが稼動しているシステムで作成している場合は、次の事項に注意してください。

1. プリンタ固有のコードの使用

Windows および Macintosh プリンタ・ドライバは、ドライバを構成したプリンタおよびプリンタ・オプションに固有の PostScript コード (たとえば、プリンタのブランド名、モデル名、使用可能なトレイ、両面印刷が可能かどうか、プリンタ内の使用可能なメモリなど) を作成します。そのファイルを異なるタイプのプリンタあるいは異なるオプションを持つプリンタに印刷した場合、正しく印刷されない可能性があります。

最終的に使用するプリンタおよびプリンタ・オプションに固有なファイルを作成するようにしてください。そうでない場合は、移植性を最適化し、オプションを指定せずに汎用プリンタを選択して、複数のプリンタ構成にそのファイルを印刷することができるようにしてください (第 4.5 節を参照)。

2. 固有の機能に対する PostScript コードの使用

Windows および Macintosh アプリケーションおよびプリンタ・ドライバは、ファイル作成時に選択したプリンタ機能に固有の PostScript コード (たとえば、使用するトレイ、ソートされない部数、片面印刷か両面印刷かなど) を作成します。PostScript ファイルにそのような機能を明示的に指定している場合、それに対応した DCPS パラメータ (たとえば、INPUT_TRAY, OUTPUT_TRAY, SHEET_COUNT, SIDES など) はそのプリント・ジョブに影響を与えません。

アプリケーションおよびプリンタ・ドライバが現在のプリンタ・ジョブに対して省略時の特定の設定値 (たとえば、給紙トレイ) を使用できるようになっている場合は、DCPS パラメータを使用して必要な設定を指定してください。そうでない場合は、アプリケーションおよびプリンタ・ドライバを使用して特定の機能を指定し、対応する DCPS パラメータを指定しないようにしてください。

3. プリンタ固有の設定についての仮定

プリンタの物理的な設定は、プリンタにより、また時間により異なる可能性があります。たとえば、プリンタの上段のトレイに黄色の用紙が装着されていることを知っていて、黄色の用紙に印刷したい場合は、上段給紙トレイに印刷することで PostScript ファイルを作成することができます。しかし、そのファイルを同一ブランドの同一モデルの別のプリンタに送信した場合、あるいは以前と同一のプリンタであっても後日に送信した場合は、上段トレイには別の用紙が装着されている可能性があります。

DCPS で指定することができないプリンタ機能、あるいはアプリケーションおよびプリンタ・ドライバでも指定することができないプリンタ機能 (たとえば、用紙のタイプ) については、ファイルを送信する前に、印刷を行うプリンタの物理設定が必要とする設定となっていることを確認してください。そうでない場合は、上記の 1 および 2 の項目に示す理由のため、ファイルを再度作成する必要があります。

4.4 プリンタ固有の PostScript 文書の作成

各 PostScript プリンタには、標準 PostScript 言語として定義されていないオペレータが格納されています。各 PostScript プリンタ固有の PostScript 言語の拡張機能については、各プリンタのマニュアルを参照してください。

PC および Macintosh システムで動作する、市販されている多くのアプリケーションおよびプリンタ・ドライバを使用した場合、プリンタ固有の拡張機能に依存したプリンタ機能を指定することができます (第 4.3 節を参照)。たとえば、特定のプリンタの上段給紙トレイを使用する PostScript ファイルを作成することができます。そのファイルを別のタイプのプリンタに印刷しようとした場合、別のトレイに印刷される可能性や、印刷に失敗する可能性もあります。

4.5 汎用的な PostScript 文書の作成

プリンタ・タイプに依存しない文書を作成する場合は、PostScript ファイルを作成するために使用するアプリケーションが DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアで指定する PRINT パラメータと矛盾していないことを確認してください。できるだけ PostScript 文書が汎用的なものとなるように、オプションの設定を行ってください。

広範囲の各種プリンタで印刷可能である汎用的な文書をアプリケーションで確実に作成するには、給紙トレイや排紙トレイなど、すべてのプリンタ固有のオプションに対して「プリンタの省略時の設定」を選択します。あるいは、汎用プリンタまたは両面印刷機能や複数の給紙トレイを持たないプリンタを選択します。その後、ファイルへの出力を可能とするアプリケーションの機能を選択します。

4.6 識別されない PostScript オペレータ・エラーの解決方法

プリンタで定義されていない PostScript 拡張オペレータを使用したファイルを印刷した場合には、次のエラー・メッセージが出力されます。

```
%DCPS-W-UNDEF, undefined: Name not known - offending command is operator
```

operator は、プリンタで識別できない PostScript 拡張オペレータです。

この問題は、次のいずれかの方法で解決することができます。

1. アプリケーションで PostScript ファイルを再作成します。印刷設定オプションを調べ、すべての PostScript プリンタに汎用的なオプションでないオプションを無効とします (第 4.5 節を参照)。
2. 印刷に失敗する PostScript ファイルを印刷する必要がある場合は、第 4.7 節の説明を参照して、プリント・ジョブを変更してください。

4.7 PostScript オペレータを制限するためのサンプル・ファイルの使用

DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアでは、一般的に使用される PostScript 拡張オペレータを制限するためのサンプル・ファイルを提供しています。

4.7.1 デスクトップ・プリンタでの PostScript オペレータの制限

デスクトップ・プリンタを使用している場合、印刷に失敗する PostScript オペレータを制限するためのセットアップ・モジュールを作成することができます。次のサンプル・ファイルが DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアで提供されています。

```
SY$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]LPS$STATUSDICT.PS
```

これは多くの PostScript ルーチンの集合であり、特定の PostScript オペレータに関する問題を解決するルーチンだけを取り出して利用することができます。新たに作成したファイルは、セットアップ・モジュールとして指定することができ、印刷に失敗するファイルとともに印刷することができます。

セットアップ・モジュールについての詳細は、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム管理者ガイド』を参照してください。

4.7.2 PrintServer プリンタでの PostScript オペレータの制限

PS_SUPPLEMENT ファイルは PrintServer プリンタにロードでき、多くの識別されない PostScript 拡張オペレータを無視することができるようにするものです。PrintServer Software V4.2 以降のバージョンでは、このファイルが自動的にプリンタにダウンロードされます。

ANSI ファイルの印刷

ANSI または ASCII テキスト・ファイルを PostScript プリンタで印刷するためにキューに登録すると、これらのファイルは PostScript に変換されます。DECprint Supervisor ソフトウェアは、すべてのレベルの ANSI プリンティング・プロトコルに対応するすべての範囲の ANSI エスケープ・シーケンスを識別します。ANSI に準拠する弊社のプリンティング・プロトコルおよび ANSI トランスレータの機能についての詳細は、『Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Reference Manual』を参照してください。

5.1 プリント・ジョブでの複数のテキスト・ファイルの印刷

ANSI ファイルは他のタイプのファイルと異なる方法で処理されます。プリント・ジョブで複数の ANSI ファイルを印刷する場合には、最初のファイルに登録されているプリンタ・コマンドは 2 番目のファイルに渡されません。したがって、ANSI セットアップ・モジュールを使用して印刷属性を渡すか、または各ファイルに印刷属性を登録しておかなければなりません。

5.2 ANSI プリンタのエミュレート

システムで使用するプリンティング・システムが ANSI プリンタから PostScript プリンタに変更された場合には、DECprint Supervisor ソフトウェアを利用することにより、ANSI プリンタ用に作成された ANSI ファイルを新しい PostScript プリンタで印刷することができます。

DECprint Supervisor ソフトウェアでは、ANSI プリンタでの印刷をエミュレートすることにより、ANSI ファイルの印刷を自動的に処理します。ANSI ファイルの印刷結果を変更したい場合には、表 5-1 の修飾子を使用することにより、印刷した文書を見やすくすることができます。

表 5-1 ANSI プリンタの修飾子

以下の要素を変更する場合	使用する修飾子	結果
通常、テキスト文書の各ページの最後に挿入されるフォームフィード	/NOFEED	自動的なフォームフィードの挿入は実行されません。
各ページのヘッダ行	/HEADER ¹	各ページの先頭にファイル名、ページ番号、ファイル作成日を印刷します。
マージン、ヘッダ、タブの処理	/PASSALL	印刷全体でファイルの状態がそのまま使用され、印刷した文書でマージン、ヘッダ、またはタブのエミュレーションは実行されません。
シングル・スペースで印刷した文書	/SPACE ¹	各テキスト行の後にブランク行を挿入し、ダブルスペースの出力を作成します。
処理中のタブの展開	/PARAMETERS=[NO]TAB ¹	タブの処理方法を制御します (第 5.3 節を参照)。
印刷のために使用できるフォント	/PARAMETERS=FONT _S _USED	フォント・カートリッジをエミュレートするソフトウェア・フォントを登録した 1 つ以上の SoftFont モジュールを指定します (第 5.4 節を参照)。
キューに対して指定された省略時のフォームによるテキストのフォーマット	/FORM	プリント・ジョブに対して要求されるフォーム定義を指定します。

¹この修飾子を指定した場合には、キューに割り当てられている省略時のフォームがプリント・ジョブに適用されます。詳細については、第 13 章を参照してください。

5.3 ANSI ファイル内のタブの処理

[NO]TAB パラメータを使用すれば、ANSI プリンタがタブ文字を処理する方法をエミュレートすることができます。TAB パラメータをプリント・ジョブに指定した場合には、その動作は ANSI プリンタで SET TERMINAL/TAB コマンドを使用した場合と同じになります。

1 インチ当たり 10 文字のピッチを使用しない場合、あるいは ANSI タブが文字の位置ではなくインチ単位で定義されている場合には、[NO]TAB パラメータを使用すると便利です。文字サイズを変更しても、PARAMETERS=TAB を指定すれば、タブ・サイズは変更されません。文字サイズを変更するときにタブ・サイズも変更する場合には、/PARAMETERS=NOTAB を指定してください。

[NO]TAB を指定した場合には、ソフトウェアは省略時のフォームとして、DCPS\$DEFAULT をジョブに対して有効に設定します。省略時のフォーム定義についての詳細は、第 13 章を参照してください。

省略時の設定では、DECprint Supervisor ソフトウェアはタブ・ストップが 8 文字おきに設定されているものとしてタブ文字を処理します (/PARAMETERS=NOTAB)。

システム管理者はキューの省略時の設定としてこの操作を変更でき、その結果、ユーザは PRINT コマンド行にこの修飾子を指定する必要がなくなります。同じプリンタを使用する複数の異なるジェネリック・キューを作成し、キューの省略時の設定としてこのパラメータを異なる値に設定することができます。このようにすれば、アプリケーション・プログラムからプリント・ジョブをキューに登録するときに、プリント・パラメータではなく、キュー名を指定することにより、タブの展開方法を指定することができます。

5.4 プリンタ・フォント・カートリッジのエミュレート

文書を ANSI プリンタで印刷するために、フォント・カートリッジが必要な場合があります。PostScript プリンタで文書を印刷する場合には、ANSI プリンタのフォント・カートリッジをエミュレートするために FONTS_USED パラメータを使用できます。ファイルにはフォントを呼び出すエスケープ・シーケンスが登録されていなければなりません。

注意

これらのフォント・モジュールは DECprint Supervisor ソフトウェアの標準モジュールではありません。システム管理者は弊社から別途 SoftFont キットを購入し、それをフォント・ライブラリにインストールしなければなりません (SoftFont キットは製造中止になっており、現在 HP からは販売されていません)。システムにインストールされているフォント・モジュールを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
$ LIBRARY /LIST /TEXT SYS$LIBRARY:CPSSANSI_FONTS
```

このファイルが存在しない場合には、フォント・モジュールはインストールされていません。

1 つ以上のフォント・モジュールをプリント・ジョブに指定するには、PRINT コマンドに /PARAMETERS=FONTS_USED 修飾子を指定します。たとえば、ITC Souvenir カートリッジがインストールされている ANSI プリンタでこれまでファイルを印刷していた場合には、次のコマンドを入力することにより、DECprint Supervisor ソフトウェアを使用する PostScript プリンタでこのファイルを印刷することができます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(FONTS_USED=ITC_SOUV_MCS) file-name
```

注意

2 つ以上のカートリッジ名を指定する場合には、全体を引用符で囲ってください。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS="FONTS_USED=(ITC_SOUV_MCS, BARCODE)" file-name
```

提供される SoftFont キットの一覧については、付録 D を参照してください。

5.5 PostScript オペレータによるトレイの変更

DCPS ソフトウェアは、ANSI ファイルに含まれているプリンタ給紙トレイを選択するためのエスケープ・シーケンスを識別します。これにより、特定の給紙トレイ上の紙に印刷するように作成された ANSI ファイルを扱うことができます。

存在しない給紙トレイを選択するように設定された ANSI ファイルを印刷しようとした場合、そのプリント・ジョブは実行できず、次のようなエラー・メッセージが表示されます。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds -  
offending command is setpapertray.
```

この場合には、PostScript セットアップ・モジュールを作成して、それをプリント・ジョブとともにキューに登録し、給紙トレイの設定を再定義してください。たとえば、次のような PostScript セットアップ・モジュールを作成します。

```
/settoptray {statusdict begin 2 setpapertray end} def  
/setbottomtray {statusdict begin 1 setpapertray end} def
```

この例では、上段給紙トレイ (settoptray) の代わりにプリンタのトレイ 2 を選択し、下段給紙トレイ (setbottomtray) の代わりにトレイ 1 を選択しています。PostScript セットアップ・モジュールを作成するときに、ANSI ファイルで指定されている給紙トレイに対応するオペレータを表 5-2 から選択し、そのオペレータを使用してください。また、プリンタの給紙トレイに対応する setpapertray 引数の値を選択してください。プリンタでサポートされる給紙トレイ番号については、プリンタのオーナーズ・マニュアルを参照してください。

PRINT コマンドを使用して ANSI ファイルとともにセットアップ・モジュールをジョブに指定します。たとえば、OVERHEAD.TXT というファイルを印刷するために TRAYDEF.PS というセットアップ・モジュールを使用するには、次のコマンドを入力します。

```
$ PRINT /NOTIFY /SETUP=TRAYDEF OVERHEAD.TXT
```

ANSI 給紙トレイ選択シーケンス、および対応する PostScript オペレータについては、表 5-2 を参照してください。setpapertray の省略時の値は、他の値が定義されていないときにトランスレータで使用される値です。セットアップ・モジュールに別の値を指定した場合には、その値の方が省略時の値より優先します。

表 5-2 給紙トレイの変換用のオペレータ

ANSI シーケンス	ユーザ定義オペレータ	setpapertray の省略時の値
CSI ! v	[なし]	[なし]
CSI 0 ! v	[なし]	[なし]
CSI 1 ! v	settoptray	1
CSI 2 ! v	setbottomtray	2
CSI 3 ! v	setlcitray	3
CSI 4 ! v	setmanualfeedtray	0
CSI 99 ! v	setmanualfeedtray	0

5.6 ANSI シーケンスを使用した両面あるいは片面印刷

片面あるいは両面印刷を行うには、ファイルに ANSI エスケープ・シーケンスを追加します。ANSI 両面印刷シーケンスは、表 5-3 に示すとおりです。エスケープ・シーケンスを ANSI ファイルに追加する場合には、この表の *sp* をスペース・コード (10 進数の 32) に置き換えてください。

表 5-3 片面あるいは両面印刷用の ANSI シーケンス

ANSI シーケンス	両面印刷
CSI 0 <i>sp</i> x	true simplex normal
CSI 1 <i>sp</i> x	true simplex normal
CSI 2 <i>sp</i> x	true simplex tumbled
CSI 3 <i>sp</i> x	true duplex normal
CSI 4 <i>sp</i> x	true duplex tumbled
CSI 5 <i>sp</i> x	duplex master normal
CSI 6 <i>sp</i> x	duplex master tumbled
CSI 7 <i>sp</i> x	simplex compressed normal
CSI 8 <i>sp</i> x	compressed tumbled

5.7 LIST データ・タイプおよびトランスレータ

LIST データ・タイプは、特殊なテキストから PostScript へのトランスレータを採用しています (第 10 章を参照)。これは、8 ビット ASCII テキスト (ISO 8859-1) を便利で印刷可能な形式に変換し、ファイルの行番号およびまとまった行の背景に交互にグレイ・バーを印刷します。LIST トランスレータは ANSI トランスレータではありません。これは、ANSI PPL3, HP-PCL, その他のプリンタ・プロトコルで定義されているようなエスケープ・シーケンスを変換しません。DEC PPL3 データおよび制御シーケンスを含み、その変換を必要とするプリント・ジョブについては、継続して ANSI データ・タイプを使用する必要があります。

5.8 ユーロ通貨記号の印刷

日本語 DCPS ANSI トランスレータに ISO Latin-9 (ISO 8859-15) 文字セットが含まれています。この文字セットにはユーロ通貨記号が含まれています。

ユーロ通貨記号を印刷する 1 つの方法は、次の ANSI エスケープ・シーケンスを日本語テキスト・ファイルに含めることです。

<code><ESC>.b</code>	ISO Latin-9 文字セットの選択
<code><ESC>n\$</code>	ユーロ通貨記号の印刷

日本語テキスト・ファイルの印刷

日本語 (DEC 漢字) テキスト・ファイルを PostScript プリンタで印刷するためにキューに登録すると、これらのファイルは PostScript に変換されます。DECprint Supervisor ソフトウェアは、すべてのレベルの ANSI プリンティング・プロトコルに対応するすべての範囲の ANSI エスケープ・シーケンスを識別します。ANSI に準拠する弊社のプリンティング・プロトコルおよび DEC 漢字トランスレータの機能についての詳細は、『Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Reference Manual』を参照してください。

6.1 プリント・ジョブでの複数のテキスト・ファイルの印刷

日本語テキスト・ファイルは他のタイプのファイルと異なる方法で処理されます。プリント・ジョブで複数の日本語テキスト・ファイルを印刷する場合には、最初のファイルに登録されているプリンタ・コマンドは 2 番目のファイルに渡されません。したがって、ANSI セットアップ・モジュールを使用して印刷属性を渡すか、または各ファイルに印刷属性を登録しておかなければなりません。

6.2 ANSI プリンタのエミュレート

システムで使用するプリンティング・システムが ANSI プリンタ¹から PostScript プリンタに変更された場合には、DECprint Supervisor ソフトウェアを利用することにより、ANSI プリンタ用に作成された日本語テキスト・ファイルを新しい PostScript プリンタで印刷することができます。

DECprint Supervisor ソフトウェアでは、ANSI プリンタでの印刷をエミュレートすることにより、日本語テキスト・ファイルの印刷を自動的に処理します。日本語テキスト・ファイルの印刷結果を変更したい場合には、表 6-1 の修飾子を使用することにより、印刷した文書を見やすくすることができます。

¹ ANSI プリンタとは、ANSI エスケープ・シーケンスによる印刷制御を処理できるプリンタのことを指します。DEC 漢字を印刷できる ANSI プリンタには、LN03、DECclaser 2300 (LN05)、DECclaser 2400 (LN10) などがあります。

表 6-1 ANSI プリンタの修飾子

以下の要素を変更する場合	使用する修飾子	結果
通常、テキスト文書の各ページの最後に挿入されるフォームフィード	/NOFEED	自動的なフォームフィードの挿入は実行されません。
各ページのヘッダ行	/HEADER ¹	各ページの先頭にファイル名、ページ番号、ファイル作成日を印刷します。
マージン、ヘッダ、タブの処理	/PASSALL	印刷全体でファイルの状態がそのまま使用され、印刷した文書でマージン、ヘッダ、またはタブのエミュレーションは実行されません。
シングル・スペースで印刷した文書	/SPACE ¹	各テキスト行の後にブランク行を挿入し、ダブルスペースの出力を作成します。
処理中のタブの展開	/PARAMETERS=[NO]TAB ¹	タブの処理方法を制御します (第 6.3 節を参照)。
印刷のために使用できるフォント	/PARAMETERS=FONT _S _USED	フォント・カートリッジをエミュレートするソフトウェア・フォントを登録した 1 つ以上の SoftFont モジュールを指定します (第 6.4 節を参照)。
キューに対して指定された省略時のフォームによるテキストのフォーマット	/FORM	プリント・ジョブに対して要求されるフォーム定義を指定します。

¹この修飾子を指定した場合には、キューに割り当てられている省略時のフォームがプリント・ジョブに適用されます。詳細については、第 13 章を参照してください。

6.3 日本語テキスト・ファイル内のタブの処理

[NO]TAB パラメータを使用すれば、ANSI プリンタがタブ文字を処理する方法をエミュレートすることができます。TAB パラメータをプリント・ジョブに指定した場合には、その動作は ANSI プリンタで SET TERMINAL/TAB コマンドを使用した場合と同じになります。

1 インチ当たり 10 文字のピッチを使用しない場合、あるいは ANSI タブが文字の位置ではなくインチ単位で定義されている場合には、[NO]TAB パラメータを使用すると便利です。文字サイズを変更しても、PARAMETERS=TAB を指定すれば、タブ・サイズは変更されません。文字サイズを変更するときにタブ・サイズも変更する場合には、/PARAMETERS=NOTAB を指定してください。

[NO]TAB を指定した場合には、ソフトウェアは省略時のフォームとして、DCPS\$DEFAULT をジョブに対して有効に設定します。省略時のフォーム定義についての詳細は、第 13 章を参照してください。

省略時の設定では、DECprint Supervisor ソフトウェアはタブ・ストップが 8 文字おきに設定されているものとしてタブ文字を処理します (/PARAMETERS=NOTAB)。

システム管理者はキューの省略時の設定としてこの操作を変更でき、その結果、ユーザは PRINT コマンド行にこの修飾子を指定する必要がなくなります。同じプリンタを使用する複数の異なるジェネリック・キューを作成し、キューの省略時の設定としてこのパラメータを異なる値に設定することができます。このようにすれば、アプリケーション・プログラムからプリント・ジョブをキューに登録するときに、プリント・パラメータではなく、キュー名を指定することにより、タブの展開方法を指定することができます。

6.4 プリンタ・フォント・カートリッジのエミュレート

文書を ANSI プリンタで印刷するために、フォント・カートリッジが必要な場合があります。PostScript プリンタで文書を印刷する場合には、ANSI プリンタのフォント・カートリッジをエミュレートするために FONTS_USED パラメータを使用できます。ファイルにはフォントを呼び出すエスケープ・シーケンスが登録されていなければなりません。

注意

これらのフォント・モジュールは DECprint Supervisor ソフトウェアの標準モジュールではありません。システム管理者は弊社から別途 SoftFont キットを購入し、それをフォント・ライブラリにインストールしなければなりません。システムにインストールされているフォント・モジュールを表示するには、次のコマンドを使用します。

```
$ LIBRARY /LIST SYS$LIBRARY:CP$ANSI_FONTS.TLB
```

このファイルが存在しない場合には、フォント・モジュールはインストールされていません。

1 つ以上のフォント・モジュールをプリント・ジョブに指定するには、PRINT コマンドに/PARAMETERS=FONTS_USED 修飾子を指定します。たとえば、ITC Souvenir カートリッジがインストールされている ANSI プリンタでこれまでファイルを印刷していた場合には、次のコマンドを入力することにより、DECprint Supervisor ソフトウェアを使用する PostScript プリンタでこのファイルを印刷することができます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(FONTS_USED=ITC_SOUV_MCS) file-spec
```

注意

2 つ以上のカートリッジ名を指定する場合には、全体を引用符で囲ってください。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS="FONTS_USED=(ITC_SOUV_MCS, BARCODE)" file-spec
```

提供される SoftFont キットの一覧については、付録 D を参照してください。

6.5 PostScript オペレータを使用したトレイの変換

DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアでは、ANSI ファイル内でプリンタの給紙トレイを選択するエスケープ・シーケンスが使用できます。

DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアは、ANSI ファイル内のプリンタ給紙トレイを選択するエスケープ・シーケンスを識別します。使用しているプリンタに存在しない給紙トレイを選択するように設定された日本語テキスト・ファイルを印刷する場合には、そのプリント・ジョブは実行できず、次のエラー・メッセージが表示されます。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds -  
offending command is setpapertray.
```

この場合には、PostScript セットアップ・モジュールを作成して、それをプリント・ジョブとともにキューに登録し、給紙トレイの設定を再定義してください。たとえば、次のような PostScript セットアップ・モジュールを作成します。

```
/settoptray {statusdict begin 2 setpapertray end} def  
/setbottomtray {statusdict begin 1 setpapertray end} def
```

この例では、上段給紙トレイ (settoptray) の代わりにプリンタのトレイ 2 を選択し、下段給紙トレイ (setbottomtray) の代わりにトレイ 1 を選択しています。PostScript セットアップ・モジュールを作成するときに、日本語テキスト・ファイルで指定されている給紙トレイに対応するオペレータを表 6-2 から選択し、そのオペレータを使用してください。また、プリンタの給紙トレイに対応する setpapertray 引数の値を選択してください。プリンタでサポートされる給紙トレイ番号については、プリンタのオーナーズ・マニュアルを参照してください。

PRINT コマンドを使用して ANSI ファイルとともにセットアップ・モジュールをジョブに指定します。たとえば、OVERHEAD.TXT というファイルを印刷するために TRAYDEF.PS というセットアップ・モジュールを使用するには、次のコマンドを入力します。

```
$ PRINT /NOTIFY /SETUP=TRAYDEF OVERHEAD.TXT
```

ANSI 給紙トレイ選択シーケンス、および対応する PostScript オペレータについては、表 6-2 を参照してください。setpapertray の省略時の値は、他の値が定義されていないときにトランスレータで使用される値です。セットアップ・モジュールに別の値を指定した場合には、その値の方が省略時の値より優先します。

表 6-2 給紙トレイの変換用のオペレータ

ANSI シーケンス	ユーザ定義オペレータ	setpapertray の省略時の値
CSI ! v	[なし]	[なし]
CSI 0 ! v	[なし]	[なし]
CSI 1 ! v	settoptray	1
CSI 2 ! v	setbottomtray	2
CSI 3 ! v	setlcitray	3
CSI 4 ! v	setmanualfeedtray	0
CSI 99 ! v	setmanualfeedtray	0

6.6 ANSI シーケンスを使用した両面あるいは片面印刷

片面あるいは両面印刷を行うには、ファイルに ANSI エスケープ・シーケンスを追加します。ANSI 両面印刷シーケンスは、表 6-3 に示すとおりです。エスケープ・シーケンスを ANSI ファイルに追加する場合には、この表の *sp* をスペース・コード (10 進数の 32) に置き換えてください。

表 6-3 片面あるいは両面印刷用の ANSI シーケンス

ANSI シーケンス	両面印刷
CSI 0 <i>sp</i> x	true simplex normal
CSI 1 <i>sp</i> x	true simplex normal
CSI 2 <i>sp</i> x	true simplex tumbled
CSI 3 <i>sp</i> x	true duplex normal
CSI 4 <i>sp</i> x	true duplex tumbled
CSI 5 <i>sp</i> x	duplex master normal
CSI 6 <i>sp</i> x	duplex master tumbled
CSI 7 <i>sp</i> x	simplex compressed normal
CSI 8 <i>sp</i> x	compressed tumbled

Image インタプリタの使用による DDIF イメージ・ファイルの印刷

DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアは、これまで使用されていた DEC Image Print-PLUS Client Services に代わる製品であり*、Image インタプリタを使用して、PrintServer 17、PrintServer 20、PrintServer 32 プリンタで DDIF 2 値イメージ・ファイルを高速で印刷できるようになりました。

注意

PostScript レベル 2 インタプリタが存在する場合には、Image インタプリタは使用されません。

ただし、プリント・ジョブに次のいずれかのパラメータが含まれている場合には、文書を印刷するために Image インタプリタは使用されません。

```
/PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION  
/PARAMETERS=NUMBER_UP
```

この場合、パラメータ値によって指定された機能を提供できるように、ファイルが PostScript に変換されます。

7.1 イメージ印刷の改善

標準的なネットワーク環境では、次の 2 つの理由により、イメージの印刷にかなり時間がかかります。

1. 標準環境では PrintServer が PostScript ファイルしか取り扱わないため、ユーザのノードでファイルを PostScript 形式に変換した後、PrintServer で PostScript インタプリタ・ソフトウェアによって処理しなければなりません。
2. PostScript レベル 1 言語のイメージ・ファイルが大きいため、ネットワークを介してプリンタに送信するのに時間がかかります。

DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアでは、次の理由により、イメージ印刷がこれまでより高速になります。

* DECprint Supervisor for OpenVMS 製品は、以前にインストールされている DEC Image Print-PLUS Client Services のすべてのバージョンと互換性はありません。

- イメージ処理機能を持つプリンタでは、DDIF 2 値イメージを印刷することができます、PostScript レベル 1 への変換および PostScript インタプリタの処理が不要です。
- プリンタに組み込まれた圧縮解除ハードウェアを使用します。
- 圧縮されたデータをネットワークを経由して送信することができます。圧縮されたデータは、より高速にプリンタに転送されます。

7.2 イメージ・ファイルの印刷例

次の PRINT コマンドを使用すると、イメージ・ファイルはプリンタに直接送信されます。

```
$ PRINT /QUEUE=queue-name /NOTIFY file-name.DDIF
```

次の PRINT コマンドでは、イメージ・ファイルは PostScript に変換されて印刷されます。

```
$ PRINT /QUEUE=queue-name /NOTIFY /PARAMETERS=NUMBER_UP=1 file-name.DDIF
```

PCL ファイルの印刷

注意

日本語 PCL はサポートされていません。

8.1 PCL ファイルの印刷方法

PCL ファイルは次のいずれかの方法で印刷されます。

1. PCL トランスレータ

DCPS には、HP LaserJet IID プリンタでサポートされる PCL4 データを含むファイルのためのトランスレータが含まれています。DCPS は、PCL5、PCL6、HPGL プリンティング言語は変換しません。DECprint Supervisor ソフトウェアが PCL ファイルを自動的に検出しない場合には、DATA_TYPE パラメータを使用してデータ・タイプを明示的に指定することができます。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=DATA_TYPE=PCL MYFILE.PRN
```

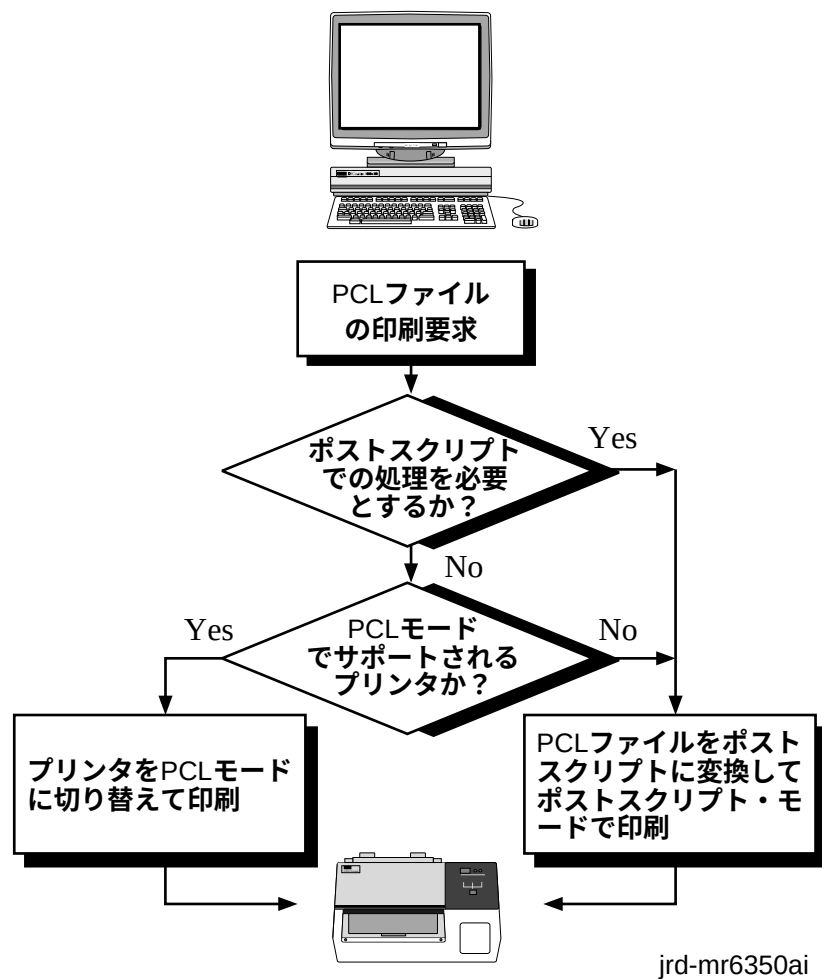
2. ネイティブ PCL モード

一部の PostScript プリンタには PCL モードがあり、DCPS ソフトウェアはこのモードを使用することができます。プリンタが PCL モードをサポートしていて、ユーザがファイルの PostScript への変換を要求するパラメータを指定しない場合、ジョブは自動的に PCL モードで印刷されます。これをネイティブ PCL モードと呼びます。

プリンタがネイティブ PCL5 をサポートしていて、HPGL ファイルが適切な PCL5 エスケープ・シーケンスで囲まれている場合は、その HPGL ファイルをプリンタに送信することができます。

図 8-1 に、DCPS ソフトウェアが PCL ファイルを処理する方法を示しています。

図 8-1 DCPS の PCL ファイルの処理方法



8.2 ネイティブ PCL モードでのファイルの処理

プリンタ固有の機能を犠牲にすることなくネイティブ PCL モードを利用するために、DCPS ソフトウェアは次のような動作をします。

1. プリント・ジョブに関する初期情報 (ジョブおよびファイル・フラグ・ページを含む) を PostScript モードで印刷します。
2. プリンタを PCL モードに変更する制御シーケンスをプリンタに送信します。
3. PCL ファイルをプリンタに直接送信し、そのファイルを印刷します。
4. プリンタを PostScript モードに戻し、トレーラ・ページを印刷します。

プリント・ジョブに PostScript セットアップ・モジュールと PCL セットアップ・モジュールの両方を含めることができますが、その効果は変換されたプリント・ジョブに応じて異なります。PostScript セットアップ・モジュールの大部分の設定は PCL 印刷に影響を与えません。PCL セットアップ・モジュールの設定は、それがプリント・ジョブ・ファイルに含まれているかのように、出力に影響します。

セットアップ・モジュールは/SETUP を使用して明示的に起動することができます。また、/FORM やキューの省略時の設定を使用することにより、暗黙のうちに起動することもできます。

8.2.1 ネイティブ PCL の使用を禁止する PRINT パラメータ

ネイティブ PCL モードでサポートされるプリンタに PCL ファイルを印刷する場合は、プリント・ジョブで特殊な PostScript 処理を要求しないかぎり、ファイルはプリンタに直接送信されます。プリント・ジョブに次の PRINT パラメータの 1 つあるいは複数が含まれている場合は、PCL ファイルをネイティブ PCL モードのプリンタに直接印刷することはできません。

```
/PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION  
/PARAMETERS=NUMBER_UP  
/PARAMETERS=SHEET_COUNT (1 よりも大きな値)  
/PARAMETERS=PAGE_LIMIT (開始ページが 1 よりも大きな場合、あるいは最終ページを指定した場合)
```

8.3 PCL トランスレータを使用したファイルの処理

次の方法を使用すると、Hewlett-Packard LaserJet プリンタのフロント・パネルの設定をエミュレートすることができます。

- PRINT コマンドのパラメータ — 第 8.3.1 項を参照
- エスケープ・シーケンス — 第 8.3.2 項を参照

8.3.1 PRINT パラメータを使用した PCL プリント・ジョブの変更

表 8-1 に、PCL プリント・ジョブを変更するために使用することができる PRINT パラメータを示します。

表 8-1 PCL フロント・パネル設定をエミュレートする PRINT パラメータ

LaserJet IID フロント・ パネル選択	PRINT パラメータ	参照項目
#copies	/PARAMETERS=SHEET_COUNT	第 1.5 節
duplex	/PARAMETERS=SIDES ¹	第 1.3 節
orientation	/PARAMETERS=PAGE_ORIENTATION ¹	第 1.4 節
tray selection	/PARAMETERS=INPUT_TRAY	第 3.1 節
paper size	/PARAMETERS=SHEET_SIZE	第 11.4 節
manual feed	/PARAMETERS=INPUT_TRAY	第 3.1 節

¹データ・ファイルに記述されている命令は、この PRINT パラメータを無効とすることができます。

8.3.1.1 PAGE_SIZE パラメータの使用

ページ・サイズは、/PARAMETERS=PAGE_SIZE パラメータを使用して選択することができます。PCL ファイルに対しては次のページ・サイズがサポートされます。

7_envelope あるいは Monarch
 A4
 A3
 Business_envelope あるいは COM10
 C5_envelope
 DL_envelope
 Executive
 Letter (A)
 Legal
 Ledger (B)

上記以外のページ・サイズを指定した場合には、PCL トランスレータはサポートするサイズのうち、指定されたサイズに最も近いサイズを選択します。

注意

PCL ファイル内のページ・サイズ・コマンドは、PRINT パラメータに指定したページ・サイズよりも優先されます。変換されるファイルに適用される PostScript セットアップ・モジュールを作成し、ページ・サイズ・オペレータを再定義することで、印刷時にそのオペレータを無効とすることができます。セットアップ・モジュールの作成についての詳細は、第 8.3.3 項を参照してください。

8.3.1.2 ネイティブ PCL で無視される PRINT パラメータ

サポートされるプリンタのネイティブ PCL 機能を使用して PCL ファイルを印刷する場合、DCPS は次の PRINT パラメータを無効とします。

INPUT_TRAY
 OUTPUT_TRAY
 PAGE_ORIENTATION

PAGE_SIZE
SHEET_SIZE
SIDES

この場合、プリンタの省略時の設定が有効となります。出力するファイルあるいはセットアップ・モジュールに適切な PCL エスケープ・シーケンスを挿入することにより、PCL プリンタのトレイ選択を操作することができます。

あるいは、ホスト上で PostScript に強制的に変換することにより、上記のパラメータがジョブに有効となるようにすることができます。強制的に変換するには、PAGE_LIMIT あるいは NUMBER_UP などの変換を強制的に行う DCPS 機能を使用します。

8.3.2 エスケープ・シーケンスを使用した PCL プリント・ジョブの変更

フロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスの形式は次のとおりです。

エスケープ・シーケンスの形式:

ESC ! ' *value* P

10 進数の値:

027 033 096 080

注意

この形式では、わかりやすくするためにコマンドの要素間にスペースを表示しています。しかし、実際のコマンドにはスペースを入力しないでください。

フロント・パネル設定は、次の操作で指定します。

1. *value* を 1 に設定してフロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスを指定することにより、フロント・パネル・モードを有効に設定します。
2. プリント属性を設定するために PCL エスケープ・シーケンスを入力します。
3. *value* を 0 に設定してフロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスを指定することにより、フロント・パネル・モードを無効に設定します。

フロント・パネル・モードは PCL リセット・エスケープ・シーケンス (ESC E) によって禁止することもできます。

PCL エスケープ・シーケンスを指定して、次のプリント属性を設定することができます。

- シンボル・セット
- スペーシング
- ピッチ
- 高さ
- スタイル
- ストロークの太さ
- タイプフェイス (Courier と Lineprinter のみ)
- 水平方向の移動インデックス
- 垂直方向の移動インデックス

PCL エスケープ・シーケンスを使用すれば、主フォントと副フォントの両方を指定することができます。省略時のフォントを選択するためのフロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスに両方のフォント・タイプのエスケープ・シーケンスを指定することができます。

たとえば、ピッチを 16.66 文字/インチ (cpi) に設定し、シンボル・セットを ISO 17 Spanish に設定する PCL エスケープ・シーケンスを有効にするためのフロント・パネル・モード・コマンド形式は次のとおりです。

```
ESC ! ' 1 P ESC ($16.66H ESC (2S ESC ! ' 0 P
```

注意

この形式では、わかりやすくするためにコマンドの要素間にスペースを表示しています。しかし、実際のコマンドにはスペースを入力しないでください。

このコマンドには次のエスケープ・シーケンスが含まれています。

- フロント・パネル・モードを有効に設定するためのエスケープ・シーケンス
- 16.66 cpi を設定するためのエスケープ・シーケンス (ESC (\$16.66H)
- シンボル・セットを ISO 17 に設定するためのエスケープ・シーケンス (ESC (2S)
- フロント・パネル・モードを無効にするためのエスケープ・シーケンス

8.3.3 セットアップ・モジュールの使用

セットアップ・モジュールを作成するには、次の手順に従ってください。

1. 必要なエスケープ・シーケンスあるいは PostScript オペレータを含むセットアップ・モジュールを作成します。
2. このセットアップ・モジュールを PCL 装置制御ライブラリに登録するように、システム管理者に依頼します。
3. セットアップ・モジュールとファイルを指定してファイルを印刷します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /QUEUE=PS$A14 /PARAMETERS=DATA_TYPE=PCL /SETUP=module-name  
_$ file-name.DAT
```

たとえば、次の PostScript セットアップ・モジュールはトレイ選択エスケープ・シーケンス (a4tray) を再定義します。PCL ファイルには A4 用紙を選択するためのページ・サイズ・コマンドが登録されています。プリンタで A4 用紙をサポートしない場合には、このファイルを印刷するために、プリンティング・システムがページ・サイズ・コマンドを無視するように設定する必要があります。このためには次に示すように、A4 用紙を選択するための PostScript オペレータを再定義する PostScript セットアップ・モジュールを作成します。

```
statusdict begin  
/a4tray {} def  
end
```

8.3.4 LaserJet IID プリンタの PCL トランスレータとの違い

PCL トランスレータを使用して印刷するファイルを作成する場合は、アプリケーションから LaserJet IID プリンタを選択してください。LaserJet プリンタの各モデル間には互換性がありません。したがって、LaserJet IID プリンタ以外の LaserJet モデルを対象に作成されたファイルは正しく印刷されない可能性があります。

PCL トランスレータは次の場合を除き、PCL ファイルを LaserJet IID プリンタと同様に処理します。

- 2つのファイルが同じフォントまたはマクロを必要とする場合に、フォントまたはマクロはプリント・ジョブ内の1つのファイルから次のファイルに渡すことはできません。フォントとマクロはセットアップ・モジュールおよびデータ・ファイル間ではそのまま保存されるので、これらの定義はセットアップ・モジュールで指定してください。第 8.5 節を参照してください。
- PCL ファイルで Lineprinter タイプフェースを使用している場合には、トランスレータはそのかわりに 8.5 ポイントの Courier を使用します。
- 最後の部分的なページが PCL ストリームによって排紙されない場合には、トランスレータが排紙します。

- ファイルに Font Control コマンドの copy/assign フォント・オプションを含む Font Control コマンドが登録されている場合には、トランスレータは userdata メッセージを作成します。
- ファイルに Display Functions モードを起動するコマンドが登録されている場合には、PCL コマンドとデータは破棄されます。これらは表示されません。

PCL 言語について説明した解説書は Hewlett-Packard から提供されています。
LaserJet IID 固有の解説書としては次のものがあります。

『HP LaserJet IID Printer Technical Reference Manual』 HP パーツ番号 33447 90905

『HP LaserJet IID Printer User's Manual』 HP パーツ番号 33447 90901

PCL ファイルは DECprint Supervisor ソフトウェアによって自動的に認識されます。この機能は、PCL のリセット・エスケープ・シーケンス (ESC E) から始まるファイルや、DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT または DAT_DEFAULT ファイルに PCL データ・タイプとしてファイル・タイプが指定されているファイルに対して有効です。

8.4 給紙トレイの変更

PCL ファイルには、Hewlett-Packard LaserJet IID プリンタでプリンタ給紙トレイを選択するための命令が登録されている可能性があります。このファイルを別の種類のプリンタで印刷する場合、指定されている給紙トレイを使用できないときは、プリント・ジョブが異常終了します。このような場合には、適切な PostScript オペレータを再定義するための PostScript セットアップ・モジュールを作成し、選択される給紙トレイを変更することができます。次の例では、上段給紙トレイに対してトレイ 3 を選択し、下段給紙トレイに対してトレイ 1 を選択するための PostScript セットアップ・モジュールを示しています。

```
/settoptray {statusdict begin 3 setpapertray end} def
/setbottomtray {statusdict begin 1 setpapertray end} def
```

給紙トレイの値はプリンタ固有の値です。PostScript プリンタの給紙トレイ番号を判断する場合には、各プリンタ付属のマニュアルを参照してください。

給紙トレイ選択コマンドと、PCL トランスレータがこれらのコマンドを変換した後の PostScript オペレータは表 8-2 に示すとおりです。setpapertray の省略時の値は、他の値が定義されていないときにトランスレータが使用する値です。別の値を指定したセットアップ・モジュールが定義されている場合には、省略時の値は無効になります。

表 8-2 PCL から PostScript への給紙トレイ・コマンドの変換

PCL コマンド	PostScript 拡張オペレータ	setpapertray の省略時の値
Upper tray	settoptray	1
Manual input	setmanualfeedtray	0
Manual envelope input	setmanualfeedtray	0
Lower tray	setbottomtray	2
Optional large tray	setlcitrays	3
Envelope feeder	setenvelopefeedertray	3

8.5 PCL プリント・ジョブでのソフト・フォントとマクロの指定

PCL ファイルを印刷するためにプリンタにソフト・フォントをロードしておかなければならない場合や、フォームまたはラスタ・グラフィックスを定義するためにマクロが必要な場合には、PCL セットアップ・モジュールを使用してフォントまたはマクロをダウンロードすることができます。

フォントおよびマクロを永続的に定義する必要はありません。セットアップ・モジュールあるいはファイルにリセット・エスケープ・シーケンスが含まれる場合にかぎり、フォントおよびマクロを永続的に定義する必要があります。

システム管理者は PCL セットアップ・モジュールを登録するための装置制御ライブラリを作成しなければならず、『DCPS システム管理者ガイド』の説明に従って、そのライブラリを DCPS\$STARTUP.COM の検索リストに登録しなければなりません。

PCL 装置制御ライブラリからの PCL セットアップ・モジュールは、ANSI および PostScript セットアップ・モジュールとは異なる方法で処理されます。PCL モジュールからのレコードには、最後にキャリッジ制御文字 (<CR>, <LF>) が追加されません。これは、PCL セットアップ・モジュールに PCL フォントやラスタ・グラフィックスなどのバイナリ・データを含むことができるようにするためです。PCL セットアップ・モジュールにキャリッジ制御文字で区切らなければならないテキスト行が含まれる場合には、これらのキャリッジ制御文字は PCL セットアップ・モジュールに明示的に指定しなければなりません。

ソフト・フォントまたはマクロは、次の操作によってプリント・ジョブに指定することができます。

- セットアップ・モジュールを使用する (第 8.5.1 項を参照)
- フォントまたはマクロ・ファイルをプリント・ジョブに指定する (第 8.5.2 項を参照)

8.5.1 PCL セットアップ・モジュールでのソフト・フォントとマクロの指定

ソフト・フォントまたはマクロをセットアップ・モジュールに指定するには、次の操作を実行します。

1. ファイルの先頭で PCL エスケープ・シーケンスを使用してフォントまたはマクロ識別子を指定します。
2. ファイルの形式が OpenVMS Librarian ユーティリティで受け付けられる形式であるかどうかを確認します。レコード形式は可変長または固定長でなければなりません。
3. 次のコマンドを使用して PCL 装置制御ライブラリにファイルを登録するように、システム管理者に依頼します。

```
$ LIBRARY /INSERT /TEXT SYS$LIBRARY:pcl-library-name font-filename
```

フォントまたはマクロを必要とする PCL ファイルを印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /QUEUE=queue-name /SETUP=font-filename data-filename.PCL
```

システム管理者はセットアップ・モジュールをフォーム定義に指定することができます。この場合、フォーム定義を省略時の設定によりキューに対応付けることができます。このように設定した場合には、ユーザは PRINT コマンドにデータ・ファイル名とキュー名を指定するだけで十分です。

8.5.2 PCL プリント・ジョブでのフォントおよびマクロ・ファイルの指定

ソフト・フォントまたはマクロを必要とするファイルは、アプリケーションでデータ・ファイルにフォントまたはマクロを登録することにより印刷することができます。また、フォントまたはマクロを登録したファイルとデータ・ファイルを別々に作成することもできます。

8.6 PJP および TBCP での問題を回避するための PC ドライバの設定

HP PJP (Print Job Language) および HP TBCP (Tagged Binary Communication Protocol) の 2 つのプリンティング・プロトコルにより DCPS で問題が生じることがあります。Windows アプリケーションで作成される文書は、ファイル内にこれらのプロトコルを含むことができます。これらのプロトコルは特定の環境では非常に有用である場合もありますが、文書を作成したプリンタとは異なるプリンタあるいは DCPS で、まれに問題が発生する可能性もあります。PJP および TBCP についての概要を次に説明し、続いて DCPS での問題を回避するための命令を示します。

8.6.1 PJL および TBCP の概要

PJL は、ジョブ・レベルでのプリンタ制御を可能とするコマンド言語です。TBCP は、プリンタのシリアル・ポート、LAT ポート、パラレル・ポート用の通信プロトコルです。これは、ファイル内で 8 ビット・バイナリ・データを使用することを可能とし、同時に通信およびプリント・ジョブ制御にいくつかの制御文字の使用を可能とするプロトコルです。TBCP をサポートしないプリンタに TBCP を印刷することはできません。また、プリンタのシリアル・ポート、LAT ポート、パラレル・ポート以外のポートに印刷することもできません。アプリケーションで、PJL および TBCP をサポートするプリンタに印刷するファイルを作成する場合、そのファイルは PJL および TBCP を含むことができます。

8.6.2 DECprint Supervisor での問題の回避

PJL を含むファイルを印刷する場合、DCPS は PJL コードをファイルから分離します。この処理により、DCPS は PJL を使用してプリンタのプリント・プロトコルを切り替え、PJL をサポートしないプリンタへのこのファイルの印刷を可能とします。

プリンタへの接続方法がシリアルでも LAT でもない場合、ファイルは TBCP を使用してはなりません。DCPS は TBCP 制御文字を削除することができないからです。

8.6.2.1 PostScript での問題の回避

アプリケーションで PostScript ファイルを作成している場合は、次のガイド・ラインを使用してください。

プリンタで印刷するかファイルに保存するかに関わらず、TBCP および PJL の両方を避けることが最良です。

接続方法がシリアルあるいは LAT である場合、TBCP を使用することができます。接続方法が raw TCP/IP あるいは AppleTalk である場合には、TBCP を無効としないければなりません。Windows ユーザはプリンタおよびキューについての詳細情報を利用できないため、TBCP を無効とすることを推奨します。

このオプションを提供するプリンタ・ドライバの Advanced Options メニューの“Tagged Binary”項目を無効とします。これにより TBCP を無効として、ファイルに TBCP 導入部が含まれないようになります。PostScript Option メニューの Performance 項目の“Binary”を無効とする必要はないことに注意してください。ファイルにはバイナリ・データが含まれることはありませんが、PostScript エラーを発生する TBCP 導入部を含む場合があります。

8.6.2.2 PCL での問題

DCPS は、問題を発生する可能性のあるすべての PJJL コマンドを PCL ファイルから削除します。PCL レベル 5 プリンタ用のドライバは PJJL を使用して高度な印刷機能 (たとえば、RET (解像度拡張ハードウェア) 構成、ページ保護、プリント解像度など) を選択しているため、PJJL コマンドなしではプリント・ジョブが期待どおりに印刷されない可能性があります。

さらに、DCPS がプリンタへの PCL の直接印刷をサポートしている場合にかぎり、PCL はプリンタに送信されます。そうでない場合は、PCL (レベル 4) トランスレータが使用されます。

PCL 出力に問題が発生する場合は、アプリケーションで PostScript 出力が可能であれば PostScript を作成するようにします。

8.7 ネイティブ PCL 印刷と自動 DATA_TYPE 検出との影響

DATA_TYPE=AUTOMATIC=PCL を使用したジョブは、予測できない結果となる可能性があります。特に、PostScript へ切り替えるためのコマンドを含んでいる PCL ファイルを印刷する場合は、完全に PCL として印刷される可能性があります。次の場合に発生します。

- DCPS が、ファイルの先頭の数バイトあるいはファイルの拡張子からデータ・タイプを検出することができない場合。
- 出力プリンタが PostScript ファイルだけでなく PCL ファイルを印刷することができる場合。
- DCPS が、プリンタの PCL 言語インタプリタの使用をサポートしている場合。
- PCL トランスレータを使用したファイル印刷を要求するその他の PRINT 修飾子 (たとえば、NUMBER_UP あるいは PAGE_LIMIT) を指定しない場合。

上記のような場合、DCPS はプリンタの PCL 言語インタプリタを使用し、PostScript への切り替えを行いません。また、DCPS がファイルのデータ・タイプに PCL を指定して、プリンタによる自動言語識別を無効としているため、プリンタの自動言語識別機能が使用されず、PCL 言語から PostScript 言語へのファイルの切り替えを検出することができません。このような場合は、次のような回避策を使用することができます。

1. AUTOMATIC を使用するようにプリント・キューを設定し、省略時のデータ・タイプには ANSI を選択するようにします。一般的に、テキストおよび PostScript の両方を含むファイルのテキスト部分は、単純な ASCII テキストであり、ANSI および PCL トランスレータのいずれでも正しく処理されます。
2. PCL トランスレータの使用を必要とする修飾子をプリント・キューに設定することにより (たとえば、省略時のパラメータに PAGE_LIMIT パラメータを指定するなど)、すべての PCL ファイルに対して PCL トランスレータが使用されるように

します。ただし、PCL トランスレータは PCL レベル 4 を変換することに注意してください。DCPS がネイティブ PCL モードでの印刷をサポートするプリンタは、PCL レベル 5 の言語インタプリタを持っています。

8.8 ネイティブ PCL モードによるファイルの結合

PCL ファイルの印刷にプリンタの PCL 言語インタプリタが使用され、ジョブに複数の PCL ファイルが含まれている場合、それらの PCL ファイルは結合されます。DCPS は、各ファイルが新しいページから始まることを保証することができません。あるいは、最初の PCL ファイルの最後の行が、次の PCL ファイルの最初の行よりも先に印刷されることも保証することができません。次の場合に、ファイルの結合が発生します。

- ファイルが、プリンタからのページの排紙を保証していない場合。
Hewlett-Packard は、PCL ファイルを正しく印刷するために、各ファイルが PCL リセット・シーケンス<ESC>E で始まり、PCL リセット・シーケンス<ESC>E で終了することを推奨しています。
- 複数のファイルが指定され、その中の連続した 2 つ以上のファイルが PCL ファイルである場合。
- PCL ファイルに対して、/COPIES が使用された場合。
- /JOB_COUNT が指定され、2 つ以上の PCL ファイルが連続して印刷される場合。

結合された PCL ファイルの印刷結果に満足できない場合は、次の回避策を使用することができます。

- ファイルを印刷する前に、PCL リセット・シーケンスをデータ・ストリームに含む PCL セットアップ・モジュールを作成して使用します。
- DCPS に強制的に PCL トランスレータを使用させるパラメータ (たとえば、NUMBER_UP あるいは PAGE_LIMIT) を指定して、PCL トランスレータを使用して印刷します。
- すべてのファイル間にファイル・セパレータ・ページを指定してジョブを印刷します (PRINT/FLAG)。

Proprinter ファイルの印刷

DCPS には Proprinter ファイルのためのトランスレータが含まれており、PostScript プリンタで IBM の Proprinter XL24 をエミュレートすることができます。Proprinter ファイルが DECprint Supervisor ソフトウェアで自動的に認識されない場合には、DATA_TYPE パラメータを使用して Proprinter データ・タイプを明示的に指定することができます。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=DATA_TYPE=PROPRINTER MYFILE.PRO
```

注意

Proprinter プリンタの各モデルには互換性がないため、XL24 プリンタ以外の Proprinter モデルを対象に作成されたファイルは正しく印刷されない可能性があります。最適な結果を得るためには、Proprinter トランスレータを使用して印刷するファイルを作成する場合に、アプリケーションで指定するプリンタ・モデルとして XL24 を選択してください。

9.1 Proprinter トランスレータと Proprinter プリンタ

Proprinter ファイル用の DCPS トランスレータは次の点で Proprinter XL24 プリンタと異なります。

- XL24 プリンタは一部のタイプのラスタ・グラフィックスの水平方向に隣接する 2 つのドットを印刷しません。Proprinter トランスレータはラスタ・グラフィックスに指定されたすべてのデータを印刷します。Proprinter トランスレータには特殊なエスケープ・シーケンスが準備されており、トランスレータが 1 つおきのドットを印刷しないようにするためのプリント属性を指定することができます (第 9.6 節を参照)。
- AGM ラスタ・グラフィックス・エスケープ・シーケンス (ESC *) を処理するために、トランスレータで AGM モードを有効に設定する必要はありません。
- トランスレータには XL24 の組み込みフォントのためのビットマップは含まれていません。したがって、prefill コマンドはビットマップを格納せず、また、ビットマップを示すように検索テーブルを初期化しません。このため、ビットマップの初期化が必要な Proprinter データ・ストリームは正しく印刷されません。

- トランスレータは 9 ワイヤまたは 24 ワイヤのダウンロードされたフォントを印刷することができます。モードは、トランスレータが最初に検出したエスケープ・シーケンスによって判断されます。
 - Character Font Image Download エスケープ・シーケンスが最初に検出された場合には、モードはエスケープ・シーケンスによって判断されます。
 - Select Print Mode エスケープ・シーケンスが最初に検出された場合には、モードはトランスレータのフロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスによって判断されます (第 9.3 節を参照)。
- XL24 では、小文字の積分文字および平方根文字に下線や上線を付けません。Proprinter トランスレータはこれらの文字に下線と上線を付けます。

Proprinter 言語に関する解説書は IBM から提供されます。Proprinter および XL24 固有の解説書は次のとおりです。

『Proprinter Family Technical Reference』	IBM パーツ番号 SC31-2587-3
『Proprinter X24E and XL24 Guide to Operations』	IBM パーツ番号 SA34-2106-0

9.2 DECprint Supervisor による Proprinter ファイルの識別

DECprint Supervisor ソフトウェアは、ファイルが次の特性を持っている場合に Proprinter ファイルを認識することができます。

- ANSI エスケープ・シーケンスから始まるファイル
- Proprinter データ・タイプとして識別されるファイル・タイプが定義されているファイル

Proprinter ファイルがこの基準を満足しない場合には、PRINT コマンドに DATA_TYPE=PROPRINTER パラメータを指定することにより、データ・タイプを明示的に指定することができます。

9.3 Proprinter トランスレータの省略時の状態の変更

XL24 の省略時の状態はフロント・パネルから変更することができ、またディップ・スイッチから変更することもできます。これらの設定は PRINT パラメータとトランスレータ固有のフロント・パネル・エスケープ・シーケンスを使用して、プリント・ジョブでエミュレートしてください。表 9-1 は、PRINT パラメータを使用して変更できるプリント属性を示しています。

表 9-1 Proprinter の設定に影響を与える PRINT パラメータ

プリント属性	PRINT パラメータ	参照項目
方向	/PARAMETERS=PAGE_ORIENTATION	第 1.4 節
トレイ選択	/PARAMETERS=INPUT_TRAY ¹	第 3.1 節
用紙サイズ	/PARAMETERS=PAGE_SIZE	第 11.7 節

¹データ・ファイルに登録されている命令は PRINT パラメータより優先されます。

XL24 のフロント・パネルおよびディップ・スイッチを使用して変更することができるプリント属性はすべて、Proprinter トランスレータで適切なフロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスを使用して変更することができます。

フロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスの形式は次のとおりです。

エスケープ・シーケンスの形式:

ESC ' count-low count-high item-id new-value-low [new-value-high]

10 進数の値:

027 096

注意

この形式では、わかりやすくするためにコマンドの要素間にスペースを表示しています。実際のコマンドではスペースを入力しないでください。

このエスケープ・シーケンスを使用すれば、次のことを指定することができます。

- この後に続くバイト数を示すための *count-low* バイトと *count-high* バイト。
- 変更する項目を示すための *item-id*。*item-id* の値とそれに対応する属性は表 9-2 を参照。
- *new-value* は、トランスレータがリセットを実行するものと仮定したときの項目の省略時のトランスレータ状態です。このコマンドがセットアップ・モジュールに登録されている場合には、省略時の状態はセットアップ・モジュールの後のデータ・ファイルに適用されます。

エスケープ・シーケンスでカウント・バイト、*item-id* および *new-value* を指定するために、ASCII でエンコードした数字 (1, 2, 3, ...) を使用しないでください。このような場合には、数字コードの適切な値を表現する ASCII 文字を使用してください。たとえば、0 は NULL コードによって表現され、126 は波ダッシュ文字(~)によって表現されます。

このエスケープ・シーケンスを使用して変更できるプリント属性は表 9-2 に示すとおりです。item-id が最初に示されており、その後にプリント属性の説明が示されています。3 番目の欄は、このプリント属性に対する省略時の Proprinter トランスレータの動作を示しています。最後の欄は各項目の値を指定する方法を示しています。

表 9-2 Proprinter プリント属性

Item-Id	説明	トランスレータの省略時の値	指定方法
2	スラッシュ付き 0	省略時の設定: 0	1 または 0
3	自動 NL	省略時の設定: 0	1 または 0
4	フォーム長	省略時の設定: 論理ページ長にもとづく (第 9.4.2 項を参照)	ポイント数で表現したページ長 (1 インチは 72 ポイント) 任意の値を指定できる
5	文字セット	省略時の設定: セット 1	1 は文字セット 1 を示す 2 は文字セット 2 を示す
6	自動 CR	省略時の設定: 0	1 または 0
7	マージン	省略時の設定: 論理ページ幅にもとづく (第 9.4.2 項を参照)	ポイント数で指定したページ幅 (1 インチは 72 ポイント) 任意の値を指定できる
8	FF を無視する	これはフォームの先頭でフォーム・フィードが無視されるかどうかを決定する, 省略時の設定: 1	1 または 0
12	12 cpi comp	3 つのオプションを選択可能: 12, 17.1, または 20cpi 省略時の設定: 12	2 は 12 cpi を示す 3 は 17.1 cpi を示す 4 は 20 cpi を示す
13	コード・ページ	省略時の設定: 437	コード・ページ値: 437 または 850
14	AGM	省略時の設定: 禁止	1 または 0
16	左オフセット	省略時の設定: 18 ポイント (1/4 インチ)	ポイント数で指定した左オフセット, 任意の値を指定できる
17	上部オフセット	省略時の設定: 36 ポイント (1/2 インチ)	ポイント数で指定した上部オフセット, 任意の値を指定できる これはファイルの 1 行目の底辺の位置である
19	1 インチの文字数	省略時の設定: 10 cpi	1 は 10 cpi を示す 2 は 12 cpi を示す 3 は 17.1 cpi を示す 4 は 20 cpi を示す 5 はプロポーショナルを示す
20	Emphasize	省略時の設定: 0	1 または 0
21	2 倍幅	省略時の設定: 0 (通常幅)	1 または 0
22	2 倍の高さ	省略時の設定: 0 (通常の高さ)	1 または 0
23	プリンタ Id	ERDPR と組み合わせて使用するための番号, 省略時の設定: 23	プリンタ ID 番号

(次ページに続く)

表 9-2 (続き) Proprinter プリント属性

Item-Id	説明	トランスレータの省略時の値	指定方法
24	9 ワイヤまたは 24 ワイヤのダウンロードされたフォント	9 ワイヤ (0) または 24 ワイヤ (1) ・エミュレーションを示すフラグ ESC I を使用してダウンロードされた適切なフォントを選択するには、この属性が必要である 省略時の設定: 24 ワイヤ	1 または 0
25	グレイ・ビットマップ	ビットマップがダーク・グレイ (85%の黒) で印刷されるときに真になるフラグ、省略時の設定: 0	1 または 0
26	プリンタ ID	ERSIC と組み合わせて使用するための番号、省略時の設定: 3	プリンタ ID 番号
27	1 つおきのドット	特定のグラフィックス・モードで 1 つおきのドットを印刷しないかどうかを指定するフラグ 省略時の設定: 0	1 または 0

9.3.1 Proprinter コマンド用のセットアップ・モジュールの作成

フロント・パネル・モード・コマンドがセットアップ・モジュールに登録されており、そのセットアップ・モジュールが PRINT コマンドにファイルとともに指定されている場合には、これらのコマンドはファイルの印刷方法に影響を与えます。プリント・ジョブを制御するためにフロント・パネル・コマンドを使用するには、次の操作を実行してください。

1. 必要なフロント・パネル・モード・コマンドに登録したセットアップ・モジュールを作成します。
2. そのセットアップ・モジュールを Proprinter 装置制御ライブラリに登録するように、システム管理者に要求してください。
3. セットアップ・モジュールとファイルを指定してファイルを印刷します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /QUEUE=PS$A14 /PARAMETERS=DATA_TYPE=PROPRINTER -
_$ /SETUP=module-name file-name.DAT
```

システム管理者はフォーム定義にセットアップ・モジュールを指定し、そのフォーム定義を省略時の設定によりキューに対応付けることができます。この場合には、ユーザは PRINT コマンドにデータ・ファイル名とキュー名を指定するだけで十分です。

たとえば、トランスレータの省略時の文字セットをコード・ページ 437、文字セット 1 からコード・ページ 850、文字セット 2 に変更するには、次のエスケープ・シーケンスに登録したセットアップ・モジュールを作成します。

エスケープ・シーケンスの形式:

```
ESC ' ETX NUL CR R ETX ESC ' STX NUL ENQ STX
```

10 進数の値:

027 096 003 000 013 082 003 027 096 002 000 005 002

注意

この例では、わかりやすくするためにコマンドの要素間にスペースを表示しています。実際のコマンドにはスペースを入力しないでください。

レター・サイズ用紙の 10 インチだけに印刷する設定から用紙の 11 インチ全体に印刷する設定にトランスレータを変更するには、次のエスケープ・シーケンスを登録したセットアップ・モジュールを作成します。

エスケープ・シーケンスの形式:

ESC ' STX NUL DC1 LF ESC ' ETX NUL EOT CAN ETX

10 進数の値:

027 096 002 000 017 010 027 096 003 000 004 024 003

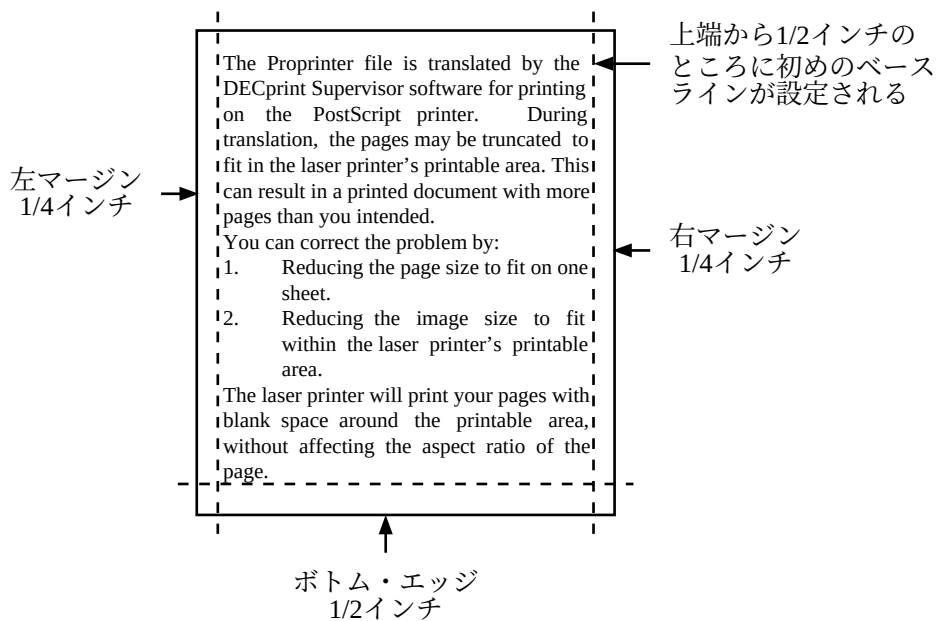
このフロント・パネル・コマンドは、上部オフセットを 10 ポイントに変更し、テキスト長を 11 インチに設定します。大部分のレーザ・プリンタは用紙上のすべての領域に印刷できるようになっていないため、印刷可能領域内に収まるように、NUMBER_UP パラメータまたは LAYUP パラメータを使用してページを縮小する必要があります。

9.4 Proprinter の印刷可能領域の変更方法

Proprinter ファイルを作成するアプリケーションでは、ページ全体を印刷のために使用できることを想定しています。Proprinter 装置などのドット・マトリクス・プリンタでは、ページ全体が使用されます。一方、DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアでサポートされるレーザ・プリンタでは、印刷可能領域はページ全体より小さく、印刷可能領域の周囲に余白が残されています。

Proprinter ファイルを PostScript 形式に変換するソフトウェアでは、レーザ・プリンタの印刷可能領域の内部だけに印刷されるように、テキストがフォーマットされます。特に、ページの左右の 1/4 インチおよびページの下部の 1/2 インチには印刷することができません。ファイルの最初の行はページの上端から 1/2 インチにベース・ラインが印刷されるように設定されます。図 9-1 を参照してください。

図 9-1 Proprinter の省略時の印刷可能領域



jrd-mr6351ai

9.4.1 1 ページに印刷できない Proprinter ファイル

Proprinter ファイルを印刷するときに、1 ページに印刷しなければならないページが 2 ページに印刷されてしまうことがあります。図 9-2 を参照してください。

図 9-2 2 ページの PostScript ページに印刷された Proprinter ページ

The DECprint Supervisor software translates the Proprinter file to PostScript for printing on the PostScript laser printer. The laser printer cannot utilize 100% of the sheet, so the translator adjusts the format of the page to fit within the printable area. This can cause problems if you are printing a document that uses the entire sheet. The translator can cause a single Proprinter page to overflow to a second page. To fix this problem: 1. Include a Proprinter setup module that changes the translator to use the entire page. 2. Shrink the resulting page to fit in the printable area, using one of the following qualifiers:	The DECprint Supervisor software translates the Proprinter file to PostScript for printing on the PostScript laser printer. The laser printer cannot utilize 100% of the sheet, so the translator adjusts the format of the page to fit within the printable area. This can cause problems if you are printing a document that uses the entire sheet. The translator can cause a single Proprinter page to overflow to a second page. To fix this problem: 1. Include a Proprinter setup module that changes the translator to use the entire page. 2. Shrink the resulting page to fit in	the printable area, using one of the following qualifiers:
--	---	---

Proprinter での出力

ポストスクリプト・プリンタでの出力

jrd-mr6352ai

この問題を解決するには、トランスレータが 1 ページにより多くの行を印刷するようなセットアップ・モジュールを使用します。

たとえば、10 インチのレター・サイズ用の紙に印刷する設定から 11 インチの用紙に印刷する設定にトランスレータを変更するには、ページを拡大/縮小するためのセットアップ・モジュールを作成します。以下のエスケープ・シーケンスを使用してください。

Proprinter エスケープ・シーケンスの形式

```
ESC ' STX NUL DC1 LF ESC ' ETX NUL EOT CAN ETX
```

10 進数

```
027 096 002 000 017 010 027 096 003 000 004 024 003
```

注意

これらの例では、わかりやすくするためにコマンドの要素の間にスペースを表示しています。しかし、実際のコマンドにはスペースを指定しないでください。

この例を実行すると、上部オフセットは 10 ポイントに変更され、テキストの長さは 11 インチに設定されます。

テキストの印刷はページの下部からあふれるため、新しい出力も拡大/縮小しなければなりません (図 9-3 を参照)。

図 9-3 長すぎる Proprinter ページ

The DECprint Supervisor software translates the Proprinter file to PostScript for printing on the PostScript laser printer. The laser printer cannot utilize 100% of the sheet, so the translator adjusts the format of the page to fit within the printable area. This can cause problems if you are printing a document that uses the entire sheet. The translator can cause a single Proprinter page to overflow to a second page. To fix this problem:

1. Include a Proprinter setup module that changes the translator to use the entire page.
2. Shrink the resulting page to fit in the printable area, using one of the following quantifiers.

MR-6353-AI

この問題はページ・イメージを拡大/縮小することにより解決することができます。ページ・イメージを拡大/縮小するには、プリント・ジョブに対して、以下のいずれかを指定します。

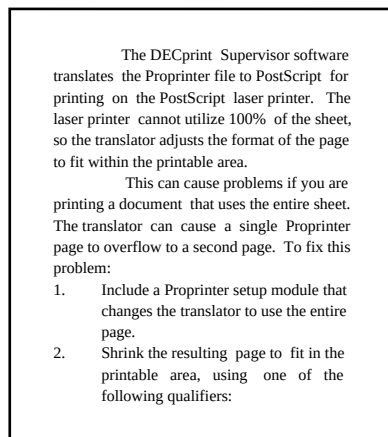
```
/PARAMETERS=NUMBER_UP=1
/PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION=BORDERS
/PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION=layup-file-name
```

DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアには、通常のレーザ・プリンタのマージン設定におさまるように論理ページのサイズを縮小する、レイアップ定義ファイルの例が添付されています。サンプル・ファイル PROPRINTER-FULL-PAGE.LUP は SYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS] に格納されています。まだコピーしていない場合には、システム管理者に依頼して、DCPS\$LAYUP 領域にこのサンプル・ファイルをコピーしてもらってください。その後、以下に示すように PRINT コマンドにレイアップ定義ファイルを指定できます。

```
$ PRINT file-name.PRO /PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION=PROPRINTER-FULL-PAGE
```

最終的な出力は、図 9-4 に示すとおりです。

図 9-4 PostScript ページにおさまるように調整された Proprinter ページ



9.4.2 Proprinter プリント・ジョブのためのページ・サイズの指定

ページ・サイズは/PARAMETERS=PAGE_SIZE 修飾子を使用して選択することができます。Proprinter トランスレータでは、すべてのページ・サイズ値がサポートされます。トランスレータはページの端の領域を除き、PAGE_SIZE パラメータに指定されたページ領域内に印刷します。ページの端の領域は上部オフセットと左オフセットによって指定します (表 9-2 を参照)。

上部オフセットはページの 1 行目のベース・ラインの位置を指定し、同時にページの下部の省略時のマージンも設定します。省略時の上部オフセットは 1/2 インチです。

左オフセットはページの左端の領域を指定し、同時にページの右端の省略時のマージンも指定します。省略時の左オフセットは 1/4 インチです。

アプリケーションでページの周囲にマージンを確保できる場合には、これらのオフセットの値を小さくしてもかまいません。

DECprint Supervisor でサポートされないページ・サイズが必要な場合には、Form Length と Margins に対するフロント・パネル・モード・エスケープ・シーケンスを使用してページ・サイズを明示的に指定することができます (表 9-2 を参照)。これらのエスケープ・シーケンスは、オフセットから測定されたページの長さや幅を指定します。

9.5 Proprinter プリント・ジョブの給紙トレイの指定

Proprinter ファイルには、Proprinter のプリンタ給紙トレイを選択するための命令が登録されている可能性があります。このファイルを別の種類のプリンタで印刷するときに、指定した給紙トレイをそのプリンタで使用できない場合には、プリント・ジョブは異常終了します。その場合には、適切な PostScript オペレータを再定義する PostScript セットアップ・モジュールを作成して、選択される給紙トレイを変更することができます。次の例では、上段給紙トレイに対してトレイ 3 を選択し、下段給紙トレイに対してトレイ 1 を選択するための PostScript セットアップ・モジュールを示しています。

```
/settoptray {statusdict begin 3 setpapertray end} def
/setbottomtray {statusdict begin 1 setpapertray end} def
```

給紙トレイの値はプリンタ固有の値です。PostScript プリンタの給紙トレイ番号を判断する場合は、各プリンタ付属のマニュアルを参照してください。

給紙トレイ選択コマンドと、Proprinter トランスレータがそれらのコマンドを変換した後の PostScript オペレータは表 9-3 に示すとおりです。setpapertray の省略時の値は、他の値が定義されていないときにトランスレータが使用する値です。異なる値を指定したセットアップ・モジュールを定義した場合には、省略時の値は無効になります。

表 9-3 Proprinter から PostScript への給紙トレイ・コマンドの変換

ビン	意味	PostScript 拡張オペレータ	setpapertray の省略時の値
0	変更されない		
1	上部トレイ	settoptray	1
2	下部トレイ	setbottomtray	2
3	封筒トレイ	setenvelopefeedertray	3

9.6 Proprinter プリント・ジョブでのソフト・フォントの指定

Proprinter ファイルを印刷するためにソフト・フォントをプリンタにロードしておかなければならない場合には、Proprinter セットアップ・モジュールを使用してフォントをダウンロードすることができます。

システム管理者は Proprinter セットアップ・モジュールを登録するための装置制御ライブラリを作成しなければならず、『DCPS システム管理者ガイド』の説明に従って、そのライブラリを DCPS\$STARTUP.COM の検索リストに登録しなければなりません。

Proprinter 装置制御ライブラリからの Proprinter セットアップ・モジュールは、ANSI および PostScript セットアップ・モジュールとは異なる方法で処理されます。Proprinter セットアップ・モジュールからのレコードには、最後にキャリッジ制御文字 (<CR><LF>) が追加されません。これは、Proprinter セットアップ・モジュールに Proprinter フォントやラスタ・グラフィックスなどのバイナリ・データを登録できるようにするためです。Proprinter セットアップ・モジュールにキャリッジ制御文字で区切らなければならないテキスト行が含まれる場合には、これらのキャリッジ制御文字を Proprinter セットアップ・モジュールに明示的に指定しなければなりません。

Proprinter セットアップ・モジュールを処理する場合には、最後に排紙コマンドは実行されません。したがって、セットアップ・モジュールによって印刷された結果はファイルの 1 ページ目に表示されます。

List データ・タイプの使用

List データ・タイプはリスト・ナンバリング・ツールであり，行単位のテキストを読みやすい形式で印刷します。List データ・タイプは次のような出力を作成します。

- 各ページの上部にファイル名の印刷
- 各ページの上部にページ番号の印刷
- ファイルの各行に行番号の印刷
- 各ページに水平方向の網かけ領域の印刷
- ファイルの最後を示すエンド・マーカの印刷

図 10-1 は List データ・タイプを使用して印刷したページの例を示しています。

図 10-1 List データ・タイプの出力

```

myfile.txt;1
Page 1
1 PRINTING PCL FILES
2
3 The DECprint Supervisor version 1.1 software features improvements in
4 printing PCL files.
5
6 Some of the new PostScript printers have PCL emulation mode that can
7 be used by the DECprint Supervisor software. For printers that are
8 specifically supported in PCL emulation mode, this mode is
9 automatically used to print your PCL files. The DCPS-PLUS license is
10 not required for printing PCL files this way.
11
12 The DECprint Supervisor software prints PCL files on PostScript-only
13 printers by translating the files to PostScript for printing on all
14 supported printers. Translating PCL files for printing requires the
15 DCPS-PLUS license.
16
17 USING PCL MODE IN THE PRINTER
18
19 If you are printing a PCL file on one of these printer models, your
20 file is sent directly to the printer, unless your print job requires
21 special PostScript processing. That is, you cannot print PCL files
22 directly to the printer in PCL mode if your print job includes one or
23 more of the following PRINT parameters:
24
25 /PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION
26 /PARAMETERS=NUMBER_UP
27 /PARAMETERS=SHEET_COUNT
28 /PARAMETERS=PAGE_LIMIT
29
30 PCL FONTS AND MACROS
31
32 The DECprint Supervisor version 1.0 software provides printing of PCL
33 files. However, if you use a setup module to downline load fonts or
34 macros for printing the PCL file, the escape sequences for loading
35 them must be declared permanent.
36
37 With the DECprint Supervisor version 1.1 software, it is not necessary
38 to declare the fonts and macros permanent. You must declare fonts and
39 macros to be permanent only if the setup module or file contains a
40 reset escape sequence. See the DECprint Supervisor User's guide for
41 more information about using setup modules to include macros and fonts
42 for PCL files.
end
MR-6405-AI

```

10.1 List データ・タイプの使用

List データ・タイプを使用してテキストを印刷するには、次の PRINT パラメータを使用します。

```
/PARAMETERS=DATA_TYPE=LIST
```

たとえば、List データ・タイプを使用して XREPORT.TXT ファイルを印刷するには、次のコマンドを入力します。

```
$ PRINT XREPORT.TXT /PARAMETERS=DATA_TYPE=LIST
```

省略時の設定では、ファィル拡張子が次のいずれかのときに、DECprint Supervisor for OpenVMS プリンタは List データ・タイプを使用して印刷します。

B32	BAS	BLI	C	CBL	COM	CPP	CXX	FOR
H	HXX	MAR	MMS	PAS	PLI	R32	REQ	

このリストの変更方法については、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム管理者ガイド』を参照してください。

10.2 List データ・タイプに対する OpenVMS フォームの使用

List データ・タイプでは、ページを書式化するときに、マージンやページ幅などのフォーム設定が無視されます。A (レター) および A4 サイズの用紙と互換性のあるサイズで最大サイズのページが作成されます。

ポートレート (縦長) - 80 桁, 70 行

ランドスケープ (横長) 方向 - 132 桁, 55 行

ただし、フォーム定義によって起動されるセットアップ・モジュールは、プリント・ジョブに適用されます。

高度なページ・レイアウトの使用

この章では、PostScript プリンタでさまざまなタイプのファイルを印刷する方法について説明し、プリンタ固有の機能を使用する方法も示します。プリンタの機種によっては、サポートされない機能もあります。印刷するファイルのタイプおよびプリンタの機能を知っておかなければなりません。

PostScript プリンタには多くの種類があり、それぞれ固有の機能を備えています。プリント・ジョブに指定した機能をプリンタが実行できるかどうかを確認してください。要求した機能をプリンタが持たない場合には (たとえば両面印刷機能など)、プリント・ジョブは終了し、問題を示すメッセージが表示されます。各プリンタ固有の機能としては、次のものがあります。

- 両面印刷
- 特殊な用紙サイズ (封筒、B サイズ用紙など)
- 給紙トレイ
- 排紙トレイ
- カラー印刷

これらのプリンタ固有の機能の他に、PRINT コマンドを入力する前に、必要な用紙がプリンタに装着されているかどうかも確認してください。

11.1 両面印刷

両面印刷を選択するには、PRINT コマンドに SIDES パラメータを指定します。

SIDES パラメータを使用すれば、表 11-1 に示したプリンティング機能を使用することができます。

表 11-1 SIDES パラメータの値

値	定義
1, ONE, または ONE_SIDED_SIMPLEX	ジョブは用紙の片面に印刷されます。

(次ページに続く)

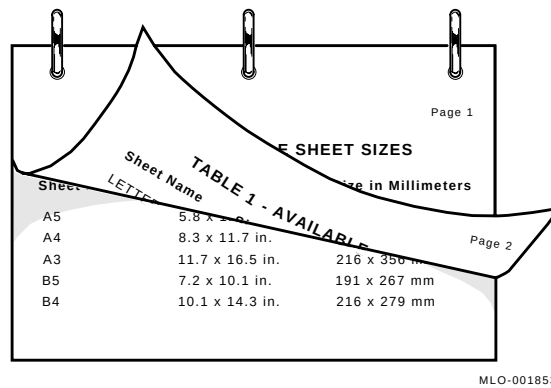
表 11-1 (続き) SIDES パラメータの値

値	定義
2, TWO, または TWO_SIDED_DUPLEX	ジョブは用紙の両面に印刷されます。横書きの綴じ本と同様に、裏面は、左端を中心にしてページをめくることによって読むことができます。
TUMBLE または TWO_SIDED_TUMBLE	ジョブは用紙の両面に印刷され、1 ページおきに 180°だけ回転されます。図 11-2 は両面タンブル印刷の形式を示しています。裏面は、上端を中心にしてページをめくることにより読むことができます。これは一部の法律文書の場合と同じです。
ONE_SIDED_DUPLEX	ジョブは用紙の片面に印刷されるが、とじ穴を開けるために 1 ページおきにオフセットできます。複写機で両面コピーするためにページ・レイアウトは両面印刷の形式になります。マージンとページ番号の位置は 1 ページおきに切り換えられます。
ONE_SIDED_TUMBLE	ジョブは用紙の片面に印刷され、1 ページおきに 180°だけ回転されます。このため、複写機で両面コピーすると両面タンブル印刷の文書が作成できます。マージンとページ番号の位置は 1 ページおきに切り換えられます。
TWO_SIDED_SIMPLEX	ジョブは用紙の両面に印刷されます。印刷した文書にブランク・ページが挿入されないため、必要な用紙の枚数を節約できます。マージンとページ番号の位置は 1 ページおきに切り換えられます。

11.2 ランドスケープ(横長)方向とタンブル印刷の指定

ランドスケープ(横長)方向に印刷されたファイルは、省略時の設定により、用紙の両面に印刷するときはタンブル・モードで印刷されます(図 11-1)。このため、出力の上部を綴じることができ、下から上に用紙をめくることにより、内容を読むことができます。

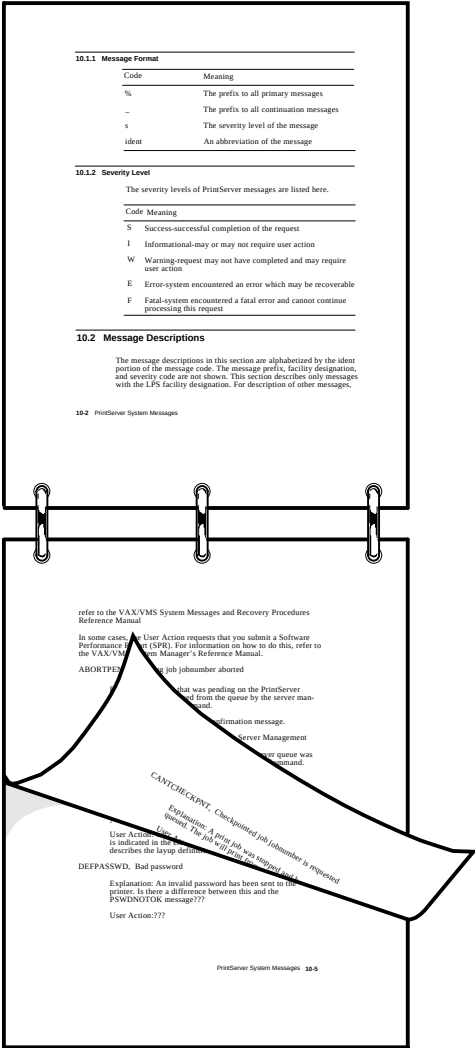
図 11-1 ランドスケープ(横長)方向の両面印刷



ポートレート(縦長)方向にタンブル・モードで両面印刷する(図 11-2)には、PRINT コマンドに SIDES=TUMBLE パラメータを指定します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=SIDES=TUMBLE MYFILE.PS
```

図 11-2 ポートレート (縦長) 方向の両面タンプル印刷



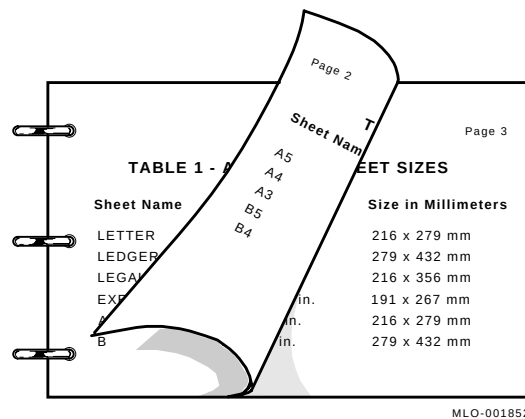
MLO-001751

ランドスケープ (横長) 方向の文書を両面に印刷し、用紙の短い方の辺を綴じなければならぬ場合 (図 11-3) には、PRINT コマンドに SIDES=TUMBLE と PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE パラメータの両方を指定します。

次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(SIDES=TUMBLE,PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE) MYFILE.PS
```

図 11-3 ランドスケープ (横長) 方向の両面タンブル印刷



タンブル印刷をサポートしないプリンタに対するプリント・ジョブで SIDES=TUMBLE を指定した場合には、プリント・ジョブは終了し、次のメッセージが表示されます。

```
DCPS-E-TUMBNOSUP, printer-name does not support tumble printing
```

プリンタでサポートされる SIDES パラメータの値を表示するには、HELP PRINT_PARAMETER SIDES コマンドを入力し、使用しているプリンタを説明する項目を選択してください。

11.3 両面印刷プリント・ジョブでの複数の PostScript ファイルの指定

DECprint Supervisor ソフトウェアでは、プリント・ジョブ内のすべての PostScript ファイルは 1 つのファイルとして処理されます。したがって、1 つの両面印刷ジョブで複数の PostScript ファイルを印刷する場合には、1 つのファイルからのページと別のファイルからのページが同じ用紙の表と裏に印刷される可能性があります。他のタイプのファイルはすべて、自動的に新しい用紙に印刷されます。

用紙の両面を使用して 2 つの PostScript ファイルを印刷する場合には、次のコマンドを使用してください。

```
$ PRINT /QUEUE=PS$A14 /PARAMETERS=SIDES=2 FILE1.PS,FILE2.PS
```

FILE1.PS が 3 ページのファイルである場合には、1 ページ目は 1 枚目の用紙の表に、2 ページ目は 1 枚目の用紙の裏に、3 ページ目は 2 枚目の用紙の表にそれぞれ印刷されます。その後、FILE2.PS の 1 ページ目は 2 枚目の用紙の裏に印刷されます。

各ファイルの印刷を常に新しい用紙から開始するには、/FLAG、/BURST、または/TRAILER 修飾子を使用して、ファイルとファイルの間にファイル・セパレータ・ページを印刷します。たとえば、次のコマンドは FILE1.PS と FILE2.PS を印刷し、同時に各ファイルの間にフラグ・ページを印刷します。

```
$ PRINT /QUEUE=PS$DUPLEX /PARAMETERS=SIDES=2 /FLAG FILE1.PS,FILE2.PS
```

11.4 物理的な用紙サイズの指定

ファイルを印刷するために使用する物理的な用紙のサイズまたは用紙の種類を、ユーザは指定することができます。DECprint Supervisor ソフトウェアでは、この情報は次の要素から自動的に判断されます。

- ファイルに登録された情報
- プリンタの省略時の給紙トレイ
- PRINT コマンドに指定した論理ページ・サイズ (第 11.7 節を参照)

特定の用紙サイズを要求する場合は、PRINT コマンドに SHEET_SIZE パラメータを指定します。物理的な用紙のサイズを示す値を指定してください。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=SHEET_SIZE=A4 MYFILE.PS
```

プリンタで利用できる値を表示するには、HELP PRINT_PARAMETER SHEET_SIZE コマンドを入力し、プリンタについて説明する項目を選択してください。

表 11-2 に示すように、いくつかの用紙サイズは複数の名前を持っています。DCPS で用紙サイズを指定する場合は、これらの名前のいずれでも使用することができます。DCPS 用語は、DCPS がトレーラ・ページに印刷したり、エラー・メッセージで通知する場合に使用する用語です。

表 11-2 用紙サイズおよびページ・サイズの利用

DCPS 用語	業界標準の用語
Business_Envelope	Com10
7_Envelope	Monarch
Halfletter	Statement

11.5 用紙の各面への複数ページの印刷

用紙の各面に複数のページを印刷することができます。この機能は用紙を節約するのに役立ち、特別な形式で文書を印刷することができます。たとえば、図 11-4 に示すように、用紙の各面に 4 ページずつ印刷することができます。用紙の各面に印刷するページ数を指定するには、PRINT コマンドに NUMBER_UP パラメータを指定します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=NUMBER_UP=4 MYFILE.PS
```

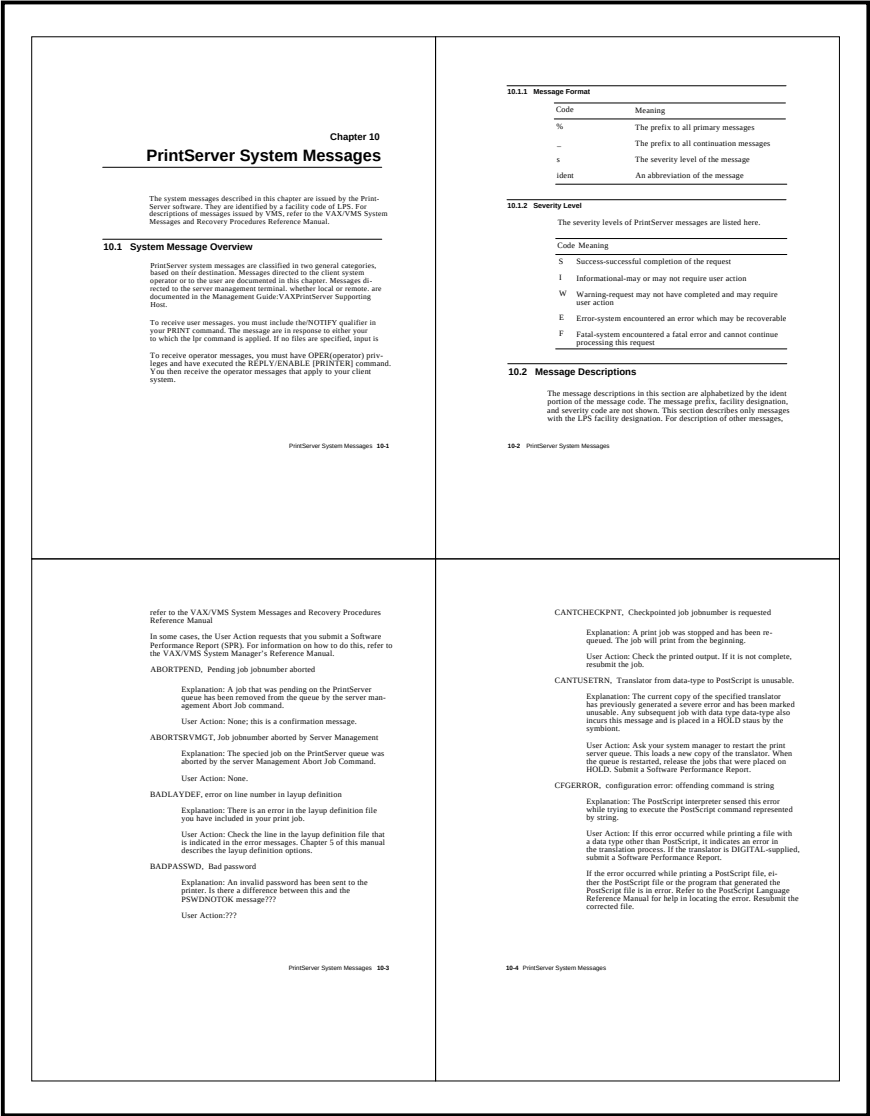
1 枚の用紙に複数のページを印刷するために、DECprint Supervisor ソフトウェアは文書内の論理ページのサイズを変更し、物理的な用紙上の領域に収まるようにします。しかし、この操作を実行しても、アスペクト比 (ページの高さとの比率) は変更されません。

11.5.1 給紙トレイ選択オペレータと組み合わせた NUMBER_UP の使用

給紙トレイ選択オペレータを含んだファイルに対して NUMBER_UP=1 を指定した場合には、プリンタは給紙トレイを変更しますが、新しい用紙に収まるようにイメージのサイズを変更する処理は実行されません。

NUMBER_UP の値に 2 以上を指定してファイルを印刷する場合には、ファイル内の給紙トレイ選択コマンドは無視されます。PRINT コマンドに /NOTIFY 修飾子を指定した場合には、このことを示すメッセージが表示されます。

図 11-4 用紙への 4 ページの印刷 (NUMBER_UP=4)

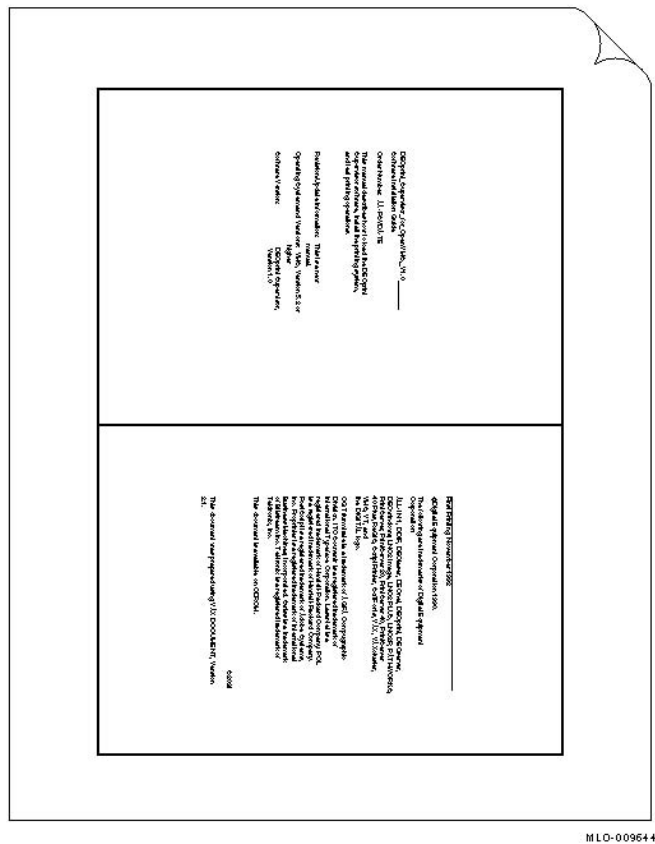


MLO-001798

11.5.2 ページ方向と組み合わせた NUMBER_UP の使用

NUMBER_UP を使用して印刷する場合には、アスペクト比 (ページの高さとの幅の比率) はそのまま維持されます。したがって、ポートレート (縦長) のページはそのフォーマットをそのまま残します。しかし、NUMBER_UP は用紙上の使用可能な領域を最適に利用するために、ページを縮小および回転することがあります。このため、論理ページの向きと物理的な用紙の方向が異なる可能性があります。

図 11-5 NUMBER_UP=2 を使用したポートレート (縦長) 方向



ページの印刷方向は縦長方向ですが、内容を読むときは用紙を横長方向に持たなければなりません。同じページをランドスケープ (横長) ・ページとして印刷した場合には、図 11-6 に示すように、内容を読むために用紙を縦長方向に持たなければなりません。

\$ PRINT /PARAMETERS=(NUMBER_UP=2,PAGE_ORIENTATION=PORTRAIT) file-name

図 11-5 に示すように、ポートレート (縦長) 方向を使用して 1 枚の用紙に 2 ページを印刷する場合には、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /PARAMETERS=(NUMBER_UP=2,PAGE_ORIENTATON=LANDSCAPE) file-name

[illegible]

1つのプリント・ジョブに複数のファイルを指定し、さらに NUMBER_UP を使用して用紙の各面に複数のページを印刷する場合には、印刷ジョブ内のすべてのファイルは NUMBER_UP に指定した値を使用して印刷されます。ジョブ内の一部のファイルが PostScript ファイルでない場合には、それらのファイルは新しい用紙に印刷されます。PostScript ファイルの場合には、印刷は次のページ・スポット (ページに対して定義されている次の位置) から開始されます。

```
$ PRINT /QUEUE=PS40$A14 /PARAMETERS=NUMBER_UP=4 7PAGES.TXT,1PAGE.TXT
```

11-10 高度なページ・レイアウトの使用

2つの PostScript ファイルを印刷するときに、1つのファイルが7ページであり、もう1つのファイルが1ページであり、1枚の用紙に4ページずつ印刷する場合には、次のコマンドを入力します。

```
$ PRINT /QUEUE=PS$IGUANA /PARAMETERS=NUMBER_UP=4 7PAGES.PS,1PAGE.PS
```

7PAGES.PS の最初の4ページは1枚目の用紙に印刷されます。7PAGES.PS の最後の3ページと1PAGE.PS の1ページ目は2枚目の用紙に印刷されます。

複数の PostScript ファイルを含むジョブで各ファイルの印刷を新しい用紙から開始する場合には、/BURST、/FLAG、または/TRAILER 修飾子を使用してファイル・セパレータ・ページを指定します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /QUEUE=PS40$A14 /PARAMETERS=NUMBER_UP=4 /FLAG FILE1.PS,FILE2.PS
```

11.6 特定の範囲のページの印刷

プリント・ジョブの中で特定のページまたは特定のページ範囲を印刷することができます。

プリント・ジョブから特定の範囲のページだけを印刷するには、PRINT コマンドに PAGE_LIMIT パラメータを指定します。ページの範囲を指定するには、1つまたは2つのページ番号を指定します。たとえば、プリント・ジョブの50ページ目から100ページ目だけを印刷する場合は、次のコマンドを入力します。

```
$ PRINT /PARAMETERS="PAGE_LIMIT=(50,100)" MYFILE.PS
```

注意

この PAGE_LIMIT パラメータの場合のように、パラメータ値の内部でカンマを使用する場合には、パラメータ全体を引用符で囲まなければなりません。

指定するページは文書内のページ番号と対応しません。これらは印刷したページの数を示すだけです。次のコマンドを使用すれば、このファイルの途中から最後の部分のみを印刷するよう指定できます。

```
$ PRINT /PARAMETERS="PAGE_LIMIT=(50,)" MYFILE.PS
```

この例では、プリント・ジョブの50ページ目から印刷を開始し、プリント・ジョブの最後まで印刷することを DECprint Supervisor ソフトウェアに指定しています。

次のコマンドを使用すれば、文書の最初の部分だけを印刷できます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=PAGE_LIMIT=50 MYFILE.PS
```

この例では、プリント・ジョブの最初の 50 ページだけを印刷することを DECprint Supervisor ソフトウェアに指定しています。

PAGE_LIMIT パラメータを使用した場合には、*upper-limit* の値に到達したときに、プリント・ジョブは終了します。したがって、PAGE_LIMIT パラメータを指定し、ファイルの最後まで印刷しない場合には、途中で印刷が打ち切られたファイルのファイル・トレーラ・ページは印刷されません。そのファイルの残りのデータと同一プリント・ジョブ内のそれにくつファイルは無視されます。

11.6.1 PAGE_LIMIT と印刷部数の組み合わせ

/COPIES または /JOB_COUNT 修飾子を使用して 2 部以上印刷する場合には、PAGE_LIMIT パラメータを使用しないでください。次のコピーの印刷を開始する前にプリント・ジョブは終了してしまいます。PAGE_LIMIT を指定して同じジョブを 2 回以上印刷する場合には、SHEET_COUNT パラメータを使用してください (第 1.5 節を参照)。

11.6.2 中断されたプリント・ジョブの再起動

PAGE_LIMIT パラメータを使用して、中断された位置の近くからプリント・ジョブを再起動すれば、そこから印刷を再開することができます。次の例を参照してください。

```
$ SET ENTRY /PARAMETERS="PAGE_LIMIT=(30,)" /RELEASE 301
```

この例では、プリント・ジョブ 301 の保留が解除され、プリント・ジョブの 30 ページ目から印刷が開始されます。

注意

PAGE_LIMIT を使用して特定の範囲のページだけを印刷する方法は、使用する用紙を節約できますが、システム・オーバヘッドや処理時間を節約できるわけではありません。DECprint Supervisor ソフトウェアは、指定されたページを印刷するためにプリント・ジョブ全体を先頭から処理しなければならないからです。

11.6.3 両面印刷ジョブに対する PAGE_LIMIT の使用

両面印刷ジョブに対して PAGE_LIMIT パラメータを使用する場合には、ソフトウェアは左 (バーソ) ページと右 (レクト) ページの位置を無視します。PAGE_LIMIT パラメータで指定した 1 ページ目は常にレクト・ページになります。

注意

PAGE_LIMIT を使用して用紙の両面に印刷するときに、レクト・ページとバーソ・ページの位置を正しく維持するには、印刷する 1 ページ目としてレクト・ページを指定しなければなりません。

開始ページまたは終了ページのいずれについても、PAGE_LIMIT の最大値は 999999 です。

11.7 論理ページ・サイズの指定

特定のタイプのファイルには、印刷されるページのサイズが指定されています。たとえば、PostScript ファイルを作成するアプリケーションでは、用紙が特定のサイズであることを想定しており、そのサイズのページを作成するための PostScript データが作成されます。

しかし、ファイルに指定する論理ページ・サイズは用紙の物理サイズと異なってもかまいません。用紙のサイズは SHEET_SIZE パラメータを使用して指定します。ページ・サイズが指定されていないファイルに対して論理ページ・サイズを指定するには、PAGE_SIZE パラメータを使用します。

PRINT コマンドに SHEET_SIZE パラメータを指定しなかった場合には、PAGE_SIZE の値が物理的な用紙のサイズであると解釈されます。プリント・ジョブに PAGE_SIZE も SHEET_SIZE も指定されていない場合には、DECprint Supervisor ソフトウェアは省略時の給紙トレイに装着されている用紙のサイズを使用します。

DECprint Supervisor ソフトウェアでサポートされる PAGE_SIZE の値を表示するには、HELP PRINT_PARAMETER PAGE_SIZE コマンドを入力してください。

ビジネス用封筒の論理ページ・サイズを使用して ANSI ファイルを印刷するには、次のコマンドを入力します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=PAGE_SIZE=BUSINESS_ENVELOPE ADDR.TXT
```

PostScript ファイルを印刷するためにプリント・ジョブに PAGE_SIZE パラメータを指定した場合には、PAGE_SIZE パラメータは無視されます。しかし、PAGE_SIZE パラメータと SHEET_SIZE パラメータの両方を指定すれば、物理的な用紙に収まるように論理ページの大きさを調整することができます (第 11.8 節を参照)。

表 11-2 に示すように、いくつかの用紙サイズは複数の名前を持っています。DCPS で用紙サイズを指定する場合は、これらの名前のいずれでも使用することができます。DCPS 用語は、DCPS がトレーラ・ページに印刷したり、エラー・メッセージで通知する場合に使用する用語です。

11.8 印刷するページのサイズの変更

PostScript ファイルでは、ページ・サイズは、PostScript ファイルを作成するときにアプリケーションが想定した用紙のサイズです。ほとんどの場合、ページ・サイズと用紙サイズは同じです。しかし、ページ・サイズと用紙サイズに対して異なる値を指定することができます。たとえば、用紙サイズに収まるように論理ページのサイズを変更する場合には (たとえば、A サイズ用紙のみをサポートするプリンタで B サイズ・イメージを印刷する場合)、この機能を使用することができます。この場合には、次のコマンドを使用してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(SHEET_SIZE=A,PAGE_SIZE=B) MOD_LINE.TXT
```

PAGE_SIZE パラメータと SHEET_SIZE パラメータに対して異なる値を指定した場合には、DECprint Supervisor ソフトウェアは NUMBER_UP パラメータが指定されたかのように、ページを囲む枠も含めて、用紙サイズに収まるように自動的にページを拡大縮小します。枠を印刷しない場合には、第 12 章の説明に従って、LAYUP_DEFINITION パラメータを使用することができます。

11.8.1 キューが PAGE_SIZE および SHEET_SIZE パラメータを持つ場合の自動的なサイズの変更

次の状態の場合、DCPS は暗黙に NUMBER_UP=1 であると想定します。

- キューの PAGE_SIZE および SHEET_SIZE パラメータの省略時の設定値が異なるサイズに設定されている場合。
- PRINT コマンド実行時に次のパラメータを指定しなかった場合。
 - PAGE_SIZE
 - SHEET_SIZE
 - INPUT_TRAY
- キューあるいは PRINT コマンド実行時に NUMBER_UP および LAYUP_DEFINITION が指定されていない場合。

NUMBER_UP=1 では、論理的なページ・サイズを物理的なシート・サイズに適合するようにサイズを変更します。これにより、コマンド行で NUMBER_UP あるいは LAYUP_DEFINITION を指定しないで PAGE_SIZE および SHEET_SIZE に異なる値を指定した場合と同様の結果となります。

注意

給紙トレイまたは用紙サイズを選択する PostScript オペレータを含んだファイルは、この方法でページを拡大縮小しても、予想どおりに印刷されない可能性があります。

文書の印刷結果を変更するためのレイアップの使用

12.1 プリント・ジョブでのレイアップ・オプションの指定

レイアップとは、論理ページを物理的な用紙に配置するためのプリンティング・システムの機能です。調整できるページ・レイアウトとしては、1枚の用紙に印刷するページ数の指定、マージン設定、ページ境界の指定などがあります。

ページ・レイアップの指定は2種類の方法で行うことができます。1つは、PRINT コマンド行にレイアップ・オプションを直接指定する方法で、もう1つは、プリント・ジョブにレイアップ定義ファイルを指定する方法です。

12.1.1 プリント・ジョブでのレイアップの指定

次のコマンド形式を使用すれば、プリント・ジョブにレイアップ定義ファイルを指定することができます。

```
$ PRINT file-name.PS /PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION=layup_file
```

PRINT コマンド行の *layup_file* に対して、レイアップ定義ファイルのファイル名を指定してください。ただし、ファイル・タイプである.LUP は指定しないでください。

PRINT コマンドに1つ以上のレイアップ・オプションを直接指定することもできます。その場合には、ここに示すように LAYUP_DEFINITION パラメータにこれらのオプションを指定します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(LAYUP="(NOBORDERS)",NUMBER_UP=2)
```

このコマンドは、NUMBER_UP パラメータを使用するときにページ境界を印刷しないよう指定しています。LAYUP_DEFINITION パラメータを使用してレイアップ・オプションを直接指定する場合には、レイアップ・オプションとレイアップ定義ファイル名を区別するために、引用符と括弧を使用しなければなりません。

レイアップ・オプションは表 12-1 に示すとおりです。

表 12-1 レイアアップ定義ファイル・オプション

レイアアップ・オプション	実行される操作	参照項目
ALTERNATE	用紙の各面ごとに 2 つのマージンを切り換えます。	第 12.1.2 項
BORDERS	ページ境界を描きます。	第 12.1.3 項
FIRSTPAGE	ページが印刷される最初のページ・スポットを指定します。	第 12.1.4 項
GRID	用紙の各面のページ・スポットの数を列と行で設定します (このオプションは NUMBER_UP を無効にします)。	第 12.1.5 項
MARGINS= <i>t,b,l,r</i>	用紙のマージンを設定します。ただし、 <i>t</i> , <i>b</i> , <i>l</i> , <i>r</i> はそれぞれ、上、下、左、右マージンを示します。ページはマージン内に収まるように拡大縮小されます。	第 12.1.6 項
PAGEORDER	用紙の各面にページが印刷される順序を指定します。	第 12.1.7 項
PAGESPERSHEET	NUMBER_UP によって設定したページ・スポットの数とは無関係に、用紙の各面に印刷されるページ数を設定します。	第 12.1.8 項

以降の各項では、レイアアップ・オプションについて詳しく説明します。第 12.2.1 項にはレイアアップ定義ファイルの例が示されています。

12.1.2 交互マージンの指定

ALTERNATE オプションを使用すれば、用紙の各面ごとに 2 種類のマージンを切り換えることができます。このオプションは両面印刷するのに役立ちます。

表 12-2 は、ALTERNATE オプションに指定できる値を示しています。

表 12-2 ALTERNATE オプションの値

値	結果
LEFT	左マージンと右マージンを交互に切り換えます
RIGHT	左マージンと右マージンを交互に切り換えます
なし	LEFT と同じ動作
TOP	上部マージンと下部マージンを交互に切り換えます
BOTTOM	上部マージンと下部マージンを交互に切り換えます

ALTERNATE オプションだけを指定し、値を指定しなかった場合には、左マージンと右マージンが交互に切り換えられます。

用紙の各面ごとのマージン切り換えは、次のプリント・パラメータを使用するプリント・ジョブに対して、省略時の処理の一部として実行されます。

- /PARAMETERS=SIDES=TUMBLE

- /PARAMETERS=SIDES=ONE_SIDED_DUPLEX
- /PARAMETERS=SIDES=ONE_SIDED_TUMBLE

次のプリント・パラメータを使用するプリント・ジョブの場合には、交互マージンの切り換えは省略時の処理の一部として実行されません。

- /PARAMETERS=SIDES=1
- /PARAMETERS=SIDES=TWO_SIDED_SIMPLEX

PRINT コマンドに/PARAMETERS=SIDES を指定しなかった場合には、交互マージン処理が実行されるかどうかは、プリンタ・ハードウェアに応じて異なります(プリンタのマニュアルを参照してください)。

12.1.3 ページ境界の指定および省略

BORDERS オプションは各ページの周囲にページ境界を描きます。PRINT /PARAMETERS=NUMBER_UP を使用してジョブを印刷する場合には、ページを区切るのにページ境界が役立ちます(NUMBER_UP を使用した場合には、省略時の設定としてページ境界が印刷されます)。NOBORDERS オプションを使用すれば、ページ境界を印刷しないように指定することができます。

ページ境界はすべてのページ・スポットの周囲に印刷されるわけではなく、実際のページの周囲にだけ描かれます。このため、文書内のブランク・ページと存在しないページを区別するのに役立ちます。図 12-1 は、BORDERS オプションを使用せずに 1 枚の用紙に 4 ページを印刷した場合を示しています。使用するコマンドは次のとおりです。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(NUMBER_UP=4,"LAYUP_DEFINITION=(NOBORDERS)") MYFILE.MEM
```

図 12-2 は、BORDERS を使用して同じページを印刷した結果を示しています。これは NUMBER_UP を使用するプリント・ジョブの場合の省略時の動作です。コマンドは次のとおりです。

```
$ PRINT /PARAMETERS=NUMBER_UP=4 MYFILE.MEM
```

図 12-1 BORDERS を使用しない場合の NUMBER_UP=4 の印刷

Chapter 7 Using Setup Modules and Forms As with other printers, you can use forms and setup modules on the ScriptPrinter. You can associate forms and setup modules with a queue or use them with the /FORM and /SETUP qualifiers to the PRINT command. Typically, the ScriptPrinter user includes /FORM on the PRINT command and associates the form with the job rather than the queue. This chapter provides information about using setup modules and forms with the ScriptPrinter. It explains how you can use forms to include setup files in your print job. 7.1 Using Setup Modules Setup modules can be included with your print job using the /SETUP qualifier to the Print command or in a form. ANSI print jobs can use either ANSI or PostScript setup modules. PostScript, BtCIS, or Tektronix 4010/4014 print jobs must use PostScript setup modules. You need to do the following to use setup modules with the ScriptPrinter. - Design your setup module, using a text editor. - Create a device control library and add the library to SYSSLIBRARY (see section 7.1.2) Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter 7.1 Example 7-1: Sample ANSI Setup Modules, A4_Page.txt <pre><ESC>[2 J</pre> Example 7-2 is a PostScript setup module that prints the word "confidential" at the top and the bottom of each page of your print job. Example 7-2: Sample PostScript Setup Modules, confidential.txt <pre>/my-space matrix currentmatrix def /old-showpage /showpage load def % Copy the old /showpage { gsave my-space setmatrix /Times-Roman findFont % this is the overlay 14 scalefont setfont 750 150 moveto (confidential) show 750 22 moveto (confidential) show % down to here grestore old-showpage } def</pre> 7.1.2 Creating a Device Control Library Before you can use a setup module, you must create a device control library, and put the module in the library. Use a different library for setup modules of each data syntax. You cannot mix ANSI and PostScript modules in the same library. You can put PostScript modules in the standard device control library, or create one or more new libraries for them. An ANSI setup module and a PostScript setup module that perform the same function can have the same name, as you put them in separate libraries. To create a library for setup modules, use the following command: <pre>\$ LIBRARY/CREATE/TEXT SYSSLIBRARY:libraryname.TLB</pre> Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter 7.3	- Put your setup in the new library (see Section 7.1.3). - Add the new library to a library search list (see Section 7.1.4). - Stop and restart the queue to include your new library. (If you add a setup module to an existing library, you do not need to stop and restart the queue.) Print using the PRINT/SETUP command or use the DEFINE/FORM/SETUP command to include the setup module in a form. To include your ANSI setup module in a print job using the /SETUP qualifier, use the following command: <pre>\$ PRINT/QUEUE=queue-name/SETUP=your-module-name- /PARAMETER=(DATA_TYPE=ansi) print-job.txt</pre> To include the same setup module in a form for your print job, use these commands: <pre>\$ DEFINE/FORM/STOCK=DEFAULT/SETUP=your-module-name- form-name1 form number1 \$ PRINT/QUEUE=queue-name/FORM=form-name1- /PARAMETER=(DATA_TYPE=ansi) print-job.txt</pre> For this example to work, the setup module, your-module-name, must be in a device control library that is listed in a library search list. 7.1.1 Sample Setup Modules This section shows an example of an ANSI and a PostScript setup module. The forms described in Section 7.1.3 include these setup modules. Example 7-1 uses an ANSI escape sequence, as documented in the -, to set the margins for A4-size paper. See Section 7.1.3 for information on how to put the setup module in an ANSI device control library. Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter 7.2 where: libraryname is the name you give to the library. The following command creates a new PostScript device control library, PS1, for your customized PostScript setup modules: <pre>\$ LIBRARY/CREATE/TEXT SYSSLIBRARY:PS1.TLB</pre> Creating libraries requires privileges. For more information, refer to VAX/VMS Librarian Utility Manual. 7.1.3 Putting Setup Modules in Libraries To insert a setup module into a device control library, use the following command: <pre>\$ LIBRARY/INSERT SYSSLIBRARY:libraryname.TLB modulename</pre> where: - libraryname is the name of the library. - modulename is the name of the setup module. The following command puts the PostScript setup module confidential.txt into your new PostScript device control library, PS1.TLB: <pre>\$ LIBRARY/INSERT SYSSLIBRARY:PS1.TLB confidential1.txt</pre> This command puts the ANSI setup module a4_page.txt into a custom ANSI device control library, ANSI.TLB. 7.1.4 Specifying a Library Search List If you have several libraries of setup modules, you can set up a search order for the libraries based on the data syntax of your print job. This means that the software skips libraries whose setup modules use the wrong data syntax for your job. PostScript print jobs search only PostScript libraries. ANSI print jobs look in ANSI and PostScript libraries. Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter 7.4
--	---

MLO-004950

図 12-2 BORDERS を使用した場合の NUMBER_UP=4 の印刷

Chapter 7 Using Setup Modules and Forms As with other printers, you can use forms and setup modules on the ScriptPrinter. You can associate forms and setup modules with a queue or use them with the /FORM and /SETUP qualifiers to the PRINT command. Typically, the ScriptPrinter user includes /FORM on the PRINT command and associates the form with the job, rather than the queue. This chapter provides information about using setup modules and forms with the ScriptPrinter. It explains how you can use forms to include setup files in your print job. 7.1 Using Setup Modules Setup modules can be included with your print job using the /SETUP qualifier to the Print command or in a form. ANSI print jobs can use either ANSI or PostScript setup modules.PostScript, PCL6, or Tektronix 4010/4014 print jobs must use PostScript setup modules. You need to do the following to use setup modules with the ScriptPrinter. - Design your setup module, using a text editor. - Create a device control library and add the library to SYSSLIBRARY (see section 7.1.2) Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter 7.1	- Put your setup in the new library (see Section 7.1.3) - Add the new library to a library search list (see Section 7.1.4) - Stop and restart the queue to include your new library. (If you add a setup module to an existing library, you do not need to stop and restart the queue.) - Print using the PRINT/SETUP command or use the DEFINE/FORM/SETUP command to include the setup module in a form. To include your ANSI setup module in a print job using the /SETUP qualifier, use the following command: \$ PRINT/QUEUE=queue-name/SETUP=your-module-name- /PARAMETER=(DATA_TYPE=ansi) print-job.txt To include the same setup module in a form for your print job, use these commands: \$ DEFINE/FORM/STOCK=DEFAULT/SETUP=your-module-name- form-name1 form number1 \$ PRINT/QUEUE=queue-name/FORM-form-name1- /PARAMETER=(DATA_TYPE=ansi) print-job.txt For this example to work, the setup module, your-module-name, must be in a device control library that is listed in a library search list. 7.1.1 Sample Setup Modules This section shows an example of an ANSI and a PostScript setup module. The forms described in Section 7.1.3 include these setup modules. Example 7.1 uses an ANSI escape sequence, as documented in the -, to set the margin for A4-size paper. See Section 7.1.3 for information on how to put the setup module in an ANSI device control library. 7.2 Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter
Example 7.1: Sample ANSI Setup Modules, A4_Page.txt <ESC>[2 J Example 7.2 is a PostScript setup module that prints the word "confidential" at the top and the bottom of each page of your print job. Example 7.2: Sample PostScript Setup Modules, confidential.txt /my-space matrix currentmatrix def /old-showpage /showpage load def % Copy the old /showpage { gsave my-space setmatrix /Times-Roman findfont % this is the overlay 14 scalefont setfont 282 756 moveto (confidential) show 282 22 moveto (confidential) show % show down to here grestore old-showpage } def 7.1.2 Creating a Device Control Library Before you can use a setup module, you must create a device control library, and put the module in the library. Use a different library for setup modules of each data syntax. You cannot mix ANSI and PostScript modules in the same library. You can put PostScript modules in the standard device control library, or create one or more new libraries for them. An ANSI setup module and a PostScript setup module that perform the same function can have the same name, as you put them in separate libraries. To create a library for setup modules, use the following command: \$ LIBRARY/CREATE/TEXT SYSSLIBRARY:libraryname.TLB Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter 7.3	where: libraryname is the name you give to the library. The following command creates a new PostScript device control library, PSL, for your customized PostScript setup modules. \$ LIBRARY/CREATE/TEXT SYSSLIBRARY:PSL.TLB Creating libraries requires privileges. For more information, refer to VAX/VMS Librarian Utility Manual. 7.1.3 Putting Setup Modules in Libraries To insert a setup module into a device control library, use the following command: \$ LIBRARY/INSERT SYSSLIBRARY:libraryname.TLB modulename where: libraryname is the name of the library. modulename is the name of the setup module. The following command puts the PostScript setup module confidential.txt, into your new PostScript device control library, PSL.TLB: \$ LIBRARY/INSERT SYSSLIBRARY:PSL.TLB confidential.txt This command puts the ANSI setup module a4_page.txt, into a custom ANSI device control library, ANSI.TLB: 7.1.4 Specifying a Library Search List If you have several libraries of setup modules, you can set up a search order for the libraries based on the data syntax of your print job. This means that the software skips libraries whose setup modules use the wrong data syntax for your job. PostScript print jobs search only PostScript libraries. ANSI print jobs look in ANSI and PostScript libraries. 7.4 Using Setup Modules and Forms with the ScriptPrinter

MLO-004951

12.1.4 最初のページ・スポットの指定

FIRSTPAGE オプションは、最初のページが印刷される、用紙上のページ・スポットを指定します。

FIRSTPAGE には値を必ず指定しなければなりません。値は、最初のページを印刷するページ・スポットの番号です。ページ・スポットには 1 から順に番号が付けられます。FIRSTPAGE に指定する値は NUMBER_UP に指定する値より小さくなければなりません。NOFIRSTPAGE を指定することはできません。

省略時の設定では、用紙の最初のページ・スポットが使用されます。

FIRSTPAGE オプションはプリント・ジョブの1枚目の用紙に対してだけ有効です。他の用紙はすべて、ページ・スポット1から印刷を開始します。

ある文書の右ページと左ページのページ・レイアウトを前もって確認しなければならないときに、FIRSTPAGE オプションはページの印刷方法を指定するのに役立ちます。FIRSTPAGE オプションを指定しなかった場合には、ページはすべてのページ・スポットに印刷されます。FIRSTPAGE オプションを使用すれば、右ページと左ページのページ・レイアウトを変更して印刷できます。

たとえば、図 12-3 は、NUMBER_UP の値が8で、FIRSTPAGE が指定されていないときに、ページがどのように印刷されるかを示しています。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /QUEUE=PS$A10 /PARAMETERS=NUMBER_UP=8 MYFILE.PS
```

1枚目の用紙に印刷される最後のページは左ページです。

図 12-3 FIRSTPAGE を使用しない場合の NUMBER_UP=8 の印刷

タイトル ページ	コピーライト ページ	目次 1ページ目 iii	目次 2ページ目 iv
まえがき v		第1章 1ページ目 1-1	2ページ目 1-2

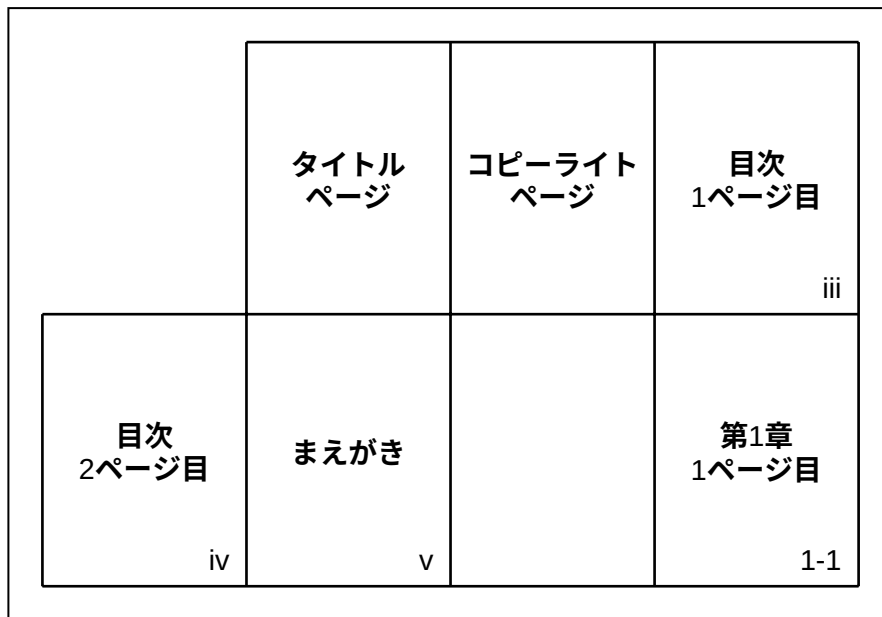
JRD-M009641

図 12-4 は、NUMBER_UP=8 と FIRSTPAGE=2 の両方を指定したときにページがどのように印刷されるかを示しています。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(NUMBER_UP=8,"LAYUP_DEFINITION=(FIRSTPAGE=2)") -  
_$ /QUEUE=PS40$A10 MYFILE.PS
```


この図に示すように、最後に印刷されるページは右ページになります。

図 12-4 FIRSTPAGE を使用した場合の NUMBER_UP=8 の印刷



JRD-M009642

12.1.5 ページ格子の指定

1 枚の用紙に印刷する最大ページ・スポットの数を指定するために、PRINT コマンドに NUMBER_UP パラメータを使用するかわりに、GRID オプションを使用することができます。

GRID オプションは 2 つの値を必要とします。最初の値は格子の列数を指定し、2 番目の値は行数を指定します。2 つの値の積は 100 以下でなければなりません。

格子は用紙ではなく、ページを基準に解釈されます。NUMBER_UP の場合と同様に、ページの方法は用紙の方法とは無関係です。したがって、ポートレート (縦長) 方向にページを印刷しても、ランドスケープ (横長) 方向に用紙を持って内容を読むことができます。

この例では、1 枚の用紙に 6 ページを印刷します。6 ページは 2 列 3 行に印刷されます。

Grid = 2, 3

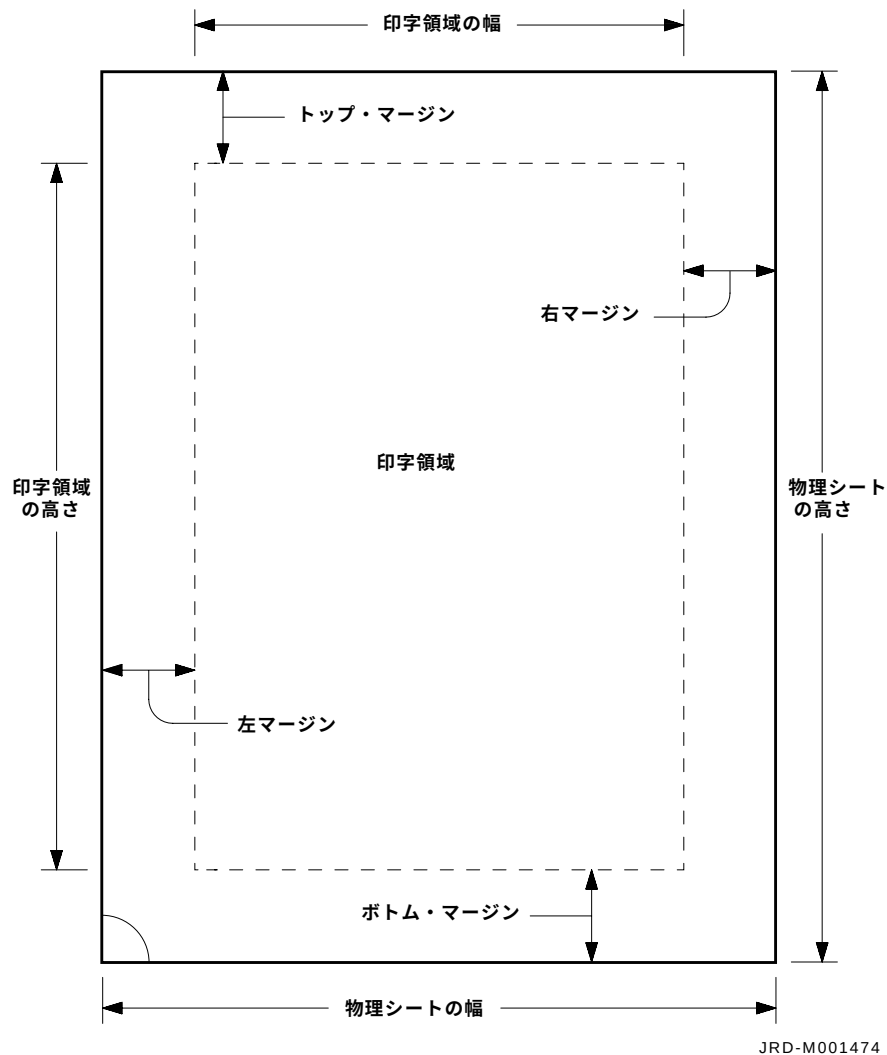
12.1.6 用紙マージンの指定

MARGINS オプションは印刷する用紙のマージンを設定します。このオプションは4つの値を必要とします。各値は用紙の上部マージン、下部マージン、左マージン、右マージンを設定します。値はプリンタのポイント数として解釈されます(1 インチは72 ポイントです)。

用紙マージンの値を指定するときは、常に上部マージン、下部マージン、左マージン、右マージンの順に指定してください。。用紙マージンは、ページがポートレート(縦長) 方向であるのか、ランドスケープ(横長) 方向であるのかとは無関係です。正の値の場合は、マージンはページの中心に向かって移動し、負の値の場合は、マージンはページの中心から離れる方向に向かって移動します。

MARGINS オプションを使用する場合には、マージンを差し引いた後の領域に収まるように、ページは拡大縮小されます。したがって、指定したマージンに収まるように、印刷する文書のテキストとグラフィックのサイズは変更される可能性があります。ただし、ページが拡大縮小される場合でも、アスペクト比(ページの高さとの比率)は変更されません。また、空き領域はページの上下左右に等しく分割されます(図 12-5 を参照)。

図 12-5 MARGINS オプションを使用した場合の使用可能な用紙領域



MARGINS オプションだけを指定し、値を指定しなかった場合には、レイアウトは4つのすべてのマージンに対して値として36を使用します。NOMARGINSを指定した場合には、ソフトウェアは4つのすべてのマージンに対して値として0を使用します。

省略時のマージン設定は上下左右とも36ポイント(0.5インチ)です。

次の例では、左マージンが広く設定されます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=("LAYUP_DEFINITION=(MARGINS=10,10,60,10)") -
_$ /QUEUE=PS40$A10 MYFILE.TXT
```

この例では、マージンは次のように設定されます。

上部マージン	10 ポイント
下部マージン	10 ポイント
左マージン	60 ポイント
右マージン	10 ポイント

12.1.7 使用するページ・スポットの順序の指定

PAGEORDER オプションは、各ページが用紙に印刷される順序を設定します。これは各ページを読む順序であると考えられます。

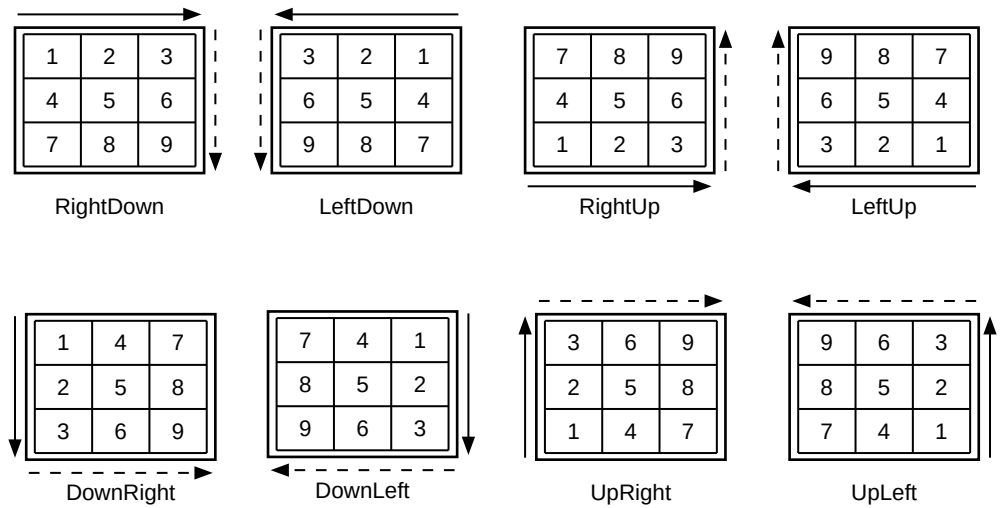
PAGEORDER オプションには値を指定しなければなりません。表 12-3 は指定できる 8 種類の値を示しています。省略時のページ順序は RightDown です。

表 12-3 PAGEORDER オプションの値

値	説明
RightDown	ページの順序は左から右へ、上から下へ
LeftDown	ページの順序は右から左へ、上から下へ
RightUp	ページの順序は左から右へ、下から上へ
LeftUp	ページの順序は右から左へ、下から上へ
DownRight	ページの順序は上から下へ、左から右へ
DownLeft	ページの順序は上から下へ、右から左へ
UpRight	ページの順序は下から上へ、左から右へ
UpLeft	ページの順序は下から上へ、右から左へ

図 12-6 は、ランドスケープ (横長) 方向で各 PAGEORDER の値に対してページがどのように印刷されるかを示しています。

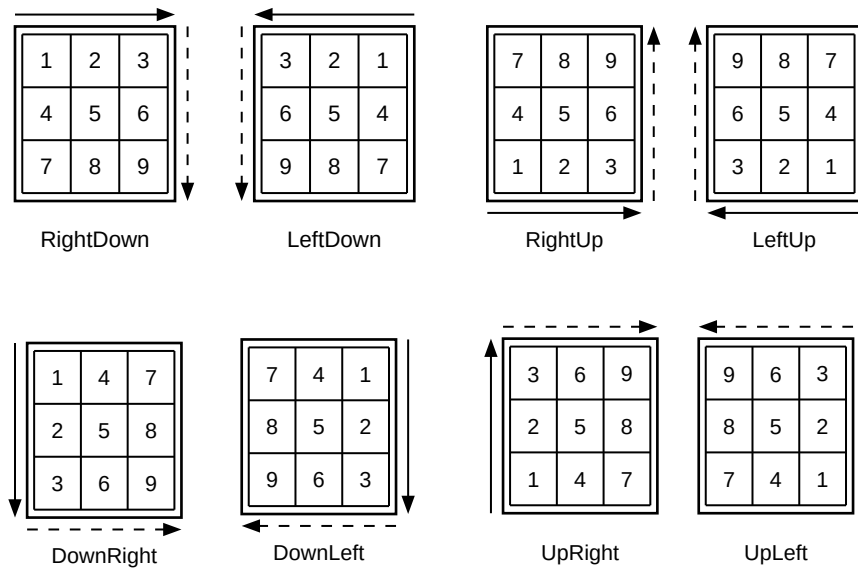
図 12-6 PAGEORDER オプション (ランドスケープ (横長) 方向)



JRD-M009639

図 12-7 は、ポートレート (縦長) 方向で各 PAGEORDER の値に対してページがどのように印刷されるかを示しています。

図 12-7 PAGEORDER オプション (ポートレート (縦長) 方向)



JRD-M009638

12.1.8 用紙の各面に印刷するページ数の指定

PRINT コマンドに指定する NUMBER_UP パラメータは、用紙の各面に印刷できる最大ページ数を定義します。レイアップ定義ファイルの PAGESPERSHEET オプションは、用紙の各面に実際に印刷されるページ数を指定します。

NUMBER_UP はページ・スポットの数を指定するため、用紙上のページ・スポットのレイアウトも決定します。PAGESPERSHEET は使用するページ・スポットの範囲だけを指定し、レイアウトは決定しません。

PAGESPERSHEET には値を指定しなければならず、値は NUMBER_UP に指定した値より小さくなければなりません。NOPAGESPERSHEET を指定することはできません。

省略時の設定では、用紙のすべてのページ・スポットが使用されます。

SIXPAGES.LUP というレイアップ定義ファイルに次の行が登録されているとしましょう。

```
PagesPerSheet = 6
```

次のコマンドを使用して MYFILE.TXT というファイルを印刷します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(LAYUP_DEFINITION=SIXPAGES,NUMBER_UP=8) MYFILE.TXT
```

このコマンドは用紙の各面のページ・スポットの数を 8 として指定していますが、ジョブは各面に 6 ページだけを印刷し、残りの 2 つのページ・スポットは空白にします。

12.2 レイアップ定義ファイルの作成

ユーザは必要なレイアップ定義ファイルを作成し、マージン、ページの位置、ページ境界を指定するためのオプションを登録し、このファイルをシステム論理名 DCPSS\$LAYUP によって定義されるディレクトリに登録するようにシステム管理者に依頼することができます。

適切なレイアップ・オプションを登録したレイアップ定義ファイルを作成する場合には、次の規則に従ってください。

- レイアップ定義ファイルの名前を指定する場合には、ファイル・タイプとして .LUP を使用します。ファイル名で使用する文字は英字、数字、アンダースコア(_), およびハイフン(-)です。ただし、ハイフンを名前の 1 文字目として指定することはできません。
- layup_file.LUP ファイルに各オプションを登録します。1 行に 1 つずつ、レイアップ・オプションを指定してください。

ブランク行と行中のスペースは無視されます。

- ファイルにコメントを記述するには、行の先頭に感嘆符(!)を指定します。コメントは、レイアップ定義ファイルのオプションがどのような効果を持つかを説明するのに役立ちます。
- レイアップ・オプションを短く省略することはできません。
- レイアップ・オプションでは小文字と大文字は区別されないため、オプションを指定するときは小文字と大文字を任意に組み合わせて使用できます。
- 値を必要とするレイアップ・オプションの場合には(オプション名の後の等号(=)によって示されます)、等号の後に少なくとも1つの値を指定しなければなりません。複数の値を指定する場合は、各値をカンマで区切ります。
- レイアップ定義ファイルに同じレイアップ・オプションを2回以上指定した場合には、ファイルの最後の設定が使用されます。
- このようにして作成したレイアップ定義ファイルは、論理名DCPS\$LAYUPによって示されるシステム領域に格納するように、システム管理者に依頼してください(『DCPS システム管理者ガイド』を参照)。

DECprint Supervisor ソフトウェアにはレイアップ定義ファイルの例が添付されています。第 12.2.1 項を参照してください。

12.2.1 レイアップ定義ファイルの例

この節で説明する最初の3つのレイアップ定義ファイルはDECprint Supervisor ソフトウェアに添付されています。これらの例はディレクトリSYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]に登録されています。

- 次のレイアップ定義ファイルの例は、用紙の各面に1ページを印刷するプリント・ジョブを対象にしています。左マージンを広く設定しているため、ページにとじ穴を開けることができます。1ページおきにマージンは切り換えられず、ページ境界は印刷されません。

```
! LPS$SINGLEHOLES.LUP specifies a larger left margin to allow for
! hole punching. This file is for single sided printing.
```

```
noborders
margins = 19, 19, 60, 19
noalternate
```

- 次のレイアップ定義ファイルの例は、両面印刷して、とじ穴を開けるプリント・ジョブを対象にしています。大きいマージンが用紙の各面ごとに切り換えられます。この例は用紙の各面に1ページを印刷するジョブを対象にしているため、ページ境界は印刷されません。

```
! LPS$DOUBLEHOLES.LUP specifies a larger left margin to allow for
! hole punching. This file is for double sided printing.
```

```
noborders
margins = 19, 19, 60, 19
alternate = left
```

- 次のレイアッパ定義ファイルの例は、用紙の各面に複数のページを印刷するジョブを対象にしています。たとえば、NUMBER_UP=6 を使用して印刷されるジョブを対象にしています。このファイルでは、ページを区別するためにページ境界が使用されます。左マージンは広く設定されていますが、用紙の各面ごとのマージンの切り換えは実行されません。

```
! LPS$NUP.LUP specifies a variation for 2 up printing. A larger
! left margin is specified to allow for hole punching. This file
! is for single sided printing.
```

```
borders
margins = 19, 19, 60, 19
```

- 次のレイアッパ定義ファイルの例は、用紙の各面に 1 ページを印刷するジョブを対象にしています。この例ではページ・イメージのサイズが維持されたまま印刷されます。しかし、負の右マージンを使用しているため、とじ穴を開けるための広いマージンがとられています。右マージンが負の値であるため、ページ・イメージの一部は用紙からはみ出すことになります。したがって、このレイアッパ定義ファイルは最初からマージンを考慮して作成されたファイルに対してのみ使用できます。

```
! LPS$ShiftForHoles.LUP specifies a wide left margin for hole-
! punching without scaling down the size of the page image. The
! negative margin means some of the page image is off the physical
! sheet. It is meant for printing one page per sheet.
```

```
noborders
margins = 0, 0, 60, -60
```

12.3 レイアッパ・エラー通知

レイアッパ定義ファイルのエラーは BADLAYDEF という識別コードとともに返されます。エラー・メッセージをターミナルに表示するには、PRINT コマンド行に /NOTIFY 修飾子を指定します。エラー・メッセージを印刷または保存するには、PRINT /PARAMETERS に MESSAGES パラメータを指定します。エラー・メッセージの形式は次のとおりです。

%DCPS-W-BADLAYDEF, *condition* on line *line-number* in layup definition

condition は問題を示し、*line-number* はエラーが発生したレイアッパ定義ファイルの行番号を示します。レイアッパ定義ファイル内のエラーによって出力されるメッセージのテキストと説明については、第 A.3 節を参照してください。

PRINT コマンドでのフォームの使用

システム管理者はフォーム定義を作成することができ、一般ユーザはそれを PRINT コマンドに含めることによりファイルの印刷結果を変更することができます。不明なフォームを指定した場合は、DECprint Supervisor は直ちにそのことを通知します。ファイルの印刷結果を変更するために不明なセットアップ・モジュールを指定した場合は、DECprint Supervisor がそのジョブの印刷を開始し、セットアップ・モジュールにアクセスする必要が発生するまで、問題を通知しません。

例 13-1 に、LANDSCAPE という名前のフォームを指定した PRINT コマンドの例を示します。

例 13-1 PRINT コマンドでのフォームの指定

```
$ PRINT /QUEUE=LPS20 /FORM=LANDSCAPE
```

以降の各節では、フォームの使用方法について説明します。

13.1 システム上のフォームの一覧

使用可能なフォームを一覧するには、次のコマンドを実行します。

```
$ SHOW QUEUE /FORM
```

フォームの一覧およびその機能が表示されます。

Form name	Number	Description
-----	-----	-----
PITCH12 (stock=DEFAULT)	122	12 Characters per Inch
PITCH13 (stock=DEFAULT)	121	13.2 Characters per Inch
PITCH16 (stock=DEFAULT)	120	16.5 Characters per Inch
PITCH6 (stock=DEFAULT)	125	6 Characters per Inch
PITCH660 (stock=DEFAULT)	124	6.6 Characters per Inch
PITCH8 (stock=DEFAULT)	123	8.25 Characters per Inch
PORTRAIT (stock=DEFAULT)	20	80 by 60 (portrait)
PS (stock=LASER)	2001	Postscript Form

SHOW QUEUE /FORM /FULL コマンドを使用して、フォームの属性を表示することができます。次の例では、DCPS\$DEFAULT の属性を表示しています。

\$ SHOW QUEUE /FORM /FULL DCPS\$DEFAULT

Form name	Number	Description
-----	-----	-----
DCPS\$DEFAULT (stock=DEFAULT)	1115	DCPS default
/LENGTH=66 /STOCK=DEFAULT /TRUNCATE /WIDTH=80		

このフォームは、ページ長およびページ幅を設定し、長い行を切り捨て、省略時の用紙を使用します。

たいていの場合、フォーム定義の修飾子の多くが ANSI ファイルだけに適用されるため、フォーム定義は ANSI ファイルに対して使用します。この修飾子を使用することにより、ページ長およびマージンを設定したり、長い行を切り捨てたり、改行したりすることができます。ANSI 以外のデータ・タイプ、たとえば PostScript ファイルなどは、ページ属性を設定する内部制御を持っています。

表 13-1 には、ANSI ファイルだけに影響を与える修飾子を示します。

表 13-1 ANSI ファイル用の DEFINE/FORM 修飾子

修飾子	機能
/LENGTH= <i>n</i>	各ページの長さを行数として指定します。
/MARGIN= <i>keyword</i> = <i>n</i>	ページ・マージンを設定します。
/PAGE_SETUP= <i>module</i>	ジョブの各ページにページ・セットアップ・モジュールを適用します。
/[NO]TRUNCATE	ページ幅に収まらない長い行を切り捨てます。
/WIDTH= <i>n</i>	ページ幅を文字数で設定します。
/[NO]WRAP	ページ幅に収まらない行を改行します。

注意

別のタイプのファイルは、これらの属性について内部制御を持っているため、上記のフォーム定義は ANSI ファイルについてのみ有効です。

13.2 すべてのタイプのファイルでのフォームの使用

システム管理者がすべてのタイプのファイルで 사용할 ことができる 2 つの修飾子 (/SETUP および /STOCK) があります。以降の各項では、これらの修飾子の動作について説明します。

13.2.1 セットアップ・モジュールを起動するフォームの使用 (/SETUP)

システム管理者はセットアップ・モジュールをフォームに対応付けることができます。フォーム定義にセットアップ・モジュールが含まれているかどうかを確認するには、SHOW QUEUE /FORM /FULL コマンドを実行して、フォームの説明の/SETUP 修飾子の部分を見てください。次の例を参照してください。

\$ SHOW QUEUE /FORM /FULL

Form name	Number	Description
-----	-----	-----
CONFIDENTIAL (stock=DEFAULT)	15	Prints CONFIDENTIAL on each page
/LENGTH=66 /SETUP=(PRIVATE) /STOCK=DEFAULT /TRUNCATE /WIDTH=80		

この例では、PRIVATE という名前のセットアップ・モジュールがフォーム定義に含まれています。

13.2.2 用紙タイプを指定するフォームの使用 (/STOCK)

システム管理者は/STOCK 修飾子を使用して、フォームの起動時に使用される用紙タイプを指定することができます。そのフォームを使用する場合は、指定された用紙タイプが装着されていることを確認しなければなりません。指定された用紙タイプが装着されていない場合、指定された用紙タイプが装着されるまで、あるいは異なるフォーム定義を使用するまで、ジョブはキュー内で "Hold" 状態となります。

フォームが特殊な用紙タイプを必要としているかどうかを確認するには、SHOW QUEUE /FORM /FULL コマンドを実行して、フォームの説明の/STOCK 修飾子の部分を見てください。

\$ SHOW QUEUE /FORM /FULL LANDSCAPE

Form name	Number	Description
-----	-----	-----
LANDSCAPE (stock=DEFAULT)	10	132 by 66 (landscape)
/LENGTH=66 /MARGIN=(TOP=2,BOTTOM=4) /SETUP=(LANDSCAPE) /STOCK=DEFAULT		
/TRUNCATE /WIDTH=132		

/STOCK 修飾子の部分に DEFAULT パラメータが指定されている場合は、任意のタイプの用紙を使用することができます。

13.3 省略時のフォーム定義の使用

印刷要求時にフォーム定義を省略し、次の修飾子のいずれかを指定した場合、省略時のフォーム定義である DCP\$DEFAULT が自動的に ANSI ファイルに対して適用されます。

- /HEADER

- /SPACE
- /PARAMETERS=[NO]TAB

省略時のフォーム定義の属性を表示するには、次のコマンドを実行します。

\$ SHOW QUEUE /FORM /FULL DCPSS\$DEFAULT

Form name	Number	Description
-----	-----	-----
DCPSS\$DEFAULT (stock=DEFAULT)	1115	DCPS default
/LENGTH=66 /STOCK=DEFAULT /TRUNCATE /WIDTH=80		

プリント・ジョブでのセットアップ・モジュールの使用

この章では、セットアップ・モジュールを使用するための一般的な情報、およびいくつかのプリンタで使用可能なセットアップ・モジュールについての情報を提供します。プリンタ固有のモジュールについての情報は、第 19 章を参照してください。

第 13 章で説明されているように、フォームを使用することで暗黙のうちにセットアップ・モジュールを使用することもできます。

14.1 セットアップ・モジュールの概要

セットアップ・モジュールは、プリント・ジョブの文書の印刷結果を修正したりプリント・ジョブ内の命令を再定義する命令を含むファイルです。

PRINT コマンドの/SETUP 修飾子を指定することで、プリント・ジョブにセットアップ・モジュールを含めることができます。次の例では、600 dpi の解像度を指定するセットアップ・モジュールを使用しています。

```
$ PRINT /QUEUE=LPS32$2SIDES /SETUP=RES_600X600 IMAGE.PS
```

14.2 セットアップ・モジュールの位置

DECprint Supervisor for OpenVMS には各種のセットアップ・モジュールが組み込まれており、インストレーション時に次の装置制御ライブラリに置かれます。

```
SYS$LIBRARY:DCPS$DEVCTL.TLB
```

セットアップ・モジュールの一覧を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
$ LIBRARY /LIST /TEXT SYS$LIBRARY:DCPS$DEVCTL
```

次の例のようなセットアップ・モジュールの一覧が表示されます。

```
DCW1000_DISPLAY
DCW1000_ENHANCED
DCW1000_HIGHRES
LPS$$APPLE360_INITPSDEVICE
LPS$$APPLE360_SETINPUTTRAY
RES_1200X1200
RES_1200X600
```

注意

セットアップ・モジュールあるいは装置制御モジュールを変更してはなりません。

いくつかのセットアップ・モジュールは特定のプリンタ専用で作成されています。これらのセットアップ・モジュールは、そのファイル名にプリンタ名が含まれています。たとえば、セットアップ・モジュールの DL3500_RET_DARK は、DEClaser 3500 プリンタ用です。

いくつかのセットアップ・モジュールについての説明は、第 14.4 節以降の節を参照してください。

14.2.1 ユーザ独自のセットアップ・モジュールの位置

ユーザ独自のセットアップ・モジュールは特殊な装置制御ライブラリにまとめて、.TLB (テキスト・ライブラリ) ファイルという名前で SYS\$LIBRARY に置かれなければなりません。次のコマンドは、SYS\$LIBRARY にあるすべてのテキスト・ライブラリの一覧を表示します。どのサブセットが DCPS で使用される特殊な装置制御ライブラリであるかを判定するには、システム管理者に問い合わせるか、システムの DCPS プリント・キューの /LIBRARY 修飾子に対応したライブラリおよびライブラリ検索リストと .TLB ファイル名との関係を調べてください。

```
$ DIRECTORY SYS$LIBRARY:*.TLB
```

14.2.2 セットアップ・モジュールの内容の表示

セットアップ・モジュールに含まれている命令を見るには、次の手順に従ってください。

1. 装置制御ライブラリからセットアップ・モジュールを抽出します。次の例では、DCPS\$DEVCTL.TLB からセットアップ・モジュール DI_ON を抽出し、ユーザ・ディレクトリでファイル名を MYSETUP.TXT に変更します。

```
$ LIBRARY /EXTRACT=(DI_ON) /OUT=MYSETUP /TEXT SYS$LIBRARY:DCPS$DEVCTL
```

2. TYPE コマンドあるいはエディタを使用して、そのファイルの内容を表示させます。

\$ TYPE MYSETUP.TXT

このセットアップ・モジュール DI_ON は DECimage 拡張機能を有効とするもので、次の命令を含んでいます。

```
%!  
% ~~~~~ DI_on ~~~~~  
statusdict begin false setDECimage end  
systemdict /languagelevel known {languagelevel} {1} ifelse  
2 ge {currentpagedevice /Install get exec} if  
statusdict begin true setDECimage end  
% ~~~~~
```

注意

いくつかのセットアップ・モジュールは、TYPE コマンドを使用しても表示することのできないエスケープ・シーケンスあるいはグラフィックスを含んでいる場合があります。

14.3 セットアップ・モジュールの作成

セットアップ・モジュールを作成するには、次の手順に従ってください。

1. 必要なエスケープ・シーケンスあるいは PostScript オペレータを含むセットアップ・モジュールを作成します。
2. システム管理者にそのセットアップ・モジュールの装置制御ライブラリへの登録を依頼します。
3. セットアップ・モジュールとファイルを指定して、ファイルを印刷します。次の例を参照してください。

\$ PRINT /QUEUE=PS\$A14 /SETUP=module-name MYFILE.DAT

14.4 セットアップ・モジュールを使用した DECimage パラメータの変更

次に示すセットアップ・モジュールは DECimage を起動したり、DECimage パラメータを変更するためのものです。次のように分類されています。

- DECimage の有効化および無効化

表 14-1 に、現在のパラメータ値はそのままの状態、DECimage を on あるいは off に切り替えるセットアップ・モジュールを示します。別の DECimage セットアップ・モジュールを使用している場合は、このモジュールを使用する必要はあ

りません。DECimage セットアップ・モジュールは、現在のプリント・ジョブに対して DECimage を自動的に起動します。

表 14-1 DECimage の有効化および無効化

セットアップ・モジュール	説明
DI_ON	DECimage を ON に切り替えます
DI_OFF	DECimage を OFF に切り替えます

- 複合パラメータ
表 14-2 に、2 つの DECimage パラメータを同時に調整するセットアップ・モジュールを示します。

表 14-2 DECimage セットアップ・モジュール — 複合パラメータ

セットアップ・モジュール	説明
DI_HICONTRAST	Punch0 = 0.2, Punch1 = 0.8
DI_LOCONTRAST	Punch0 = -.1, Punch1 = 1.1
DI_BRIGHTER	Punch0 = -.2, Punch1 = 0.8
DI_DARKER	Punch0 = 0.2, Punch1 = 1.2
DI_NORMAL	Punch0 = 0, Punch1 = 1

- 個別パラメータ
表 14-3 に示すセットアップ・モジュールのいずれかを指定した場合、特定のパラメータ以外のすべてのパラメータは、省略時の設定値あるいは別のセットアップ・モジュールで最後に修正された値のままの状態となります。このセットアップ・モジュールは順序に影響されません。したがって、PRINT コマンド行にどの順序で指定してもかまいません。

表 14-3 DECimage セットアップ・モジュール — 個別パラメータ

セットアップ・モジュール	説明
DI_PUNCH0_0	Punch0 = 0
DI_PUNCH0_0P1	Punch0 = 0.1
DI_PUNCH0_0P2	Punch0 = 0.2
DI_PUNCH0_M0P1	Punch0 = -.1
DI_PUNCH0_M0P2	Punch0 = -.2
DI_PUNCH1_1	Punch1 = 1
DI_PUNCH1_0P8	Punch1 = 0.8
DI_PUNCH1_0P9	Punch1 = 0.9
DI_PUNCH1_1P1	Punch1 = 1.1
DI_PUNCH1_1P2	Punch1 = 1.2
DI_SHARP_0P5	Sharpness = 0.5
DI_SHARP_1	Sharpness = 1.0
DI_SHARP_1P5	Sharpness = 1.5
DI_SHARP_2	Sharpness = 2.0
DI_SHARP_2P5	Sharpness = 2.5

次の例では、鮮明度を増し、グレイ・レベルにシフトさせています。

```
$ PRINT /NOTIFY /QUEUE=queue-name /SETUP=(DI_SHARP_2,DI_DARKER) file
```

14.5 解像度についてのセットアップ・モジュール

次の解像度についてのセットアップ・モジュールを使用することにより、複数の解像度を持つプリンタの解像度を一時的に変更することができます。

- RES_300X300 — 横 300 dpi, 縦 300 dpi
- RES_600X300 — 横 600 dpi, 縦 300 dpi
- RES_600x600 — 横 600 dpi, 縦 600 dpi
- RES_1200x600 — 横 1200 dpi, 縦 600 dpi
- RES_1200x1200 — 横 1200 dpi, 縦 1200 dpi

注意

すべての解像度がすべてのプリンタでサポートされているわけではありません。

ファイル・セパレータ・ページの制御

プリンティング・システムはジョブ・セパレータ・ページ (ジョブ・フラグ・ページ, ジョブ・バースト・ページ, ジョブ・トレーラ・ページ) とファイル・セパレータ・ページの両方を作成することができます。システム管理者はキューに対して省略時のジョブ・セパレータ・ページとファイル・セパレータ・ページを定義することができます。一般ユーザはジョブ・セパレータ・ページを制御することはできませんが、ファイル・セパレータ・ページを印刷するかどうかを制御することはできます。

プリント・ジョブ内の各ファイルは次のページで分離されます。

- ファイル・バースト・ページ
- ファイル・フラグ・ページ
- ファイル・トレーラ・ページ

一般ユーザは、次の PRINT コマンド修飾子を使用することにより、ファイル・セパレータ・ページの挿入を制御することができます。

- プリント・ジョブ内の各ファイルの先頭にファイル・バースト・ページを印刷する場合は、/BURST を指定します。ファイル・バースト・ページを印刷しない場合は、/NOBURST を指定します。
- プリント・ジョブの各ファイルの先頭にファイル・フラグ・ページを印刷する場合は、/FLAG を指定します。ファイル・フラグ・ページを印刷しない場合は、/NOFLAG を指定します。
- プリント・ジョブ内の各ファイルの後にファイル・トレーラ・ページを印刷する場合は、/TRAILER を指定します。ファイル・トレーラ・ページを印刷しない場合は、/NOTRAILER を指定します。

15.1 すべてのファイルに対するファイル・セパレータ・ページの制御

PRINT コマンドと最初のファイル指定との間に/[NO]BURST, /[NO]FLAG, /[NO]TRAILER 修飾子を指定することにより、プリント・ジョブ内のすべてのファイルに対する省略時のファイル・セパレータ・ページの動作を指定することができます。

たとえば、次のコマンドは各ファイルの前にファイル・バースト・ページを印刷します。

```
$ PRINT /BURST FIRST.TXT, SECOND.TXT
```

ファイル・セパレータ・ページの特定のタイプの動作を指定しない場合 (たとえば、上記のコマンドではフラグ・ページとトレーラ・ページを指定していません)、省略時の動作はキューの/DEFAULT 修飾子で指定されます。/DEFAULT に特定のタイプのセパレータ・ページを指定していない場合、どのセパレータ・ページも印刷されません。

否定型の修飾子 (たとえば、/NOTRAILER) は、キューの省略時の修飾子 (たとえば、/DEFAULT=TRAILER) を無効とするために有用です。

15.2 個別のファイルに対するファイル・セパレータ・ページの制御

各ファイル指定の後に修飾子を指定することにより、プリント・ジョブ内の個々のファイルに対する省略時のファイル・セパレータ・ページの動作を変更することができます。

たとえば、次のコマンドを使用すると、キューの/DEFAULT=BURST 修飾子が無効とし、ジョブ内の 2 番目のファイルを除くすべてのファイルに対してファイル・フラグ・ページを印刷することができます。

```
$ PRINT /NOBURST /FLAG FIRST.TXT, SECOND /NOFLAG, THIRD
```

15.3 キューについての省略時のセパレータ・ページの表示

キューの省略時のセパレータ・ページを表示するには、次のコマンドを実行します。

```
$ SHOW QUEUE /FULL PS20$A14
```

```
Printer queue PS20$A14, on STAR::LPS, mounted form DCPS$DEFAULT
(stock=DEFAULT)
  /BASE_PRIORITY=4 /DEFAULT=(FLAG,FORM=DCPS$DEFAULT (stock=DEFAULT))
  /NOENABLE_GENERIC /LIBRARY=DCPS_LIB Lowercase /OWNER=[SYS,SYSTEM]
  /PROCESSOR=DCPS$SMB /PROTECTION=(S:E,O:RD,G,W:W)
  /SCHEDULE=(NOSIZE)
  /SEPARATE=(BURST,TRAILER)
```

この例では、このキューに登録されたプリント・ジョブに対してジョブ・バースト・ページとジョブ・トレーラ・ページが印刷されることが指定されています (/SEPARATE=(BURST,TRAILER))。また、/DEFAULT=FLAG によって指定されているため、ファイル・フラグ・ページは省略時の設定により印刷されます。ただし、フラグ・ページは PRINT コマンド修飾子により無効とすることができます。

15.4 エラー時の省略時の排紙トレイへのジョブ・ログおよびジョブ・トレーラ・ページの出力

ジョブ・ログおよびジョブ・トレーラ・ページがある場合は、OUTPUT_TRAY パラメータで指定した排紙トレイに通常出力されます。しかし、DCPS が最初に指定された排紙トレイに出力しようとした場合に、NOOUTTRAY、OUTTRAYNOTAVL、OUTTRAYMISMATCH エラーなどが検出されると、ジョブ・ログおよびジョブ・トレーラ・ページは代わりにプリンタの省略時の排紙トレイに出力され、排紙トレイに問題があることを通知します。

仕上げオプションの選択

プリンタの中には、出力にパンチ穴をあけたり、ホチキス止めをしたりするフィニッシャが装着されている (ほとんどの場合オプションとして販売) もがあります。この章では、DCPS からこれらのプリンタ機能を選択する方法について説明します。

16.1 パンチ機能

DCPS では、プリンタにパンチ機能が装備されている場合、ジョブにパンチ穴をあけることができます。DCPS では次のプリンタでパンチ機能をサポートしています。

GENICOM Intelliprint mL450
GENICOM LN45
HP 9085 MFP
HP LaserJet 9055 MFP
HP LaserJet 9065 MFP
Lexmark W820

16.1.1 PUNCH DCL 構文

パンチ機能は、PRINT パラメータの PUNCH で指定します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(..., [ PUNCH  
                             ] ,...) file_name
```

PUNCH パラメータに対する値はありません。パンチ穴の位置は、プリンタでの給紙方向によって決定され、穴の数と間隔は、プリンタによって決定されます。NOPUNCH が指定された場合には、プリンタの省略時の穴あけ設定を無効にして、ジョブはパンチ穴をあけずに出力されます。

16.2 ホチキス止め機能

プリンタにホチキス止め機能が装着されている場合は、これらのプリンタで DCPS ジョブをホチキス止めすることができます。DCPS でのホチキス止めは、次のプリンタでサポートされています。

Compaq Laser Printer LN32
Compaq Laser Printer LNM40
GENICOM Intelliprint mL450

GENICOM LN45
GENICOM LNM40
GENICOM microLaser 320
GENICOM microLaser 401
HP 9085 MFP
HP Color LaserJet 9500
HP Color LaserJet 9500 MFP
HP LaserJet 4200
HP LaserJet 4250
HP LaserJet 4300
HP LaserJet 4345 MFP
HP LaserJet 4350
HP LaserJet 8000
HP LaserJet 8100
HP LaserJet 8150
HP LaserJet 9000
HP LaserJet 9000 MFP
HP LaserJet 9040n
HP LaserJet 9050
HP LaserJet 9050 MFP
HP LaserJet 9055 MFP
HP LaserJet 9065 MFP
Lexmark W820
Xerox DocuPrint N24
Xerox DocuPrint N32
Xerox DocuPrint N40
Xerox Phaser 7750

日本語 DCPS では下記のプリンタでホチキス止め機能をサポートします。

RICOH IPSiO NX800
RICOH IPSiO NX810
RICOH IPSiO NX900
RICOH IPSiO NX910
RICOH IPSiO NX920
RICOH IPSiO Color 6500
RICOH IPSiO Color 7100
RICOH IPSiO Color 8000
RICOH IPSiO Color 8100
RICOH IPSiO CX8800
RICOH IPSiO SP 8100
RICOH IPSiO SP C810
OKI MICROLINE 3020cV
OKI MICROLINE 9300PS

Compaq Laser Printer LN32
Compaq Laser Printer LNM40

注意

OKI MICROLINE 9300PS のフィニッシャー・オプションについては弊社では動作確認を行っていないため、サポート対象外です。

また、日本語 DCPS は、GENICOM LNM40、mL320、mL401 にオプションのホチキス止め機能が装着されている場合は、DECprint Supervisor ジョブをホチキス止めすることができます。

16.2.1 STAPLE DCL 構文

ホチキス止めは、PRINT パラメータの STAPLE を使用して指定します。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(..., STAPLE= [ LEFT_CENTER  
                                     TOP_CENTER  
                                     TOP_LEFT  
                                     TOP_RIGHT  
                                     NONE ] ,...) file_name
```

これらの値は、用紙上のイメージ方向に対するホチキス止めを行う位置を指定します。NONE が指定された場合、プリンタの省略時のホチキス止め設定を無効とし、ジョブはホチキス止めされません。

16.2.2 ホチキス止めの位置

用紙が給紙される方向によっては、STAPLE パラメータのいくつかの値は使えない場合があります。ジョブ・ページ方向およびプリンタの給紙方向に応じたホチキス止め可能な位置については、表 16-1 を参照してください。表中の“Port”および“Land”はそれぞれポートレイト (縦長) およびランドスケープ (横長) のページ方向を指し、“LEF”および“SEF”はそれぞれプリンタの横方向給紙 (long-edge-feed) および縦方向給紙 (short-edge-feed) を指します。

表 16-1 ホチキス止め位置と給紙の方向

プリンタ	ホチキス止め位置とイメージ方向							
	TOP_LEFT		TOP_CENTER		TOP_RIGHT		LEFT_CENTER	
	Port	Land	Port	Land	Port	Land	Port	Land
Compaq, GENICOM, Lexmark, Xerox	LEF, SEF	LEF, SEF	SEF	LEF	SEF	LEF	LEF	SEF
HP Color LaserJet 9500	LEF, SEF			LEF, SEF		LEF	LEF	SEF
HP LaserJet 4200, 4250, 4300, 4350	SEF					SEF		
HP LaserJet 8000, 8100, 8150, 9000, 9050	LEF, SEF		SEF	LEF		LEF	LEF	SEF
HP 9085 MFP, LaserJet 9055 MFP, 9065 MFP	LEF, SEF	SEF	SEF	LEF	LEF, SEF		LEF	SEF

日本語 DCPS でジョブ・ページの方向およびプリンタの給紙方向に応じたホチキス止め可能な位置については、表 16-2、表 16-3、および表 16-5 を参照してください。

表 16-2 IPSiO NX900, NX910, NX920, Color 7100, Color 8000, Color 8100, SP 8100, SP C810 および LN32, LNM40, mL320, mL401 でのホチキス止め可能な位置

イメージおよび給紙 の方向	TOP_LEFT	TOP_CENTER	TOP_RIGHT	LEFT_CENTER
ポートレート				
横方向給紙 (LEF)	可			可
縦方向給紙 (SEF)	可	可	可	
ランドスケープ				
横方向給紙 (LEF)	可	可	可	
縦方向給紙 (SEF)	可			可

表 16-3 IPSiO NX800, NX810, Color 6500 でのホチキス止め可能な位置

イメージおよび給紙 の方向	TOP_LEFT	TOP_CENTER	TOP_RIGHT	LEFT_CENTER
ポートレート				
横方向給紙 (LEF)	可			
縦方向給紙 (SEF)			可	
ランドスケープ				
横方向給紙 (LEF)			可	
縦方向給紙 (SEF)	可			

表 16-4 IPSiO CX8800 でのホチキス止め可能な位置

イメージおよび給紙 の方向	TOP_LEFT	TOP_CENTER	TOP_RIGHT	LEFT_CENTER
ポートレート				
横方向給紙 (LEF)	可		可	可
縦方向給紙 (SEF)	可	可	可	
ランドスケープ				
横方向給紙 (LEF)				
縦方向給紙 (SEF)	可		可	可

表 16-5 OKI MICROLINE 3020cV, 9300PS でのホチキス止め可能な位置

イメージおよび給紙 の方向	TOP_LEFT	TOP_CENTER	TOP_RIGHT	LEFT_CENTER
ポートレート				
横方向給紙 (LEF)	可			
縦方向給紙 (SEF)	可			
ランドスケープ				
横方向給紙 (LEF)				
縦方向給紙 (SEF)				

サポートされないホチキス止め位置を指定した場合、DCPS は STPPOSNOSUP エラーを表示し、そのジョブは出力されません。DCPS のホチキス止めに関するメッセージの一覧については、第 16.3 節を参照してください。

16.2.3 排紙トレイ

ホチキス止めした用紙は、フィニッシャに装着された排紙トレイにのみ出力することができます。表 16-6 に、各プリンタでサポートされている排紙トレイを示します。

表 16-6 ホチキス止めがサポートされている排紙トレイ

プリンタのブランド	排紙トレイ
Compaq, GENICOM, Xerox	STACKER / BIN_1
	BIN_2
	BIN_3
HP, Lexmark	STACKER / BIN_2

ホチキス止めがサポートされていないトレイを指定した場合、またはプリンタの省略時の排紙トレイでホチキス止めがサポートされていないときにトレイを指定しなかった場合、DCPS は STPOUTTRAY エラーを表示し、そのジョブは出力されません。

16.2.4 用紙サイズ

プリンタは、すべての用紙サイズおよび給紙方向でのホチキス止めをサポートしているわけではありません。通常は、封筒サイズでのホチキス止めはサポートされていません。

ホチキス止めができないサイズを指定した場合、DCPS は STPSIZENOSUP エラー・メッセージを表示し、そのジョブは出力されません。

16.2.4.1 日本語プリンタのホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズ

IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 7100, Color 8000, Color 8100, CX8800, MICROLINE 3020cV, および LN32, LNM40, mL320, mL401 プリンタは、すべての用紙サイズおよび給紙方向をサポートするわけではありません。ホチキス止めできないサイズを指定した場合、DCPS はエラー・メッセージを表示し、そのジョブは出力されません。サポートされている用紙サイズおよび給紙方向の一覧は、表 16-7、表 16-8、表 16-9、および表 16-10 を参照してください。

表 16-7 IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 7100, Color 8000, Color 8100, CX8800, SP 8100, SP C810 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向

用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
LETTER (8.5x11")	可	可
A3 (297x420 mm)		可

(次ページに続く)

表 16-7 (続き) IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 7100, Color 8000, Color 8100, CX8800, SP 8100, SP C810 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向

用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
A4 (297x210 mm)	可	可
LEDGER (11x17")		可
LEGAL (8.5x14")		可
B4 (256.8x363.7 mm)		可
B5 (257.1x182 mm)	可	可

表 16-8 LN32, LNM40, mL320, mL401 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向

用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
A, LETTER (8.5x11")	可	可
A3 (297x420 mm)		可
A4 (297x210 mm)	可	可
A5 (149x210 mm)	可	
B, LEDGER (11x17")		可
EXECUTIVE (7.25x10.5")	可	
FOLIO (8.5x13")		可
LEGAL (8.5x14")		可
STATEMENT (5.5x8.5")	可	

表 16-9 IPSiO Color 6500 ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向

用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
A3		可
A4	可	可
A5	可	可
B4		可
B5	可	可
Letter	可	可
11 × 17in		可
Legal		可
5 × 8in		可

表 16-10 OKI MICROLINE 3020cV, 9300PS ホチキス止め機能でサポートされる用紙サイズおよび給紙方向

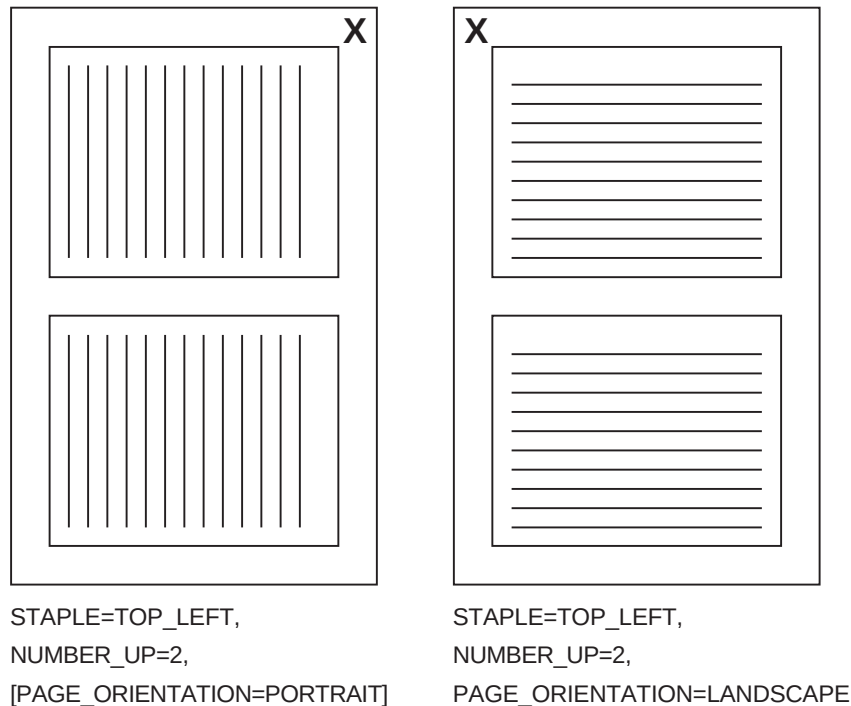
用紙サイズ	横方向給紙 (LEF)	縦方向給紙 (SEF)
A4 (297x210 mm)	可	
LETTER (8.5x11")	可	

16.2.5 ホチキス止めに関する詳細

DCPS でホチキス止め機能を使用する場合は、次の事項に注意してください。

- 用紙一枚に出力されるジョブは、ホチキス止めされません。
- STAPLE パラメータを指定しなかった場合は、プリンタの省略時のホチキス止め設定が使用されます。すべてのジョブへのホチキス止めがプリンタの省略時の設定である場合は、STAPLE=NONE を指定することにより、DCPS ジョブへのホチキス止めを行わないようにすることができます。
- プリンタに STAPLER という名前のトレイがある場合には、DCPS のプリント・コマンドで指定された位置ではなく、プリンタの省略時のホチキス止め位置が使用されます。バースト・ページおよびフラグ・ページがある場合は、それらのページもジョブへホチキス止めされます。
- ジョブの用紙がプリンタのホチキス止めの限界 (通常は 60 枚程度) を超えた場合、そのジョブは出力されますが、ホチキス止めは行われません。
- ジョブのセパレータ・ページはホチキス止めされません。ファイル・セパレータ・ページは、ファイルとともにホチキス止めされます。
- 複数の用紙サイズを必要とするファイルは、ホチキス止めできません。
- PCL ファイルは、要求された場合にはホチキス止めされます。これらのファイルは、プリンタのネイティブ PCL インタープリタで変換されるのではなく、DCPS PCL4 トランスレータを使用して PostScript に翻訳されます。PCL ファイルに PCL4 以降に導入された PCL エスケープ・シーケンスが含まれている場合、それらのシーケンスは無視されます。
- NUMBER_UP パラメータを使用した場合、ページ上のイメージ方向が変わる可能性があります。これにより、図 16-1 の例に示すように、ホチキス止めの位置に影響します。Xは、STAPLE, NUMBER_UP, PAGE_ORIENTATION パラメータを指定した場合のホチキス止めの位置を示します (ページ方向が指定されない場合、PAGE_ORIENTATION=PORTRAIT が省略時の設定です)。
- LN32, LNM40, mL320, mL401 プリンタでは、ホチキス止めした用紙は排紙トレイ BIN_1, BIN_2, BIN_3 のいずれかにしか出力することができません。

図 16-1 NUMBER_UP のホチキス止めへの影響



- IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 6500 プリンタでは、ホチキス止めした用紙は排紙トレイ LCOS にしか出力することができません。
- IPSiO Color 7100, Color 8000, Color 8100, CX8800, SP 8100, SP C810 プリンタでは、ホチキス止めした用紙はフィニッシャ・シフト下段トレイ LOWER にしか出力することができません。
- OKI MICROLINE 3020cV, 9300PS プリンタでは、ホチキス止めした用紙はフィニッシャ下段トレイ BIN_2 にしか出力することができません。
- IPSiO NX900, NX910, NX920, Color 8000, Color 8100, CX8800 プリンタの最大ホチキス止め枚数は、A4, LETTER 以下の用紙の場合 50 枚、B4, LEGAL 以上の用紙の場合 30 枚です。

IPSiO NX900 プリンタでは、限界を超えた場合でもホチキス止めを行います、ホチキス止めに失敗します。

IPSiO NX910, NX810, Color 6500, Color 7100 プリンタでは、限界を超えた場合はホチキス止めは行われず、最大枚数を超えた時点で排紙されます。

- IPSiO Color 7100, SP 8100, SP C810 プリンタの最大ホチキス止め枚数は、A4, B5, LETTER の用紙の場合 50 枚、A3, B4, 11x7, LEGAL の用紙の場合 30 枚です。
- IPSiO NX800, NX810 プリンタの最大ホチキス止め枚数は、A4, LETTER 以下の用紙の場合 30 枚、B4, LEGAL 以上の用紙の場合 20 枚です。

- LN32, LNM40, mL320, mL401 プリンタでは、ジョブの用紙がプリンタのホチキス止めの限界 (60 枚) を超えた場合、そのジョブは出力されますが、ホチキス止めは行われません。
- IPSiO Color 6500 プリンタの最大ホチキス止め枚数は 30 枚です。
- OKI MICROLINE 3020cV, 9300PS では、ホチキス可能最大枚数は連量 55-64 kg では 30 枚, 65-75 kg では 25 枚, 76-89 kg では 22 枚です。
- IPSiO NX910, NX920, Color 8000, Color 8100, CX8800, SP 8100, SP C810 および MICROLINE 3020cV, 9300PS プリンタでは、PAGE_LIMIT を指定した場合にホチキス止めができません。
- IPSiO Color 7100, Color 8000, SP 8100, SP C810 プリンタでは、手差しトレイから給紙する場合はホチキス止めができません。
- IPSiO SP 8100, SP C810 プリンタでは、A5, A6, B6, Half Letter の用紙および官製はがきにはホチキス止めができません。

16.3 DCPS ホチキス止め機能のエラー・メッセージ

ホチキス止め機能を使用している場合、DCPS から次のようなエラー・メッセージが通知される可能性があります。その他のエラー・メッセージについては、付録 A を参照してください。

STPNOSUP, Stapling feature not supported for *product_name* printer.

説明: プリンタがホチキス止め機能をサポートしていません。

対処法: オプションであるホチキス止め機能を装着した IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 6500, Color 7100, Color 8000, Color 8100, MICROLINE 3020cV, 9300PS, Compaq Laser Printer LN32, LNM40, あるいは GENICOM LNM40, mL320, mL401 を使用してください。

STPOUTTRAY, Selected output tray does not support stapling.

説明: 指定した排紙トレイは、ホチキス止めには使用できません。

対処法: IPSiO NX800, NX810, NX900, NX910, NX920, Color 6500 の場合は、排紙トレイ LCOS を選択してください。IPSiO Color 7100, Color 8000, Color 8100 の場合は、排紙トレイ LOWER を選択してください。LN32, LNM40, mL320, mL401 の場合は、排紙トレイ BIN_1, BIN_2, BIN_3 のいずれかを選択してください。MICROLINE 3020cV, 9300PS の場合は、排紙トレイ BIN_2 を選択してください。

STPPOSNOSUP, Stapling position not supported for orientation and feed direction.

説明: プリンタは、指定した位置でホチキス止めをすることができません。

対処法: その用紙サイズがサポートされている場合は、給紙方向を変えて用紙を設定するか、または、別のページ方向を選択してください。

STPSIZENOSUP, Stapling not supported for *sheet_size* size paper and feed direction.

説明: 用紙サイズあるいは用紙の給紙方向あるいはその両方がホチキス止め機能でサポートされていないため、ホチキス止めを行うことができません。

対処法: 用紙サイズがサポートされている場合は、用紙を異なる給紙方向に変更してください。

デバッグのためのエラー・ハンドラの使用

装置制御ライブラリには、PostScript プログラムをデバッグするのに役立つエラー・ハンドラが登録されています。エラー・ハンドラは出力の最後のページを印刷するとともに、エラーを特定するための情報も提供します。

17.1 プリント・ジョブへのエラー・ハンドラの組み込み

エラー・ハンドラは通常のプリント・ジョブに自動的に組み込まれるわけではありません (システム管理者がこの省略時の設定を変更した場合を除きます)。したがって、次の方法でエラー・ハンドラを明示的に起動しなければなりません。

```
$ PRINT /SETUP=LPS$ERRORHANDLER file-name
```

エラー・ハンドラは PostScript メッセージを返します。第 18 章に説明するように、/PARAMETERS=MESSAGES 修飾子を使用すれば、これらのメッセージをファイルまたはプリンタに送信することができます。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /QUEUE=PS40$A10 /PARAMETERS=MESSAGES=KEEP FILE.PS
```

PostScript アプリケーションを開発する場合には、第 13 章の説明に従って、エラー・ハンドラ・セットアップ・モジュールを含むようにフォームを定義することにより、エラー・ハンドラをより簡単に起動することができます。

17.2 エラー・ハンドラが PostScript 環境に与える影響

エラー・ハンドラはユーザ・プログラムで変更された可能性のある定義を使用するのではなく、ディクショナリ `systemdict` からオペレータを参照します。

場合によっては、エラー・ハンドラがロードされるときに、プログラムが異なる動作を実行する可能性があります。たとえば、PostScript サーバ・ループ・コンテキストの外部で `exit` オペレータを実行すると、エラー・ハンドラがロードされていない場合には、`invalidexit` エラーが発生します。しかし、エラー・ハンドラがロードされている場合には、プログラムは正しく終了し、エラーは発生しません。

17.3 エラー・ハンドラの例

例 17-1 に示すログ・ファイルの例は、次の PostScript プログラムを対象にしています。

```
[/1st-level [/2nd-level [/3rd-level [/4th-level 56 ] ] ] (end)]
/myproc { [ 8 8 ] 0 0 div setdash } def
100 200 moveto
myproc
```

次のコマンドにはエラー・ハンドラが指定されており、ログ・ファイルが作成されます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=MESSAGES=KEEP /SETUP=LPSS$ERRORHANDLER filename
```

例 17-1 では、プログラムを実行したときにログ・ファイルに追加されるエラー・ハンドラからの出力を示しています。

例 17-1 エラー・ハンドラによって作成されるログ・ファイルの例

```
ERROR: undefinedresult 1
OFFENDING COMMAND: div 2
OPERAND STACK: 3
0
0
[ 8 8 ]
[/1st-level [/2nd-level [/3rd-level -array- ] ] (end) ]
EXECUTION STACK: 4
{ setdash }
GRAPHICS STATE: 5
Current Matrix: [ 4.16667 0.0 0.0 -4.16667 0.0 3298.0 ]
Color: 0.0
Current position: x = 100.0, y = 200.0
Line width: 1.0
Line cap: 0
Line join: 0
Flatness: 1.0
Miter limit: 10.0
Dash pattern: [ ] 0.0
```

ここに示したサンプル・ファイルの先頭に定義されている配列には、最初の要素としてその配列自体を示すポインタが含まれています。これは 3 レベルの深さに展開されます。配列の最も内部のバージョンは単に `-array-` として表現されます。

17.4 エラー・ハンドラからの出力の解説

エラーが発生した場合には、エラー・ハンドラは `showpage` コマンドを実行し、出力の最後のページを印刷します (例 17-1 を参照)。また、次の情報も出力します。

- 1 エラーの名前
- 2 エラーを生じた PostScript オペレータ
- 3 オペランド・スタックの内容

エラー・ハンドラはスタックに入っている各オブジェクトの値を表示します。その場合、数値は 10 進数で表示します。配列のすべての要素、文字列、およびプロセスは再帰的に表示されます。他のオブジェクトは別の方法で記述されます。たとえば、セーブ・オブジェクトの場合は `-savelevel-` が表示されます。

最初に表示される項目はスタックの先頭のオブジェクトです。

- 4 実行スタックの内容

実行スタックには、実行中のプロセスの一部が示されています。先頭のオブジェクトは実行されつつあるオペレータとオペランドを含むプロセスです。2 番目のオブジェクトは呼び出しプロセスのまだ実行されていない部分です。

- 5 グラフィック状態に関する情報:

現在の変換マトリックス
カラー (`currentgray` の値)
現在の位置
線幅
線端の形状
線の結合部の形状
平滑さ
結合部の限度
破線のパターン

PostScript コードでエラーを検出した場合には、ファイルを作成したアプリケーションを変更するか、またはアプリケーション・プログラマに問題を通知しなければなりません。

17.5 PostScript データの出力形式

PostScript データは、通常は PostScript ソース・ファイルに記述されたとおりに表現されますが、エラー・ハンドラが PostScript データを特別に表現することもあります。

- 配列は再帰的に表示されます。したがって、配列内の各要素は、それが別の配列である場合でも、完全に展開されます。配列内の展開は 3 レベルまでです。これ

は、配列の内部にその配列自体を含むような配列を表示するときに、無限の再帰表示を防止するためです。

配列には実行可能配列と実行不可能配列があります。実行可能配列は中括弧({ })で囲んで表示されるプロシージャであり、実行不可能配列は大括弧([])で囲んだ複数のオブジェクトとして表示されます。配列を読み込むことができない場合や、深さが3レベルを超える場合には、配列は次のいずれかの方法で表現されます。

- array- 通常の配列の場合
- proc- 実行可能配列の場合
- packedarray- パックされた配列の場合
- packedproc- パックされた実行可能配列の場合

- 論理オブジェクトはその値に応じて、TRUE または FALSE によって表現されます。
- ディクショナリ・オブジェクトは -dictionary- によって表現されます。
- ファイル・オブジェクトは -filestream- によって表現されます。
- フォント・オブジェクトは -fontid- によって表現されます。
- 整数は 10 進数によって表現されます。
- マーク・オブジェクトは -mark- によって表現されます。
- 名前オブジェクトはオブジェクトのリテラル名によって表現され、先頭にリテラル名を示すためのスラッシュが追加されます。
- ヌル・オブジェクト、たとえば、初期化されない配列の各要素の初期値は -null- によって表現されます。
- オペレータはオペレータ名によって表現され、先頭に2つのスラッシュが追加されます。
- 実数オブジェクトは 10 進数によって表現され、小数点と小数点の後に少なくとも1桁の数字が示されます。
- セーブ・オブジェクトは -savelevel- によって表現されます。
- 文字列オブジェクトは括弧で囲んだ ASCII テキスト文字列によって表現されます。これは PostScript ファイルに文字列を入力する場合と同じです。

PostScript 言語は、エラー・ハンドラでは認識できない新しいデータ・フォーマットを含むように拡張できます。認識できないフォーマットのデータは2つの引用符と認識できないデータ・フォーマットの名前として表現されます。

17.6 エラー発生箇所の判定

PostScript ストリームのどこでエラーが発生したかを正確に判断することは困難であり、不可能な場合もあります。これは、実行スタックがコンテキストをユニークに識別できない可能性があるからです。この場合には、診断情報を PostScript ファイルに追加することができます。たとえば、エラーが `showpage` 定義に関連しているように思われる場合には、次に示すように PostScript コードを変更します。

```
/myshowpage
{
  (At the top of my showpage\n) print flush
  % some PostScript code
  (Just before real showpage call\n) print flush
  showpage
} def
```

印刷に関する問題の解決

この章では、PostScript プリンタで印刷するときに出力されるメッセージの解析方法と、発生する可能性のある問題の解決方法について説明します。問題を解決するために特権を必要とする場合には、システム管理者に連絡してください。

18.1 エラー・メッセージの表示と保存

プリント・ジョブに関する問題を検出し、問題を理解し、問題を解決するには、処理中のプリント・ジョブに関する情報を入手しなければなりません。次に、情報を収集する方法について説明します。

- **PRINT** コマンドに **/NOTIFY** 修飾子を指定して、プリンティング・システムからのすべてのメッセージをターミナルに表示するようにします。
- ジョブ・トレース・ページが出力されている場合は、ジョブ・トレース・ページを解析します。このページはプリント・ジョブを区切るためと、プリント・ジョブに関する情報を記録するために印刷されます。メッセージが出力された場合には、最後のメッセージがトレース・ページに印刷されます。プリント・ジョブが印刷を正常終了した場合でも、プリンティング・システムがプリント・ジョブに対する指定を正しく処理できなかった場合には、トレース・ページのメッセージに必要な処置が示されます。
- **MESSAGES** パラメータに **PRINT** キーワードを指定して、ジョブ・ログ・ページを作成します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=MESSAGES=PRINT MYFILE.PS
```

- メッセージ・ログ・ファイルにプリント・ジョブのメッセージを格納します。
MESSAGES パラメータに **KEEP** キーワードを指定して、プリント・ジョブ・メッセージを格納するログ・ファイルを作成します。次の例を参照してください。

```
$ PRINT /PARAMETERS=MESSAGES=KEEP MYFILE.PS
```

- プrint・ジョブが正常終了または異常終了した場合には、**DCPS\$JOB_nnn.LOG** というファイルがログイン・ディレクトリ (**SYS\$LOGIN**) に作成されます。このファイル名の **nnn** という部分はジョブ番号です。

18.2 メッセージの解析

プリント・ジョブ・メッセージを解析することにより、プリント・ジョブに関する問題を解決し、より効率よくプリント・ジョブをキューに登録することができます。

まず、メッセージがどこから出力されたかを判断しなければなりません。一部のメッセージはプリンタの PostScript コードから出力されます (第 18.2.1 項を参照)。

また、DECprint Supervisor ソフトウェアからも多くのメッセージが出力されます。さらに、印刷中のファイルや OpenVMS システムからメッセージが出力されることもあります (第 18.2.2 項を参照)。

PrintServer プリンタで印刷する場合には、PrintServer Supporting Host ソフトウェアからメッセージが出力されることもあります (第 18.2.3 項を参照)。

18.2.1 PostScript エラー

PostScript エラーは、“offending command is *name*”という表現によって識別することができます。

PostScript プリンタには PostScript インタプリタが含まれており、PostScript コードをハードウェア機能に変換し、マーキング機能を通じてデータを物理ページに転送します。

多くのアプリケーションによって PostScript ファイルが作成され、また多くのプリンタで、それらの PostScript ファイルが印刷されています。しかし、ファイルとプリンタの間に完全に互換性があるとはかぎりません。

PostScript の印刷に関する一部の問題は、第 4.7 節で説明する手法に従って解決することができます

ご使用のアプリケーションが PostScript レベル 3 ファイルを作成する場合は、PostScript レベル 3 をサポートするプリンタが必要になります。PostScript レベル 2 ファイルは、PostScript レベル 2 プリンタとレベル 3 プリンタの両方で印刷することができます。PostScript レベル 1 ファイルは、PostScript レベル 1 プリンタ、レベル 2 プリンタ、レベル 3 プリンタで印刷することができます。

PostScript エラーが PostScript 以外のファイルを印刷することによって発生した場合には、そのファイルを作成したアプリケーションを変更しなければなりません。

仮想メモリ・エラー

すべての PostScript プリンタですべての PostScript イメージと文書を印刷できるわけではありません。使用しているプリンタのタイプに応じて、特定の PostScript ファイルがプリンタの仮想メモリの制限を超える場合と、超えない場合があります。これらのファイルを正しく印刷できるかどうかは、主に次の要素によって左右されます。

- ファイルがアプリケーションで生成された方法
- リソース (フォント, セットアップ・モジュール, プロログ) がプリンタに保存されている方法
- プリント・ジョブが DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアによって処理される方法

ファイルを印刷できず, 次のエラー・メッセージが表示された場合には, プリント・ジョブはプリンタの仮想メモリの容量を超えています。

```
%DCPS-W-VMERROR, vmerror: PostScript virtual memory exhausted -
offending command is string.
```

次のいずれかの操作を実行することにより, 問題を解決することができます。

- プリンタの仮想メモリの使用効率を向上するためのオプションをアプリケーションで使用する, PostScript ファイルを生成します。
- 使用可能なメモリ容量の大きなプリンタでファイルを印刷します。

18.2.2 DECprint Supervisor メッセージ

DECprint Supervisor ソフトウェアからのメッセージは, DCPS という接頭辞から始まります。これらのメッセージと, メッセージで問題が示されたときに実行しなければならない処置については, 付録 A を参照してください。

OpenVMS システムでは, OpenVMS batch/print キューイング・システムを対象にしてキュー・マネージャが提供されます。プリント・ジョブが停止した場合や, キュー・マネージャによってプリント・ジョブが終了した場合には, ターミナルに OpenVMS メッセージが送信されます。PRINT コマンドに /NOTIFY を指定することにより, メッセージが通知されるように設定した場合には, OpenVMS キュー・マネージャと DECprint Supervisor ソフトウェアの両方からメッセージが出力されます。

18.2.3 PrintServer ソフトウェアに関する問題の解決

PrintServer ソフトウェアは PrintServer プリンタの管理機能を提供し, プリント・ジョブで問題が発生した場合に, そのことを示すメッセージを送信します。リモート・コンソール機能あるいはプリンタ・ステータス・モニタを使用すれば, プリンタの現在の状態を確認することができます。

18.2.4 PC あるいは Macintosh で作成されたファイルの問題

PC あるいは Macintosh アプリケーションで作成したファイルは, プリンタあるいは DCPS との互換性を持たない可能性があります。詳細については, 第 4.3 節を参照してください。

18.3 オンライン・ヘルプの表示

PRINT パラメータに関するエラー・メッセージが出力された場合には、HELP コマンドを使用してパラメータ値が正しいかどうかを確認することができます。PRINT パラメータに関するヘルプ情報は、HELP PRINT_PARAMETER コマンドを入力することにより表示することができます。

プリンタ固有の機能を制御するパラメータの場合には、HELP ファイルは受け付けることができるパラメータを表示します。HELP PRINT_PARAMETER の後にパラメータ名 (たとえば INPUT_TRAY) を指定してください。続いて、プリンタ・モデルの名前を入力します。

たとえば、PrintServer プリンタの給紙トレイの値の一覧を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
$ HELP PRINT_PARAMETER INPUT_TRAY PRINTSERVER
```

```
PRINT_Parameter
```

```
INPUT_TRAY
```

```
PrintServer_Printers
```

+-----+-----+-----+-----+-----+				
Input tray	PrintServer			
Values	20	32	40	17
+-----+-----+-----+-----+-----+				
MANUAL_FEED				X*
NOMANUAL_FEED				X*
+-----+-----+-----+-----+-----+				
BOTTOM	X	X		X
+-----+-----+-----+-----+-----+				
TOP	X	X	X	X
+-----+-----+-----+-----+-----+				
ENVELOPE_FEEDER				X
+-----+-----+-----+-----+-----+				
LCIT	X	X	X	X
+-----+-----+-----+-----+-----+				
MIDDLE	X	X	X	
+-----+-----+-----+-----+-----+				

* With PrintServer Supporting Host V5.0

プリンタ固有の情報

この章では、以下の各プリンタに関して、特定のプリンタで DCPS を使用する場合の一般的なユーザ情報および注意事項について説明します。

特定のプリンタに関する情報は、日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS の『システム管理者ガイド』および『リリース・ノート』のそれぞれのプリンタ固有の情報についての章にも説明があります。

RICOH IPSiO SP 6120	(第 19.1.1 項)
RICOH IPSiO SP 6330	(第 19.1.2 項)
RICOH IPSiO SP 8100	(第 19.1.3 項)
RICOH IPSiO SP C810	(第 19.1.4 項)
RICOH IPSiO Color 4100	(第 19.1.5 項)
RICOH IPSiO Color 6500	(第 19.1.6 項)
RICOH IPSiO Color 7100	(第 19.1.7 項)
RICOH IPSiO Color 8100, 8000	(第 19.1.8 項)
RICOH PC LASER NX-510, NX-500	(第 19.1.9 項)
RICOH IPSiO NX710, NX700	(第 19.1.10 項)
RICOH IPSiO NX810, NX800	(第 19.1.11 項)
RICOH IPSiO NX850, NX750, NX730, NX720N	(第 19.1.12 項)
RICOH IPSiO NX920, NX910, NX900	(第 19.1.13 項)
RICOH IPSiO NX1100, PC LASER NX-1000	(第 19.1.14 項)
OKI COREFIDO B431dn	(第 19.2.1 項)
OKI COREFIDO B840dn	(第 19.2.2 項)
OKI MICROLINE 703N3, 701N3	(第 19.2.3 項)
OKI MICROLINE 1035PS, 1032PS	(第 19.2.4 項)
OKI MICROLINE 2030N, 2020N	(第 19.2.5 項)
OKI MICROLINE 3020c, 3010c	(第 19.2.6 項)
OKI MICROLINE 3020cV	(第 19.2.7 項)
OKI MICROLINE 801PSIIV-LT, 802PSIIV, 803PSIIV	(第 19.2.8 項)
OKI MICROLINE 900PSIII LT, 903PSIII	(第 19.2.9 項)
OKI MICROLINE 7300PS	(第 19.2.10 項)
OKI MICROLINE 9300PS	(第 19.2.11 項)
InterLaser LP-9600SPD	(第 19.3.1 項)
InterLaser LP-8700PS3	(第 19.3.2 項)
ESPER-LASER LP-9200PS3	(第 19.3.3 項)
ESPER-LASER LP-8400PS3	(第 19.3.4 項)

ESPER-LASER LP-9200PS2	(第 19.3.5 項)
FUJI XEROX DocuPrint 201PS	(第 19.4.1 項)
FUJI XEROX DocuPrint C1250	(第 19.4.2 項)
FUJI XEROX Laser Press 4410	(第 19.4.3 項)
DIGITAL Colorwriter LSR 2000 プリンタ	(第 19.5 節)
DIGITAL DECcolorwriter 1000 プリンタ	(第 19.6 節)
DIGITAL DEClaser 1152 プリンタ	(第 19.7 節)
DIGITAL DEClaser 3500 プリンタ	(第 19.8 節)
DIGITAL DEClaser 5100 プリンタ	(第 19.9 節)
DIGITAL Laser Printer LN15+	(第 19.10 節)
DIGITAL Laser Printer LN17+ps および LN17ps	(第 19.11 節)
DIGITAL Laser Printer LN40	(第 19.12 節)
Compaq および DIGITAL Laser Printer LNC02	(第 19.13 節)
HP 9085 MFP	(第 19.14 節)
HP LaserJet プリンタ	(第 19.15 節)
HP LaserJet 4MV プリンタ	(第 19.16 節)
HP LaserJet 5SiMX プリンタ	(第 19.17 節)
HP Color LaserJet 2500, LaserJet 2100 および 2200	(第 19.18 節)
HP LaserJet 4200, 4300, 9000 および 9000 MFP	(第 19.19 節)
HP LaserJet 8000, 8100 および 8150	(第 19.20 節)
Lexmark Optra Rt+	(第 19.21 節)
Lexmark Optra S	(第 19.22 節)
Xerox Phaser 4500, 6250, 7300, 7750 および 8400	(第 19.23 節)

19.1 リコー製日本語プリンタ

19.1.1 RICOH IPSiO SP 6120

制限事項

- 不正コピー抑止地紋印刷，不正コピーガード機能はサポートされません。
- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は，次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	本体上段給紙トレイ
2	本体下段給紙トレイ
3	500/250 枚増設トレイユニット上段 (オプション)

等価名	給紙トレイ
4	500/250 枚増設トレイユニット下段 (オプション)
5	本体手差しトレイ

19.1.2 RICOH IPSiO SP 6330

制限事項

IPSiO SP 6330 が持つオプションおよび機能のうち、次のものは日本語 DCPS ではサポートされません。

- 不正コピー抑止地紋印刷，不正コピーガード機能
- 機密印刷，試し印刷
- イメージオーバーレイ印刷
- IPSiO 拡張無線 LAN ボードタイプ A
- 拡張 1284 ボードタイプ A (パラレルインターフェース)

また，IPSiO SP 6330 の仕様により，以下の制限があります。

- A6，B6，Half Letter の用紙，郵便はがき，往復はがきは両面印字できません。

その他に，下記のような使用上の注意事項および制限事項があります。

- PAGE_LIMIT パラメータを使用して印刷した場合に，正しく印刷が完了した後にエラーを報告するページが追加で印刷される場合があります。
- パラメータ値 SIDES=ONE_SIDED_TUMBLE を指定した場合，ページの内容やマージンは正しく印刷されますが 180 度回転は行われません。
- 11x17 (DLT または LEDGER) の用紙に印刷する際に，パラメータ INPUT_TRAY を使用せずに SHEET_SIZE を指定して用紙選択を行った場合，正しく印刷されない場合があります。この場合は，INPUT_TRAY を指定して 11x17 の用紙を選択してください。

使用可能な用紙

各給紙トレイで以下の用紙が使用できます。

給紙トレイ	用紙の向きと使用可能なサイズ	
トレイ (標準)	縦送り	A3, B4, A4, B5, A5, A6, 11x17, Legal, Letter, Half Letter, 郵便はがき, 往復はがき
	横送り	A4, B5, A5, Letter, 往復はがき
手差しトレイ	縦送り	A3, B4, A4, B5, A5, B6, A6, 11x17, Legal, Letter, Half Letter, 郵便はがき, 往復はがき
	横送り	A4, B5, A5, Letter, 往復はがき
500 枚/250 枚増設トレイ	縦送り	A3, B4, A4, B5, 11x17, Legal, Letter

給紙トレイ	用紙の向きと使用可能なサイズ
	横送り A4, B5, A5, Letter

IPSiO SP 6330 がサポートしている用紙のうち、DCPS でサポートされる用紙サイズと、サイズ選択のために印刷パラメータ SHEET_SIZE に指定する値を次の表に示します。

用紙サイズ	SHEET_SIZE の値
A3	A3
A4	A4
A5	A5
A6	A6
B4	B4
B5	B5
B6	B6
11x17 (DLT)	LEDGER
Legal (14) (LG)	LEGAL
Letter (LT)	LETTER
Half Letter (HLT)	HALFLETTER
郵便はがき	POSTCARD
往復はがき	DOUBLEPOSTCARD

以下の用紙は DCPS ではサポートされません。

- 不定形サイズ,
- ハート社製レーザー専用封筒

給紙トレイ

印刷パラメータ INPUT_TRAY に次の値を指定することで給紙トレイを選択できます。

INPUT_TRAY の値	給紙トレイ
TRAY_1	給紙トレイ (標準)
TRAY_2	500 枚/250 枚増設トレイ (オプション) 上段
TRAY_3	500 枚/250 枚増設トレイ (オプション) 下段
MANUAL_FEED	本体手差しトレイ

排紙トレイ

印刷パラメータ OUTPUT_TRAY に指定可能な SP 6330 の排紙トレイは 1 つのみです。

OUTPUT_TRAY	排紙トレイ
STANDARD	本体排紙トレイ

両面印刷

DCPS では、印刷パラメータ SIDES に次の値を指定することで両面印刷を制御できます。

- 1, ONE, ONE_SIDED_SIMPLEX
- 2, TWO, TWO_SIDED_DUPLEX
- TUMBLE, TWO_SIDED_TUMBLE
- ONE_SIDED_DUPLEX
- ONE_SIDED_TUMBLE
- TWO_SIDED_SIMPLEX

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は次の表の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	本体上段給紙トレイ
2	500 枚/250 枚増設トレイ (オプション) 上段
3	500 枚/250 枚増設トレイ (オプション) 下段
0	本体手差しトレイ

19.1.3 RICOH IPSiO SP 8100

制限事項

- 1500 枚増設トレイはサポートされません。
- 不正コピー抑止地紋印刷、不正コピーガード機能はサポートされません。
- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。
- パンチ機能はサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	本体上段給紙トレイ
2	本体下段給紙トレイ

等価名	給紙トレイ
3	1000 枚給紙テーブル上段 (オプション)
4	1000 枚給紙テーブル下段 (オプション)
5	本体手差しトレイ

19.1.4 RICOH IPSiO SP C810

制限事項

- 不正コピー抑止地紋印刷, 不正コピーガード機能はサポートされません。
- 1000 枚中綴じフィニッシャー (中綴じ印刷機能) はサポートされません。
- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。
- パンチ機能はサポートされません。
- 4 ビン・プリント・ポストはサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は, 次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	本体上段給紙トレイ
2	本体下段給紙トレイ
3	500 枚増設トレイユニット (オプション) 1000 枚増設トレイユニット上段 (オプション) 2000 枚増設トレイユニット (オプション)
4	1000 枚増設トレイユニット上段 (オプション) 2000 枚増設トレイユニット (オプション)
5	1000 枚増設トレイユニット下段 (オプション)
6	本体手差しトレイ

19.1.5 RICOH IPSiO Color 4100

制限事項

- 不定形サイズ of 用紙はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

19.1.6 RICOH IPSiO Color 6500

制限事項

- 不定形サイズの下紙はサポートされません。
- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定する論理名、DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定するための等価名は次のとおりです。

等価名	給紙トレイ
1	本体トレイ
2	500 枚増設トレイ (オプション)
3	500 枚増設トレイ (オプション)
4	手差しトレイ

19.1.7 RICOH IPSiO Color 7100

制限事項

- 不定形サイズの下紙はサポートされません。
- IPSiO Color 7100 が持つ機能のうち、次のものは日本語 DCPS V2.1A ではサポートされません。
 - － 試し印刷
 - － 機密印刷
 - － パンチ機能

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定する論理名、DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は次のとおりです。

等価名	給紙トレイ
1	本体上段給紙トレイ
2	本体下段給紙トレイ
3	500 枚増設トレイユニット (オプション) 1000 枚増設トレイユニット上段 (オプション) 2000 枚増設トレイユニット (オプション)
4	1000 枚増設トレイユニット下段 (オプション)
5	本体手差しトレイ

19.1.8 RICOH IPSiO Color 8100, 8000

制限事項

- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。
- パンチ機能はサポートされません。
- 不定形サイズ用の紙はサポートされません。
- 手差しトレイから給紙する場合、ホチキス止めができません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	標準の給紙トレイ (上段)
2	標準の給紙トレイ (下段)
3	500 枚増設トレイ・ユニット, オプション 1000 枚増設トレイ・ユニット (上段), オプション 2000 枚増設トレイ・ユニット, オプション
4	1000 枚増設トレイ・ユニット (下段), オプション
5	手差しトレイ

19.1.9 RICOH PC LASER NX-510, NX-500

制限事項

- OT1 用紙サイズはサポートされません。
- オプションの拡張 RS-232C ボードによる DCPS からの印刷はサポートされません。

19.1.10 RICOH IPSiO NX710, NX700

制限事項

- オプションの拡張 RS-232C ボードによる DCPS からの印刷はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

19.1.11 RICOH IPSiO NX810, NX800

制限事項

- 仕分け印刷機能はサポートされません。
- 試し印刷はサポートされません。

- 機密印刷はサポートされません。
- 回転ソートはサポートされません。
- シフトソートはサポートされません。
- フォーム印刷はサポートされません。
- 手差しトレイにセットした用紙を印刷するときには、両面印刷およびホチキス止めの機能が使用できません。

NX810 におけるセパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
0	手差しトレイ
1	標準の給紙トレイ (上段)
2	標準の給紙トレイ (下段)
3	500 枚増設トレイ, オプション 1000 枚給紙テーブル (上段), オプション 2000 枚給紙テーブル, オプション
4	1000 枚給紙テーブル (下段), オプション

19.1.12 RICOH IPSiO NX850, NX750, NX730, NX720N

制限事項

- 試し印刷はサポートされません。
- 機密印刷はサポートされません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。
- 次の用紙はサポートされません。
 - 不定形サイズ
 - 封筒 (洋形 4 号)

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
0	手差しトレイ
1	標準の給紙トレイ
2	500 枚増設トレイ・ユニット, オプション
3	500 枚増設トレイ・ユニット, オプション

19.1.13 RICOH IPSiO NX920, NX910, NX900

制限事項

- パンチ機能はサポートされません。
- 仕分け印刷機能はサポートされません。
- 9 ビン・プリント・ポスト, 3000 枚フィニッシャを取り付けた場合, 用紙サイズによっては本体排紙トレイに排紙できません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は, 次の通りです。

等価名	給紙トレイ
0	手差しトレイ, オプション (NX900 にはありません)
1	標準の給紙トレイ (上段)
2	標準の給紙トレイ (下段)
3	1000 枚給紙テーブル (上段), オプション
4	1000 枚給紙テーブル (下段), オプション
5	1500 枚増設トレイ・ユニット, オプション

19.1.14 RICOH IPSiO NX1100, PC LASER NX-1000

制限事項

- ジョブ毎に排紙トレイ上の排紙される位置をシフト出力することはできません。
- パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

19.2 沖データ製日本語プリンタ

19.2.1 OKI COREFIDO B431dn

制限事項

COREFIDO B431dn が持つオプションおよび機能のうち, 次のものは日本語 DCPS ではサポートされません。

- スタンプ印刷
- 製本印刷
- 丁合印刷

また、以下のような使用上の注意事項および制限事項があります。

- マルチパーパス・トレイからの印刷時にファイル・セパレータ・ページ (FLAG, BURST, TRAILER) を指定すると、ページの内容が正常に印刷されない場合があります。マルチパーパス・トレイから印刷する場合は、セパレータ・ページの出力は指定しないでください。
- パラメータ値 SIDES=ONE_SIDED_TUMBLE を指定した場合、ページの内容やマージンは正しく印刷されますが 180 度回転は行われません。

使用可能な用紙

各給紙トレイで以下の用紙が使用できます。

給紙トレイ	用紙の向きと使用可能なサイズ	
用紙トレイ	縦送り	A4, A5, A6(トレイ 1 のみ), B5, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ, ステートメント (トレイ 1 のみ)
	横送り	
マルチパーパストレイ	縦送り	A4, A5, A6, B5, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ, ステートメント, 郵便はがき, 往復はがき, 封筒
	横送り	

COREFIDO B431dn がサポートしている用紙のうち、DCPS でサポートされる用紙サイズと、サイズ選択のために印刷パラメータ SHEET_SIZE に指定する値を次の表に示します。

用紙サイズ	SHEET_SIZE の値	
A4	A4	
A5	A5	
A6	A6	
B5	B5	
レター	LETTER	
リーガル (13 インチ)	FOLIO	
リーガル (14 インチ)	LEGAL	
エグゼクティブ	EXECUTIVE	
ステートメント	HALFLETTER	
郵便はがき	POSTCARD	
往復はがき	DOUBLEPOSTCARD	
封筒	Com-9	9_ENVELOPE
	Com-10	COM10
	Monarch	MONARCH
	DL	DL_ENVELOPE
	C5	C5_ENVELOPE
	C6	C6_ENVELOPE

用紙サイズ	SHEET_SIZE の値
封筒 1 (長形 3 号)	ENV1
封筒 2 (長形 4 号)	ENV2
封筒 3 (洋形 4 号)	ENV3

以下の用紙は DCPS ではサポートされません。

- リーガル (13.5 インチ)
- カスタム
- 16K
- 封筒フリー

給紙トレイ

印刷パラメータ INPUT_TRAY に次の値を指定することで給紙トレイを選択できます。

INPUT_TRAY	給紙トレイ
TRAY_1	ファーストトレイ (標準)
TRAY_2	セカンドトレイユニット (オプション)
MANUAL_FEED	マルチパーパストレイ

排紙トレイ

排紙方法 (フェイスダウン, フェイスアップ) の選択はプリンタのフェイスアップスタッカの操作で行ないます。

両面印刷

DCPS では、印刷パラメータ SIDES に次の値を指定することで両面印刷を制御できます。

- 1, ONE, ONE_SIDED_SIMPLEX
- 2, TWO, TWO_SIDED_DUPLEX
- TUMBLE, TWO_SIDED_TUMBLE
- ONE_SIDED_DUPLEX
- ONE_SIDED_TUMBLE
- TWO_SIDED_SIMPLEX

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	ファーストトレイ (標準)

等価名	給紙トレイ
2	セカンドトレイユニット (オプション)
4	マルチパーパストレイ

19.2.2 OKI COREFIDO B840dn

制限事項

COREFIDO B840dn が持つオプションおよび機能のうち、次のものは日本語 DCPS ではサポートされません。

- スタンプ印刷
- 製本印刷
- 丁合印刷
- 認証印刷, 暗号化認証印刷
- 確認印刷

また、以下のような使用上の注意事項および制限事項があります。

- マルチパーパス・トレイからの印刷時にファイル・セパレータ・ページ (FLAG, BURST, TRAILER) を指定すると、ページの内容が正常に印刷されない場合があります。マルチパーパス・トレイから印刷する場合は、セパレータ・ページの出力は指定しないでください。
- パラメータ値 SIDES=ONE_SIDED_TUMBLE を指定した場合、ページの内容やマージンは正しく印刷されますが 180 度回転は行われません。

使用可能な用紙

各給紙トレイで以下の用紙が使用できます。

給紙トレイ	用紙の向きと使用可能なサイズ	
用紙トレイ	縦送り	A3, A4, A5, B4, リーガル (13 インチ, 14 インチ), レター, タブロイド, エグゼクティブ
	横送り	A4, B5, レター
マルチパーパストレイ	縦送り	A3, A4, A5, A6, B4, B5, B6, リーガル (13 インチ, 14 インチ), レター, タブロイド, エグゼクティブ, ステートメント, 郵便はがき, 往復はがき, 封筒
	横送り	A4, B5, レター

COREFIDO B840dn がサポートしている用紙のうち、DCPS でサポートされる用紙サイズと、サイズ選択のために印刷パラメータ SHEET_SIZE に指定する値を次の表に示します。

用紙サイズ	SHEET_SIZE の値
A3	A3
A4	A4
A5	A5
A6	A6
B4	B4
B5	B5
B6	B6
レター	LETTER
リーガル (13 インチ)	FOLIO
リーガル (14 インチ)	LEGAL
タブロイド	LEDGER
エグゼクティブ	EXECUTIVE
ステートメント	HALFLETTER
郵便はがき	POSTCARD
往復はがき	DOUBLEPOSTCARD
封筒 Com-9	9_ENVELOPE
Com-10	COM10
Monarch	MONARCH
DL	DL_ENVELOPE
C4	C4_ENVELOPE
C5	C5_ENVELOPE
C6	C6_ENVELOPE
封筒 1 (長形 3 号)	ENV1
封筒 2 (長形 4 号)	ENV2
封筒 3 (洋形 4 号)	ENV3

以下の用紙は DCPS ではサポートされません。

- リーガル (13.5 インチ)
- カスタム
- 8K
- 16K
- 封筒 (洋形 0 号)
- 封筒 (角形 2 号)
- 封筒 (角形 3 号)
- 封筒フリー

給紙トレイ

印刷パラメータ INPUT_TRAY に次の値を指定することで給紙トレイを選択できます。

INPUT_TRAY	給紙トレイ
TRAY_1	ファーストトレイ (標準)
TRAY_2	セカンドトレイユニット (オプション)
TRAY_3	サードトレイユニット (オプション)
MANUAL_FEED	マルチパーパストレイ

排紙トレイ

排紙方法 (フェイスダウン, フェイスアップ) の選択は, プリンタのフェイスアップスタッカの操作で行います。

両面印刷

DCPS では, 印刷パラメータ SIDES に次の値を指定することで両面印刷を制御できます。

- 1, ONE, ONE_SIDED_SIMPLEX
- 2, TWO, TWO_SIDED_DUPLEX
- TUMBLE, TWO_SIDED_TUMBLE
- ONE_SIDED_DUPLEX
- ONE_SIDED_TUMBLE
- TWO_SIDED_SIMPLEX

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は, 次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	ファーストトレイ (標準)
2	セカンドトレイユニット (オプション)
3	サードトレイユニット (オプション)
4	マルチパーパストレイ

19.2.3 OKI MICROLINE 703N3, 701N3

制限事項

- B4 DIN 用紙はサポートされません (B4 JIS はサポートされます)。
- B5 DIN 用紙はサポートされません (B5 JIS はサポートされます)。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	トレイ 1
2	トレイ 2
4	フロント・フィーダ
5	エンベロープ・フィーダ, オプション

19.2.4 OKI MICROLINE 1035PS, 1032PS

制限事項

- ・ウォーターマーク印刷はサポートされません。
- ・丁合印刷はサポートされません。
- ・確認印刷はサポートされません。
- ・認証印刷はサポートされません。
- ・カスタムの用紙サイズはサポートされません。
- ・印刷パラメータ SHEET_SIZE を指定した場合、PAGE_SIZE に ENV1 ～ ENV4 を指定しても正しく反映されないことがあります。

使用可能な用紙

各給紙トレイでは、次の用紙が使用できます。

給紙トレイ	用紙の向きと使用可能なサイズ	
フロントトレイ	縦送り	A4, B5
	横送り	A3 ノビ, A3, A4, A5, A6, B4, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ, はがき, 往復はがき, 封筒 1, 封筒 2, 封筒 3, 封筒 4, Com-9, Com-10, DL, C5, C4, Monarch
トレイ 1, トレイ 2	縦送り	A4, B5
	横送り	A3 ノビ, A3, A4, A5, B4, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ
エンベロープフィーダ	縦送り	A4
	横送り	A4, A5, A6, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ, はがき, 往復はがき, 封筒 1, 封筒 2, 封筒 3, 封筒 4, Com-9, Com-10, DL, C5, C4, Monarch

MICROLINE 1035PS/1032PS がサポートしている用紙のうち、DCPS でサポートされる用紙サイズと、サイズ選択のために印刷パラメータ SHEET_SIZE に指定する値を次の表に示します。

用紙サイズ	SHEET_SIZE の値	
A3 ノビ	A3NOBI	
A3	A3	
A4	A4	
A4 横	A4L	
A5	A5	
A6	A6	
B4	B4	
B5	B5	
レター	LETTER	
リーガル (13 インチ)	FOLIO	
リーガル (14 インチ)	LEGAL	
エグゼクティブ	EXECUTIVE	
郵便はがき	POSTCARD	
往復はがき	DOUBLEPOSTCARD	
封筒	Com-9	9_ENVELOPE
	Com-10	COM10
	Monarch	MONARCH
	DL	DL_ENVELOPE
	C4	C4_ENVELOPE
	C5	C5_ENVELOPE
	封筒 1 (長形 3 号)	ENV1
	封筒 2 (長形 4 号)	ENV2
	封筒 3 (洋形 4 号)	ENV3
	封筒 4 (A4 サイズ)	ENV4

給紙トレイ

印刷パラメータの INPUT_TRAY に次の値を指定することで給紙トレイを選択できます。

INPUT_TRAY の値	給紙トレイ
MANUAL_FEED	フロントトレイ
TOP	トレイ 1
BOTTOM	トレイ 2
ENVELOPE_FEEDER	エンベロープフィーダ (オプション)

排紙トレイ

MICROLINE 1035PS/1032PS は標準トレイとフェイスアップトレイを持ちますが、プリンタ側で切り換えることしかできないため、OUTPUT_TRAY パラメータによる排紙トレイの選択はできません。

両面印刷

MICROLINE 1035PS/1032PS は両面印刷の機能を持たないため、SIDES パラメータによる両面印刷の指定はできません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	ファースト・トレイ
2	セカンド・トレイ
4	フロント・トレイ
5	エンベロープ・フィーダ, オプション

19.2.5 OKI MICROLINE 2030N, 2020N

制限事項

- ・ ウォーターマーク印刷はサポートされません。
- ・ 丁合印刷はサポートされません。
- ・ 確認印刷はサポートされません。
- ・ 認証印刷はサポートされません。
- ・ DCPS の OUTPUT_TRAY により排紙トレイの選択を行うことができません。
- ・ カスタム用紙はサポートされません。

使用可能な用紙

各給紙トレイでは、次の用紙が使用できます。

給紙トレイ	用紙の向きと使用可能なサイズ	
フロントトレイ	縦送り	A4, B5
	横送り	A3, A4, A5, A6, B4, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ, はがき, 往復はがき, 封筒 1, 封筒 2, 封筒 3, 封筒 4, Com-9, Com-10, DL, C5, C4, Monarch
トレイ 1, トレイ 2	縦送り	A4, B5
	横送り	A3, A4, A5, B4, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ
エンベロープフィーダ	縦送り	A4
	横送り	A4, A5, A6, レター, リーガル (13 インチ), リーガル (14 インチ), エグゼクティブ, はがき, 往復はがき, 封筒 1, 封筒 2, 封筒 3, 封筒 4, Com-9, Com-10, DL, C5, C4, Monarch

MICROLINE 2030N/2020N がサポートしている用紙のうち、DCPS でサポートされる用紙サイズと、サイズ選択のために印刷パラメータ SHEET_SIZE に指定する値を次の表に示します。

用紙サイズ	SHEET_SIZE の値
A3	A3
A4	A4
A4 横	A4L
A5	A5
A6	A6
B4	B4
B5	B5
レター	LETTER
リーガル (13 インチ)	FOLIO
リーガル (14 インチ)	LEGAL
エグゼクティブ	EXECUTIVE
郵便はがき	POSTCARD
往復はがき	DOUBLEPOSTCARD
封筒 Com-9	9_ENVELOPE
Com-10	COM10
Monarch	MONARCH
DL	DL_ENVELOPE
C4	C4_ENVELOPE
C5	C5_ENVELOPE
封筒 1 (長形 3 号)	ENV1
封筒 2 (長形 4 号)	ENV2
封筒 3 (洋形 4 号)	ENV3
封筒 4 (A4 サイズ)	ENV4

給紙トレイ

印刷パラメータの INPUT_TRAY に次の値を指定することで給紙トレイを選択できます。

INPUT_TRAY の値	給紙トレイ
MANUAL_FEED	フロントトレイ
TOP	トレイ 1
BOTTOM	トレイ 2
ENVELOPE_FEEDER	エンベロープフィーダ (オプション)

排紙トレイ

MICROLINE 2030N/2020N は標準トレイとフェイスアップトレイを持ちますが、プリンタ側で切り換えることしかできないため、OUTPUT_TRAY パラメータによる排紙トレイの選択はできません。

両面印刷

MICROLINE 2030N/2020N は両面印刷の機能を持たないため、SIDES パラメータによる両面印刷の指定はできません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	ファースト・トレイ
2	セカンド・トレイ
4	フロント・トレイ
5	エンベロープ・フィーダ, オプション

19.2.6 OKI MICROLINE 3020c, 3010c

制限事項

- 丁合印刷はサポートされません。
- 確認印刷はサポートされません。
- 認証印刷はサポートされません。
- 小冊子の作成はサポートされません。
- 次の用紙はサポートされません。
 - A3 ワイド (3020c の場合)
 - タブロイド・エクストラ (3020c の場合)
 - リーガル (13.5 インチ)
 - カスタム

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ	
	3010c の場合	3020c の場合
1	トレイ 1	トレイ 1
2	トレイ 2	トレイ 2
3	トレイ 3	トレイ 3
4	マルチパーパス・トレイ	マルチパーパス・トレイ
6	適用なし	トレイ 4
7	適用なし	トレイ 5

19.2.7 OKI MICROLINE 3020cV

制限事項

- 丁合印刷はサポートされません。
- 確認印刷はサポートされません。
- 認証印刷はサポートされません。
- 小冊子の作成はサポートされません。
- パンチはサポートされません。
- 印刷パラメータ SHEET_SIZE を指定した場合、PAGE_SIZE に ENV1 ～ ENV4 を指定しても正しく反映されないことがあります。
- 次の用紙はサポートされません。
 - A3 ワイド
 - タブロイド・エクストラ
 - リーガル (13.5 インチ)
 - カスタム
- 次の用紙に両面印刷することはできません。
 - A3 ノビ
 - A6
 - マルチパーパス・トレイから給紙した場合
- ホチキス止めを使用する場合、出力トレイがフィニッシャ下段トレイでなければなりません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	トレイ 1
2	トレイ 2
3	トレイ 3
4	マルチパーパス・トレイ
6	トレイ 4
7	トレイ 5

19.2.8 OKI MICROLINE 801PSIIV-LT, 802PSIIV, 803PSIIV

制限事項

- B4 DIN, B5 DIN 用紙サイズはサポートされません。

- オプションの Ethernet ボードによる DCPS から AppleTalk 経由の印刷はサポートされません。
- 給紙トレイに A4 用紙を横置きに装着できる 803PSIIV において、A4 用紙を横置きに装着した場合、SHEET_SIZE パラメータには A4L を指定してください。

19.2.9 OKI MICROLINE 900PSIII LT, 903PSIII

制限事項

- B4 DIN, B5 DIN, Executive 用紙サイズはサポートされません。
- オプションの Ethernet ボードによる DCPS から AppleTalk 経由の印刷はサポートされません。
- 給紙トレイに A4 用紙を横置きに装着できる 903PSIII において、A4 用紙を横置きに装着した場合、SHEET_SIZE パラメータには A4L を指定してください。
- 印刷実行時に INPUT_TRAY=MANUAL_FEED パラメータを指定する場合、プリント・ジョブに対してファイル・セパレータ・ページを指定することはできません。次のようなエラーが発生し、印刷できません。

```
%DCPS-W-RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds - offending
command is setpapertray
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to E0J) will be ignored
```

19.2.10 OKI MICROLINE 7300PS

制限事項

- リーガル用紙 (13.5 インチ) はサポートされません。
- カスタム用紙はサポートされません。
- 丁合印刷はサポートされません。
- 確認印刷はサポートされません。
- 認証印刷はサポートされません。
- 小冊子の作成はサポートされません。
- A6, はがき, 往復はがき, 封筒 (全種類) は両面印刷ができません。
- A6, はがき, 往復はがき, 封筒 (全種類) は標準トレイへの排紙ができません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	トレイ 1

等価名	給紙トレイ
2	トレイ 2
3	トレイ 3
4	マルチパーパストレイ

19.2.11 OKI MICROLINE 9300PS

制限事項

- SHEET_SIZE を指定した場合、PAGE_SIZE に ENV1 ～ ENV4 を指定しても正しく反映されない場合があります。
- 以下の用紙はサポートされません。
 - － A3 ワイド
 - － タブロイドエクストラ
 - － リーガル (13.5 インチ)
 - － カスタム
- 以下の用紙は両面印刷できません。
 - － A6, はがき, 往復はがき, 封筒全種類
- OKI MICROLINE 9300PS が持つ機能のうち、次のものはサポートされません。
 - － 丁合印刷
 - － 確認印刷
 - － 認証印刷
 - － 小冊子の作成
 - － パンチ
 - － A6, はがき, 往復はがき, 封筒全種類は, フェイスアップ・トレイに排紙する必要があります。
- OKI MICROLINE 9300PS のホチキス止め機能については弊社では動作確認していません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCP\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	トレイ 1
2	トレイ 2
3	トレイ 3

等価名	給紙トレイ
4	マルチパーパストレイ
6	トレイ 4
7	トレイ 5

19.3 セイコーエプソン製日本語プリンタ

19.3.1 InterLaser LP-9600SPD

制限事項

- Government Letter 用紙はサポートされません。
- F4 用紙はサポートされません。
- シフト出力機能はサポートされません。
- ソータ機能はサポートされません。
- マルチソータ機能はサポートされません。
- 10 ビン・マルチビン・ユニットの大容量 (スタッカ) モード機能はサポートされません。
- ホチキス止め機能はサポートされません。
- 両面印刷ユニットが必須です。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
1	カセット 1
2	カセット 2
3	カセット 3, オプション
4	カセット 4, オプション
5	カセット 5, オプション

19.3.2 InterLaser LP-8700PS3

制限事項

- スタンプ・マーク印刷はサポートされません。
- 製本印刷はサポートされません。
- 洋形 0 号の用紙サイズを指定した場合、「ヨウシサイズエラー」と表示されることがあります。

- 次の用紙はサポートされません。
 - F4
 - 不定形
 - 角形 2 号
 - GovernmentLetter

セパレータ・トレイの指定

- | | |
|---|--------------|
| 0 | 手差し |
| 1 | 用紙カセット 1 |
| 2 | 増設トレイ, オプション |
| 3 | 増設トレイ, オプション |

19.3.3 ESPER-LASER LP-9200PS3

制限事項

- A3W 用紙はサポートされません。
- Government Letter 用紙はサポートされません。
- F4 用紙はサポートされません。
- 往復はがきはサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
0	標準トレイ
1	カセット 1
2	カセット 2, オプション
3	カセット 3, オプション

19.3.4 ESPER-LASER LP-8400PS3

制限事項

- 往復はがきはサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPSS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
0	標準トレイ
1	上カセット
2	下カセット (オプション)

19.3.5 ESPER-LASER LP-9200PS2

制限事項

- A3 ノビ†, GOVT LEGAL, GOVT LETTER 用紙サイズはサポートされません。
- Ethernet インタフェースを使用しての DCPS から AppleTalk 経由の印刷はサポートされません。

19.4 富士ゼロックス製日本語プリンタ

19.4.1 FUJI XEROX DocuPrint 201PS

制限事項

- 封筒用紙はサポートされません。
- ユーザ定義用紙はサポートされません。
- セパレータ・トレイの指定はサポートされません。

19.4.2 FUJI XEROX DocuPrint C1250

制限事項

- 12x18"用紙はサポートされません。
- 8x10"用紙はサポートされません。
- SRA3 用紙はサポートされません。
- 非定型用紙はサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
0	トレイ 1
1	トレイ 2

† DCPS V1.3 で新たに追加された A3NOBI 用紙サイズは LP-9200PS2 では A3W に相当します。

等価名	給紙トレイ
2	トレイ 3
3	トレイ 4

19.4.3 FUJI XEROX Laser Press 4410

制限事項

- ・ 八開用紙はサポートされません。
- ・ 非定形用紙はサポートされません。
- ・ ホチキス止め機能はサポートされません。
- ・ オフセット・キャッチ機能はサポートされません。
- ・ パラレル・ポートによる接続はサポートされません。

セパレータページの給紙指定

セパレータページを給紙するトレイを指定するための論理名である DCPS\$queue-name_SEPARATOR_TRAY に指定する等価名は、次の通りです。

等価名	給紙トレイ
0	トレイ 1
1	トレイ 2 (オプション)
2	トレイ 3/大容量給紙トレイ 3 (オプション)
3	トレイ 4/大容量給紙トレイ 4 (オプション)

19.5 DIGITAL Colorwriter LSR 2000+ **プリンタ**

DIGITAL Colorwriter LSR 2000+ プリンタは、DIGITAL Colorwriter LSR 2000 のアップグレード機種です。DCPS ドキュメントの DIGITAL Colorwriter LSR 2000 についての記述は、DIGITAL Colorwriter LSR 2000+ プリンタについても適用されます。

19.5.1 装着されていない用紙サイズへの印刷要求

プリンタでサポートされていても、現在給紙トレイに装着されていない用紙サイズを指定した場合、プリンタは指定した用紙サイズを装着するよう要求します。別のプリンタの場合は、SIZNOTAVL エラーを表示して要求を拒否します。

19.5.2 INPUT_TRAY および PAGE_SIZE あるいは SHEET_SIZE パラメータ

Colorwriter LSR 2000 プリンタの制限により、DCPS では用紙サイズと給紙トレイの両方を指定することはできません。両方を指定しようとした場合、NOSHEETANDTRAY エラーが表示されます。いずれか一方だけであれば指定することができます。

19.5.3 ANSI トランスレータの 64 行出力の制限

Colorwriter LSR 2000 プリンタの上部マージンの最小値は 0.5 インチです。このため、A4 サイズの用紙に省略時のフォント・サイズで表示する場合に必要な 66 行よりも短い行に印刷領域を制限します。各ページの先頭行が印刷領域からはずれないようにするために、ANSI トランスレータは通常の出力を 64 行に制限します。

(NUMBER_UP=1) あるいは (LAYUP=COLORWRITER-2000-FULL-PAGE) パラメータを指定することにより、66 行を出力することができます。これらのパラメータにより、DCPS はイメージを縮小して印刷領域に収まるようにします。

19.6 DIGITAL DECcolorwriter 1000 プリンタ

19.6.1 プリンタ固有のセットアップ・モジュール

次の表に示すセットアップ・モジュールを使用することにより、各種プリンタの属性をユーザのプリント・ジョブ用に変更することができます。

セットアップ・モジュール	説明
DCW1000_STANDARD	300 x 300 dpi, 2 ppm の最速印刷
DCW1000_ENHANCED	300 x 300 dpi, ディザ拡張, 1.5 ppm
DCW1000_HIGHRES	300 x 600 dpi, ディザ拡張, 1 ppm
DCW1000_VIVDBLUE	紫よりも青
DCW1000_DISPLAY	写真輝度, モニタ表示のシミュレーション
DCW1000_SIMPRESS	新聞印刷シミュレーション
DCW1000_NOCORECT	色補正なし, 省略時の設定

たとえば、次のコマンドでは、300 x 600 DPI で鮮明な青色を印刷します。

```
$ PRINT /NOTIFY /SETUP=(DCW1000_VIVDBLUE,DCW1000_HIGRES) filename
```

19.7 DIGITAL DECclaser 1152 プリンタ

19.7.1 AppleTalk 使用時のジョブ削除後のプリンタのハング

DEClaser 1152 プリンタに印刷中のジョブを削除した場合に、次のすべての条件が存在すると、その次のジョブがハングします。

- DEClaser 1152 の AppleTalk (LocalTalk) ポートが使用されている場合。
- 削除されたジョブの多くのページがまだプリンタ・バッファに残っていて、ジョブの削除後もプリンタが継続して印刷中である場合。
- 前のジョブのすべてのページの印刷が完了する前に、次のジョブの印刷が始まった場合。

次のジョブは印刷されず、"Printing"状態でキューに残り、キューは "Stalled" 状態となります。この問題は、プリンタが AppleTalk 接続がレディ状態となる前に AppleTalk 接続を受け付けたためです。ハングしたジョブは一度削除した後に、再度登録しなければなりません。ジョブを削除するために、最大 90 秒かかります。

19.8 DIGITAL DEClaser 3500 プリンタ

19.8.1 プリンタ固有のセットアップ・モジュール

この項で説明されるモジュールは、DEClaser 3500 プリンタのみに適用されます。これらのモジュールは、解像度を拡張したり、トナー節約モードを有効にしたり、DECimage-Lite イメージ拡張技術のバージョンをプリンタにダウンロードするものです。

19.8.1.1 解像度の拡張用のセットアップ・モジュール

解像度の拡張用のセットアップ・モジュールは、テキストおよびグラフィックスの両方についてスムージング処理を行います。スムージングのレベルは、DARK セットアップ・モジュールで増加させ、LIGHT セットアップ・モジュールで減少させます。DARK 設定は細い線をやや太くしますが、望ましいものでない可能性があります。プリンタの工場出荷時の設定は、medium です。

- DL3500_RET_DARK
- DL3500_RET_MED
- DL3500_RET_LIGHT
- DL3500_RET_OFF

19.8.1.2 トナー節約モード用のセットアップ・モジュール

トナー節約モード用のセットアップ・モジュール DL3500_TSAVER は、すべての文字をアウトラインで印刷し、同様にグラフィックスの暗い部分もアウトラインで印刷します。この機能は文書のドラフトの印刷に有用であり、ページの解像度を medium とします。

19.8.1.3 DECimage-Lite 用のセットアップ・モジュール

DECimage-Lite 用のセットアップ・モジュールは、次の 5 つの異なるコントラスト (パンチ) を提供します。

DL3500_DI_HC	コントラストを 20% だけ増加させます
DL3500_DI_LC	コントラストを 20% だけ減少させます
DL3500_DI_BRIGHTER	輝度を 10% だけ増加させます
DL3500_DI_DARKER	輝度を 10% だけ減少させます
DL3500_DI_FLAT	グレイ・レベルの調整なしで、特別なハーフトーンを適用します。

注意:

- これらのモジュールは相互に排他的です。最後に指定したものが有効となります。
- DECimage-Lite 機能は、プリンタの RET 機能と競合します。いずれか 1 つを使用することはできますが、両方を使用することはできません。プリンタの RET の省略時の設定が有効となっている場合、DECimage-Lite セットアップ・モジュールは現在のジョブに対してその設定を無効とします。

19.8.1.4 セットアップ・モジュールの使用例

次の例は、特定のプリント・ジョブに対して暗さを強調するものです。

```
$ PRINT /SETUP=(DL3500_RET_DARK) file-name
```

19.8.2 FAX オプションの使用

[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]にあるファイルの例を使用することにより、DECclaser 3500 プリンタで FAX メッセージを送信することができます。また、これらのファイルをドライバ開発者およびエンド・ユーザに自由に配布することも可能です。これらのファイルは、DECclaser 3500 を FAX 送信機として使用するアプリケーションを持たない OpenVMS、UNIX、DOS の各オペレーティング・システム上でも使用することができます。Microsoft Windows 3.1 および Macintosh システムについては、FAX 送信用のドライバが利用可能であり、上記のファイルの代わりにそのドライバを使用しなければなりません。

DECclaser 3500 プリンタから FAX 送信する実際の PostScript ファイルあるいはテキスト・ファイルの前にこれらのヘッダ・ファイルを送信し、各アプリケーションに応じてヘッダ・ファイルを変更するようにします。各ファイルには多くのコメント行が含まれており、それらのファイルの編集法および使用法についての情報を含んでいます。さらに、[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]FAX_3500_PRINTME.PS ファイルは、ヘッダ・ファイルの使用法を説明しています。

- DL3500_SEND_FAX_PS.PS
任意の FAX 受信機で受信可能な標準 CCITT FAX 送信用の PostScript ファイルを送信するために使用されます。

- **DL3500_SEND_FAX_PS_SENDDPS.PS**
その他の DEClaser 3500 プリンタあるいはその他の PostScript FAX 受信機用の PostScript データとして PostScript ファイルを送信するために使用されます。受信機がその PostScript データを受信することができない場合、呼び出しは停止し、プリンタは CCITT データ形式のデータを再度作成した後、再度呼び出しを行います。
- **DL3500_SEND_FAX_TEXT.PS**
任意の FAX 受信機で受信可能な標準 CCITT FAX 送信用のテキスト・ファイルを送信するために使用されます。
- **DL3500_SEND_FAX_TEXT_SENDDPS.PS**
その他の DEClaser 3500 プリンタあるいはその他の PostScript FAX 受信機用の PostScript データとしてテキスト・ファイルを送信するために使用されます。受信機がその PostScript データを受信することができない場合、呼び出しは停止し、プリンタは CCITT データ形式のデータを再度作成した後、再度呼び出しを行います。

DEClaser 3500 のファックス・オプションを使用すると、すでにサポートされている PostScript およびテキスト・ファイルだけでなく ANSI 文書をファックス送信することができます。印字可能な ASCII 文字列だけで構成された文書は、`SYSS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]FAX_3500_PRINTME.PS` に記述されている命令に従うテキスト・ファイルとして送信することができます。あるいは、次に説明する ANSI 文書として送信することができます。タブ、改行、その他の制御文字、ANSI エスケープ・シーケンスを含む文書は、次に示す命令を使用して送信しなければなりません。

ANSI 文書をファックス送信するには、最初に OpenVMS 特権ユーザがファックス受信者に関する情報を含むファックス設定モジュールを作成する必要があります。設定モジュールが作成されると、`PRINT/SETUP` コマンドを使用して ANSI 文書を受信者に送信することができます。

1. 特定の受信者のファックス情報を含むファックス設定ファイルを作成します。
ファックスを CCITT 標準ファックス・マシンに送信するのか、DEClaser 3500 などの PostScript ファックス・デバイスに送信するかに応じて、`SYSS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]DL3500_SEND_FAX_PS.PS` あるいは `DL3500_SEND_FAX_PS_SENDDPS.PS` をテンプレートとして使用します。
2. ユーザ独自の PostScript 装置制御ライブラリがない場合は、システム管理者に作成を依頼してください。

```
$ LIBRARY /CREATE /TEXT SYSS$COMMON:[SYSLIB]library_name
```

ここで *library_name* は、ライブラリとして選択する名前です。

3. システム管理者は、DCPS_LIB 論理名が DCPS 装置制御ライブラリ (DCPS\$DEVCTL) およびユーザ独自の装置制御ライブラリの両方を示していることを確認しなければなりません。詳細については、『DCPS システム管理者ガイド』および SYS\$STARTUP:DCPS\$STARTUP.COM コマンド・プロセスのコメント行を参照してください。

DCPS_LIB の定義を変更した場合、ファックス送信に使用している DCPS キューを一度停止した後に、再度起動する必要があります。

4. 続いて、システム管理者はファックス設定ファイルからファックス設定モジュールを作成します。

```
$ LIBRARY /INSERT /TEXT -  
_ $ SYS$COMMON:[SYSLIB]library_name fax_settings_file
```

ここで、*fax_settings_file* はファックス情報を含むファイルです。

以上の設定が完了すると、次のコマンドを使用して ANSI 文書をファックス送信することができます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=DATA_TYPE=ANSI -  
_ $ /SETUP=fax_settings_module fax_file
```

ここで、*fax_settings_module* はシステム管理者が作成した設定モジュールで、*fax_file* はファックス送信しようとしている ANSI 文書です。

19.9 DIGITAL DEClaser 5100 プリンタ

19.9.1 プリンタ固有のセットアップ・モジュール

次のページ保護セットアップ・モジュールは、出力されるページのビットマップを調整します。

表 19-1 DEClaser 5100 プリンタ・ページ保護セットアップ・モジュール

セットアップ・モジュール	説明
DL5100_PAGEPROT_ON	フル・ページ・ビットマップ
DL5100_PAGEPROT_OFF	部分ページ・ビットマップおよびバンディング

フル・ページ・ビットマップの使用はページ保護と呼び、この場合には、ページが印刷できないほど複雑になる可能性はほとんどありません。しかし、メモリ容量が少ない場合には、要求された解像度を実現できない可能性があります。

ページ保護設定は解像度設定より優先順位が高くなります。メモリ容量の不足により 2 つのグループで矛盾が発生する場合には、要求されたページ保護モードの方が優先されます。これらのモジュールを使用する場合に、PRINT コマンド・ライン

に/NOTIFY スイッチを追加すると、プリンタから通知されるメッセージを見ることができます。モジュールは次のとおりである。

これらのモジュールを PRINT コマンド・ラインに指定する順序に、特に制限はありません。

注意

要求を満足するのに必要なメモリ容量がプリンタに不足しており、ジョブを印刷するためにパラメータを変更した場合には、そのことを示すメッセージが出力されます。また、変更されたパラメータもメッセージに示されます。次の例はこのメッセージを示しています。データはそれぞれの状況に応じて異なります。

```
%%[ ConfigInfo: Insufficient printer resources.  
Resolution set to [300 300] - Page-Protection ON ]%%
```

次は、600 DPI で印刷し、ページ保護を有効とする例です。

```
$ PRINT /NOTIFY /SETUP=(DL5100_PAGEPROT_ON,RES_600X600) filename
```

19.9.2 LocalTalk ポート上の PCL ジョブのエラー

LocalTalk ポートを経由してネイティブ PCL インタプリタを使用した PCL ファイルを印刷する場合、PCL ジョブの最後で次のエラーが発生する可能性があります。

```
%DCPS-W-UNDEF, undefined: Name not known - offending command  
is <1B>E<1B>
```

```
%DCPS-E-FLUSHING, Rest of Job (to E0J) will be ignored
```

ファイル全体は印刷されますが、プリンタがハングしている可能性があります。フロント・パネルにPS Localtalkと表示している場合は、ハングしていることを示します。通常の操作に復帰するには、プリンタのフロント・パネルのResetを押してください。

19.10 DIGITAL Laser Printer LN15+

DIGITAL Laser Printer LN15+ プリンタは、DIGITAL Laser Printer LN15 のアップグレード機種です。DCPS ドキュメントの DIGITAL Laser Printer LN15 についての記述は、DIGITAL Laser Printer LN15+ についても適用されます。

19.10.1 無関係な USERDATA メッセージの表示

DCPS ジョブが出力待ちである場合、LN15+ に現在出力中のジョブから USERDATA メッセージが表示されます。たとえば出力時に /NOTIFY 修飾子を指定した場合は、このようなメッセージは画面に表示されます。ジョブには影響しないため、このメッセージは無視してください。

19.10.2 給紙トレイの選択

オプションの下段トレイに上段トレイとは異なるサイズ of 用紙が装着されていた場合、下段トレイに出力しようとする、不正な出力となるか、あるいはエラー・メッセージが表示されます。INPUT_TRAY=BOTTOM および PAGE_SIZE あるいは SHEET_SIZE のいずれかのパラメータを使用して、給紙トレイおよび用紙サイズの両方を指定した場合、SIZNOTRAY エラーが発生します。用紙サイズを指定しないで INPUT_TRAY=BOTTOM を指定した場合は、不正な位置に出力されたり、一部が欠けて出力されます。この問題の回避策は、用紙サイズだけを指定して下段トレイを選択することです。

19.10.3 エラーの発生したジョブが完了しない可能性

不正なジョブ・パラメータを指定した場合、あるいはジョブで PostScript エラーが発生した場合、ジョブが完了しない可能性があります。これは、LN15+ プリンタが DCPS に対して常にエラー・メッセージを送信しているわけではないためです。DELETE/ENTRY コマンドを使用してキューからそのジョブを削除し、プリンタが別のジョブからも使用できるようにします。また、プリンタが "PS Error 19" を表示している場合は、プリンタの CONTINUE ボタンを押して出力を再開させる必要があります。プリンタの PostScript タイムアウト値を 0 に設定しておく、プリンタのボタンを押す必要がありません。

19.10.4 ジョブが障害通知を行わない可能性

/NOTIFY 修飾子を指定して出力中に、障害が発生したジョブは、障害メッセージを通知しない可能性があります。そのようなエラーが発生した場合には、DCPS エラー・ページが出力されます。

19.11 DIGITAL Laser Printer LN17+ps および LN17ps

DIGITAL Laser Printer LN17+ps は DIGITAL LN17ps プリンタのアップグレード機種です。DIGITAL LN17ps プリンタについての DCPS ドキュメントの記述は、DIGITAL Laser Printer LN17+ps に対しても適用されます。

19.11.1 LN17ps での出力の制限

次のような状態の場合に、LN17ps でのプリンタ出力が制限されることがあります。

- INPUT_TRAY 値を FRONT あるいは MULTIPURPOSE のいずれかに指定した場合
- 用紙サイズを指定した場合
- 要求された用紙サイズの印字可能領域が、コンソールで指定したマニュアル・トレイのサイズよりも大きな場合

このような制限を避けるには、INPUT_TRAY=MANUAL_FEED を使用します。

LN17ps の用紙サイズとともに INPUT_TRAY 値を FRONT あるいは MULTIPURPOSE のいずれかに指定した場合、DCPS はコンソールで指定したマニュアル・トレイのサイズに用紙サイズを一致させるように要求します。

19.12 DIGITAL Laser Printer LN40

19.12.1 シフト排紙およびソート

DIGITAL Laser Printer LN40 プリンタのコンソールで OFFSET STACKING 設定を ON にしている場合、次の問題が生じることがあります。

- SHEET_COUNT パラメータ値に 1 よりも大きな値を指定した場合、ジョブ・セパレート・ページおよびファイル・セパレート・ページはユーザ・ジョブとは異なる位置にシフト出力されます。さらに、ジョブの各ページのコピーは、前のページのコピーとは異なる位置にシフト出力されます。
- 文書を PC 上で作成した場合、あるいは文書に印刷部数を指定した PostScript コマンドが含まれる場合、期待通りのシフト排紙あるいは部数が得られない可能性があります。たとえば、文書が 1 部だけしか出力されない可能性や、相互に異なる位置にソートされたコピーが出力される可能性があり、ジョブのトレーラ・ページを指定した場合は、文書の最初の部数の出力後に、トレーラ・ページが出力される可能性などがあります。

上記の制限を回避するには、PRINT コマンドに SHEET_COUNT パラメータではなく、/COPIES あるいは /JOB_COUNT 修飾子を指定するようにします。また、PC 上で作成した文書の場合は、1 以外のコピー部数を指定しないようにしてください。

- プリンタの COLLATION 設定が OFF の場合、LN40 の電源投入後最初に印刷される DCPS ジョブは、すべてのページを前のページとは異なる位置にシフト出力します。この問題の回避策はありません。

19.13 Compaq および DIGITAL Laser Printer LNC02

Compaq Laser Printer LNC02 と DIGITAL Laser Printer LNC02 は同じです。DCPS のドキュメントで DIGITAL Laser Printer LNC02 について記述されている説明は、Compaq Laser Printer LNC02 にも適用されます。

19.13.1 不正確な用紙数

LNC02 プリンタの制限により、ジョブ・トレイラ・ページおよび OpenVMS アカウンティング・ファイルで通知される用紙数は正しくありません。現在のところ対処法は報告されていません。ただし、LNC02 にはプリンタの使用状況を追跡するために使用することができるアカウンティング機能を持っています。

19.14 HP 9085 MFP

19.14.1 デフォルト以外の用紙サイズの選択

このプリンタは、DCPS がプリントジョブで要求したすべての情報を返しません。特に、要求されたトレイの用紙サイズは DCPS にはわかりません。このため、トレイに入っている用紙がそのプリンタのデフォルトのサイズでない場合は、トレイ名だけで用紙を選択することはできません。INPUT_TRAY が指定され、そのトレイにデフォルト以外のサイズの用紙が入っている場合、そのプリンタは、要求されたサイズの用紙をロードするようにメッセージを出します。

デフォルト以外のサイズの用紙が入っているトレイを選択するには、INPUT_TRAY パラメータの代わりに、MEDIA_TYPE、PAGE_SIZE、および SHEET_SIZE を組み合わせて使用してください。

19.15 HP LaserJet プリンタ

19.15.1 ANSI テキストの不完全な印刷

HP LaserJet IIID, LaserJet IIISi, LaserJet 4M, LaserJet 4ML, LaserJet 4MX, LaserJet 4SiMX プリンタは、その他のプリンタよりも少々小さな印刷領域を持っています。その結果、1 ページ毎に 66 行を使用する ANSI テキスト・ファイルを印刷する場合、66 行目の最後の 3 ポイントが印刷されません。

レイアウト・オプションを使用することでこの制限に対処することができます。1 つの対処法は、次のオプションを持つレイアウト定義ファイルを作成して使用することです。

```
noborders
margins = 0, 3, 0, 0
```


あるいは、これらをオプションをコマンド行に直接入力することもできます。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(LAYUP="(NOBORDERS;MARGINS=0,3,0,0)")
```

LaserJet 5M プリンタにも ANSI テキストの 66 行目に同様の制限がありますが、最後のマージンを 3 ポイントではなく 11 ポイントを指定しなければなりません。

19.16 HP LaserJet 4MV プリンタ

19.16.1 用紙サイズ B5 のサポート

4MV プリンタは、JIS B5 および ISO B5 用紙サイズの両方をサポートします。このプリンタでは、JIS サイズは用紙として認識され、ISO サイズは封筒として認識されます。DCPS では、B5 用紙サイズを指定するオプションは 1 つしかありません。DCPS は、2 つの B5 サイズを次のように処理します。

パラメータ	構成	結果
SHEET_SIZE=B5	トレイ xxx に ISO が装着されている	トレイ xxx の用紙に ISO イメージ領域のページが出力される
SHEET_SIZE=B5	トレイ xxx に JIS が装着されている	DCPS は "B5 medium not loaded in printer_name" というメッセージを通知する
INPUT_TRAY=xxx, SHEET_SIZE=B5 (xxx は MANUAL_FEED)	トレイ xxx に ISO あるいは JIS が装着されている	B5 の種類に関わらず、トレイ xxx の用紙に ISO イメージ領域のページが出力される
INPUT_TRAY=xxx, SHEET_SIZE=B5 (xxx は MANUAL_FEED 以外の任意のもの)	トレイ xxx に ISO あるいは JIS が装着されている	トレイ xxx の用紙に B5 の種類に応じた正しいイメージ領域のページが出力される

19.17 HP LaserJet 5SiMX プリンタ

19.17.1 B5 用紙サイズのサポート

5SiMX プリンタは、JIS B5 および ISO B5 用紙サイズの両方をサポートします。DCPS は第 19.16.1 項で説明しているように 2 つの B5 サイズを処理します。

19.17.2 オプション・メールボックス

DCPS は HP 5SiMX プリンタのオプション・メールボックス・ビンに 1 から 8 までの番号を付けます。この番号はビン側面のプラスチックに刻印された番号と一致します。5SiMX コンソールでは、同一のビンを 2 から 9 の番号に対応付けします。

19.18 HP Color LaserJet 2500, LaserJet 2100 および 2200

19.18.1 用紙サイズの選択に関する制限事項

HP Color LaserJet 2500, LaserJet 2100 および 2200 プリンタは、トレイに入っている用紙のサイズを検知しません。このため、これらのプリンタで DCPS を使用する場合、以下の制限事項が適用されます。

- 用紙サイズでメディアを選択することはできません。
- デフォルトとは違うサイズの用紙がトレイに充填されている場合も、DCPS はそれらをデフォルトのサイズとして認識します。たとえばデフォルトの用紙サイズがレターの場合、リーガル・サイズのドキュメントをリーガル・サイズの用紙に印刷する際もデフォルトのレター・サイズに切り捨てられて印刷されます。

19.19 HP LaserJet 4200, 4300, 9000 および 9000 MFP

19.19.1 ホチキス止め機能

排紙トレイ STACKER および STAPLER は、プリンタのオプション・フィニッシャに含まれている同じトレイを指します。

ホチキス止め機能を指定する推奨方法は、DCPS パラメータの STAPLE を使用することです。このパラメータでは、4つの異なるホチキス止めの位置が提供されており、ホチキス止め位置を決定する際にページの向きが考慮されます。したがって、STAPLE パラメータで出力のホチキス止めを指定する場合には、OUTPUT_TRAY=STACKER を使用します。

OUTPUT_TRAY=STAPLER を指定した場合、プリンタは省略時の設定により、省略時のホチキス止め位置にホチキス止めをし、出力します。ジョブ・バースト・ページおよびジョブ・フラグ・ページがある場合は、ジョブへホチキス止めされます。

指定されたプリンタの給紙方向およびページ方向によっては、一部のホチキス止めの位置を使用できません。また、HP LaserJet 9000 で使用可能なホチキス止めの位置は、LaserJet 4200 および 4300 の場合よりも多くなっています。LaserJet 4200 および 4300 で使用可能な位置は、ポートレート出力では左上隅のみ、ランドスケープ出力では右上隅のみです。

19.20 HP LaserJet 8000, 8100 および 8150

19.20.1 オプション・メールボックス

HP LaserJet 8000 プリンタのオプション設定に応じて、DCPS は、このプリンタのオプション・メールボックス・ビンに、1 から 5、1 から 7、または 1 から 8 のいずれかの番号を付けます。これは、ビン側面のプラスチックに刻印された数字に一致します。これに対し、プリンタのコンソールでは、これらのビンに 2 から 9 の番号を付けて参照します。使用しているプリンタ・モデルの番号付け、および異なるオプションと構成によるトレイの目的についての詳細は、『HP LaserJet User Guide』を参照してください。

19.21 Lexmark Optra Rt+

19.21.1 B5 用紙サイズのサポート

Optra Rt+ プリンタは、JIS B5 および ISO B5 用紙サイズの両方をサポートします。DCPS は第 19.16.1 項で説明しているように 2 つの B5 サイズを処理します。

19.22 Lexmark Optra S

19.22.1 Otherenvelope および Universal 用紙サイズの印刷

Lexmark Optra S プリンタでは、Otherenvelope および Universal の用紙サイズに印刷することができます。Otherenvelopetray (612 x 996) および Universal (612 x 1020) は、Legal (612 x 1008) とは異なるページ・サイズです。しかし、Legal (600 x 996) と同じイメージ領域を持っているため、これらは同じサイズとして処理されます。これらのサイズが必要なユーザは、PAGE_SIZE=LEGAL と指定します。

19.23 Xerox Phaser 4500, 6250, 7300, 7750 および 8400

19.23.1 メディア・タイプ・セレクション機能の制限

これらのプリンタでは、メディア・タイプで用紙を選択することはできません。MEDIA_TYPE パラメータに値を指定した場合、その要求は無視されます。

システム・メッセージとエラーからの回復

ここでは、DPCS ソフトウェアが出力するシステム・メッセージについて説明します。これらのメッセージは、DCPS の機能コードによって識別されます。OpenVMS オペレーティング・システムが出力するその他のメッセージについては、『HP OpenVMS System Messages: Companion Guide for Help Message Users』を参照するか、HELP/MESSAGE コマンドでオンライン・ヘルプ・メッセージ・ユーティリティを使用してください。

この付録には、次の節が含まれています。

- システム・メッセージの概要、第 A.1 節
- メッセージの説明、第 A.2 節
- レイアアップ定義 (BADLAYDEF) メッセージ、第 A.3 節

A.1 システム・メッセージの概要

DECprint Supervisor システム・メッセージは、その宛先をもとにシステム・オペレータに送信されるメッセージと、ユーザに送信されるメッセージの 2 種類に分類されます。

ユーザ・メッセージを受信するには、PRINT コマンドに/NOTIFY 修飾子を指定します。メッセージはプリント要求に対する応答として送信され、また、プリント要求に影響を与えるシステム条件への応答として送信されます。

オペレータ・メッセージを受信するには、オペレータ (OPER) 特権が必要であり、REPLY /ENABLE=PRINTER コマンドを実行する必要があります。以上で、ホスト・システムに通知されるオペレータ・メッセージを受信することができます。

注意

システム管理者は、オペレータ・メッセージを受信できるよう、OPCOM が起動されていることを確認してください。次のコマンドを実行して OPCOM を起動します。

```
$ @SYSSYSTEM:STARTUP OPCOM
```

REPLY /ENABLE=PRINTER コマンドを実行する前に、OPCOM を起動してください。

DECprint Supervisor システム・メッセージは次のいずれかの形式です。

%fac-s-ident, text

-fac-s-ident, text

コード	意味
%	すべての主メッセージの接頭辞
-	すべての継続メッセージの接頭辞
fac	機能コード, DCPS でなければなりません
s	メッセージの重大度レベル
ident	メッセージ・テキストの省略形
text	メッセージの完全なテキスト

DECprint Supervisor システム・メッセージの重大度レベルは次のとおりです。

コード	意味
S	Success (正常終了) — 要求は正常終了しました。
I	Informational (情報) — ユーザの対処を必要とする場合があります。
W	Warning (警告) — 要求は終了していない可能性があり, ユーザの処置を必要とする場合があります。
E	Error (エラー) — システムで回復可能なエラーが検出されました。
F	Fatal (致命的なエラー) — システムで回復不可能なエラーが検出され, この要求の処理を継続できません。

A.2 メッセージの説明

ここに示すメッセージの説明は, メッセージ・コードの *ident* の部分のアルファベット順にならべられています。メッセージの接頭辞, 機能コード, および重大度コードは示されていません。機能コードが DCPS 以外の場合には, 『HP OpenVMS System Messages: Companion Guide for Help Message Users』を参照するか, HELP/MESSAGE コマンドでオンライン・ヘルプ・メッセージ・ユーティリティを使用してください。

対処法に SPR (Software Performance Report) の提出が要求されている場合には, 提出方法について『Introduction to HP OpenVMS System Management』を参照してください。

BAD_DATA TYPE, Unexpected data type *data-type* at line *n* in DCPS\$FILE_
EXTENSION_DATA_TYPE file

説明: ファイル SYS\$LIBRARY:DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_
TYPE.DAT[_DEFAULT]に指定されているデータ・タイプは, 期待されるデ

ータ・タイプと異なります。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者はファイル内で問題のデータ・タイプを修正しなければなりません。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

BAD_DEVCTL, Bad library device control specification — *string*.

説明: 装置制御ライブラリで *string* によって示される構成要素の指定に誤りがある場合には、このメッセージが表示されます。

対処法: 指定を変更し、キューを再起動してください。

BAD_FILETYPE, Unexpected file type *file-extension* at line *n* in DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE

説明: ファイル SYS\$LIBRARY:DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[_DEFAULT]に指定されているファイル・タイプは期待されるファイル・タイプと異なります。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者は問題のファイル・タイプを修正しなければなりません。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

BADLAYDEF, *condition* on line *line-number* in layup definition

説明: プリント・ジョブに指定されているレイアップ定義ファイルにエラーがあります。

対処法: BADLAYDEF レイアップ定義エラー・メッセージに *condition* として表示される可能性のあるテキストについての説明は、第 A.3 節を参照してください。エラー・メッセージに示されたレイアップ定義ファイル内の行を確認してください。

BADLIBNAM_IGNORE, Bad library name *library-name*; ignored

説明: プリント・シンビオントがライブラリ検索リストから *library-name* を見つけることができなかったか、またはライブラリの構文が正しくありませんでした。

対処法: プリンタ・スタートアップ・ファイル, SYS\$STARTUP:DCP\$STARTUP.COM の検索リストに定義されている装置制御ライブラリのリストを確認してください。指定されているライブラリが SYS\$LIBRARY に登録されているかどうかを確認してください。

BAD_LIBRARY_NAME, Bad library name *library-name*; used *qualified-library-specification*

説明: 指定された *library-name* にライブラリ・ファイル名と異なる情報が登録されています。

対処法: SYS\$STARTUP:DCP\$STARTUP.COM のライブラリ検索リストの要素を確認してください。このファイルにはライブラリ・ファイル名だけを指定することができます。ノード名、装置名、ディレクトリ名、ファイル・タイプは指定できません。

BADOPC, OPC belt is bad

説明: OPC ベルトを交換しなければなりません。

対処法: 『LN03R ScriptPrinter Operator's Guide』の説明に従って、OPC カートリッジを注意深く交換してください。

BADOPCTONERUFL, OPC belt is bad and or toner empty

説明: トナー・カートリッジが空であるか、または OPC ベルトを交換しなければなりません。

対処法: トナー・カートリッジと OPC カートリッジの両方を交換してください。それぞれの交換キットに示されている指示に従うか、または『LN03R ScriptPrinter Operator's Guide』の説明に従ってください。

BAD_PUNCTUATION_GETTOKEN, Unexpected punctuation for a file type
punctuation at line *n* in DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE file

説明: ファイル SYS\$LIBRARY:DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[_DEFAULT]の構文が期待される構文ではありません。ファイル・タイプの後にカンマ(,)またはコロン(:)が必要です。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者はファイル内の問題の句読点を修正しなければなりません。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

BAD_PUNCTUATION_READDEF, Unexpected punctuation following a data type
punctuation at line *n* in DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE file

説明: ファイル SYS\$LIBRARY:DCPS\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[_DEFAULT]の構文が期待される構文と異なります。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者はファイル内で問題の句読点を修正しなければなりません。データ・タイプの後にコロン(:)が必要です。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

BADVMSVER, This product requires VMS version x.x or later to install

説明: DCPS ソフトウェアは、現在システムで実行されている OpenVMS オペレーティング・システムのバージョンより新しいバージョンを必要とします。

対処法: オペレーティング・システムを適切なバージョンにアップグレードしてください。

CANTCHECKPNT, Checkpointed job *job-number* is requeued

説明: プリント・ジョブが停止され、キューに再登録されました。ジョブは先頭から印刷されます。

対処法: 印刷された出力を確認してください。出力が不完全な場合には、ジョブをキューに再登録してください。

CANTUSETRN, Translator from *data-type* to PostScript is unusable

説明: トランスレータで重大なエラーが発生し、使用不可能としてマークされました。データ・タイプが *data-type* である後続のジョブでもこのメッセージが出力され、シンビオントによって保留状態に設定されます。

対処法: プリント・キューを再起動してください。この処理を実行すると、トランスレータの新しいイメージがロードされます。キューを再起動するときに、保留状態のジョブの保留を解除してください。この問題は、弊社のサポート担当に報告してください。

CFGERROR, configuration error: invalidmediumcode — offending command is *string*

説明: *string* によって表現される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがこのエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルの印刷でエラーが発生した場合には、エラーの原因は変換処理にあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、弊社のサポート担当にこの問題を報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイルまたはその PostScript ファイルを作成したプログラムにエラーがあります。エラーの原因を突き止めるには、『ページ記述言語 PostScript リファレンス・マニュアル第3版』を参照してください。修正したファイルをキューに再登録してください。

CMEMERR, Internal controller memory error

説明: DECprint Supervisor がプリンタ・コントローラからメモリ障害を検出しました。

対処法: 弊社カスタマ・サービスに連絡してください。また、『LN03R ScriptPrinter Operator's Guide』も参照してください。

CONAPPLICATION, Connection request is not to a LAT applications port

説明: システムが認識しない LAT アプリケーション・ポートへの接続が要求されました。

対処法:

SYS\$STARTUP:LAT\$SYSTARTUP.COM に正しいアプリケーション・ポート名を指定し、キューを再起動してください。

CONTERMINATED, Connection abnormally terminated

説明: ローカル・エリア Ethernet への接続が異常終了しました。PrintServer プリンタの場合には、プリンタの電源が切断されたか、またはケーブルが切断されました。

対処法: DECserver 装置に電源が投入されていることと、プリンタに接続している DECserver ポートの属性が『DCPS インストレーション・ガイド』に示されている属性と一致することを確認してください。その後、キューを再起動してください。

CONTIMEOUT, Connection timed out, server not available, or incorrect server name specified

説明: 接続時間切れが発生しました。使用不可能なサーバを選択したか、または指定したサーバ名が誤っています。時間切れの値は5秒です。

対処法: 使用可能な状態のサーバの正しいサーバ名を指定してください。その後、キューを再起動してください。

DATAOVERUN, Data overrun

説明: このメッセージは通信エラーを示します。

対処法: プリンタに対して現在より遅い通信速度を設定してください。

DATA_TYPE_MISMATCH, *file-tag* tagged file being processed as *data-type*

説明: DATA_TYPE パラメータに指定したデータ・タイプと異なるデータ・タイプを示すインストラクションがファイルに登録されています。

対処法: ファイルは省略時のデータ・タイプを使用して処理されます。それが正しいデータ・タイプである場合には、プリント・ジョブは正しく処理されます。プリント・ジョブが異常終了した場合には、印刷のためにファイルをキューに再登録し、DATA_TYPE パラメータに適切なデータ・タイプを指定してください。

DICTFULL, dictfull: No more room in dictionary — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルの印刷でこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社から提供されたトランスレータを使用している場合には、弊社のサポート担当にこの問題を報告してください。

PostScript ファイルを印刷しているときにこのメッセージが表示された場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社から提供されたアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

DICTSTKOV, dictstackoverflow: Too many begins

説明: PostScript インタプリタが、対応する end のない begin を検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

DICTSTKUF, dictstackunderflow: Too many ends

説明: PostScript インタプリタが、対応する **begin** のない **end** を検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

DISABLED, PrintServer is currently disabled and cannot accept jobs

説明: ジョブを受け付けることができない PrintServer プリンタに対して、プリント・ジョブをキューに登録しました。

対処法: その PrintServer でジョブを受け付けることを許可してください。

DPLXNOSUP, printer-name does not support duplex printing

説明: このプリンタは両面印刷をサポートしません。

対処法: 両面印刷を要求せずにプリント・ジョブをキューに再登録するか、または両面印刷をサポートするプリンタにプリント・ジョブを送信してください。

DPXFJAM, Please clear paper jam caused by DPX feed path

説明: プリンタで紙詰まりが発生しました。

対処法: 紙詰まりを取り除くと、プリント・ジョブは継続されます。

DRIVEERR, Print Engine driving unit error — FATAL ERROR

説明: ScriptPrinter プリント・ドライバに致命的な問題があります。

対処法: 弊社カスタマ・サービスに連絡してください。また、『LN03R ScriptPrinter Operator's Guide』のサービスに関する章を参照してください。

DTSCOPEN, Print Engine developer tray/side cover is open

説明: 現像トレイが開いているか、または側面カバーが開いています。

対処法: 現像トレイまたは側面カバーを閉じてください。

EJECTJAM, Print engine paper eject section is jammed

説明: これは LN03 イメージ・プリンタ・メッセージであり、プリンタの排紙部分で紙詰まりが発生したことを示します。

対処法: 紙詰まりを取り除いた後、現在のジョブをキューに再登録してください。

ENVELDONTDUP, Envelopes cannot be printed duplex

説明: プリント・ジョブで用紙サイズとして封筒が要求され、両面印刷または両面タンブル印刷が要求されました。

対処法: 封筒の両面に印刷することはできません。プリント要求をキューに再登録するときに、用紙サイズを変更するか (SHEET_SIZE, PAGE_SIZE, または INPUT_TRAY=ENVELOPE_FEEDER), またはページ・レイアウトの選択 (SIDES パラメータ) を片面印刷に変更してください。

EXECSTKOV, Exec nesting is too deep — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

EXITSRVR, exitserver has been executed — permanent state may be changed

説明: PostScript オペレータ *exitserver* が正しく実行されました。永久的な PostScript システム・パラメータが変更される可能性があります。

対処法: 処置は必要ありません。

EXTNFILEOPENERR, Cannot open file extension to data_type file DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT_DEFAULT

説明: DECprint Supervisor ソフトウェアが

SYS\$LIBRARY:DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[_DEFAULT]を検索できないか、またはオープンできませんでした。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者はファイル・タイプとデータ・タイプの照合が不要であるかどうかを確認しなければなりません。このような照合が必要な場合には、これらのファイルのいずれかを作成しなければなりません。DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT_DEFAULT はインストレーションによって提供されます。必要な場合には、ローカル・ファイル(.DAT)を作成しなければなりません。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

EXTNFILEREADERR, Error reading file extension to data_type file DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[_DEFAULT]

説明: DECprint Supervisor ソフトウェアがファイル

SYS\$LIBRARY:DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[_DEFAULT]を読み込むことができませんでした。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者はこのファイルに間違いがないかどうかを確認しなければなりません。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

FLUSHING, Rest of job (to EOJ) will be ignored

説明: エラーまたはその他のイベントが発生したために、PostScript インタプリタがジョブの残りの部分を見捨てました。このメッセージの前に、ジョブが強制終了された理由を示す情報メッセージが出力されます。

対処法: 返された他のメッセージを確認してください。

FONTNOTFOUND, Font *font-name* not found

説明: /PARAMETERS=FONT_S_USED によって指定されたフォント・セットアップ・モジュールがフォント・ライブラリに登録されていません。

対処法: ファイルは要求されたフォントを使用せずに印刷されます。出力に満足できない場合には、フォント・ライブラリに登録されているフォントを指定するか、またはシステム管理者に適切なフォントをインストールしてもらってください (オプションとして提供されるフォント・キットの発注については付録 D を参照してください)。

FPGGTPPS, First page > pages per sheet. First page set to 1.

説明: プリント・ジョブに FIRSTPAGE オプションと PAGESPERSHEET オプションを使用するレイアウト定義ファイルが指定されています。しかし、FIRSTPAGE オプションは、PAGESPERSHEET オプションに指定された値より大きい番号のページ・スポットに 1 ページ目を印刷することを要求しています。

対処法: PAGESPERSHEET レイアウト・オプションに指定したページ・スポットにページを印刷する場合には、処置は必要ありません。たとえば、PAGESPERSHEET=5 の場合には、1 枚目の用紙の最初のページは 5 番目のページ・スポットに印刷されます。別のスポットに印刷したい場合には、レイアウト定義ファイルを変更し、プリント・ジョブをキューに再登録してください。

FTLDEVCTL, Fatal device control library problem. Config error: *configuration-error on printername*

説明: 装置制御ライブラリに致命的なエラーがあります。

対処法: この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

FUSCOPEN, Print Engine fuser cover is open

説明: このメッセージは、排紙カバーが開いているときに出力されます。

対処法: 排紙カバーを閉じてください。

FUSINGERR, Print Engine fusing error — FATAL ERROR

説明: 定着機構に致命的なエラーがあります。

対処法: 弊社カスタマ・サービスに連絡してください。詳しくはプリンタのオペレータ・ガイドを参照してください。

HANGUP, Data set hang-up

説明: プリント・ジョブの途中で ScriptPrinter の電源が切断された後、再投入されたため、ジョブが強制終了されました。

対処法: 強制終了されたプリント・ジョブをキューに再登録してください。その後のジョブは正常に印刷されます。

HPGENERIC, Product name *product-name* not recognized; assuming HP Generic

説明: 指定したプリンタ・モデルは HP 製プリンタですが、DCPS でサポートしているモデルではありません。他の HP 製モデルで動作するコマンド・セットが使用されます。一部の DCPS 機能がサポートされない場合があります。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは、プリンタの実行モードを示します。

ILLEGAL_CHAR, Illegal character *character* at line *n* in DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE file

説明: ファイル SYS\$LIBRARY:DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[DEFAULT]の構文が期待される構文と異なります。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者はファイルの問題点を修正しなければなりません。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

INTERNAL_ERROR, Internal error *number* detected, cannot continue

説明: *number* によって示される致命的な内部エラーが発生しました。

対処法: この問題を弊社のサポート担当に報告してください。その場合、エラー・メッセージに表示されている *number* をレポートに記入してください。

INTERUPT, Interrupt: The job has been interrupted

説明: PostScript インタプリタが PostScript プログラムへの割り込み要求を検出しました。このメッセージは Abort プロセスの一部として表示されます。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは要求された動作を確認するためのメッセージです。

INTRAYNOTAVL, No *tray-name* is installed on *queue-name*

説明: 指定された給紙トレイは現在、プリンタにセットされていません。

対処法: 要求された給紙トレイをセットし、プリント・ジョブをキューに再登録するか、またはすでにセットされている給紙トレイを指定してプリント・ジョブをキューに再登録してください。

INTRAYNOTSUP, No *tray-name* on *queue-name*

説明: 指定された給紙トレイはプリンタでサポートされません。

対処法: プrint・ジョブをキューに再登録し、そのとき、プリンタでサポートされる給紙トレイを指定するか、または必要な給紙トレイをサポートするプリンタを指定してください。

INVACC, invalidaccess: Attempt to store into read-only object — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

INVDDIFDATA, Invalid DDIF data, flushing to end of file

説明: ファイルにサポートされない DDIF データが登録されています。

対処法: ファイルにイメージ・データ・サブセットからの DDIF タグだけが登録されているかどうかを確認してください。その後、ジョブをキューに再登録してください。

INVDDIFFILE, File is not in DDIF format

説明: DATA_TYPE=DDIFパラメータを使用して印刷するためにファイルをキューに登録しましたが、ファイルに DDIF タグが登録されていませんでした。

対処法: 適切な DATA_TYPE パラメータを指定して、プリント・ジョブをキューに再登録してください。

INVEXIT, invalidexit: Exit not in loop

説明: PostScript オペレータ `exitserver` を実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

INVFILACC, invalidfileaccess: Bad file access string — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

INVFONT, invalidfont: Bad font name or dictionary — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

INVIMGPRM, Invalid DDIF image parameters, image frame ignored

説明: ファイルにサポートされないイメージ・プリンタが登録されています。

対処法: サポートされるイメージ・プリンタだけを登録するようにファイルを修正し、ジョブをキューに再登録してください。

INVREST, invalidrestore: Improper restore — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

IOERROR, System I/O error occurred — offending command is *string*

説明: シリアル接続のプリンタが通信障害の結果として入出力エラーを検出しました。

対処法: 印刷するジョブをキューに再登録してください。その後もエラーが発生する場合には、通信ラインを調べ、ハードウェア、通信速度、またはパリティ/フレームに問題がないかどうかを確認してください。

IPHOSTUNKNOWN, unknown or invalid internet host

説明: プリンタのインターネット・ホスト名が未知であるか、または無効です。

対処法: 正しいホスト名を指定していることを確認してください。正しい場合は、ping インターネット・ホスト・ユーティリティがプリンタと通信できるかどうかを確認してください。ネットワークまたはネーム・サーバに問題があるかもしれません。システムをリブートしてから問題が起こっている場合は、DCPS\$STARTUP.COM プロシージャに関連する DCPS キューを初期化するコマ

ンドがあり、システムのリブート時には必ず DCPS\$STARTUP.COM が実行されることを確認してください。

ITCOPN, Print engine paper input tray cover is open

説明: 給紙トレイ・カバーが開いています。

対処法: 給紙トレイ・カバーを閉じてください。

JOBABORT, Job *job-number* aborted

説明: 次のいずれかの理由によって、指定されたジョブが終了しました。問題の原因を判断し、適切な処置を実行してください。

- ・ ローカル・プリント・キューでアクティブ・ジョブが削除されたため。
- ・ プリンタ・エラーまたは内部エラーが発生したためにジョブを強制終了することを PostScript が要求したため。この場合には、別のエラー・メッセージが出力され、必要な処置を示します。
- ・ シンビオント・プロセスが停止したため。この場合には、このエラーが発生したときの状況と DECprint Supervisor の構成を記述して、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。
- ・ ジョブ・コントローラで内部エラーが発生したため。

JOBFINISH, Job *job-number* finish

説明: プリント・ジョブ全体が DECprint Supervisor ソフトウェアによって処理されました。これは必ずしもプリント・ジョブが印刷を終了したことを意味しません。

対処法: 処置は必要ありません。

JOB_ID, for job *job-name* (queue *queue-name*, entry *job-number*) on *execution-queue-name*

説明: PRINT コマンドに /NOTIFY 修飾子を指定した場合には、情報メッセージが出力されます。このメッセージは前に表示されたメッセージに関して追加情報を与えます。

対処法: 処置は必要ありません。

JOBSTART, Job *job-number* start

説明: プリンタとの間の接続が確立され、プリンタは現在ジョブを印刷しています。

対処法: 処置は必要ありません。

KEYNOTREC, The keyword *value* in the /PARAMETERS qualifier was not recognized

説明: DECprint Supervisor ソフトウェアが PRINT コマンドの /PARAMETERS 修飾子から誤ったキーワードを検出しました。

対処法: 入力したパラメータの構文を確認してください。正しいキーワードを使用してプリント要求をキューに再登録してください。

KIT_EXPIRED, This version of DCPS has expired

説明: 実行している DCPS のバージョンがフィールド・テスト・バージョンであり、期限が切れています。

対処法: システムを DCPS のリリース・バージョンにアップグレードするか、または新しいフィールド・テスト・バージョンにアップグレードしてください。

LAYUPIGNORED, layup_definition parameter ignored, since Number_Up=0 was specified

説明: レイアップ定義とともに NUMBER_UP=0 が指定されました。この結果、レイアップは禁止されます。

対処法: レイアップ定義ファイルを使用する場合には、NUMBER_UP に対して 0 以外の値を指定するか、または NUMBER_UP パラメータを使用しないでください。

LAYUPOPENERR, Can't open layup definition file *file-name*

説明: PRINT コマンドに指定したレイアップ定義ファイルが DCPS\$LAYUP に登録されていないか、または DCPS\$LAYUP が定義されていません。

対処法: レイアップ定義ファイルの名前の綴りを確認し、コマンドを再実行してください。

LAYUPREADERR, Read error on layup definition file *file-name*

説明: PRINT コマンドに指定したレイアップ定義ファイルが DCPS\$LAYUP に登録されていないか、または DCPS\$LAYUP が定義されていません。

対処法: レイアップ定義ファイルの名前の綴りを確認し、コマンドを再実行してください。

LIMCHK, limitcheck: Implementation limit exceeded — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

LOGOPENERR, Can't open log file *file-name*

説明: PRINT 修飾子として、またはキューの省略時の設定として、MESSAGES=KEEP パラメータを指定しているときに、ログ・ファイルをオープンできない場合には、このエラーが発生します。

対処法: システム UAF ファイルに登録されているユーザの情報で、正しい装置名とディレクトリ名が指定されているかどうかを確認してください。

LOGWRITER, Write error on log file *file-name*

説明: MESSAGES=KEEP パラメータを PRINT の修飾子として、またはキューの省略時の設定として指定しているときに、ログ・ファイルに書き込むことができない場合には、このエラーが発生します。

対処法: システム UAF ファイルに登録されているユーザの情報で、正しい装置名とディレクトリ名が指定されているかどうかを確認してください。

LOSTPATH, The current path may have been lost

説明: このメッセージは、showpage 操作で charpath オペレータの結果を現在のパスに含む PostScript プログラムとレイアウトが会話するときに出力されます。

対処法: PostScript プログラムを修正してください。詳しくは『ページ記述言語 PostScript リファレンス・マニュアル第 3 版』を参照してください。

LOXJAM, Please clear paper jam caused by lower transport station

説明: プリンタの下部で紙詰まりが発生しました。

対処法: 紙詰まりを取り除いてください。プリント・ジョブは自動的に継続されます。

LPDTERMINATED, LPD Connection abnormally terminated

説明: LPD に接続しましたが、プリンタまたはリモート・ホスト上の LPD が接続を切断しました。

対処法: プリンタの場合は、キューを作成する際に正しい内部キュー名を指定しているかどうか確認してください。リモート・ホストの場合は、リモートのプリント・キューに正しいキュー名を指定しているかどうかを確認してください。

LPSPCLERR, Job aborted due to PrintServer protocol error

説明: クライアントまたは PrintServer プリンタが LAPS プロトコルに違反したため、ジョブが強制終了されました。

対処法: プrint・ジョブを再度キューに登録してください。必要な場合には、PrintServer を再ブートしてください。この後もジョブを正しく実行できない場合には、エラーが発生したときの状況と PrintServer の構成を記述して、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

LRJACCESSDENIED, Access denied

説明: この LAT メッセージは、グループが ScriptPrinter プリンタに接続されているポートをアクセスできないことを示します。このため、接続要求は受け付けられません。

対処法: グループに対してポートのアクセスを許可し、キューを再起動してください。

LRJACCESSREJECT, Immediate access is rejected

説明: この LAT メッセージは、現時点でユーザが LAT サービスをアクセスできないことを示します。

対処法: 処置は必要ありません。後でプリンティング・システムを再実行してください。

LRJCORRUPT, Corrupted request

説明: この LAT メッセージは、LAT サービスに対する接続要求が破壊されたために、受け付けられなかったことを示します。

対処法: 後でキューを再起動してください。

LRJDELETED, Queue entry deleted by server

説明: この LAT メッセージは、LAT 装置がキュー・エントリを削除し、LAT 接続を終了したことを示します。

対処法: キューを再起動し、プリント・ジョブをキューに再登録してください。

LRJDISABLE, Service is disabled

説明: この LAT メッセージは、LAT サービス・ノード・ソフトウェアの使用が禁止されていることを示します。

対処法: LAT サービス・ノードの使用を許可した後、キューを再起動してください。

LRJILLEGAL, Illegal request parameters

説明: この LAT メッセージは、内部プリンタ・エラーが発生したことを示します。

対処法: この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

LRJINUSE, Port of service in use

説明: この LAT メッセージは、選択したポートが使用中であることを示します。

対処法: 処置は必要ありません。プリンティング・システムは同じ操作を後で再実行します。

LRJNAMEUNKNOWN, Port Name is unknown

説明: この LAT メッセージは、サービスで認識されないポートをユーザが要求したことを示します。

対処法: LAT\$SYSTARTUP.COM と DCPS\$STARTUP.COM に正しいポート名を指定してください。その後、キューを再起動してください。

LRJNOSERVICE, No such service

説明: この LAT メッセージは、サービス名が誤っているか、またはポートの使用を許可されているグループとサービス名が一致しないことを示します。

対処法: 正しいサービス名を指定するか、またはシリアル・プリンタに接続されているポートの使用をユーザ・グループに対して許可してください。その後、キューを再起動してください。

LRJNOSTART, Session cannot be started

説明: この LAT メッセージは、現時点でそのポートで別のセッションを開始できないことを示します。

対処法: 処置は必要ありません。プリンティング・システムは後で同じ操作を再実行します。

LRJNOTOFFERED, Service is not offered on the requested port

説明: この LAT メッセージは、その特定のポートで提供されないサービスが要求されたことを示します。

対処法: SHOW SERVICES コマンドと SHOW NODES コマンドを使用して、サービス名とノード名を確認してください。要求されたサービス (シリアル・プリンタとの接続) を提供するポートの名前を LAT\$SYSTARTUP.COM ファイルに指定し、キューを再起動してください。

LRJNOTSUPPORT, Requested function is not supported

説明: この LAT メッセージは、内部 ScriptPrinter プリンタ・エラーが発生したことを示します。

対処法: この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

LRJRESOURCE, Insufficient resources at server

説明: この LAT メッセージは、LAT 装置がユーザの要求をサービスできないことを示します。

対処法: 処置は必要ありません。プリンティング・システムは同じ操作を後で再実行します。

LRJSHUTDOWN, System shutdown in progress

説明: システムがシャットダウンされています。

対処法: システム資源が戻されたときに、接続要求をキューに再登録してください。

LRJUNKNOWN, Unknown

説明: 判断できない理由によって LAT 接続要求が拒否されました。

対処法: 『HP OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照して問題の修正方法を判断し、キューを再起動してください。

MANFEEDTIMEOUT, Manual feed timeout

説明: 手差し給紙トレイがプリント・ジョブで要求されました。しかし、時間切れが発生する前にプリンタのスロットに用紙が挿入されませんでした。

説明: 手差しスロットを使用する場合には、プリント・ジョブが印刷を開始するときに、用紙をスロットに手差しでロードしなければなりません。

MEDIATYPENOSUP, Media type selection not supported for PostScript Level 1 printers

説明: メディア・タイプ・セレクションをベースにジョブが用紙を選択するように要求しました。この機能は PostScript レベル 1 プリンタではサポートされません。

対処法: ジョブを PostScript レベル 2 以上のプリンタに送信します。

MEDIATYPENOTAVL, No mediatype type medium is loaded in printer name

説明: プリンタのどのトレイにも要求したメディア・タイプがロードされていません。

対処法: 別のプリンタあるいは別のメディア・タイプを選択します。

MEDIATYPENOTRAY, mediatype type medium is not in the tray tray in <EMPH ASIS>(printer name)

説明: 特定のトレイとメディア・タイプを両方要求しました。そのトレイには要求したメディア・タイプがロードされていません。

対処法: 別のトレイとメディア・タイプの組合せを選択します。あるいは、別の用紙サイズ、トレイ、メディア・タイプの組合せを選択します。

NEGAREA, Layup definition margins overlap one another

説明: 相互に重なり合うようなマージンを設定するレイアウト定義ファイルがプリント・ジョブに指定されています。

対処法: レイアアップ定義ファイルに指定されているマージンを変更し、ジョブをキューに再登録してください。詳しくは『DCPS ユーザーズ・ガイド』のマージン・オプションの説明を参照してください。

NEWSETUPFILE, creating new version of setup file

説明: DCPS スタートアップ・プロシージャがセットアップ・ファイルの新バージョンを作成しています。このファイルは、プロシージャを後でセットアップ・モードで実行するときに使用されます。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは情報メッセージです。

NEWSTARTUP, newer version of DCPS\$STARTUP available

説明: 新バージョンの DCPS\$STARTUP が利用可能です。

対処法:

SYS\$STARTUP:DCPS\$STARTUP.TEMPLATE から新バージョンをコピーし、必要に応じて内容を変更してください。これは必須ではありませんが、DCPS スタートアップ・プロシージャに追加された新機能を使用できるように、実行することを推奨します。

NOCOPYPG, "copypage" is not supported by multipage layup

説明: 複数のページを 1 枚の用紙に印刷するためにレイアアップを使用する場合には、copypage オペレータは無視されます。

対処法: 処置は必要ありません。

NOCURPT, nocurrentpoint: Path is empty — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

NODEVCTLLIB, No device control library specified for the queue

説明: プリント・キューに対して装置制御ライブラリが指定されていません。

対処法: 標準装置制御ライブラリをキューに対応づけ、要求をキューに再登録してください。

NOFONTLIBR, Font library *string* not found

説明: 要求されたソフト・フォント・キットがシステムにインストールされていないか、またはシステムに問題があります。

対処法: プリント・ジョブは要求されたフォントを使用せずに終了します。出力に満足できない場合には、必要なソフト・フォント・キットをインストールした後、プリント・ジョブをキューに再登録してください。

NOINPTRAY, INPUT_TRAY selection not supported for *printer-name*

説明: キューに登録されている要求に割り当てられているプリンタが、PRINT コマンドに指定された INPUT_TRAY パラメータをサポートしません。

対処法: 給紙トレイを要求せずにプリント・ジョブをキューに再登録してください。

NOLAYUPFIL, Layup definition module *module-name* is not accessible

説明: PRINT コマンドに指定したレイアップ定義ファイルが DCPSP\$LAYUP によって示される領域に登録されていないか、または DCPSP\$LAYUP という論理名が定義されていません。

対処法: レイアップ定義ファイルの名前の綴りを確認し、コマンドを再実行してください。PRINT コマンドにレイアップ定義ファイルを指定する場合には、ディレクトリ名やファイル・タイプは指定しません。

NOOUTTRAY, OUTPUT_TRAY, *tray-name*, not supported on *printer-name*

説明: OUTPUT_TRAY パラメータに指定されたオプションがプリンタでサポートされません。

対処法: 排紙トレイを要求せずにジョブをキューに再登録するか、またはプリンタで受け付けられるオプションを使用するようにしてください。

NORMALMODE, startup running in normal mode

説明: DCPS プロシージャが、セットアップ・モードではなく通常モードで実行されています。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは情報メッセージです。

NOSETUPFILE, setup file not found

説明: DCPS スタートアップ・プロシージャをセットアップ・モードで実行するように要求されましたが、作成済みのセットアップ・ファイルが見つかりません。そのため、通常モードで実行されます。

対処法: スタートアップ・プロシージャを通常モードで実行したことがない場合は、セットアップ・ファイルが作成されていません。実行したことがある場合は、セットアップ・ファイルが削除または移動されています。セットアップ・ファイルが見つからない場合は、スタートアップ・プロシージャが新しいセットアップ・ファイルを作成するため、処置は必要ありません。

NOSETTRAY, Tray selection is not supported by multipage layup

説明: 1 枚の用紙に複数のページを印刷するためにレイアップを使用する場合には、排紙トレイ選択オペレータは無視されます。

対処法: 処置は必要ありません。

NOSHEETANDTRAY, Cannot specify both Sheet_size and Input_tray on this printer

説明: プリント・ジョブに SHEET_SIZE および INPUT_TRAY パラメータの両方が指定されましたが、この 2 つのパラメータは指定されたプリンタでは両立しません。

対処法: これらのパラメータのうちの 1 つを使用して、必要な用紙を選択してください。

NO_SHEET_SIZE, Sheet size must be specified for *input-tray*

説明: INPUT_TRAY パラメータの値として MANUAL_FEED または ENVELOPE_FEEDER を指定しましたが、SHEET_SIZE パラメータまたは PAGE_SIZE パラメータに用紙サイズを指定しませんでした。

対処法: MANUAL_FEED または ENVELOPE_FEEDER を指定する場合には、SHEET_SIZE パラメータまたは PAGE_SIZE パラメータに用紙サイズを指定しなければなりません。

NOSUCHDEV, No such device *device-name*

説明: プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルである SYS\$STARTUP:DCPS\$STARTUP.COM の実行キュー定義に指定した装置名が正しくありません。

対処法: DCPS\$STARTUP.COM の実行キュー定義のパラメータ p2 に正しい装置名を指定してください。

NOTONERCART, Toner cartridge is missing

説明: プリンタにトナー・カートリッジがないか、またはトナー・カートリッジが正しく装着されていません。

対処法: トナー・カートリッジを正しく装着してください。この問題が解決されると、プリント・ジョブは自動的に継続されます。

NOT_READY, Printer not ready.

説明: プリント・キューを起動しようとしたが、プリンタが接続されていないか、またはプリンタに電源が投入されていません。

対処法: 問題の診断方法については、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS システム管理者ガイド』に示した問題解決手順を参照してください。

OFFLINE, Print engine has gone off line

説明: プリンタがオフラインです。

対処法: プリンタをオンラインに設定してください。

OLDSETUP, setup file older than startup file

説明: DCPS スタートアップ・プロシージャの作成日が、セットアップ・ファイルよりも新しくなっています。スタートアップ・プロシージャは、古いセットアップ・ファイルを使用します。

対処法: スタートアップ・プロシージャでの変更が、古いセットアップ・ファイルで定義された論理名の定義に影響するかどうかを確認してください。影響する場合は、スタートアップ・プロシージャを SETUP パラメータなしで実行し、新しいセットアップ・ファイルを作成してください。影響しない場合は、処置は必要ありません。

OPCMARKERR, OPC synchronous mark error

説明: プリンタの OPC 機構に問題があります。

対処法: 弊社カスタマ・サービスに連絡してください。また、『LN03R ScriptPrinter Operator's Guide』も参照してください。

OPTICERR, Print Engine optical unit error — FATAL ERROR

説明: プリンタの光学ユニットで致命的な問題が検出されました。

対処法: 弊社カスタマ・サービスに連絡してください。また、『LN03R ScriptPrinter Operator's Guide』も参照してください。

OUTSIZNOTSUP, size-name size medium is not supported on printer-name output device

説明: 指定された用紙サイズは、プリンタでサポートされていません。

対処法: サポートされている用紙サイズを使用するか、または指定の用紙サイズをサポートする別のプリンタを使用してください。

OUTTRAYMISMATCH, Printer printer-name output tray setting does not match requested output-tray on printer-name

説明: このプリンタの排紙トレイは手作業で選択しなければなりません。現在選択されている排紙トレイと異なる排紙トレイがプリント・ジョブで要求されました。

対処法: 要求された排紙トレイを手作業で選択し、プリント・ジョブをキューに再登録するか、またはプリンタで現在選択されている排紙トレイを要求して、プリント・ジョブをキューに再登録してください。

OUTTRAYNOTAVL, No tray-name is installed on printer-name

説明: 指定された排紙トレイは、現在プリンタに装着されていません。

対処法: 必要な排紙トレイを装着して、プリント・ジョブを再実行するか、または装着されている排紙トレイを指定して、プリント・ジョブを再実行してください。

PAPERENTRYMIS, Paper entry misfeed

説明: プリンタの給紙トレイで紙詰まりが発生しています。

対処法: プリンタの紙詰まりを取り除いてください。この問題が解決されると、プリント・ジョブは自動的に継続されます。

PAPEREXITMIS, Paper exit misfeed

説明: プリンタの排紙トレイで紙詰まりが発生しています。

対処法: プリンタの紙詰まりを取り除いてください。この問題が解決されると、プリント・ジョブは自動的に継続されます。

PAPERJAM, Paper jam, job put on hold

説明: プリンタで紙詰まりが発生しました。プリント・ジョブは保留状態に設定されました。

対処法: プリンタの紙詰まりを取り除いてください。その後、次の DCL コマンドを入力することにより、プリント・ジョブの保留を解除し、再起動してください。

\$ SET ENTRY *nnn* /RELEASE /NOCHECKPOINT *queue-name*

コマンド行に次の情報を指定してください。

<i>nnn</i>	キュー内のプリント・ジョブのエントリ番号
<i>queue-name</i>	プリント・キューの名前

プリント・ジョブは先頭から再度印刷されます。紙詰まりが発生するまでにまだ印刷されていなかったページだけを印刷する場合には、PAGE_LIMIT パラメータを使用してください。

PARSYNERR, Syntax error in the PARAMETERS qualifier at or near *string*

説明: PRINT コマンドの/PARAMETERS 修飾子に構文エラーがあります。エラーは *string* パラメータまたはその近くにあります。

対処法: 入力したパラメータの構文を確認してください。正しい構文を使用してプリント要求をキューに再登録してください。

PPSGTNUP, Pages per sheet > Number_Up. Pages per sheet set to Number_Up

説明: プrint・ジョブにレイアップ定義ファイルと NUMBER_UP パラメータの両方が指定されています。しかし、レイアップ定義ファイルで要求されている 1 シートあたりのページ数は、NUMBER_UP パラメータに指定されている値より大きい値です。

対処法: NUMBER_UP パラメータに指定したページ数だけ、1 枚の用紙に印刷したい場合には、処置は必要ありません。レイアップ定義ファイルに指定したページ数だけ 1 枚の用紙に印刷する場合には、PRINT コマンドを再入力し、NUMBER_UP パラメータに現在より大きい値を指定してください。

PRESET, resetting printer

説明: プリンタ・コントローラが内部エラーを検出しました。このため、電源投入シーケンスが実行され、プリンタと PostScript インタプリタはリセットされました。

対処法: 処置は必要ありません。

PRHDWERR, Print Engine hardware error

説明: プリンタにハードウェア・エラーがあります。

対処法: 弊社カスタマ・サービスに連絡してください。

PRINTERSTALLED, Printer *printer-name* is stalled

説明: プリンタが紙ぎれになると、このメッセージが表示されます。場合によっては、実行時間の長い PostScript コマンドを使用すると、このメッセージが出力されることがあります。

対処法: 前に出力されたプリンタ・メッセージを調べ、ストール状態となる理由を示すメッセージがないかどうか確認してください。詳しくは『DCPS システム管理者ガイド』を参照してください。

PRUNKERR, Print Engine unknown error status

説明: プリンタにハードウェア・エラーがあります。

対処法: プリンタのオペレータ・ガイドを参照するか、または弊社カスタマ・サービスに連絡してください。

PRWRDWERR, printer timed out

説明: プリント・エンジンはエラーを報告しませんでした、プリント・エンジン・エラーを修正した後もまだ印刷できません。この状態は一時的な状態です。

対処法: 処置は必要ありません。

PSTERM, Unexpected termination of PostScript interpreter

説明: PostScript インタプリタに致命的なエラーがあります。

対処法: この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PUNCHNOSUP, Punching feature not supported for printer-name printer

説明: 出力先のプリンタに、DCPS がサポートするパンチ・オプションがインストールされていません。

対処法: DCPS がサポートするパンチ・オプションがインストールされているプリンタに出力するか、コマンド・ラインで PUNCH パラメータを指定せずに印刷してください。

PWRCYCL, The printer power was cycled

説明: これは情報メッセージです。プリンタの電源を切断した後、再度投入しました。

対処法: 処置は必要ありません。

PWRFAIL, The printer power was cycled while a job was active

説明: ジョブの印刷中に、プリンタの電源を切断し、その後再度投入しました。

対処法: プリント・ジョブを調べ、印刷のためにジョブをキューに再登録しなければならぬかどうかを確認してください。

RANGECHK, rangecheck: Argument out of bounds — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

REQMANFEED, Request manual feed of *media-size*

説明: プリンタが給紙トレイを変更しました。このメッセージは、INPUT_TRAY=MANUAL_FEED または INPUT_TRAY=ENVELOPE_FEEDER を指定したときに表示されます。ジョブ・セパレータ・ページはプリンタの省略時の給紙トレイから印刷され、ファイル・データは手差しトレイまたは封筒トレイから印刷されます。

対処法: このメッセージは情報メッセージであり、要求された給紙トレイへの用紙の供給を開始するように要求します。

REQMODNOTFOUND, Required device control module *module-name* not found

説明: 要求された装置制御モジュール、LPS\$\$*module-name* (標準装置制御ライブラリ (DCPS\$DEVCTL.TLB) に登録されています) を見つけることができませんでした。

対処法: 標準装置制御ライブラリ (DCPS\$DEVCTL.TLB) が DCPS\$STARTUP.COM ファイル内のライブラリ検索リストに登録されているかどうかを確認してください。次のことを確認してください。

- SYS\$LIBRARY に DCPS\$DEVCTL.TLB が登録されていること。
- DCPS\$DEVCTL.TLB の前のバージョンが SYS\$SPECIFIC に格納されていないこと。
- DCPS\$DEVCTL 内のモジュール・リストを調べ、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS インストレーション・ガイド』に示したすべてのモジュールが登録されていること。

ここに示した条件が満足されない場合には、DECprint Supervisor ソフトウェアを再インストールしてください。この問題が継続的に発生する場合には、弊社カスタマ・サービスに連絡してください。

SETUPFILE, running setup file created *date*

説明: DCPS スタートアップ・プロシージャが使用しているセットアップ・ファイルの作成日が表示されます。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは情報メッセージです。

SETUPMODE, startup running in setup mode

説明: DCPS スタートアップ・プロシージャはセットアップ・モードで実行されています。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは情報メッセージです。

SETUPNOTFOUND, Setup module *module-name* not found

説明: 要求されたセットアップ・モジュールを装置制御ライブラリから見つけることができません。

対処法: セットアップ・モジュールが装置制御ライブラリ検索リストに登録されているかどうかを確認してください。モジュール名の綴りを確認し、プリント要求をキューに再登録してください。

SETUPREADERR, Setup module *module-name* read error

説明: 要求されたセットアップ・モジュールを読み込むことができません。

対処法: セットアップ・モジュールが装置制御ライブラリに正しく格納されているかどうかを確認し、そのライブラリが検索リストに定義されているかどうかも確認してください。

SIZNOTAVL, No *paper-size* size medium is loaded in *printer-name*

説明: 要求されたサイズの用紙がプリント要求に対応するプリンタにロードされていません。

対処法: 次のいずれかの処置を実行してください。

- 適切な用紙を指定された給紙トレイにロードしてください。
- PRINT コマンドを再入力し、要求された給紙トレイにすでにロードされている用紙サイズを指定してください。
- PRINT コマンドを再入力し、必要な用紙サイズがロードされている給紙トレイを指定してください。
- PRINT コマンドを再入力し、給紙トレイと用紙サイズのどちらか一方だけを指定してください。

SIZNOTRAY, *paper-size* size medium is not in the *tray-name* tray in *printer-name*

説明: 要求されたサイズの用紙が要求された給紙トレイにロードされていません。

対処法: 次のいずれかの処置を実行してください。

- 適切な用紙を指定された給紙トレイにロードしてください。
- PRINT コマンドを再入力し、要求された給紙トレイにすでにロードされている用紙サイズを指定してください。
- PRINT コマンドを再入力し、必要な用紙サイズがロードされている給紙トレイを指定してください。
- PRINT コマンドを再入力し、給紙トレイと用紙サイズのどちらか一方だけを指定してください。

SIZNOTSUP, *paper-size* size medium is not supported by *printer-name*

説明: プリンタでサポートされない用紙サイズが要求されました。

対処法: ジョブをキューに再登録し、サポートされる用紙サイズを要求してください。

SPOOLBADDEVICE, error in DCP\$SPOOL_DIRECTORY device name

説明: 論理名 DCP\$SPOOL_DIRECTORY が無効なデバイス上のディレクトリを指しています。

対処法: DCP\$SPOOL_DIRECTORY 論理名の定義を修正してください。

SPOOLBADDIR, DCP\$SPOOL_DIRECTORY directory not found

説明: 論理名 DCP\$SPOOL_DIRECTORY が存在しないディレクトリを指しています。

対処法: 存在するディレクトリを指すように DCP\$SPOOL_DIRECTORY 論理名を再定義してください。

SPOOLERROR, error creating spool file in DCP\$SPOOL_DIRECTORY

説明: DCP\$SPOOL_DIRECTORY 論理名で参照されるディレクトリに一時的なスプール・ファイルを作成できませんでした。

対処法: そのディレクトリに存在する問題の原因を調べます。

SPOOLFILENOOPEN, error opening spool file

説明: 以前の DCP\$ プリント・ジョブで作成した一時的なスプール・ファイルをプリンタに送信するためにオープンできませんでした。

対処法: 以前作成されプリンタに送信できていたファイルがアクセスできなくなった理由、あるいは削除された理由を調べます。

SPOOLNOLOGICAL, logical name DCP\$SPOOL_DIRECTORY is undefined

説明: スプール・ディレクトリの場所を指定する論理名 DCP\$SPOOL_DIRECTORY が定義されていません。

対処法: 論理名 DCP\$SPOOL_DIRECTORY が定義されていません。この論理名は、DCP\$ が一時的なスプール・ファイルの保管に使用するディレクトリを指します。

SPOOLNOPRIV, no privilege to write to DCP\$SPOOL_DIRECTORY

説明: 特権の問題で、DCP\$ が DCP\$SPOOL_DIRECTORY ディレクトリに一時的なスプール・ファイルを作成できませんでした。

対処法: DCP\$ プリント・シンビオントがファイルを作成できるように、論理名 DCP\$SPOOL_DIRECTORY で参照されるディレクトリのアクセス制御を確認してください。

SPOOLNOWRITE, DCP\$SPOOL_DIRECTORY device is write-locked

説明: DCP\$SPOOL_DIRECTORY ディレクトリが存在するデバイスが書き込み保護されています。

対処法: デバイスを書き込み可能に設定するか、あるいは DCP\$SPOOL_DIRECTORY 論理名を再定義してください。

STARTING, DECprint Supervisor version starting...

説明: DCP\$ スタートアップ・プロシージャが、DCP\$ の実行を開始しようとしている事実とそのバージョンを表示しています。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは情報メッセージです。

STKOFLO, stackoverflow: Operand stack overflow — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがスタック・オーバーフローを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

STKUFL0, stackunderflow: Operand stack underflow — offending command is *string*

説明: PostScript インタプリタがファイルからエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

STPNOSUP, Stapling feature not supported for *product_name* printer.

説明: プリンタでホチキス止めがサポートされていません。

対処法: ホチキス止め機能を持つプリンタで印刷してください。

STPOUTTRAY, Selected output tray does not support stapling.

説明: 指定した排紙トレイは、ホチキス止めには使用できません。

対処法: OUTPUT_TRAY パラメータを使用して、ホチキス止め機能をサポートする排紙トレイを指定してください。

STPPOSNOSUP, Stapling position not supported for orientation and feed direction.

説明: プリンタは、指定した位置でホチキス止めをすることができません。

対処法: その用紙サイズがサポートされている場合は、給紙方向を変えて用紙を設定するか、または、別のページ方向を選択してください。

STPSIZENOSUP, Stapling not supported for *sheet_size* size paper and feed direction.

説明: 用紙サイズまたは給紙方向がホチキス止め用にサポートされていないため、プリンタはそのジョブをホチキス止めすることができません。

対処法: その用紙サイズがサポートされている場合は、給紙方向を変えて用紙を設定してください。

SYNERR, syntaxerror: Input ended in string or procedure body — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタが構文エラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

SYNTAX_INCOMPLETE, Syntax incomplete at line *n* in DCP\$FILE_
EXTENSION_DATA_TYPE file

説明: ファイル SYS\$LIBRARY:DCP\$FILE_EXTENSION_DATA_TYPE.DAT[DEFAULT]の構文が期待される構文と異なります。ファイル・タイプとデータ・タイプの照合は実行されません。

対処法: システム管理者はファイル内の問題を修正しなければなりません。新しいファイルを読み込むには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

TCPPORTINVALID, invalid TCP port number

説明: 指定したポート番号が無効です。一部のネットワーク接続 (IP_RawTCP など) では、対応するプロトコルをサポートするプリンタの TCP ポート番号を指定する必要があります。

対処法: 有効なポート番号を指定していることを確認してください。ポート番号を指定していない場合は、9100 が使用されます。

TCPPORTPRESENT, no TCP port number allowed

説明: プリンタの TCP ポート番号が指定されましたが、TCP ポート番号の指定は許可されていません。ネットワーク接続のいくつかのタイプ (たとえば IP_C PAP) では、プリンタで TCP ポートの番号を指定する必要がないか、または許可されていません。

対処法: 必要なタイプのネットワーク接続が指定されていることを確認してください。指定されている場合には、キューの装置指定からポート番号を削除してください。

TIMOUT, timeout: Time limit exceeded

説明: システム管理者が設定した時間制限をこえて、PostScript プログラムが実行されました。このエラーが発生するのは通常、ページ定義が複雑であるか、または PostScript アプリケーション・プログラムにエラーがあるため、無限ループが実行されるからです。

対処法: ページ定義が複雑であるためにエラーが発生した場合には、プリンタの時間切れの値を変更するようにシステム管理者に要求してください。

PostScript 以外のデータ・タイプのファイルの印刷中に無限ループが発生したために、このエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社から提供されたトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷中に発生した無限ループによって、このエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

TNREND, Print Engine toner supply is exhausted

説明: プリンタにトナーがありません。

対処法: トナー・カートリッジとクリーニング・パッドを交換してください。トナー交換キットに示されている指示に従うか、または『LN03R ScriptPrinter Operator's Guide』を参照してください。

TONEROFL, Toner collection container full

説明: トナー回収ボトルが満杯です。

対処法: トナー・キットに示されている指示に従い、満杯のトナー回収ボトルを取り出し、新しいボトルと交換してください。

TRANSJAM, Print engine transport section is jammed

説明: これは LN03 Image プリンタ・メッセージであり、プリンタのトランスポート部で紙詰まりが発生したことを示します。

対処法: プリンタの紙詰まりを取り除いてください。その後、次の DCL コマンドを使用してプリント・ジョブの保留を解除し、再起動してください。

\$ SET ENTRY *nnn* /RELEASE /NOCHECKPOINT *queue-name*

コマンド行に次の情報を指定してください。

<i>nnn</i>	キュー内のプリント・ジョブ・エントリ番号
<i>queue-name</i>	プリント・キューの名前

プリント・ジョブは先頭から再度印刷されます。紙詰まりが発生するまでにまだ印刷されていなかったページだけを印刷する場合には、PAGE_LIMIT パラメータを使用してください。

TRANSPORTBAD, invalid transport - transport

説明: DCPS キューの起動時に間違ったトランスポートを指定しました。

対処法: 使用できるネットワーク・トランスポートを HP OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアルで確認し、正しいトランスポートを指定します。

TRANSPORTNOTSUP, transport not supported - transport

説明: DCPS キューの起動時に、システムのアーキテクチャでサポートしていないトランスポートを指定しています。

対処法: 使用できるネットワーク・トランスポートを HP OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアルで確認し、正しいトランスポートを指定します。たとえば、AppleTalk キューは I64 システムでは起動できません。

TRANSPORTREQ, transport required

説明: DCPS キューの起動時にトランスポートを指定していません。

対処法: 使用できるネットワーク・トランスポートを HP OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアルで確認し、トランスポートを指定します。

TRAYEMP, Print Engine paper input tray is empty

説明: 給紙トレイが空です。

対処法: 給紙トレイに用紙を追加してください。

TRAYJAM, Input paper tray is jammed

説明: これは LN03 Image プリンタ・メッセージであり、プリンタの給紙トレイで紙詰まりが発生したことを示します。

対処法: プリンタで紙詰まりを取り除いてください。その後、次の DCL コマンドを使用してプリント・ジョブの保留を解除し、再起動してください。

\$ SET ENTRY *nnn* /RELEASE /NOCHECKPOINT *queue-name*

コマンド行に次の情報を指定してください。

<i>nnn</i>	キュー内のプリント・ジョブ・エントリ番号
<i>queue-name</i>	プリント・キューの名前

プリント・ジョブは先頭から再度印刷されます。紙詰まりが発生するまでにまだ印刷されていなかったページだけを印刷する場合には、PAGE_LIMIT パラメータを使用してください。

TRAYSUBST, Output will be delivered to the *output-tray* tray on *printer-name*

説明: 情報メッセージ。

対処法: 処置は必要ありません。

TRNFAIL, Translation from *data-type* to PostScript failed.

説明: *data-type* から PostScript へのトランスレータでエラーが発生しました。
トランスレータ・ソフトウェアを使用することはできません。

対処法: この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

TRNNOTFND, Translator from *data-type* to PostScript not found

説明: DECprint Supervisor ソフトウェアが *data-type* から PostScript へ変換するトランスレータを SYS\$SHARE ディレクトリから見つけることができませんでした。

対処法: DATA_TYPE パラメータに指定するデータ・タイプまたはキューの省略時の設定として定義するデータ・タイプは、弊社またはユーザ作成トランスレータから提供されなければなりません (SYS\$SHARE ディレクトリの TRN\$*data-type*_PS.EXE)。問題を修正し、プリント要求をキューに再登録してください。

TRYNOTRDY, *tray-name* tray on *printer-name* is *current-tray-name*

説明: 給紙トレイに用紙がロードされていません。

対処法: プリンタの給紙トレイを準備し、プリント・ジョブをキューに再登録してください。

TUMBNOSUP, *printer-name* does not support tumble printing

説明: このプリンタはタンブル印刷をサポートしません。

対処法: タンブル印刷を要求せずにジョブをキューに再登録してください。または、/QUEUE を指定してプリント・ジョブをキューに再登録するときに、タンブル印刷をサポートするプリンタを指定してください。

TYPCHK, typecheck: Argument of wrong type — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがこの構文エラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

UNDEF, undefined: Name not known — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがこの構文エラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

UNDEFRES, undefinedresult: Number overflow or underflow — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

UNDFILNAM, undefinedfilename: File not found — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

UNKDATATYPE, Unknown data type: *string* or translator not available

説明: DECprint Supervisor ソフトウェアは PRINT コマンドに指定されている DATA_TYPE パラメータを認識しないか、または指定されたトランスレータを見つけることができなかったか起動することができませんでした。

対処法: PRINT コマンドを調べ、DATA_TYPE パラメータを修正し、要求をキューに再登録してください。DATA_TYPE パラメータが有効な場合は、『DCPS リリース・ノート』にリストされている TRN\$*トランスレータ・ファイルがシステムの正しい場所に置かれ、WORLD:REの保護モードが設定されていることをシステム管理者に確認してもらってください。システムがマルチストリーム DCPS プリント・シンビオントを使用している場合には、SYSTEM アカウントのプロセス関連クォータとリソースも調べてもらってください。

UNKFILTAG, File tag is unknown. Tag value: *number*

説明: DECprint Supervisor ソフトウェアが認識しない DDIF stored_semantics タグがファイルに登録されています。

対処法: DECprint Supervisor ソフトウェアを使用してこのタイプのファイルを印刷することはできません。

UNKNOWN_DEFTRANS, *data-type* is not expected as a Default Translator, but it will be used

説明: 省略時のデータ・タイプとして論理名DCPS\$[*queue-name*]DEFAULT_TRANSLATOR によって示されるデータ・タイプは、DECprint Supervisor がトランスレータを提供しているデータ・タイプと異なります。DECprint Supervisor ソフトウェアはこのデータ・タイプのためのトランスレータを検索し、使用しようとします。

対処法: このメッセージは情報メッセージです。プリント・ジョブは印刷されます。システム管理者は、データ・タイプが実際に適切なタイプであるかどうかを確認しなければなりません。適切なデータ・タイプである場合には、このようなデータ・タイプを対象としたトランスレータが SYS\$SHARE に登録されているかどうかを確認してください。適切なデータ・タイプでない場合には、論理名の指定を修正してください。新しい定義を有効に設定するには、キューを停止 (STOP /QUEUE /RESET), その後で起動しなければなりません (START /QUEUE)。

UNKNOWN_PROLOG, Unknown prolog—version *version-number*, name *prolog-name*

説明: シンビオントとプリンタの間の通信で予想しない結果が発生しました。

対処法: このメッセージが継続的に出力される場合には、弊社カスタマ・サービスに連絡してください。

UNMATCH, unmatchedmark: Expected mark not on stack — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

UNRECOGNIZED, Product name *product-name* not recognized; assuming
Unrecognized

説明: 指定したプリンタは HP 製プリンタではなく、DCPS がサポートするモデルでもありません。他のプリンタ・モデルで動作するコマンド・セットが使用されます。一部の DCPS 機能はサポートされません。

対処法: 処置は必要ありません。このメッセージは、プリンタの実行モードを示します。

UNREGIST, unregistered: PostScript has encountered a system error —
offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに、PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には、変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には、この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

PostScript ファイルの印刷でエラーが発生した場合には、PostScript ファイル自体または PostScript ファイルを作成したアプリケーションにエラーがあります。弊社が提供したアプリケーションを使用している場合には、弊社のサポート担当に障害レポートを提出してください。

UNSUP_DEF_AUTOTYPE, *data-type* is not supported as an AUTOMATIC data type, assuming AUTOMATIC=ANSI

説明: 論理名 DCPS\$[*queue-name*]DEFAULT_TRANSLATOR によって定義される省略時のテキスト・データ・タイプは正しい値ではありません。正しい値は ANSI, PROPRINTER, PCL です。

対処法: システム管理者は論理名を再定義しなければなりません。

UNSUP_DEFTRANS, *data-type* is not supported as a Default Translator, ANSI will be used.

説明: DECprint Supervisor ソフトウェアの省略時のテキスト・データ・タイプが正しくありません。DECprint Supervisor ソフトウェアは省略時のデータ・タイプとして ANSI を使用します。

対処法: システム管理者は論理名 DCPS\$[*queue-name*]DEFAULT_TRANSLATOR の定義を修正しなければなりません。新しい定義を有効に設定するには、キューを停止し (STOP /QUEUE /RESET), その後、再起動しなければなりません (START /QUEUE)。

UNSUPTAG, File tagged as *data_syntax* will not be printed

説明: サポートされない DDIF stored_semantics タグがファイルに登録されています。

対処法: DECprint Supervisor ソフトウェアを使用してこのタイプのファイルを印刷することはできません。

UNSUP_USER_AUTOTYPE, *data-type* is not supported as an AUTOMATIC data type, assuming AUTOMATIC=ANSI

説明: ユーザの PRINT コマンド, または DCP\$STARTUP.COM の設定で, DATA_TYPE=AUTOMATIC=default-text-data-type パラメータの *default-text-data-type* に対して誤った値を指定しています。指定できる値は ANSI, PROPRINTER, PCL のいずれかです。

対処法: PRINT コマンドが誤っている場合には, プリント・ジョブをキューに再登録し, DATA_TYPE=AUTOMATIC パラメータに対して適切な値を指定してください。

DCP\$STARTUP.COM の設定が誤っている場合には, 次の操作を実行してください。

- ジョブを迅速に印刷するには, DATA_TYPE=AUTOMATIC パラメータを使用してプリント・ジョブをキューに再登録します。この操作を実行すると, キューの省略時の設定は無効になります。
- 省略時のキュー・パラメータを修正するには, 次の操作を実行します。
 1. DCP\$STARTUP.COM ファイルを変更し, 省略時のテキスト・データ・タイプも含めてキュー定義を正しく修正します。
 2. キューを停止します。
 3. DCP\$STARTUP.COM ファイルを実行します。

USERDATA *string*

説明: オペレータ print, pstack, = および == を使用して, *string* によって示されるデータをユーザに送信することを PostScript プログラムが要求しました。

対処法: 処置は必要ありません。

VMERROR, vmerror: PostScript virtual memory exhausted — offending command is *string*

説明: *string* によって示される PostScript コマンドを実行しようとしたときに, PostScript インタプリタがエラーを検出しました。

対処法: PostScript 以外のデータ・タイプのファイルを印刷しているときにこのエラーが発生した場合には, 変換処理にエラーがあります。弊社が提供したトランスレータを使用している場合には, この問題を弊社のサポート担当に報告してください。

仮想メモリ制限のためにプリント・ジョブの印刷に失敗した場合は, 次のいずれかの処置を取ります。

- プリンタの仮想メモリをより効率的に使用するように, アプリケーションでオプションを使用して PostScript ファイルを再作成する。
- ファイルを印刷するために利用可能なメモリが多いプリンタを使用する。

ZEROAREA, Layup definition margins result in no usable sheet area

説明: 印刷領域が残らないようなマージンを設定するレイアップ定義ファイルをプリント・ジョブに指定しました。

対処法: レイアップ定義ファイルの MARGINS オプションについての説明は、第 12 章を参照してください。

A.3 レイアップ定義 (BADLAYDEF) メッセージ

この節では、BADLAYDEF というメッセージ識別とともに出力されるレイアップ定義エラー・メッセージについて説明します。メッセージの形式は次のとおりです。

%DCPS_W_BADLAYDEF, *condition* on line *line-number* in layup definition

condition は問題を示し、*line-number* はエラーが発生したときのレイアップ定義ファイルの行番号を示します。

次のエラー・メッセージは、レイアップ定義ファイルにエラーがあるために出力され、*condition* として報告されます。

注意

BADLAYDEF メッセージに報告される行番号は、一部のレコード管理サービス (RMS)・ファイル編成の場合は正しくないことがあります。

Bad form for margin values

説明: MARGINS オプションに対して指定した値をそのオプションが認識できません。

Bad form for page grid values

説明: GRID オプションに対して指定した値をそのオプションが認識できません。

Cannot give values with negated option *option*

説明: 同じ行にオプションの否定形と値の両方が指定されています。たとえば、NOALTERNATE=LEFT と指定されています。

Cannot negate option *option*

説明: 負の値を指定できないオプションに対して負の値が指定されています。

Cannot supply a value for *option*

説明: 値を必要としないオプションに対して値が指定されています。

Could not find a number as a value

説明: オプションに対して指定した値をそのオプションが認識できません。

Extra characters present after values

説明: オプションにとって適切な値の後に余分な文字が指定されています。

Must express a value for option *option*

説明: 値を必要とするオプションに値が指定されていません。

No option present

説明: 行は空白でありませんが、オプションも指定されていません。

No values specified for option *option*

説明: 行に等号が指定されていますが、値が指定されていません。

Number must be greater than 1

説明: オプションに対して指定した数値が正しい範囲ではありません。たとえば、PAGESPERSHEET=0 と指定されています。

Page count must be less than 100

説明: GRID オプションには正の値を指定しなければなりません。また、2つの値の積は100以下でなければなりません。

Unrecognized keyword *keyword*

説明: キーワードに対して指定した値が認識されません。

Unrecognized option *option*

説明: 行に認識されないオプションが指定されています。

PRINT コマンド修飾子

DECprint Supervisor により、OpenVMS の PRINT コマンドを使用して PostScript プリンタにファイルを印刷することができます。この付録では、PRINT コマンド修飾子について説明します。

表 B-1 は、PRINT コマンドの修飾子を示しており、各修飾子の機能も説明しています。

いくつかの修飾子はテキスト・ファイルを対象にしたプリント・ジョブにのみ適用されます。テキスト以外のファイルを印刷するための PRINT コマンド行にこの種の修飾子を指定した場合には、その修飾子は無視されますが、ファイルは印刷されます。

表 B-1 PRINT コマンドの修飾子

修飾子	説明
/[NO]AFTER	指定した時刻までプリント・ジョブがキュー内で保留されることを示します。
/[NO]BACKUP	最後のバックアップ日時をもとに、印刷するファイルを選択します。
/[NO]BEFORE	ファイル選択修飾子 (/BACKUP, /CREATED, /EXPIRED, または/MODIFIED) に対して日時を指定し、指定した日時より前の日付のファイルを選択します。
/[NO]BURST	ファイル・バースト・ページを制御します。
/[NO]BY_OWNER	ユーザ識別コード (UIC) をもとに、印刷するファイルを選択します。
/CHARACTERISTICS	プリント・ジョブに対してプリント属性を指定します。
/[NO]CONFIRM	プリント・ジョブ内の各ファイルに対して確認のためのプロンプトを表示します。
/COPIES	プリント・ジョブまたはファイルを印刷する部数を指定します。
/[NO]CREATED	ファイル作成日時をもとに、印刷するファイルを選択します。
/[NO]DELETE	プリント・ジョブを処理した後、プリント・ファイルを自動的に削除します。
/[NO]EXCLUDE	1 つ以上のファイルをプリント・ジョブから除外します。
/[NO]EXPIRED	ファイルの満了日時をもとに、印刷するファイルを選択します。
/[NO]FEED	ページの最後にフォーム・フィード文字を挿入するかどうかを制御します。

(次ページに続く)

表 B-1 (続き) PRINT コマンドの修飾子

修飾子	説明
/[NO]FLAG	ファイル・フラグ・ページを制御します。
/FORM	プリント・ジョブに適用される属性を持つフォーム・タイプを指定します。
/[NO]HEADER	印刷した各ページの先頭にヘッダ行を印刷します。
/[NO]HOLD	SET ENTRY/RELEASE によって保留を解除するまで、プリント・ジョブを保留します。
/[NO]IDENTIFY	プリント・ジョブがキューに登録されたときに、プリント・キューとプリント・ジョブ番号をターミナルに表示します。
/JOB_COUNT	ジョブを印刷する回数を指定します。
/[NO]LOWERCASE	小文字プリント機能を持つプリンタで印刷することを指定します。
/[NO]MODIFIED	ファイルの最終変更日時をもとに、印刷するファイルを選択します。
/NAME	プリント・ジョブ名を指定します。
/NOTE	ジョブ・セパレータ・ページに印刷するメッセージを指定します。
/[NO]NOTIFY	プリント・ジョブの開始時と終了時、およびプリンタ・エラーの発生時にメッセージをターミナルに送信します。
/OPERATOR	プリント・ジョブが開始されるときに指定されたメッセージをオペレータに送信します。
/PAGES	プリント・ジョブ内で印刷するページの範囲を指定します。
/PARAMETERS	プリント・ジョブを制御するために 1 つ以上の PRINT パラメータを指定します。
/[NO]PASSALL	DECprint Supervisor による出力のフォーマットを実行しないかどうかを指定します。
/PRIORITY	プリント・ジョブの優先順位を指定します。
/QUEUE	プリント・ジョブを登録するプリント・キューを指定します。
/REMOTE	ネットワーク内のリモート・ノードにプリント・ジョブを作成します。
/[NO]RESTART	中断された後、プリント・ジョブを再起動することを許可します。
/RETAIN	ジョブをキューに保持する条件を指定します。
/SETUP	プリント・ジョブの印刷を制御するためにセットアップ・モジュールを指定します。
/SINCE	ファイル選択修飾子 (/BACKUP, /CREATED, /EXPIRED, または/MODIFIED) に対して日時を指定し、指定した日時の後の日付のファイルを選択します。
/[NO]SPACE	タブルスペース出力を制御します。
/[NO]TRAILER	ファイル・トレーラ・ページを制御します。
/USER	プリント・ジョブに対してユーザ名を指定します。

各修飾子については、この後のページで例とともに詳しく説明します。

/AFTER=time

/NOAFTER (省略時の設定)

プリント・ジョブの保留を解除し、印刷しなければならない時刻を指定します。この修飾子を指定しなかった場合には、プリント・ジョブはただちに印刷されるか、またはプリンタが使用可能な状態になったときにただちに印刷されます。

たとえば、次のプリント・ジョブは午後 6 時 00 分以降に開始されます。

\$ PRINT /AFTER=18:00 FARM.DAT

/BACKUP

/NOBACKUP (省略時の設定)

ファイルの最終バックアップ日時をもとに、印刷するファイルを選択します。この修飾子は/BEFORE または/SINCE 修飾子と組み合わせて使用し、バックアップ時刻を指定します。他のファイル選択修飾子としては/CREATED、/EXPIRED、および/MODIFIEDがあります。/BEFORE または/SINCE だけを使用し、ファイル選択修飾子を指定しなかった場合には、ファイルの作成日時が使用されます。

たとえば、次のプリント・ジョブには、GROTON という名前のファイルのうち、バックアップ日時が 2012 年 3 月 20 日以前のファイルだけが含まれます。

\$ PRINT /BACKUP /BEFORE=20-MAR-2012 GROTON.*

/BEFORE=time

/NOBEFORE (省略時の設定)

ファイルの作成日時、バックアップ日時、満了日時、または変更日時が、指定した日時より前のファイルを印刷します。時刻のかわりにキーワード (TODAY、TOMORROW、または YESTERDAY) を入力できます。この修飾子は次のいずれかの修飾子と組み合わせて使用し、ファイル選択モードを変更します。

/BACKUP	最終バックアップ日時をもとにファイルを選択する。
/CREATED	ファイルの作成日時をもとにファイルを選択する (ファイル選択修飾子を指定しなかった場合には、これが省略時の設定である)。
/EXPIRED	ファイルの満了日時をもとにファイルを選択する。
/MODIFIED	ファイルの最終変更日時をもとにファイルを選択する。

/BEFORE 修飾子を指定しなかった場合には、ファイルの作成日時、バックアップ日時、変更日時、または満了日時とは無関係に、指定したファイルが印刷されます。

たとえば、GROTON という名前のファイルのうち、2012 年 3 月 23 日以前に作成されたファイルだけを印刷するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /CREATED /BEFORE=23-MAR-2012 GROTON.*

/BURST[=keyword]

/NOBURST (省略時の設定)

各ファイルの各コピーの前にファイル・バースト・ページを印刷することを指定します。各ファイルの前にバースト・ページを印刷する場合はキーワードとして ALL を指定し、各ファイルの最初のコピーの前にだけバースト・ページを印刷する場合は、

キーワードとして ONE を指定します。この修飾子はジョブ・バースト・ページには影響しません。ジョブ・セパレータ・ページについての詳しい説明は『DCPS システム管理者ガイド』を参照してください。

たとえば、GROTON.DAT の前にバースト・ページを印刷し、FARM.DAT の前にはバースト・ページを印刷しない場合には、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT GROTON.DAT /BURST FARM.DAT
```

```
/BY_OWNER=uic
```

/NOBY_OWNER (省略時の設定)

指定した UIC (ユーザ識別コード) を持つファイルだけを印刷します。省略時の設定では、ファイルは UIC とは無関係に印刷されます。

たとえば、UIC が[MACDONALD]であり、名前が FARM.DAT というファイルを印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /BY_OWNER=[MACDONALD] FARM.DAT
```

```
/CHARACTERISTICS=characteristic
```

指定した属性が定義されているプリンタでファイルを印刷します。プリント・キューの属性を表示するには、SHOW QUEUE/FULL コマンドを使用します。

たとえば、REDINK という属性が定義されているプリンタで FARM.DAT を印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /CHARACTERISTICS=REDINK FARM.DAT
```

```
/CONFIRM
```

/NOCONFIRM (省略時の設定)

各ファイルに対して確認のためのプロンプトを表示します。このプロンプトに対して Yes または No と応答することにより、そのファイルの印刷を許可または禁止できます。この修飾子を指定しなかった場合には、要求した各ファイルの印刷を確認するプロンプトは出力されません。

たとえば、GROTON という名前のファイルを印刷するときに、各ファイルごとに印刷を確認する場合には、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /CONFIRM GROTON.*
```

```
PRINT DISK:[MACDONALD]GROTON.TXT.3 ? [NO]Y
```

```
/COPIES=n
```

1 つのファイルを複数部数印刷することができます。ファイル指定の前にこの修飾子を指定した場合には、各ファイルが n 回ずつ印刷されます。複数のファイルを含むプリント・ジョブで 1 つのファイルだけを 2 部以上印刷する場合には、ファイル指定の後にこの修飾子を指定してください。この修飾子を指定しなかった場合には、各ファイルは 1 部ずつ印刷されます。

たとえば、FARM.DAT と GROTON.DAT をそれぞれ 2 部ずつ印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /COPIES=2 FARM.DAT,GROTON.DAT
```

DECprint Supervisor のもとで、プリント・ジョブで/COPIES 修飾子を使用した場合、ファイルの変換が必要なときは、要求されたファイルの各コピーに対してファイルを変換し、PostScript 形式でファイルを送信しなければなりません。この処理を実行すると、コンピュータ・システムの負荷が増大し、プリント・ジョブの印刷速度が遅くなる可能性があります。

複数の部数または複数のファイルを印刷するときこの問題が発生した場合には、各コピーまたは各ファイルに対して別々の PRINT コマンドを使用し、プリント・ジョブをそれぞれ作成してください。

/CREATED

/NOCREATED (省略時の設定)

ファイルの作成日時をもとに、印刷するファイルを選択します。この修飾子は/BEFORE または/SINCE 修飾子と組み合わせて使用し、時刻を指定します。他のファイル選択修飾子としては/BACKUP、/EXPIRED、および/MODIFIED があります。/BEFORE または/SINCE だけを指定し、ファイル選択修飾子を指定しなかった場合には、ファイルの作成日時が使用されます。

たとえば、FARM という名前のファイルのうち、2012 年 3 月 4 日以降に作成されたファイルだけを印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /CREATED /AFTER=4-MAR-2012 FARM.*
```

/DELETE

/NODELETE (省略時の設定)

プリント・ファイルを印刷した後、システムがそのファイルを削除するかどうかを指定します。この修飾子を指定しなかった場合には、省略時の動作は/NODELETE になります。

たとえば、印刷の後に FARM.DAT ファイルを削除するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /DELETE FARM.DAT
```

注意

DECprint Supervisor ソフトウェアを使用するときに/DELETE 修飾子を指定した場合には、プリント・ジョブが正常終了したかどうかとは無関係に、ジョブ・コントローラは常に要求されたファイルを削除します。

たとえば、次の例では、ユーザが誤った SHEET_SIZE パラメータ (GREEN) を入力したために、プリント・ジョブは印刷されません。ファイルは印刷されませんが、ジョブ・コントローラはファイルを削除します。

```
$ PRINT /DELETE /PARAMETERS=(SHEET_SIZE=GREEN) GROTON.TXT
```

/DELETE 修飾子の使用にはご注意ください。

/EXCLUDE=file-spec

/NOEXCLUDE (省略時の設定)

プリント・ジョブから除外するファイルを指定します (つまり、ファイル指定と一致するファイルは印刷されません)。この修飾子は、ファイル指定でワイルドカードを使用するときに役立ちます。この修飾子を指定しなかった場合には、ファイル指定と一致するすべてのファイルが印刷されます。

たとえば、FARM.DAT を除き、FARM という名前のすべてのファイルを印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /EXCLUDE=FARM.DAT FARM.*
```

/EXPIRED

/NOEXPIRED (省略時の設定)

ファイルの満了日時をもとに、印刷するファイルを選択します。この修飾子は/BEFORE または/SINCE 修飾子と組み合わせて使用し、時刻を指定します。他のファイル選択修飾子としては、/BACKUP、/CREATED、および/MODIFIED があります。/BEFORE または/SINCE だけを指定し、ファイル選択修飾子を指定しなかった場合には、ファイルの作成日時が使用されます。

たとえば、GROTON という名前のファイルのうち、2000 年 1 月 10 日以前に満了するファイルを印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /EXPIRED /BEFORE=10-JAN-2000 GROTON.*
```

/FEED

/NOFEED (省略時の設定)

下マージンに到達したときに、データ・ストリームにフォーム・フィード文字を挿入するかどうかを制御します。プリント・ジョブにフォーム・フィード文字を挿入しないことを指定する場合は、/NOFEED を使用してください。この修飾子を指定しなかった場合には、省略時の動作は/FEED です。

たとえば、FARM.DAT を印刷するときに、各ページの最後にフォーム・フィード文字を挿入するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /FEED FARM.DAT
```

/FLAG[=keyword]

/NOFLAG (省略時の設定)

ファイルの前にファイル・フラグ・ページを印刷するかどうかを制御します。プリント・ジョブの各ファイルの各コピーの前にファイル・フラグ・ページを印刷する場合は、キーワードとして ALL を指定し、プリント・ジョブの各ファイルの最初のコピーの前にだけファイル・フラグ・ページを印刷する場合は、ONE を指定します。この修飾子を省略した場合には、システム管理者がキューに対して設定した動作が実行

されます(この修飾子はジョブ・フラグ・ページには影響しません。ジョブ・セパレータ・ページについての詳しい説明は『DCPS システム管理者ガイド』を参照してください)。

たとえば、プリント・ジョブ内の各ファイルの前にフラグ・ページを印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /FLAG=ALL FARM.DAT,GROTON.DAT
```

```
/FORM=form-name
```

第 13 章で説明したように、特定のフォーム属性が設定されたフォームがプリント・ジョブで必要であることを指定します。システム管理者がすでに定義しているフォーム名だけを指定できます。

フォームにとって必要なストック・タイプがプリント・キューの FORM_MOUNTED によって指定されたフォームと一致しない場合には、プリント・ジョブは待ち状態に設定されます。プリンタに必要なストックがセットされ、キューのフォームが FORM_MOUNTED による指定と一致するものに変更されたときに、待ち状態が解除されます。

たとえば、フォーム・タイプ SHORT\$REPORT を使用して GROTON.RPT を印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /FORM=SHORT$REPORT GROTON.RPT
```

```
/HEADER
```

```
/NOHEADER (省略時の設定)
```

各ページの区切り目にヘッダ行、ファイル名、ページ番号、およびファイル作成日を印刷します。

ヘッダ情報は自動的に挿入されません。出力にヘッダ情報を印刷するには、/HEADER を指定しなければなりません。/NOHEADER 修飾子を指定すれば、ヘッダ行の挿入を禁止できます。

たとえば、FARM.DAT を印刷するときにヘッダ行を印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /HEADER FARM.DAT
```

```
/HOLD
```

```
/NOHOLD (省略時の設定)
```

プリント・ジョブをただちに開始するのか、または SET ENTRY/RELEASE コマンドによってジョブの保留が解除されるまで保留状態に設定するのかを指定します。この修飾子を指定しなかった場合には、プリント・ジョブはただちに処理されます。

SET ENTRY/RELEASE コマンドによってジョブの保留が解除されるまでプリント・ジョブを保留するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /HOLD FARM.DAT

/IDENTIFY (省略時の設定)

/NOIDENTIFY

プリント・ジョブがキューに登録されるときに、プリント・キューとプリント・ジョブのエントリ番号を表示するかどうかを指定します。省略時の設定は/IDENTIFY です。

たとえば、FARM.DAT を印刷するとき、プリント・キューとプリント・ジョブ・エントリ番号を表示しないことを指定するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /NOIDENTIFY FARM.DAT

/JOB_COUNT=n

ジョブを *n* 回ずつ印刷します。*n* の値は 1～255 です。この修飾子を指定しなかった場合には、プリント・ジョブは 1 回だけ印刷されます。複数のファイルを含むプリント・ジョブで特定のファイルを 2 部以上印刷することを指定するには、/COPIES 修飾子を使用します。

たとえば、FARM.DAT を印刷した後、GROTON.DAT を 3 回印刷するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /JOB_COUNT=3 FARM.DAT,GROTON.DAT

DECprint Supervisor を使用するプリント・ジョブで/JOB_COUNT を指定した場合、変換が必要なときは、ソフトウェアは要求されたファイルの各コピーに対してファイルを変換し、PostScript 形式でファイルを送信しなければなりません。この処理を実行すると、コンピュータ・システムの負荷が増大し、プリント・ジョブの印刷速度が遅くなる可能性があります。

/LOWERCASE

/NOLOWERCASE (省略時の設定)

プリント・ジョブで小文字の印刷が必要であることを指定します。この修飾子は PostScript プリンタには適用されません。プリント要求にこの修飾子を指定した場合には、この修飾子は無視されますが、プリント・ジョブは印刷されます。

/MODIFIED

/NOMODIFIED (省略時の設定)

ファイルの最終変更日時をもとに、印刷するファイルを選択します。この修飾子は/BEFORE または/SINCE 修飾子と組み合わせて使用し、時刻を指定します。他のファイル選択修飾子としては/BACKUP、/CREATED、および/EXPIRED があります。/BEFORE または/SINCE だけを指定し、ファイル選択修飾子を指定しなかった場合には、ファイルの作成日時が使用されます。

たとえば、GROTON という名前のファイルのうち、2012 年 3 月 19 日以降に変更されたすべてのファイルを印刷するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /MODIFIED /AFTER=19-MAR-2012 GROTON.*

/NAME=job-name

プリント・ジョブの名前を指定します。この名前はジョブ・セパレータ・ページに印刷されます。ジョブ名は最大 39 文字の英数字です。省略時のジョブ名はプリント・ジョブの最初のファイルの名前です。

たとえば、AG_DATA というジョブ名を使用して FARM.DAT を印刷するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /NAME=AG_DATA FARM.DAT

/NOTE=string

ジョブ・セパレータ・ページに印刷される最大 255 文字のメッセージ文字列を指定します。

たとえば、セパレータ・ページに配布場所を指定するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /NOTE="SEND TO SECOND FLOOR, BIN 7" FARM.DAT

/NOTIFY

/NONOTIFY (省略時の設定)

ジョブが開始および終了されるときに、そのことを通知し、印刷中に発生したエラーや、PostScript オペレータから返されたメッセージ (print, pstack, =, および ==) などをユーザに通知します。

/NOTIFY 修飾子を指定しなかった場合には、これらのプリント・ジョブ・メッセージは表示されません。

たとえば、プリント・ジョブの状態を通知することを要求するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /NOTIFY FARM.DAT,GROTON.DAT

プリント・ジョブをリモート・プリンタのキューに登録するために Distributed Queuing Service (DQS) ソフトウェアを使用する場合には、/NOTIFY 修飾子によって返されるジョブの開始メッセージと終了メッセージは、実際の印刷開始時刻および終了時刻を表現しない可能性があります。DQS では、プリンタ・エラー・メッセージやプリンタからの他のメッセージはユーザ・ターミナルに表示されません。

/OPERATOR=string

プリント・ジョブが開始されるときにオペレータに送信されるメッセージ文字列を指定します。メッセージは最大 255 文字の長さです。メッセージ文字列は引用符で囲んでください。

たとえば、オペレータのターミナルに配布場所を送信するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /OPERATOR="FARM.DAT TO JONES" FARM.DAT

/PAGES=[lowlim,]uplim

DECprint Supervisor ソフトウェアはこの修飾子が無視します。第 1.7 節で説明した PAGE_LIMIT パラメータを使用してください。PostScript プリンタに対する PRINT コマンドに/PAGES 修飾子を指定した場合には、この修飾子は無視されますが、プリント・ジョブは印刷されます。

/PARAMETERS=parameter

DECprint Supervisor の印刷機能の値を指定します。パラメータは付録 C に示しております。

たとえば、用紙の両面に印刷するために SIDES パラメータを指定するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /PARAMETERS=SIDES=2 GROTON.DAT

/PASSALL

/NOPASSALL (省略時の設定)

プリンタの処理全体でプリント・ジョブの元の属性をそのまま維持し、/HEADER、マージン処理、およびタブのエミュレーションを禁止します (第 5 章を参照)。ただし、/PASSALL 修飾子は、システム管理者が DEFINE/FORM/SETUP を使用して指定した操作を禁止しません。プリント・ジョブでフォーム定義を使用する場合には、そのフォーム・タイプに対応するフォーム属性が有効になります (詳しくは第 13 章を参照してください)。

たとえば、特殊処理を実行せずに FARM.DAT ファイルを印刷するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /PASSALL FARM.DAT

/PRIORITY=n

プリント・ジョブに割り当てる優先順位を指定します。この修飾子を使用すれば、プリント・ジョブを特定の順序で印刷できます。*n* の値は 0 ~ 255 です。この優先順位を MAXQUEPRI のシステム値より高く設定するには、オペレータ (OPER) 特権が必要です。

たとえば、FARM.DAT を GROTON.DAT より低い優先順位で印刷し、GROTON が最初に印刷されるようにするには、次に示すように 2 つの PRINT コマンドを入力します。

\$ PRINT /PRIORITY=1 FARM.DAT

\$ PRINT /PRIORITY=2 GROTON.DAT

/QUEUE=queue-name

ジョブを印刷するために使用するプリント・キューを指定します。*queue-name* に対して実行キューの名前またはジェネリック・キューの名前を指定します。この修飾子を指定しなかった場合には、プリント・ジョブはシステム管理者が定義した省略時の SYS\$PRINT キューに登録されます。

システムに定義されているプリント・キューを表示するには、**SHOW QUEUE** コマンドを使用します。第 2.2 節を参照してください。

たとえば、**PS\$DUPLEX** というキューに対応するプリンタで **FARM.DAT** を印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /QUEUE=PS$DUPLEX FARM.DAT
```

```
/REMOTE
```

リモート・プリント要求を別のシステムで開始します。

この修飾子を指定する場合には、印刷するファイルはリモート・ノードに存在しなければなりません。また、プリント要求のファイル指定にホスト・ノード名を指定しなければなりません。ファイルは他のシステムの省略時のプリント・キュー (**SYS\$PRINT**) に登録され、そのシステムに対して定義されているプリンタ属性を使用します。**/REMOTE** 修飾子を使用する場合には、**/QUEUE** 修飾子と **/PARAMETERS** 修飾子は無視されます。

たとえば、**AGRO::** ノードのプリンタで **GROTON.DAT** を印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /REMOTE AGRO::[MACDONALD]GROTON.DAT
```

```
/RESTART
```

```
/NORESTART (省略時の設定)
```

プリンタで紙づまりが発生したり、プリンタが停止したときに、プリント・ジョブを自動的に再起動することを要求します。

複数のファイルまたは複数のコピーを印刷するプリント・ジョブで、1つのファイルから次のファイルに **PostScript** パラメータを渡さなければならない場合には、このようなプリント・ジョブは正しく再起動できません (詳しくは第 1.5 節を参照)。

次の場合には、プリント・ジョブに対して **/RESTART** を指定することはできません。

- **PostScript** 状態を再設定しない複数の **PostScript** ファイルの印刷を要求する場合
- **PostScript** 状態を再設定しない **PostScript** ファイルを 2 部以上印刷する場合
- 次のいずれかのパラメータを指定する場合
 - **/PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION**
 - **/PARAMETERS=NUMBER_UP**

再起動されたプリント・ジョブに対するこれらのパラメータについての詳しい説明は、第 12 章と第 1.6 節を参照してください。

たとえば、**ANSI\$SPRINT** というプリント・キューで **FARM.DAT** を印刷するためのプリント・ジョブを確実に再起動するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /RESTART/QUEUE=ANSI$SPRINT FARM.DAT
```

/RETAIN=オプション

ジョブをキューに保持する条件を指定します。ジョブがキューに保持された場合、ジョブ終了後に SHOW QUEUE コマンドを用いてジョブの状態を確認することができます。ジョブ保持を指定しなかった場合、ジョブ終了後にジョブの記録はキューに残りません。

ジョブ保持の指定には次のオプションを使用します。

ALWAYS	ジョブの終了状態に関わらずジョブをキューに保持します。
DEFAULT	キューの保持ポリシーに従ってキューにジョブを保持します。
ERROR	ジョブが正常に終了しなかった場合のみ、キューにジョブを保持します。
UNTIL=時間	ジョブの終了状態に関わらず、指定された時間の間ジョブをキューに保持します。

/SETUP=module

指定されたセットアップ・モジュールを (キューの装置制御ライブラリから) プリント・ジョブに挿入します。システム管理者はセットアップ・モジュールを装置制御ライブラリに追加したり、既存のセットアップ・モジュールを変更できます。

キューの装置制御ライブラリから 1 つ以上のセットアップ・モジュール名を指定します。複数のモジュール名を指定する場合には、各モジュール名をカンマで区切り、全体を括弧で囲んでください。

たとえば、 FARM.RPT を印刷するためのプリント・ジョブに 4UP_GRID と 4UP_WIDE という PostScript モジュールを追加するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /SETUP=(4UP_GRID,4UP_WIDE) FARM.RPT
```

/SINCE=time

/NOSINCE (省略時の設定)

指定された日時以降の日付のファイルを選択し、そのファイルを印刷します。時刻のかわりにキーワードとして TODAY, TOMORROW, および YESTERDAY を使用できます。

この修飾子は次のいずれかの修飾子と組み合わせて使用し、ファイル選択モードを変更します。

/BACKUP	最終バックアップ日時をもとにファイルを選択する
/CREATED	作成日時をもとにファイルを選択する (ファイル選択修飾子を指定しなかった場合には、これが省略時の設定である)
/EXPIRED	ファイルの満了日時をもとにファイルを選択する
/MODIFIED	ファイルの最終変更日時をもとにファイルを選択する

たとえば、 GROTON という名前のファイルのうち、 2012 年 3 月 1 日以降に変更されたファイルだけを印刷するには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRINT /MODIFIED/SINCE=01-MAR-2012 GROTON.*
```

/SINCE 修飾子を指定しなかった場合には、ファイルの作成日時、バックアップ日時、変更日時、または満了日時とは無関係に、指定されたファイルが印刷されます。

/SPACE

/NOSPACE (省略時の設定)

シングル・スペースまたはダブル・スペース (各テキスト行の間に 1 行のブランク行を出力する形式) で印刷を要求します。ダブル・スペース出力が必要な場合は/SPACE を使用します。シングル・スペース出力が必要な場合は/NOSPACE を使用します。

たとえば、ダブル・スペースで FARM.DAT を印刷するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /SPACE FARM.DAT

/TRAILER=keyword

/NOTRAILER (省略時の設定)

各ファイルの最後にファイル・トレーラ・ページを印刷するかどうかを指定します。この修飾子は PRINT コマンドとファイル指定の間に指定してください。各ファイルの各コピーの後にトレーラ・ページを印刷する場合は、キーワードとして ALL を指定し、プリント・ジョブ内の各ファイルの最後のコピーの後にだけトレーラ・ページを印刷する場合は、ONE を指定します。この修飾子を指定しなかった場合には、プリント・キューの省略時の動作が実行されます。

この修飾子はジョブ・トレーラ・ページの出力に影響しません。ジョブ・セパレータ・ページについての詳しい説明は、『DCPS システム管理者ガイド』を参照してください。

たとえば、GROTON というプリント・ジョブ内のすべてのファイルに対してトレーラ・ページを印刷するには、次のコマンドを使用します。

\$ PRINT /TRAILER=ALL GROTON.*

/USER=user-name

他のユーザのジョブを印刷することを許可します。他のユーザのジョブを印刷するには、CMKRNL 特権とファイルに対する R (読み込み) アクセス権が必要です。この修飾子を指定しなかった場合には、印刷を要求したユーザのユーザ名を持つファイルだけが印刷されます。

たとえば、JONES というユーザの FARM.DAT という名前のファイルを印刷するには、次のコマンドを入力します。

\$ PRINT /USER=JONES FARM.DAT

PRINT コマンドのパラメータ

PRINT コマンドは/PARAMETERS 修飾子を受け付け、この修飾子には DECprint Supervisor ソフトウェア固有の機能を指定できます。PRINT コマンドについての詳しい説明は、付録 B を参照してください。

この付録では、PRINT コマンドのパラメータのうち、DECprint Supervisor ソフトウェアの機能を指定するために使用されるパラメータについて説明します。この付録で説明する項目の一覧については表 C-1 を参照してください。

C.1 PRINT パラメータ

パラメータはキーワードとその値で構成されます。これらのパラメータをプリント・ジョブに指定するには、PRINT /PARAMETERS コマンドを使用します。/PARAMETERS 修飾子はコマンド修飾子です。つまり、プリント・ジョブ内のすべてのファイルは、/PARAMETERS 修飾子に指定したパラメータによって制御されます。

システム管理者は省略時の PRINT パラメータをキューに対応づけることができます。パラメータを特定のプリント・キューに対応づける方法については、『DCPS システム管理者ガイド』を参照してください。

DECprint Supervisor に対して使用される PRINT コマンド・パラメータは表 C-1 に示すとおりであり、各パラメータについての詳しい説明は表に示した参照項目を参照してください。

表 C-1 PRINT パラメータ

パラメータ	説明	参照項目
DATA_TYPE	プリント・ジョブ内のファイルのデータ・タイプを指定します。	第 1 章
FONTS_USED	SoftFont キットが登録されている 1 つ以上の装置制御ライブラリ・モジュールを指定します。	第 5.4 節
INPUT_TRAY	使用する給紙トレイを指定します。	第 3.1 節
LAYUP_DEFINITION	プリント・ジョブに適用されるレイアップ・オプションまたはレイアップ定義ファイルを指定します。	第 12 章
MEDIA_TYPE	ジョブ印刷時に使用するメディア・タイプを指定します。	第 3.1 節
MESSAGES	プリント・メッセージを記録するためのログ・ファイルまたはログ・ページの作成を指定します。	付録 A
NUMBER_UP	用紙の各面に印刷されるページ数を指定します。	第 1.6 節
OUTPUT_TRAY	排紙トレイを指定します。	第 3.2 節
PAGE_LIMIT	印刷する最初のページと最後のページを指定します。	第 1.7 節
PAGE_ORIENTATION	用紙にデータを印刷するときの方向を指定します。垂直方向 (ポートレート) または水平方向 (ランドスケープ)。	第 1.4 節
PAGE_SIZE	論理ページのサイズを指定します。	第 11.7 節
[NO]PUNCH	出力されたジョブにパンチ穴をあけるかどうかを指定します。	第 16.1 節
SHEET_COUNT	各用紙を印刷する部数を指定します。	第 1.5 節
SHEET_SIZE	プリンタ・ストックの用紙サイズを指定します。	第 11.4 節
SIDES	用紙の片面にジョブを印刷するのか、両面に印刷するのかを指定します。	第 1.3 節
STAPLE	ジョブをホチキス止めするかどうかと、ホチキス止めする位置を指定します。	第 16.2 節
[NO]TAB	DECprint Supervisor ソフトウェアまたはテキスト・トランスレータがタブを展開するかどうかを選択します。	第 5.3 節

表 C-1 に示されていないパラメータを使用すると、コマンド構文エラーが発生します。付録 A を参照してください。

C.2 PRINT パラメータの構文

PRINT コマンドに/PARAMETERS 修飾子を指定する場合には、次の構文規則に従ってください。

- 指定できるパラメータは最大 8 個までです (引用符で囲んだ一連のパラメータは 1 つのパラメータとして解釈されます)。Distributed Queuing Service (DQS) ソフトウェアを使用している場合には、指定できるパラメータの最大数は 7 個です。

- 2つ以上のパラメータを指定する場合には、各パラメータをカンマで区切り、パラメータ・リスト全体を括弧で囲みます。次の例はパラメータを指定するときの正しい構文を示しています。

```
$ PRINT /PARAMETERS=DATA_TYPE=REGIS file-name
```

```
$ PRINT /PARAMETERS=(DATA_TYPE=REGIS,MESSAGES) file-name
```

- パラメータの値にカンマや括弧などの特殊文字が含まれる場合には、値 (またはパラメータ全体) を引用符で囲みます。

次の例は複数の値を PRINT パラメータに指定するときの正しい構文を示しています。

```
$ PRINT /PARAMETERS=(DATA_TYPE=REGIS, PAGE_LIMIT="(1,4)",MESSAGES) file-name
```

```
$ PRINT /PARAMETERS=(DATA_TYPE=REGIS, "PAGE_LIMIT=(1,4)",MESSAGES) file-name
```

```
$ PRINT /PARAMETERS="DATA_TYPE=REGIS, PAGE_LIMIT=(1,4),MESSAGES" file-name
```

DECprint Supervisor ソフトウェアはファイルを印刷するときに構文と値の範囲を確認します。しかし、PRINT コマンドを最初に入力するときに、このチェックが実行されるわけではありません。プリント・ジョブのパラメータにエラーがある場合には、そのジョブは強制終了されます。PRINT コマンドに/NOTIFY 修飾子を指定した場合には、エラー・メッセージがターミナルに表示されます。

C.3 パラメータに対して省略時の設定が使用される順序

パラメータは PRINT コマンドに指定でき、また、プリンタ・スタートアップ・ファイルで省略時のキュー・パラメータとして指定できます。パラメータを指定しなかった場合には、標準的なプリンタの省略時の値が使用されます。PRINT コマンドに指定したパラメータの値は省略時のキュー・パラメータの値より優先します。

ジェネリック・キューの省略時のキュー・パラメータは実行キューに対して定義した省略時のキュー・パラメータより優先します。しかし、ジェネリック・キュー定義に構文エラーがある場合には、実行キューの省略時のキュー・パラメータが使用されます。省略時のキュー・パラメータの設定についての説明は、『DCPS システム管理者ガイド』を参照してください。

フォント・カートリッジをエミュレートするための SoftFont キット

表 D-1 は LN03 および DEClaser プリンタで ANSI ファイルを印刷するためのフォント・カートリッジを示しています。これらの ANSI ファイルは、表 D-1 で説明するように、DECprint Supervisor ソフトウェアと適切な SoftFont キットを使用して PostScript プリンタで印刷できます。ANSI ファイルの印刷についての詳しい説明は、第 5.2 節を参照してください。/PARAMETERS=FONTSD_USED 修飾子に対して次のモジュール名を指定してください。SoftFont キットおよびそれらに含まれているモジュールのリストについては、表 D-2 を参照してください。

表 D-1 フォント・カートリッジの対応関係

カートリッジ注文番号	カートリッジ名	SoftFont モジュール名
LN03 フォント・カートリッジ		
LN03X-CB	CG Times	CGTIMES8-10-12_MCS
LN03X-CW	CG Times Presentation	CGTIMES14-18_MCS
LN03X-CX	CG Times Large	CGTIMES24_MCS
LN03X-CY	CG Triumvirate	CGTRIUM8-10-12_MCS
LN03X-CJ	CG Triumvirate Presentation	CGTRIUM14-18_MCS
LN03X-CZ	CG Triumvirate Large	CGTRIUM24_MCS
LN03X-CL	ITC Souvenir	ITCSOUV_MCS
LN03X-CP	English 116 Embassy	SCRIPT
LN03X-DH	Monospaced Swiss Presentation	SWISS_MCS ¹
LN03X-DJ	Monospaced Swiss Large	SWISS_MCS ¹
LN03X-CS	Letter Gothic	LETGOTH
LN03X-CM	OCR A/OCR B	OCR
LN03X-DE	Barcode 3 of 9	BARCODE
LN03X-CT	US Legal	MONO_MCS
DEClaser 2100/2200 フォント・カートリッジ		
LNXX-CA	CG Times	CGTIMES8-10-12_MCS ¹ CGTIMES14-18_MCS ¹

¹文書で ISO Latin-1 文字セットを使用する場合には、接尾辞として_MCS のかわりに_ISO1 を使用します。

(次ページに続く)

表 D-1 (続き) フォント・カートリッジの対応関係

カートリッジ注文番号	カートリッジ名	SoftFont モジュール名
DEClaser 2100/2200 フォント・カートリッジ		
LNXX-CB	CG Triumvirate	CGTIMES24_MCS ¹
		CGTRIUM8-10-12_MCS ¹
		CGTRIUM14-18_MCS ¹
		CGTRIUM24_MCS ¹
LNXX-CC	ITC Souvenir/Script	ITCSOUV_MCS ¹
		SCRIPT
LNXX-CD	Monospaced	BARCODE
		LETGOTH
		MONO_MCS ¹
		OCR
		SWISS_MCS ¹

¹文書で ISO Latin-1 文字セットを使用する場合には、接尾辞として_MCS のかわりに_ISO1 を使用します。

表 D-2 SoftFont キット

SoftFont 注文番号	フォント	モジュール
LNSFT-AX	CG Times 8, 10, 12	CGTIMES8-10-12
	CG Times 14, 18	CGTIMES14-18
	CG Times 24	CGTIMES24
LNSFT-BX	CG Triumvirate 8, 10, 12	CGTRIUM8-10-12
	CG Triumvirate 14, 18	CGTRIUM14-18
	CG Triumvirate 24	CGTRIUM24
LNSFT-CX	English Embassy 14, 18	SCRIPT
	ITC Souvenir 8, 10, 12	ITCSOUV
LNSFT-DX	Barcode 3 of 9, 18, 36	BARCODE
	Letter Gothic 10, 14	LETGOTH
	Mono Swiss 14, 18	SWISS
	Mono Swiss, 24	SWISS
	OCR-A, OCR-B 10	OCR
	US Legal	MONO_MCS

注意

SoftFont キットはサポートされておらず、もう販売されていません。上記の情報は参照用に掲載しています。

追加された文字エンコーディング

この章では、次のことについて説明します。

- 提供されるエンコーディング・ベクタ, 第 E.1 節
- エンコーディング・ベクタの例, 第 E.2 節
- 追加エンコーディングの使用, 第 E.3 節
- プリント・ジョブでの DECMCS エンコーディング・モジュールの指定, 第 E.4 節
- サード・パーティ・プリンタのための ISO Latin-1 の定義, 第 E.5 節

E.1 提供されるエンコーディング・ベクタ

PostScript では、Adobe Standard Encoding ベクタを使用してエンコーディング (コード付け) された文字セットが提供されます。PostScript プログラムがフォントを呼び出す場合には、`findfont` オペレータはこのベクタを使用して文字と文字コードを対応づけます。

PostScript ではまた、`ISOLatin1Encoding` という名前の ISO Latin-1 エンコーディング・ベクタも提供されます。これは ISO Latin Alphabet Number 1 Standard (ISO 8859/1) で使用されるエンコーディング方式です。大部分の PostScript テキスト・フォントでは、ISO Latin-1 エンコーディングで使用するすべての文字が提供されます。ISO Latin Alphabet Number 1 Standard に含まれている文字の一覧については、『PostScript Printers Programmer's Supplement』を参照してください。

Adobe Standard および ISO Latin-1 エンコーディングの他に、`DECprint Supervisor` ソフトウェアでは DECMCS (DEC マルチナショナル文字セット) エンコーディングも提供されます。DEC マルチナショナル文字セットに含まれる文字の一覧については、『PostScript Printers Programmer's Supplement』を参照してください。

ISO Latin-1 および DECMCS エンコーディングに含まれる文字は、独立したフォント・メトリックス・ファイル (.AFM ファイル) を持ちません (.AFM ファイルについての詳しい説明は『PostScript Printers Programmer's Supplement』を参照してください)。フォント・メトリックス・ファイルに登録されている文字情報を検索しなければならない場合には、エンコーディングによってではなく、名前で文字を検索してください。

E.2 エンコーディング・ベクタの例

例 E-1 では、DECMCS エンコーディング・ベクタの定義方法を示しています。これらのエンコーディング・ベクタの定義方法についての詳しい説明は、『PostScript Printers Programmer's Supplement』を参照してください。

エンコーディング・ベクタ DECMCSEncoding は、ISOLatin1Encoding というベクタを変更することにより定義されます。

例 E-1 DECMCS エンコーディング・ベクタの定義

```
%! DECMCSEncoding.PS
%
% Create DEC Multinational Character Set (MCS) encoding vector.
/DECMCSEncoding ISOLatin1Encoding 256 array copy def
mark
  8#177 8#240 8#244 8#246 8#254 8#255 8#256 8#257
  8#264 8#270 8#276 8#320 8#336 8#360 8#376 8#377
counttomark
{DECMCSEncoding exch /questionmirror put}
repeat
% stack now contains   mark
  8#250 /currency
  8#327 /OE
  8#335 /Ydieresis
  8#367 /oe
  8#375 /ydieresis
counttomark 2 idiv
{DECMCSEncoding 3 1 roll put}
repeat
% stack now contains   mark
cleartomark
```

E.3 追加エンコーディングの使用

Adobe Standard Encoding 以外の文字エンコーディングを使用するには、次の操作を実行します。

1. 新しいフォントを作成するために、PostScript プログラムのプロローグで、エンコーディング・ベクタをフォントに適用するプロシージャ、たとえば、`encodefont` を定義します。`findfont` を起動する前に、ユーザ・プログラムで `encodefont` を呼び出すことにより、適切なエンコーディング・ベクタを使用してフォントをエンコーディングします。`encodefont` のコードは次のとおりです。


```

/encodefont {
  findfont dup                    % Get the old font dict
  maxlength dict begin            % Make a new one just as big
  { 1 index /FID ne              % Copy everything but FID
    { def }
    { pop pop }
  } ifelse }
  forall
  /Encoding exch def              % Install the new encoding
  dup /FontName exch def          % new font dict is still current.
  currentdict definefont         % Create the new font.
  end
} bind def

```

2. **encodefont** プロシージャを使用して新しいフォントを作成します。このプロシージャは3つの引数を必要とします。

- 新しいフォントの名前
- エンコーディング・ベクタ
- 古いフォントの名前

encodefont プロシージャは新しい名前とエンコーディングを使用して新しいフォントを作成し、新しいフォントを戻します。新しいフォントに対しては任意の名前を選択できます。古いフォントの名前とエンコーディング・ベクタを含む名前を選択すると適切です。

新しいフォントを作成し、ただちにそのフォントを使用できます。また、新しいフォントを作成した後、プログラムでそのフォントを使用することも可能です。たとえば、ISO Latin-1 を使用してエンコーディングされる Times-Roman フォントを作成し、使用するには、次のコードを使用します。

```

/Times-Roman-ISOLatin1 ISOLatin1Encoding
  /Times-Roman encodefont
12 scalefont setfont

```

フォントを作成した後、プログラムでそのフォントを使用するには、次のコードを使用します。

```

/Times-Roman-ISOLatin1 ISOLatin1Encoding
  /Times-Roman encodefont pop
.
.
.
/Times-Roman-ISOLatin1 findfont 12 scalefont setfont

```

DECMCS エンコーディングを使用するには、このエンコーディング・ベクタを定義する装置制御ライブラリ・モジュール (LPS\$DECMCSENCODING) も指定しなければなりません。LPS\$DECMCSENCODING モジュールはエンコーディング・ベクタだけを提供します。バージョン 40 以前の PostScript で未定義だった文字は定義されません。

例 E-1 では、DECMCS エンコーディング・ベクタの定義方法が示されています。

E.4 プリント・ジョブでの DECMCS エンコーディング・モジュールの指定

DECMCS エンコーディング・モジュールを使用するには、次のように指定します。

```
$ PRINT/SETUP=(LPS$DECMCSENCODING) filename.PS
```

E.5 サード・パーティ・プリンタのための ISO Latin-1 の定義

バージョン 40 以前の PostScript バージョンの PostScript プリンタを使用する場合には、このエンコーディングを使用する PostScript ファイルを印刷するために、ISO Latin-1 エンコーディング・ベクタを定義しなければなりません。たとえば、PostScript の以前のバージョンを使用するタイプセットで印刷するために、ISO Latin-1 エンコーディング・ベクタを必要とする PostScript プログラムがあるとし

ます。

この場合には、`encodefont` プロシージャを使用できますが、PostScript プログラムのプロログで ISO Latin-1 エンコーディング・ベクタを定義しなければなりません。装置制御ライブラリから `LPS$ISOLATIN1ENCODING` モジュールを取り出してください。

```
$ LIBRARY /EXTRACT=LPS$ISOLATIN1ENCODING -  
_ $ /OUTPUT=ISOLATIN1ENCODING.PS /TEXT SYSS$LIBRARY:DCPS$DEVCTL
```

`LPS$ISOLATIN1ENCODING` モジュールはエンコーディング・ベクタだけを提供します。このモジュールはバージョン 40 以前の PostScript で未定義だった文字は定義しません。

Advanced Server for OpenVMS

Windows システムに対してネットワーク全体の資源および通信を集中管理するために、OpenVMS Alpha サーバ上で実行されるソフトウェア製品。

ANSI

DIGITAL ANSI 準拠プリンティング・プロトコル・レベル 3 を参照。

ANSI/Sixel ファイル

ANSI 形式または sixel 形式でデータが格納されいてるファイル。たとえば、LN03 ファイルなど。

AppleTalk ネットワーク・システム

ユーザにファイル共有、プリンタ共有、メッセージ送信などのオプションを提供する通信環境。システム内のネットワーク装置およびソフトウェアは、通信のために AppleTalk プロトコルを使用します。AppleTalk の設計に基づき、AppleTalk サービスおよびインタフェースを保持したままで、送信媒体の種類を選択することができます。

AppleTalk プリンタ

AppleTalk ネットワークに接続されたプリンタであり、AppleTalk プロトコル、特に PAP (Printer Access Protocol) を使用してアクセスすることができます。

ASCII

エスケープ・シーケンスを含まない ANSI テキスト・データが格納されているファイル。

CPAP (Common Printer Access Protocol)

TCP/IP および DECnet ネットワーク・プロトコルの上位層プリンタ・プロトコルであり、DECprint Supervisor が DIGITAL PrintServer プリンタと通信するために使用します。

DDIF (Digital Data Interchange Format)

データを交換するために使用される弊社のデータ構文。

DECimage

たとえば DIGITAL PrintServer プリンタおよび DEC Laser 5100 プリンタなどの特定のプリンタで使用可能なイメージ拡張技術。この機能により、グラフィックスをよりクリアに、スムーズに、鮮明に印刷することができます。特定のグラフィックス・アプリケーションで作成された合成イメージにも適用可能な場合がありますが、基本的に PostScript イメージのみに適用可能です。特に、連続したグレースケール・イメージには最適です。

DECimage-Lite

セットアップ・モジュールの使用により、DECimage イメージ拡張技術のサブセットを提供する DECprint Supervisor ソフトウェアの機能です。

DECnet

弊社のネットワーク・プロトコル。

DECprint Supervisor

PostScript プリンタで印刷するために、共通プリント・シンビオントとデータ構文トランスレータで構成されるソフトウェア製品。

DECserver

プリンタを Ethernet ネットワークに直接接続することにより、シリアル・ベースのプリンタをネットワークからアクセス可能にする通信装置。提供されるネットワーク・プロトコルには通常 LAT が含まれており、多くの場合 raw TCP/IP も含まれています。

NIC (Network Interface Card)

ネットワークにプリンタを接続するためのハードウェア装置。これはプリンタに組み込まれている場合も、オプションとして後から追加する場合があります。NIC には各種のネットワーク・プロトコル (raw TCP/IP, AppleTalk, LAT など) を実現するためのファームウェアも含まれています。NIC で提供されるプロトコルは、その機能と構成方法に依存しています。

OpenVMS Alpha

弊社の Alpha システム上で稼動する OpenVMS オペレーティング・システム。

OpenVMS I64

弊社の Integrity サーバ上で稼動する OpenVMS オペレーティング・システム。

OpenVMS VAX

弊社の VAX システム上で稼動する OpenVMS オペレーティング・システム。

PATHWORKS

OpenVMS などのホスト・システムから PC との通信、資源共有、集中管理などの機能を提供するソフトウェア群。

PATHWORKS for OpenVMS (V5 Family)

Windows システムに対してネットワーク全体の資源および通信の集中管理を提供する OpenVMS Alpha または VAX サーバ・ノード上で稼動する PATHWORKS ソフトウェア。この製品は Advanced Server for OpenVMS および PATHWORKS (Advanced Server) で置き換えられています。

PATHWORKS for OpenVMS (Macintosh)

PATHWORKS for Macintosh 構成用の OpenVMS サーバ・ソフトウェアを提供する PATHWORKS ソフトウェア。このソフトウェアには AppleTalk ネットワーク・プロトコルが含まれているため、OpenVMS システムは AppleTalk ネットワークの一部になることができます。

PC

Windows あるいは DOS オペレーティング・システムが稼動しているパーソナル・コンピュータ。

PCL ファイル

HP PCL (Page Control Language) データ・タイプのデータが格納されたファイル。DECprint Supervisor は、HP の LaserJet IID プリンタ用に生成された PCL ファイルを、PostScript プリンタ用の PostScript ファイルに変換するトランスレータ・ソフトウェアを含んでいます。

PostScript ファイル

PostScript 言語で記述されたファイルであり、テキスト、グラフィックス、ビットマップ・イメージの組み合わせも含めて、必要なページの記述をプリンタに出力できるように設計されています。

PostScript プリンタ

PostScript 形式でファイルを印刷できるように設計されたプリンタ。

PrintServer ソフトウェア

弊社の PrintServer プリンタを管理するソフトウェア。

PrintServer ソフトウェア・リモート・コンソール

サポーティング・ホストからプリンタを管理できるようにする PrintServer ソフトウェア。

Proprinter ファイル

IBM Proprinter 装置のために生成されたファイル。

raw TCP/IP

TCP データ・ストリームの解析を行うことなく TCP/IP プロトコルを直接使用するネットワーク・プロトコル。これは、多くのプリンタの NIC (ネットワーク・インタフェース・カード)、プリント・サーバ、ターミナル・サーバでサポートされています。

ReGIS ファイル

弊社の ReGIS データ形式のグラフィックス・データを登録したファイル。

SPD

ソフトウェア仕様書。このドキュメントは、弊社のソフトウェア・メディアおよびドキュメント・キットとともに提供され、サポートされる構成およびソフトウェアの実行に必要な製品についての説明が記載されています。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

伝送制御プロトコル/インターネット・プロトコル。

Tektronix 4010/4014 ファイル

Tektronix 4010/4014 システムで作成されたデータ・ファイル。

アスペクト比

ページの幅とページの長さの比率。

イメージ・ファイル

印刷するための写真あるいはグラフィックス・イメージを含むファイル。

印刷可能領域

データが印刷されるページ内の領域。ページが拡大/縮小されるときには、印刷可能領域内に収まるように調整されますが、アスペクト比 (幅と長さの比率) は変わりません。余白が残る場合には、ページは印刷可能領域の中心へ配置されます。

共有ネットワーク・プリンタ

複数のコンピュータ (PC およびタイムシェアリング・システムを含む) からアクセス可能なネットワーク上のプリンタ。

クライアント・システム

PrintServer プリンタをアクセスするために、DECprint Supervisor ソフトウェアを実行しているネットワーク・ノード。

グレースケール

PostScript プリンタで写真を印刷する方法。

コマンド修飾子

コマンド全体に影響する修飾子。**定位置修飾子**も参照してください。

サーバ・ノード

ネットワーク構成内の共有資源を管理するホスト・システム。

ジェネリック・キュー

ユーザからプリント・ジョブを受け付け、それを適切な実行キューに渡す論理的なプリント・キュー。

実行キュー

特定の物理的なプリント出力装置に対応するプリント・キュー。

自動データ・タイプ検出

DECprint Supervisor ソフトウェアがプリント・ファイルのデータ・タイプを特定するためにそのファイルを調べること。

ジョブ

プリント・ジョブ。

ジョブ・セパレータ・ページ

ジョブ・フラグ・ページ、ジョブ・バースト・ページ、ジョブ・トレーラ・ページであり、プリント・ジョブに関する情報を記録するために、プリント・ジョブでオプションとして使用することができます。ジョブ・セパレータ・ページは、キューの設定の一部ですが、ファイル・セパレータ・ページは PRINT コマンドで制御することができます。

ジョブ・ログ・ページ

印刷中にシステムからのメッセージが登録されるログ・ページであり、省略可能です。

シリアル・プリンタ

シリアル通信によってシステムに接続されるプリンタ。

シンプレックス印刷

各用紙の片面に印刷することを示すために使用される用語。

セットアップ・モジュール

ファイルの印刷の前にプリンタに送られる装置制御ライブラリ内のファイル。

装置制御モジュール

プリンタに対する装置制御ライブラリに登録されている PostScript またはテキスト・データ構文のプロシージャ。プリンタ装置固有の機能の制御や共通に使用される PostScript プロシージャなどがあります。

装置制御ライブラリ

キューに対応する装置に送信できる一連のテキスト・モジュールに登録したライブラリであり、その装置の動作に影響を与えます。

ソフト・フォント

弊社の LN03 プリンタおよび DEClaser プリンタの物理的フォント・カートリッジをエミュレートする PostScript フォント・ファミリー。**フォント・カートリッジ**も参照してください。

タンブル印刷

製本またはとじ穴のための余白が用紙の 1 ページおきに入れ替わる印刷方法。右ページは用紙の先頭に印刷され、必要に応じて空白の左ページが挿入されます。

定位置修飾子

コマンド行の一部のみ (たとえば、1 つのファイル) に影響する修飾子。**コマンド修飾子**も参照してください。

データ構文

データ・タイプを参照してください。

データ・タイプ

ファイルのデータ形式。

デスクトップ・プリンタ

raw TCP/IP, LAT, AppleTalk ネットワーク接続, あるいはシステムへの直接シリアル接続によりアクセス可能な、通常低速度から中速度のプリンタ。

トランスレータ

ユーザ・ファイルのデータ構文をプリンタに出力可能な形式に変更するプログラム。

トレーラ・ページ

各ファイルを印刷した後に印刷されるプリント・ジョブ・ページであり、省略可能です。トレーラ・ページはプリント・ジョブが失敗したときにも印刷されることがあり、プリント・エラーの理由をユーザに知らせるメッセージを含みます。

ナンバアップ

1 枚の用紙に複数のページをプリントするための用語。

ネットワーク・プリンタ

同じネットワーク内の複数のノードからアクセス可能なプリンタ。

ネットワーク・プリンティング

複数のユーザ間でのプリンタの共有を可能とし、PC およびホスト・システムなどのネットワーク・ノードからのアクセスを可能とするネットワーク上のプリンタの構成。

バースト・ページ

プリント・ジョブの間、または複数ファイルのジョブのファイルの間に挿入されるページ。プリント・ジョブを分離するために役立ちます。

バーソ・ページ

本の偶数ページ。横書きの本を開いたときに、偶数ページは常に左側になります。たとえば、ページ 2 は常にバーソ・ページです。1 枚の用紙の場合には、バーソ・ページは常に用紙の裏面のページになります。**レクト・ページ**も参照してください。

ビットマップ

ディジタル化された形式のイメージであり、格納、送信、再生が可能です。

ファイル拡張子

ファイル名のピリオドの後に続く拡張子。MYFILE.TXT というファイルの場合の拡張子は TXT。

ファイル・セパレータ・ページ

各ファイルの前後に出されるページ。PRINT コマンドによって制御されます。**ジョブ・セパレータ・ページ**も参照してください。

ファイル・タイプ

ファイル拡張子を参照してください。

フィニッシャ

プリント・ジョブに対して、自動的にパンチ穴をあけたりホチキス止めができるようにするプリンタ機能の一部。通常はオプションとして提供されます。

フェイス・アップ

プリンタ出力のスタックの方法。表面を上にしてスタックします。

フェイス・ダウン

プリンタ出力のスタックの方法。表面を下にしてスタックします。

フォント

特定のポイント・サイズ、ウェイト、およびスタイルを持ち、特定のタイプフェイスに属している文字セットの表現。

フォント・カートリッジ

LN03 プリンタまたは DEClaser プリンタにフォントを追加するための、フォントを納めた ROM カートリッジ。DECprint Supervisor ソフトウェアは、ソフト・フォント・キットを使用してこの機能をエミュレートします。ソフト・フォント (SoftFont) も参照してください。

フォント・ファイル

特定のフォントを再生するために使用される情報を登録したデータ・ファイル。

フラグ・ページ

印刷される各ジョブの前に印刷されるプリント・ジョブ・ページであり、省略可能です。フラグ・ページには、プリンタ、プリント・ジョブおよび PRINT/NOTE 修飾子によるメッセージなどの情報が含まれます。

プリンタ

印刷装置。

プリント・エンジン

印刷装置内の内部エンジン。

プリント・キュー

プリント・ジョブが印刷されるのを待つキュー。

プリント・サーバ

プリンタをネットワークに接続するためのハードウェア装置。通常はプリンタの平行ポートに接続します。プリント・サーバで提供されるプロトコルは、個々のサーバの機能および構成方法によって異なりますが、通常は raw TCP/IP および AppleTalk が含まれており、LAT が含まれることもあります。

プリント・ジョブ

1 つ以上のファイルと関連する印刷必要条件で構成されるプリント要求。

プリント・シンビオント

ユーザのプリント要求を処理し、必要に応じてデータを変換し、プリンタに転送するために要求とデータをキューに登録し、プリンタからのメッセージをユーザに報告するソフトウェア。

プレーン・テキスト

エスケープ・シーケンスを含まないテキスト・ファイル。

ページ

データ・ページ。論理ページも参照してください。

ページ・スポット

用紙でページを印刷できる場所。/PARAMETERS=NUMBER_UP および /PARAMETERS=LAYUP_DEFINITION=GRID は、1 枚の用紙のページ・スポットの数を定義します。

ポートレート (縦長) 方向

テキストが用紙の短い辺と平行に印刷される用紙の方向。

ホスト

プリンタの管理機能とサービス機能を提供するコンピュータ・システム。

ポイント

印刷における大きさ (長さ)。72 ポイントが 1 インチ。

用紙

物理的な用紙。

ランドスケープ (横長) 方向

テキストが用紙の長い辺と平行に印刷される用紙の方向。

両面印刷

用紙の両面に印刷される文書のページ・レイアウト。

レイアアップ

DECprint Supervisor の機能の 1 つであり、用紙に対するページのマッピングを制御します。用紙上でのページの位置を制御し、各用紙に印刷されるページの数进行制御することもできます。

レイアアップ定義ファイル

システム論理名 LPS\$LAYUP によって定義されるディレクトリに登録されるファイルであり、ページ・レイアウトを指定するためにプリント・ジョブに含むことができます。

レクト・ページ

本の奇数番号のページ。横書きの本を開いた状態では、レクト・ページは常に右側になります。たとえば、ページ 1 は常にレクトです。1 枚の用紙の場合には、レクト・ページは常に用紙の表面のページになります。**バーソ・ページ**も参照してください。

論理ページ

分割不可能な印刷イメージ。

A

/AFTER 修飾子 2-2, B-3
 /ALL_JOBS 修飾子 2-3
 ALTERNATE レイアアップ・オプション 12-2
 ANSI エスケープ・シーケンス 5-5, 6-5
 ANSI 修飾子 5-1, 6-1
 ANSI ファイル
 印刷 5-1
 ANSI プリンタ
 エミュレート 5-1, 6-1

B

/BACKUP 修飾子 B-3
 /BEFORE 修飾子 B-3
 BORDERS レイアアップ・オプション 12-3
 /BRIEF 修飾子 2-2, 2-3
 /BURST 修飾子 15-1, B-3
 /BY_JOB_STATUS
 修飾子 2-2
 /BY_JOB_STATUS 修飾子 2-3
 /BY_OWNER 修飾子 B-4

C

/CHARACTERISTICS 修飾子 B-4
 /CONFIRM 修飾子 B-4
 /COPIES 修飾子 1-4, B-4
 /CREATED 修飾子 B-5

D

DATA_TYPE パラメータ 8-1, 8-7, 9-1, 9-2,
 14-3
 DCPS\$DEFAULT フォーム 13-3
 DCPS\$DEVCTL.TLB ライブラリ 14-1
 DDIF イメージ・ファイル 7-1
 DECcolorwriter 1000 セットアップ・モジュール
 14-5
 DECimage
 解像度の拡張 14-4
 セットアップ・モジュール 14-3
 有効化 14-3
 DEFINE /FORM コマンド 13-2
 DELETE /ENTRY コマンド 2-4
 /DELETE 修飾子 B-5

E

ENVELOPE_FEEDER キーワード 3-5
 /EXCLUDE 修飾子 B-6
 Exit オペレータ
 エラー・ハンドラ 17-1
 /EXPIRED 修飾子 B-6

F

/FEED 修飾子 B-6
 /FILES
 修飾子 2-2
 /FILES 修飾子 2-4
 FIRSTPAGE レイアアップ・オプション 12-5
 /FLAG 修飾子 15-1, B-6
 FONTS_USED キーワード 5-2, 5-3, 6-2, 6-3
 /FORM 修飾子 2-4, 5-2, 6-2, 13-1, B-7
 /FULL
 修飾子 2-3
 /FULL 修飾子 2-4

G

GRID レイアアップ・オプション 12-7

H

/HEADER 修飾子 5-2, 6-2, B-7
 HELP PRINT_PARAMETER コマンド 18-4
 /HOLD 修飾子 2-2, B-7

I

/IDENTIFY 修飾子 B-8
 INPUT_TRAY パラメータ 3-1
 ISO Latin-1 エンコーディング E-2
 サード・パーティ・プリンタのための E-4

J

/JOB_COUNT 修飾子 1-4, B-8

L

LAYUP_DEFINITION パラメータ	12-1
/LENGTH 修飾子	13-2
LIBRARY /EXTRACT コマンド	14-2
LIBRARY /LIST コマンド	14-1
List データ・タイプ	10-1
/LOWERCASE 修飾子	B-8
LPS\$STATUSDICT.PS ファイル	4-4

M

Macintosh システム	
ファイルの問題	18-3
MANUAL_FEED キーワード	3-4
MARGINS レイアウト・オプション	12-8
/MARGIN 修飾子	13-2
MEDIA_TYPE パラメータ	3-2, 3-3
MESSAGES パラメータ	18-1
/MODIFIED 修飾子	B-8

N

/NAME 修飾子	B-9
/[NO]TRUNCATE 修飾子	13-2
/[NO]WRAP 修飾子	13-2
/NOFEED 修飾子	5-2, 6-2
/NOTE 修飾子	B-9
/NOTIFY 修飾子	18-1, B-9
NUMBER_UP パラメータ	1-5, 11-7
給紙トレイ選択オペレータ	11-7
複数のファイル	11-10
ページ方向	11-8

O

ONE_SIDED_DUPLEX キーワード	11-2
ONE_SIDED_SIMPLEX キーワード	11-1
ONE_SIDED_TUMBLE キーワード	11-2
/OPERATOR 修飾子	B-9
OUTPUT_TRAY パラメータ	3-5

P

PAGE_LIMIT パラメータ	1-6, 11-11
印刷部数	11-12
両面印刷プリント・ジョブ	11-12
PAGE_ORIENTATION パラメータ	1-3
/PAGE_SETUP 修飾子	13-2
PAGE_SIZE パラメータ	3-2, 8-4, 11-13
PAGEORDER レイアウト・オプション	12-10
PAGESPERSHEET レイアウト・オプション	
ン	12-12
/PAGES 修飾子	B-10
/PARAMETERS 修飾子	B-10
/PASSALL 修飾子	5-2, 6-2, B-10

PC

ファイルの問題	18-3
PCL トランスレータ	
フロント・パネル・モード	8-5
変更	8-3

PCL ファイル

DCPS での問題の回避	8-11
PC ドライバの設定	8-10
PJL および TBCP での問題の回避	8-10
PJL および TBCP の概要	8-11
PostScript での問題の回避	8-11
印刷	8-1
セットアップ・モジュールの使用	8-9
ネイティブ PCL の制限	8-4
ネイティブ PCL 印刷と自動 DATA_TYPE 検出	8-12
ネイティブ PCL モード	8-13
フォントの指定	8-10
ページ・サイズ	8-4
マクロの指定	8-10
問題	8-12

PostScript エラー

PostScript オペレータ

制限	4-4
トレイの変換	5-4, 6-4

PostScript 拡張オペレータ

PostScript ファイル

印刷	4-1
複数の印刷	11-6
プリンタ固有の	4-3
プリンタに依存しない	4-3

PrintServer イメージ・インタプリタ

PrintServer プリンタ

問題	18-3
----	------

PRINT コマンド

/AFTER 修飾子	B-3
/BACKUP 修飾子	B-3
/BEFORE 修飾子	B-3
/BURST 修飾子	B-3
/BY_OWNER 修飾子	B-4
/CONFIRM 修飾子	B-4
/COPIES 修飾子	B-4
/CREATED 修飾子	B-5
/DELETE 修飾子	B-5
/EXCLUDE 修飾子	B-6
/EXPIRED 修飾子	B-6
/FEED 修飾子	B-6
/FLAG 修飾子	B-6
/FORM 修飾子	B-7
/HEADER 修飾子	B-7
/HOLD 修飾子	B-7
/IDENTIFY 修飾子	B-8
/JOB_COUNT 修飾子	B-8
/LOWERCASE 修飾子	B-8
/MODIFIED 修飾子	B-8
/NAME 修飾子	B-9
/NOTE 修飾子	B-9
/NOTIFY 修飾子	A-1, B-9

PRINT コマンド (続き)

/OPERATOR 修飾子	B-9
/PAGES 修飾子	B-10
/PARAMETERS 修飾子	B-10, C-1
構文	C-2
/PASSALL 修飾子	B-10
/PRIORITY 修飾子	B-10
/REMOTE 修飾子	B-11
/RESTART 修飾子	B-11
/SETUP 修飾子	B-12
/SINCE 修飾子	B-12
/SPACE 修飾子	B-13
/TRAILER 修飾子	B-13
修飾子	B-1
パラメータ	C-1
PRINT パラメータ	C-3
指定	C-1
リスト	C-1
/PRIORITY 修飾子	B-10
PRIORINTER-FULL-PAGE.LUP ファイル	9-9
Proprinter セットアップ・モジュール	9-11
Proprinter トランスレータ	
変更	9-2
Proprinter ファイル	
印刷	9-1, 9-6
Proprinter プリント・ジョブ	
給紙トレイの指定	9-10
ソフト・フォントの登録	9-11
ページ・サイズの指定	9-9
PS_SUPPLEMENT ファイル	4-4
PUNCH パラメータ	16-1

Q

/QUEUE 修飾子	B-10
------------	------

R

/RELEASE 修飾子	2-2, 2-5
/REMOTE 修飾子	B-11
/REQUEUE 修飾子	2-4
/RESTART 修飾子	B-11
/RETAIN 修飾子	B-12

S

setbottomtray オペレータ	5-4, 6-4, 9-10
SET ENTRY コマンド	2-4
setenvelopefeedertray オペレータ	9-10
setlcitray オペレータ	5-5, 6-5
setmanualfeedertray オペレータ	5-5, 6-5
setpapertray オペレータ	5-4, 6-4
settoptray オペレータ	5-4, 6-4, 9-10
/SETUP 修飾子	13-2, 14-1, B-12
SHEET_COUNT パラメータ	1-4
SHEET_SIZE パラメータ	3-2, 11-6, 11-13
SHOW ENTRY	
コマンド	2-1

SHOW ENTRY コマンド	2-2
SHOW QUEUE /FORM コマンド	13-1
SHOW QUEUE コマンド	2-3
SIDES パラメータ	1-2, 11-2
値	11-1
複数の PostScript ファイル	11-6
/SINCE 修飾子	B-12
SoftFont	
指定	5-2, 6-2
SoftFont キット	5-3, 6-3
/SPACE 修飾子	5-2, 6-2, B-13
STAPLE パラメータ	16-3
/STOCK 修飾子	13-2
/SUMMARY 修飾子	2-4

T

TAB キーワード	5-2, 6-2
/TRAILER 修飾子	15-1, B-13
TWO_SIDED_DUPLEX キーワード	11-1
TWO_SIDED_SIMPLEX キーワード	11-2
TWO_SIDED_TUMBLE キーワード	11-2

U

/USER_NAME	
修飾子	2-3
/USER 修飾子	B-13

W

/WIDTH 修飾子	13-2
------------	------

イ

イメージ印刷	7-1
イメージ・インタプリタ	
PrintServer プリンタのための	7-1
印刷	
小文字	B-8
他のユーザ	B-13
トレーラ・ページ	B-13
2 部以上の	B-8
フォーム	B-7
複数印刷	B-4
ヘッダ	B-7
印刷可能領域	
Proprinter プリント・ジョブのための変	
更	9-6
印刷部数	
PAGE_LIMIT パラメータ	11-12
指定	1-4

エ

エラー通知	
レイアップ定義エラー	12-14
エラー・ハンドラ	17-1
PostScript 環境	17-1
出力	17-3
出力形式	17-3
プログラムへの組み込み	17-1
例	17-2
エラー・メッセージ	A-1
レイアップ定義	A-36~A-37
エンコーディング・ベクタ	E-1
DECMCS	E-1
ISO Latin-1	E-1
ISO Latin-1 または DECMCS を使用した	
た	E-2
フォント	E-1
フォント・メトリックス・ファイル	E-1
例	E-2

カ

片面印刷	
ANSI エスケープ・シーケンスを使用した指定	5-5, 6-5

キ

キュー	
指定	B-10
表示	2-3
給紙トレイ	
PCL プリント・ジョブに対する指定	8-8
PostScript オペレータを使用した指定	5-4, 6-4
Proprinter プリント・ジョブでの指定	9-10
選択	3-1
キューの省略時の設定	
フォーム	13-3

サ

最初のページ・スポット	
指定	12-5

シ

システム・メッセージ	A-1
指定	
PAGE_SIZE と SHEET_SIZE パラメータ	11-14
印刷部数	1-4
修飾子	
/AFTER	B-3
/BACKUP	B-3
/BEFORE	B-3

修飾子 (続き)

/BURST	B-3
/BY_OWNER	B-4
/CONFIRM	B-4
/COPIES	B-4
/CREATED	B-5
/DELETE	B-5
/EXCLUDE	B-6
/EXPIRED	B-6
/FEED	B-6
/FLAG	B-6
/FORM	B-7
/HEADER	B-7
/HOLD	B-7
/IDENTIFY	B-8
/JOB_COUNT	B-8
/LOWERCASE	B-8
/MODIFIED	B-8
/NAME	B-9
/NOTE	B-9
/NOTIFY	B-9
/OPERATOR	B-9
/PAGES	B-10
/PARAMETERS	B-10, C-1
/PASSALL	B-10
/PRIORITY	B-10
/REMOTE	B-11
/RESTART	B-11
/SETUP	B-12
/SINCE	B-12
/SPACE	B-13
/TRAILER	B-13
/USER	B-13
出力の穴あけ	16-1
出力のホチキス止め	16-1
省略時のフォーム	13-3
ジョブ・ログ・ページ	18-1
ジョブ・セパレータ・ページ	
ユーザには制御できない	15-1

ス

スペース	
調整	5-2, 6-2

セ

セットアップ・モジュール	
DECimage	14-3
DECclaser 5100 への複雑なページの印刷	19-32
PCL プリント・ジョブ	8-9, 8-10
Proprinter プリント・ジョブ	9-11
位置	14-1
カスタム	14-2
挿入	B-12
定義	14-1
内容の表示	14-2

セットアップ・モジュール (続き)

フォーム定義での使用	13-3
プリント・ジョブでの使用	14-1
セパレータ・ページ	
表示	15-2

ソ

装置制御ライブラリ	
エラー・ハンドラ	17-1
ソフト・フォント	
ANSI プリント・ジョブ	D-1
PCL プリント・ジョブ	8-9
PCL プリント・ジョブでの指定	8-10
Proprinter プリント・ジョブでの登録	9-11

タ

タブ	
制限	5-2, 6-2
調整	5-2, 6-2
ダブル・スペース印刷	B-13
タンブル印刷	
指定	11-2

テ

テキストおよび PostScript ファイル	
印刷	4-1
テキスト・ファイル	
印刷	10-1
手差しトレイ	
選択	3-4
デュープレックス印刷	
指定	1-2, 11-1

ト

特定の範囲のページ	
印刷	1-6, 11-11
トレーラ・ページ	B-13

ニ

2 部以上の印刷	B-8
日本語ファイル	
印刷	6-1

ネ

ネイティブ PCL	
PRINT パラメータの制限	8-4

ハ

排紙トレイ	
選択	3-5
マニュアル操作による選択	3-6
パラメータ	
構文	C-2
指定	C-1
省略時設定が使用される順序	C-3

ヒ

表	
印刷	10-1

フ

ファイル形式	
可変長	1-8
固定	1-8
索引編成	1-8
ストリーム	1-8
相対編成	1-8
バイナリ	1-8
不定	1-8
ファイル・セパレータ・ページ	15-1
ファイル・トレーラ・ページ	
指定	15-1
ファイル・バースト・ページ	
指定	15-1
ファイル・フラグ・ページ	
指定	15-1
封筒トレイ	
指定	3-5
フォーム定義	13-1
ANSI ファイルでの	5-2, 13-2
一覧	13-1
省略時の設定	13-3
属性の表示	13-1
セットアップ・モジュールの起動	13-3
日本語テキスト・ファイルでの	6-2
用紙タイプの指定	13-3
フォームフィード	
制限	5-2, 6-2
フォント・カートリッジ	
エミュレート	5-3, 6-3
フォント・メトリックス・ファイル	E-1
複数印刷	B-4
複数の PostScript ファイル	
SIDES パラメータ	11-6
フラグ・ページ	B-6
プリンタ固有の情報	19-1
プリント・ジョブ	
"aborting"状態	2-2
"Holding"状態	2-2
"Pending"状態	2-2
"Retained"状態	2-2

プリント・ジョブ (続き)

"stalled"状態	2-2
穴あけ	16-1
再起動	11-12, B-11
削除	2-4
状態の表示	2-2
他のユーザのためのキュー登録	B-13
ダブル・スペース	B-13
名前の指定	B-9
表示	2-1
変更	2-4
保持	B-12
ホチキス止め	16-1
保留	B-3, B-7
保留解除	2-5
優先順位	B-10
リスト	2-1, 2-3
リモート・システム	B-11
両面印刷と PAGE_LIMIT パラメータ	11-12
プリント・ファイルの削除	B-5
プログラム・リスト	
印刷	10-1
フロント・パネル・モード	
PCL トランスレータ	8-5

へ

ページ格子	
設定	12-7
ページ・サイズ	
PCL プリント・ジョブでの指定	8-4
Proprinter プリント・ジョブでの指定	9-9
指定	11-13
変更	11-14
ページ順序	
設定	12-10
ページ保護	19-32
ヘッダ	B-7
ヘッダ情報	
制限	5-2, 6-2
挿入	5-2, 6-2

ホ

方向	
指定	1-3
ホスト・ソフトウェア・エラー・ハンドラ	17-1
ポートレートとタンブル印刷	11-3
ポートレート (縦長) 方向	
指定	1-3
保留	B-7

マ

マクロ	
PCL プリント・ジョブでの指定	8-10
マージン	
交互	12-2
制限	5-2, 6-2

メ

メッセージ	
PRINT/NOTIFY コマンド	A-1
オペレータ	A-1
解析	18-2
形式	A-1
システム	A-1
重大度レベル	A-2
受信	18-1
説明	A-2~A-36
通知	B-9
ファシリティ・コード	A-1
レイアアップ定義エラー	A-36~A-37

モ

問題	
解決	18-1
問題の解決	18-1

ユ

ユーロ通貨記号	
印刷	5-6

ヨ

用紙	
指定	3-2
選択	11-6
用紙サイズ	
指定	11-6
用紙マージン	
設定	12-8

ラ

ランドスケープとタンブル印刷	11-5
ランドスケープと両面印刷	11-3
ランドスケープ (横長) 方向	
指定	1-3

リ

リスト・ナンバリング・ツール 10-1
リモート・プリンタ B-11
両面印刷
 ANSI エスケープ・シーケンスを使用した指
 定 5-5, 6-5
 指定 1-2, 11-1

レ

例
 エンコーディング・ベクタ E-2
レイアッパ
 エラー・メッセージ A-36~A-37
レイアッパ・オプション

ALTERNATE 12-2
BORDERS 12-3
FIRSTPAGE 12-5
GRID 12-7
MARGINS 12-8
PAGEORDER 12-10
PAGESPERSHEET 12-12
指定 12-1
レイアッパ定義ファイル 9-9
 エラー通知 12-14
 作成 12-12
 プリント・ジョブへの挿入 12-1
 例 12-13

ロ

ログ・ファイル 18-1

日本語 HP DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS
ユーザーズ・ガイド

2012 年 6 月 発行

日本ヒューレット・パッカート株式会社

〒136-8711 東京都江東区大島 2 丁目 2 番 1 号

電話 (03)5628-1101 (大代表)
